2014　風来坊　　Country Walk

里歩き・山歩き・街歩き　2014

水行末　雲来末　風来末

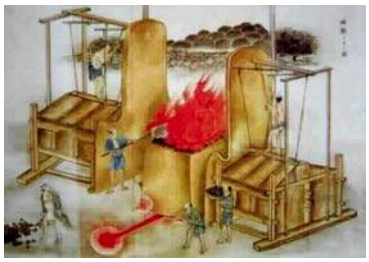
2015. 1. 15.

Mutsu Nakanishi Home Page より
http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/



By　Mutsuo　Nakanishi

水行末　雲来末　風来末　和鉄の道 風来坊



鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

日本には「たたら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、
「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。
ヒッタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、
現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、
維持している日本独自の製鉄法である。





日本に「鉄」が伝来して、この「たたら製鉄」が行われるまで、約800年の長きにわたってたたら製鉄法の摸索が続き、その技術をさらに磨き高めながら 1500年続いてきた日本独自の製鉄技術。「鉄は国家なり」「鉄は産業の米」と「鉄」の力が強調されるが、一方で文化を育み、 そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本を作ってきた。

　そんな今、急速な社会変革の中で この製鉄にともなう数々のドラマが忘れ去られ、日本各地の「たたら製鉄」遺跡もろとも消え去ろうとしている。



人里は慣れた里山の谷筋や川筋・海岸など製鉄関連遺跡周辺には、生産の痕跡とともに、それに携わった人々の賑わいや数々のドラマが、周りの美しい景色とともに埋もれ残り、日本の原風景といわれるすばらしい景色にも出会えます。
また、製鉄関連遺跡は日本各地 それこそどこにでもあり、好奇心を持って訪れば、すばらしい景色とともに数々の出会いがあるのも楽しみ。
そんな日本で繰り広げられたドラマ そして その痕跡の風景を少しでも残しておきたいと「和鉄の道・Iron Road」として日本各地を Country Walk しつつ集めています。













2014 風来坊　Country Walk　もくじ

山歩き・里歩き・街歩き　2014

風来坊　Country walk 【13】山歩き・里歩き・街歩き　2014

1. 京都水族館　孫と好奇心一杯で　2014.1.4.　14walk01.pdf
   「金子みすず「大漁」のシーンそのままに群れ動くイワシの大群」に感激
   ● 大水槽を乱舞する鰯の群れ　金子みすず「大漁」のシーンを思い出していました
   ● 化石でしか知らなかった生きた化石「オウムガイ」が悠然と泳ぐ姿
   ●「空飛ぶケープペンギン」「くらげ」「ゴマフアザラシ」「いるかショウ」等々
2. 冬の神戸を楽しむ　2014 年 1 月　冬晴れの神戸 walk　2014.1 月　14walk02.pdf
   1. 雪が降った寒い朝サクサクと凍った雪を踏みしめて散策　久しぶりの雪を楽しむ　2014.1.19.早朝
   2. 澄み切った空　冬晴れを楽しむ《1》
      街に出たくなって　布引谷を歩いた後　神戸街中にある「二宮温泉」へ
      神戸ウォーターとして有名な布引の水　その下　地下 1000m から汲み上げた天然温泉　2014.1.16.
   3. 阪神淡路大震災から 19 年　神戸の記憶　2014.1.17.
   4. 冬晴れを楽しむ《2》　名産「須磨海苔」の主要養殖地　須磨塩屋漁港を訪ねる　2014.1.16.
   5. 冬晴れを楽しむ《3》　冬の楽しみ　ラグビー観戦　2014.1.11.&1.19.
   6. 冬晴れの夕暮れ　その美しさに電車の窓からパチリ　2014.1.11.夕
3. 西播磨佐用　古代たたらの郷に春を告げる「カタクリの花」　2014.3.28.　14walk03.pdf
   西播磨佐用のカタクリ群生地 旧南光町東徳久殿崎　& 旧三日月町弦谷
4. 2014 京都　好奇心いっぱいの桜 Walk　2014. 4.7. & 4.8.　14walk04.pdf
   <1. 西京極>→ <2. 天神川桜堤>→ <3. 御室・嵐電沿線　桜のトンネル>→ <4. 平野神社> → <5. 高野川桜堤>
5. 西神戸の里山　丹生山田の郷 の 2014 春景色　2014. 4.23.　14walk05.pdf
6.「シャクナゲ　2014」 六甲森林植物園　石楠花谷探訪　2014. 5.1.　14walk06.pdf
7. Jazz の街　神戸　2014　Jazz Street【1】
   15 回　新開地ジャズ　ボーカルクイーン　コンテスト　2014. 5.10.　14walk07.pdf
8. Jazz の街　神戸　2014　Jazz Street【2】
   Country Music Live　13 回 FortwortH Jamboree　2014. 5.17.　14walk08.pdf
   ライブハウス「FortwortH」 Country グループ 10 数組出演 5 時間にわたるライブコンサート
9. 尼崎市立文化財収蔵庫　平成 26 年度第一回企画展　「秀吉　尼崎の危難展」　2014. 5.16.　14walk09.pdf
10. <抜粋版>震災後初めて三陸沿岸を再訪　東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　2014.6.7-6.9.　14walk10.pdf
    1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地「釜石」　2014.6.7.
    2. 発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる　2014.6.8.
    3. 三陸鉄道に乗って20数年前訪れた龍泉洞そして　砂鉄浜普代浜を訪ねる　2014.6.7.&6.8.
    4. 車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜を　2014.6.9.
    5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今 Photo集

次ページへ続く

11. ＜詳細版＞ 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9【1】 14iwalk11.pdf.

1. 世界産業遺産登録 を目指す近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」 橋野・大橋を訪ねる. 2014.6.7.

1.1. 釜石線 別名「銀河鉄道」に乗って遠野・釜石へ

1.2. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野高炉跡へ遠野から笛吹峠越で北上山地を越える

1.3. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野鉄鉱山(製鉄所)見学

1.4. 北上山地分水界 仙人峠を釜石線の長いトンネルとΩループで越えて 「陸中大橋」を経て釜石へ

1.5. 釜石 鉄の歴史館 再訪

1.6. 土砂降りの中 路線バスで再度 日本初の洋式高炉の操業地 陸中大橋 旧釜石鉄鉱山(製鉄所)へ

【参考】近代製鉄発祥の地 釜石の橋野・大橋鉄鉱山の概略

12. ＜詳細版＞ 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9【2】 14iron08.pdf.

2. 古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる 2014.6.8. .

【参考】概略資料 古代製鐵遺跡が 300 を越える山田町の古代遺跡について .

13 2014 年祇園祭 後祭 山鉾巡行 150 年振りに「大船鉾」が都大路をゆく 2014.7.24. 14walk13.pdf

14. ＜詳細版＞ 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9【3】 14walk16.pdf.

3. 三陸鉄道に乗って20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる

3.1. 三陸鉄道 宮古から龍泉洞の最寄り駅小本へ 震災・大津波の被災地の今を三陸鉄道の車窓から

3.2. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞 透明なブルーに出会いたくて

3.3. 土砂降りの雨の中 北緯40度の地球村 普代・黒崎へ

3.4. 普代から久慈へ 普代川の河口の砂鉄浜の今「普代浜 & 普代の街」 and 三陸鉄道の車窓

3.5.【資料】南部鉄を支えた久慈の砂鉄と製鉄 & 旧たたら館

15. 京都府立植物園 半日会 2014 年京朝顔展 朝顔帳 2014.8.4 14walk14.pdf

16. 日本の恐竜化石の宝庫 福井県勝山市福井県立恐竜博物館 2014.8.14. 14walk15.pdf

恐竜博物館の日本の代表といわれる巨大な恐竜博物館

17. 秋の西神戸 里の秋 ヒガンバナ・山田錦の郷を訪ねる 2014.9.18. 14walk17.pdf

実りの田の畔を飾るヒガンバナ & 酒蔵の旗がはためく灘の酒米「山田錦」の郷

18. ＜詳細版＞ 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9【4】 14walk18.pdf

4. 久慈から八戸へ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸 & 砂鉄浜 八戸 種差海岸

4.1. 砂鉄の宝庫 八戸・久慈周辺の砂鉄 概要 その周辺の沿岸には砂鉄が堆積する砂鉄浜続く

4.2. 八戸線 車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸

4.3. 砂鉄浜 八戸 種差海岸を歩く

19. 2014 コスモス探訪 2014 年 10 月 14walk19.pdf

神戸運動公園コスモスの丘・加古川市志方のコスモス畑・大阪鶴見緑地

20. 2014 紅葉探勝 ≪1≫ 六甲・有馬の紅葉探勝 ケーブル・ロープウエイを使って 六甲越で有馬へ 14walk20.pdf

21. 2014 紅葉探勝 ≪2≫ 久しぶり 秋の布引谷散策 14walk21.pdf

22. 2014 紅葉探勝 ≪3≫ 2014 紅葉の秋景色 京都東山哲学の小道 & 神戸須磨 自宅界隈の紅葉 14walk23.pdf

1. 京都銀閣寺疎水 2014. 11. 12.
2. 大阪淀屋橋で 2014. 11. 12.
3. 私の住む神戸須磨 山麓バイパス界隈 2014. 11. 21.

23. ゆったりとした時間が流れる 芦屋川の河口 芦屋浜 2014. 11. 21. 14walk22.pdf

.

風来坊 2014
1.

≪写真アルバム≫ **京都水族館** 2014.1.4.

言葉で知っていてもマジかに見てみないと解からぬ　魚や水生動物の動きや姿

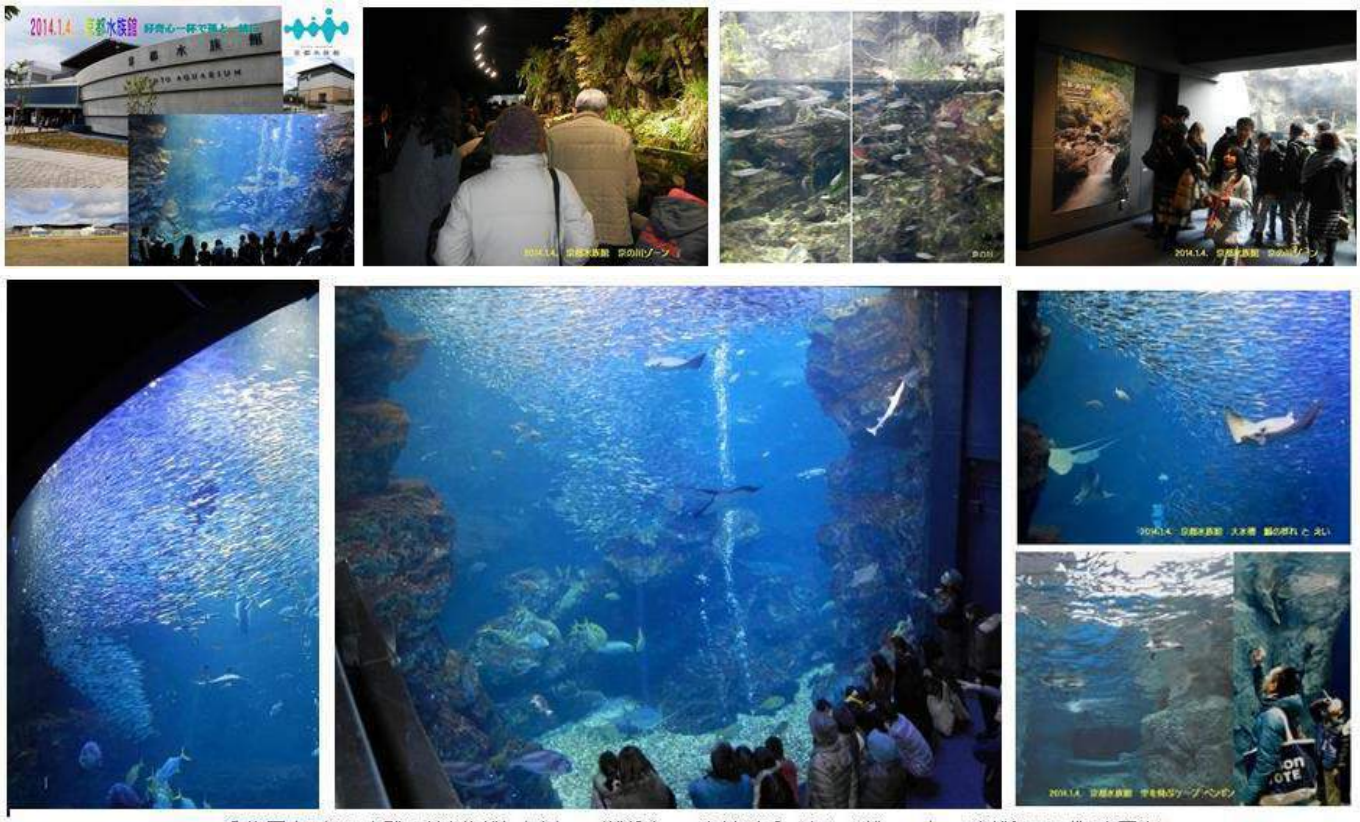
孫と好奇心一杯で京都水族館へ



「須磨の水族館も知っているし、 水族館なんて･･･」と思いながら 京都一泊旅行をしたいという 孫を連れて行きました。
「何で京都の街中に水族館??」の思いもありますが、知らない魚に、すばらしい魚の動きに すっかり引き込まれました

- 大水槽を乱舞する鰯の群れ　金子みすず「大漁」のシーンを思い出していました
- 化石でしか知らなかった生きた化石「オウムガイ」が悠然と泳ぐ姿
- ほかにも「空飛ぶケープペンギン」・「くらげ」・「ゴマフアザラシ」・「いるかショウ」等々

大水槽を泳ぐ「鰯の大群」そして初めて見る生きた化石「オウムガイ」の動く姿を動画に



急旋回する鰯の大群の前を悠然と大きなエイが泳ぐ　エイは鰯を食べないんだ･･･と　空とぶペンギンも面白い



水柱を上下に泳ぐゴマフアザラシ
顔のすぐ前 こんなに近くで

生きた化石「オウムガイ」
初めて知る泳ぎ方??

初めて見た鰯の群れの急ターン
「エイ」はその前を悠然と

空を駆け巡るケープペンギン
スピードが速く、面白い

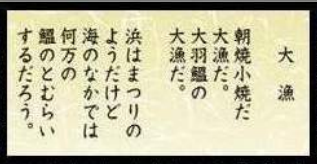
イルカショウ BGMでの
盛り上がりがないのがおしい










大漁
朝焼小焼だ
大漁だ。
大羽鰮の
大漁だ。
浜はまつりの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鰮のとむらい
するだろう。



乱舞する「鰯の大群」に金子みすず「大漁」を描いた中島潔氏の童画のシーンがぱっと頭に・・

2014.1.4.京都水族館　大水槽

いつもイメージを膨らましてきた金子みすずの「大漁」　こんな光景だったんだと
京都清水寺にも　中島潔氏が描いた金子みすず「大漁」の襖絵が奉納されている
長門仙崎の金子みすず記念館にも　中島潔氏の金子みすずの画集が展示されていました

◆	童謡詩人「子みすず」の街　山口県長門市仙崎を訪ねました	2007.6.9.
◆	中島潔氏が奉納した金子みすず「大漁」のふすま絵がある京都清水寺	2012. 2.21. & 2.22.
◆	中島潔　童画展「金子みすず-まなざし-」を見る 四季折々2003　bookmutsu2003.pdf　掲載	2003.1.4.



大水槽を泳ぐエイと鰯の群れ





化石でしか知らなかった生きた化石「オウムガイ」が目の前を悠然と





こんなくらげにも出会えました



空を飛ぶケープペンギンの姿









京都水族館のイルカショウ　2014.1.4.
子供たちにはやっぱり一番の人気ですが、多少大人目線なのが気にかかる。
子供たちには　BGMで客席参加型の盛り上げが一番と思いました









気に入った「鰯の群れ」や「オウムガイ」「クラゲ」のほか「空飛ぶペンギン」や「ゴマフアザラシ」「イルカショウ」「京都の川」の展示なども

すぐ南は梅小路蒸気機関車館そして新幹線・東海道・山陰線を走る電車もすぐ見える。

入場料が高いのと　大人目線が過ぎる水族館にちょっぴり不満ですが、展示は面白い。
満足の親しい水族館でした。

こどしも好奇心を忘れれずにと。

2014.1.4.　Mutsu Nakanishi


2014.1.4. 京都水族館 好奇心一杯で孫と一緒に
思いもよらず 気に入った展示
● 大水槽を乱舞する鰯の群れ
金子みすず「大漁」のシーンを思い出していました
● 化石でしか知らなかった「オームガイ」が悠然と泳ぐ姿
京都水族館

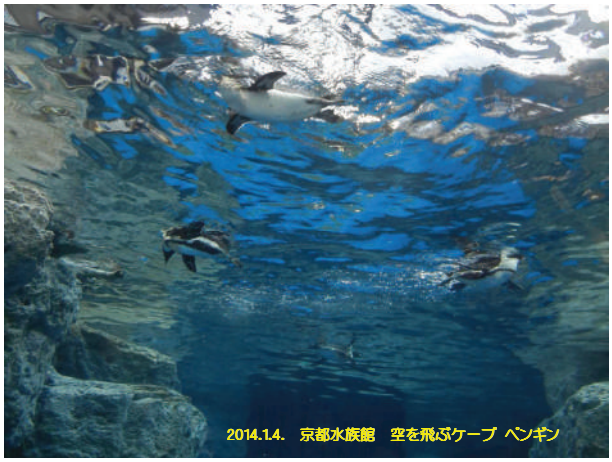

京都市内初の大規模水族館が、京都・梅小路公園に!
～さあ、あなたも「水と共につながる、いのち」を体験してみませんか?
梅小路公園マップ
京都駅西北 東海道線線路沿い 梅小路公園
京都水族館


2014.1.4. 京都水族館 京の川ゾーン


2014.1.4. 京都水族館 京の川ゾーン


2014.1.4. 京都水族館 ゴマフアザラシ


2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープ ペンギン

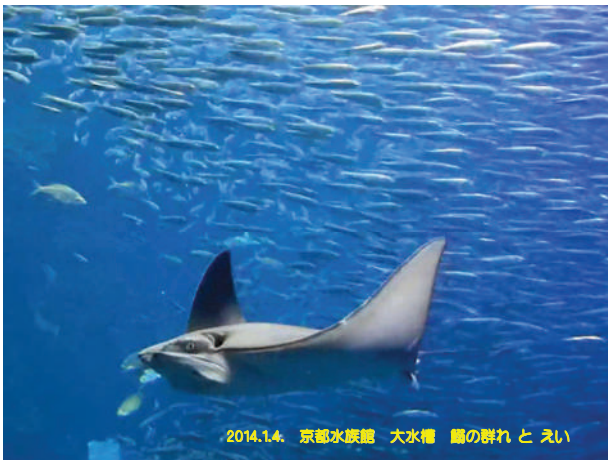

2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープ ペンギン


2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープ ペンギン















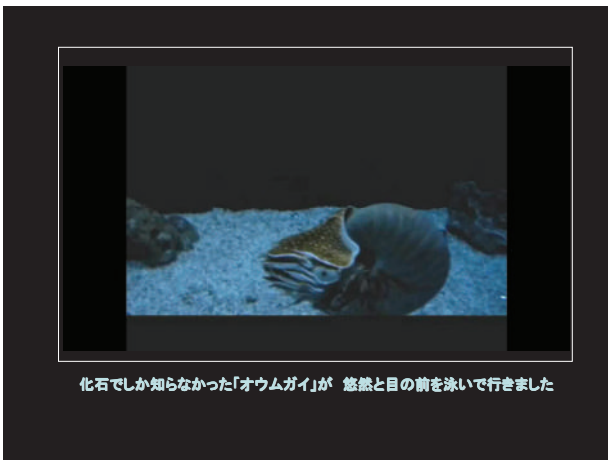


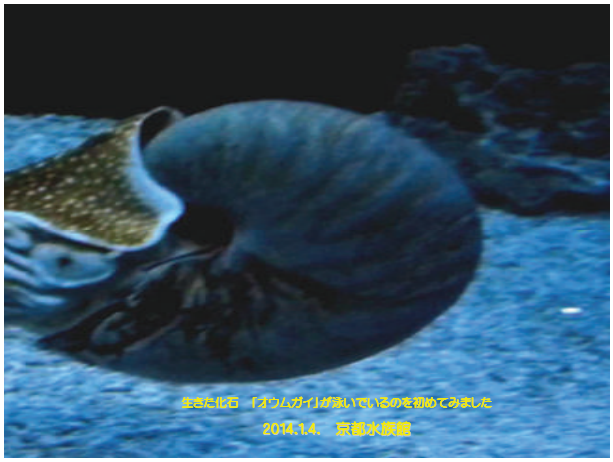
生きた化石「オウムガイ」 & 「アンモナイト」

美祢でよく見た**アンモナイトは渦巻きに直角に入っている「ひだ」が凸**
オウムガイは凹　オウムガイの方が古い化石だと言う。

そんな生きた化石大きなオウムガイが悠然と目の前を泳いでいた。

初めて見る生きた化石　オウムガイの姿です





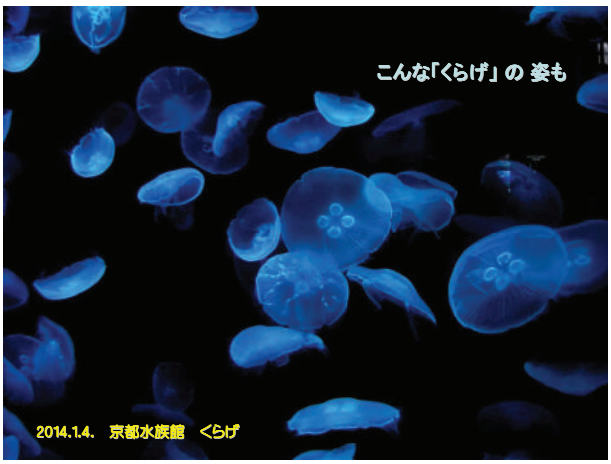
生きた化石 「オウムガイ」が泳いでいるのを初めてみました
2014.1.4.　京都水族館



2014.1.4.　京都水族館　くらげ



2014.1.4.　京都水族館　くらげ



2014.1.4.　京都水族館　くらげ



2014.1.4.　京都水族館　イルカショー



2014.1.4.　京都水族館前　梅小路公園で　南の端を蒸気機関車が走っていました





気に入った「鯖の群れ」や「オウムガイ」「クラゲ」のほか「空飛ぶペンギン」や 「ゴマアザラシ」「イルカショウ」「京都の川」の展示なども

すぐ南は梅小路蒸気機関車館
そして新幹線・東海道・山陰線を走る電車もすぐ見える。

入場料が高いのと 大人目線が過ぎる水族館にちょっぴり不満ですが、展示は面白い。
満足の新しい水族館でした。

ことしも好奇心を忘れずにと。

2014.1.4.　Mutsu Nakanishi

風来坊 2014
2.

冬の神戸を楽しむ　2014年1月　冬晴れの神戸walk

家に篭もってばかりは　居られない





1. 雪が降った寒い朝　サクサクと凍った雪を踏みしめて散策
   久しぶりの雪を楽しむ　2014.1.19.早朝
2. 澄み切った空　冬晴れを楽しむⅠ　2014.1.16.
   街に出たくなって　布引谷を歩いた後　神戸街中にある「二宮温泉」へ
   神戸ウォーターとして有名な布引の水　その下　地下1000mから汲み上げた天然温泉
3. 阪神淡路大震災から19年　神戸の記憶　2014.1.17.
4. 冬晴れを楽しむⅡ
   名産「須磨海苔」の主要養殖地　須磨塩屋漁港を訪ねる　2014.1.16.
5. 冬晴れを楽しむⅢ
   冬の楽しみ　ラグビー観戦　2014.1.11.&1.19.
6. 冬晴れの夕暮れ　その美しさに電車の窓からパチリ　2014. 1.11. 夕

毎朝　庭には霜柱 が立ち、蝋梅もやっと花をつけ始めた
寒い朝に　春が待ち遠しい
「サクサクサク」今朝は久しぶりに降った雪。凍りついた
雪道を踏みしめる音が静かな街中に響き、
久しぶりの感触がうれしい。

毎年正月明け　この時期に届く健康診断の結果が、
やっと届く。血圧・血糖値・肝臓値にメタボと良くは
ないが、昨年と変わらぬ現状維持の結果にほっとする。

気分は晴れ晴れ、澄み渡った「冬晴れ」の朝
戸外に出ると冷たいが、心地よい景色がここあそこ。
神戸篭りの毎日も毎度ですが神戸街中歩きで見つけた
「2014年　冬晴れの神戸の景色」をデジカメ写真に。



庭にニョキニョキ霜柱　待ち遠しい春



1.　雪が降った寒い朝　サクサクと凍った雪を踏みしめて散策

久しぶりの雪を楽しむ　　2014.1.19.早朝









1月19日早朝　寒い朝　　街一面が真っ白に
うれしくなって　久しぶりに雪道を散歩
「サク　サク　サク」と雪を踏みしめる音が心地よい






























早朝雪化粧の須磨アルプス　若草町より 2014.1.19.


雪を薄っすら纏って美しい若草山の谷2014.1.19.朝


若草町から眺める高取山　2014.1.19.朝


雪を薄っすら纏って美しい若草山の谷2014.1.19.朝

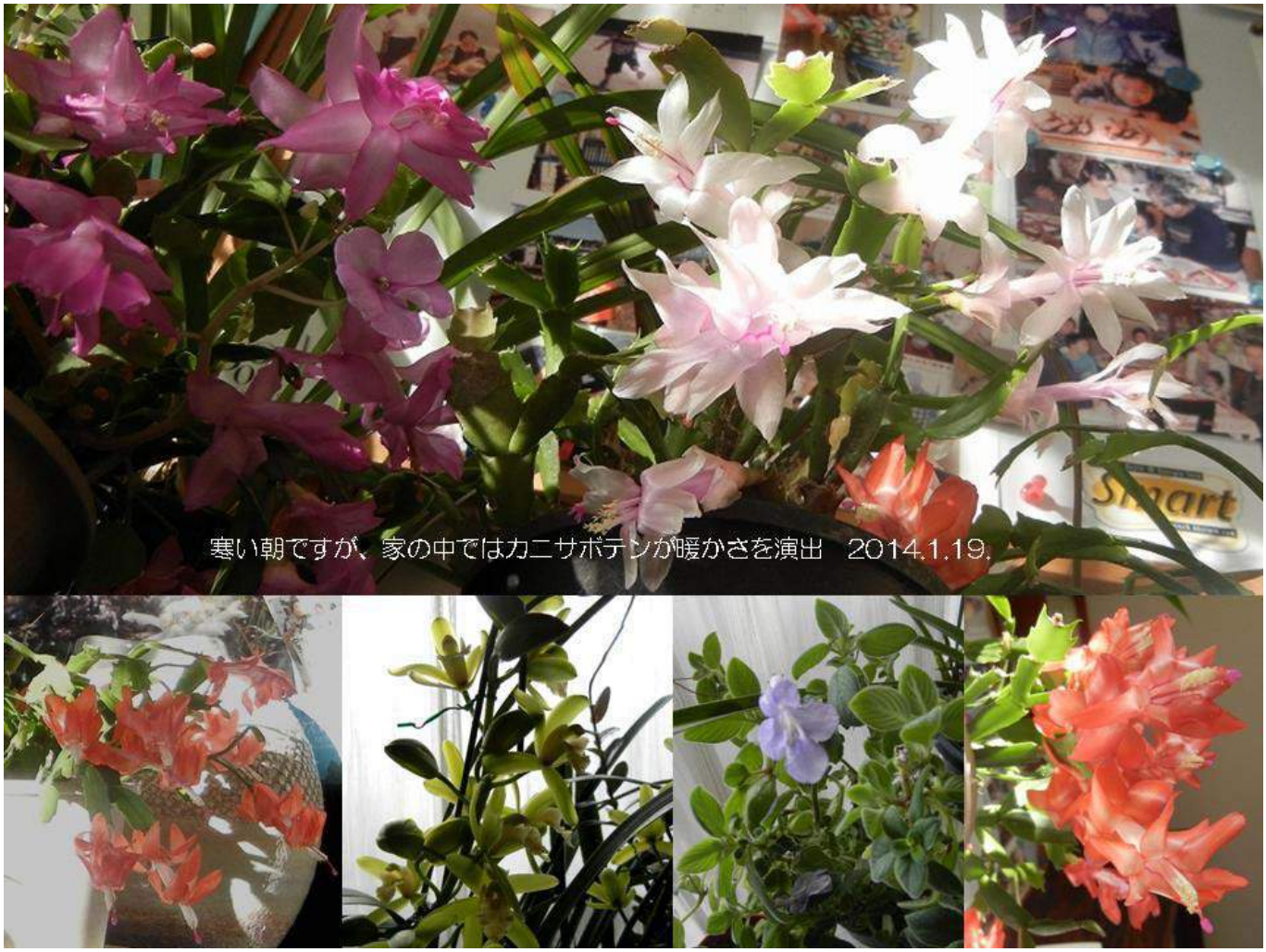


若草町から眺める須磨アルプス　　左より　宮山　馬の背のガレ　横尾山　　2014.1.19.








寒い朝ですが、家の中ではカニサボテンが暖かさを演出　2014.1.19.


早朝 雪化粧の須磨アルプス 若草町より 2014.1.19
若草町から眺める高取山 2014.1.19.朝
久しぶりの雪の街歩き　家の中に篭もってばかりではいられない

2.　澄み切った空　冬晴れを楽しむⅠ　　2014.1.16.

街に出たくなって　布引谷を歩いた後　神戸三宮の街中にある天然温泉「二宮温泉」へ

神戸ウォーターとして有名な布引の水　その下層　地下 1000m から汲み上げた天然温泉


布引谷　滝の上　展望台から眺める新神戸駅周辺　2014.1.16.


布引谷をまっすぐ市街地に流れ下る生田川　新神戸駅周辺　2014.1.16.


布引谷　滝の上　展望台から眺める　熊内･新神戸駅周辺　2014.1.16.



神戸の町並み(布引谷界隈)と周辺の樹木の落葉で全貌を現した布引の滝　2014.1.16.



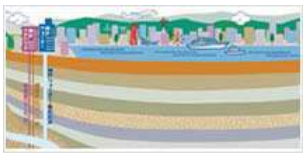




二宮神社の直ぐそばに湧く二宮温泉　2014.1.16
神戸ウォーターで有名な布引の水脈の下　地下1000mから
汲みだされた天然温泉
今日は銭湯「二宮温泉」が休みなので、クアハウスへ行く









神戸の街中にも天然温泉がある　山歩きをして　三宮に帰ってくる楽しみの一つです





3.　阪神淡路大震災から 19 年　　神戸の記憶　2014.1.17.

1.17. 阪神淡路大震災から19年
神戸の記憶

今年も光の輪の中で多くの笑顔にであえました
1995年1月　大地震に見舞われた神戸
みんなが輪になって助け合って
その12月　暗闇の中にぱっとルミナリエの明るい灯がついて
互いの笑顔をみて喜んだ　その感動は今も忘れない

年が経つとそのルーツが忘れられ、
ひとつのショウになりがちですが、
若い人たちで震災の記憶を
受け継いでいこうとの流れがあるのもうれしい

Stay Young Day !!　今できることを　精一杯

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

病気や介護など幾多の苦難に立ち向かっている数多くの仲間へ
そして東北の人たちへ
いつも 思いをはせています。
忘れまい　忘れないで　暖かい希望の輪がつながっていることを
困難の中に居られる方々を　応援しよう!!

今 元気にくらしていることを感謝しつつ
お互い元気で 日一日を笑顔で すごせたら

以前はスピードを追った毎日でしたが付和雷同せず
勇気・冷静・知恵　その重みを強く感じている昨今です。
「まあええか　元気だして行こう」と 心は行ったり来たりです





1995年1月17日　阪神淡路大震災　神戸の記憶

1月17日　阪神淡路大震災の日を迎えます
幾多の苦難を乗り越えた思い一杯の
喜びの灯でもあります
今回も数多くの笑顔に出会えました。
今 幾多の苦難に立ち向かっている人々の上に
笑顔と人間復興の光りが 広く降り注ぎます様に
神戸から応援しています!!

凍りつくような寒さの中　真っ暗闇　物音ひとつしない瓦礫となった街並み
神戸を離れていた後ろめたさを胸に、黙りこくって　須磨の坂道を帰った夜のことは今も鮮明に。
そして、真っ暗闇の夜をみんながひとつの輪になって　お互い助け合って過ごした神戸の輪も。

「忘れない　忘れまい　響きあう心　希望を胸に」　　二度と出会いたくない体験と共に　生きてゆく支えに。

困難の中にいる人たちを思い浮かべ、　今元気でいる自分たちのありがたさを感謝しつつ

By Mutsu Nakanishi

神戸ルミナリエ　今年も光の輪の中で東北を思い浮かべています

今できることを　精一杯　声かけあい　支えあって
負けないで　忘れないで
暖かい希望の輪がつながっていることを

強いこころを持って　共に生きていこう
しあわせ　運べるように



真っ暗闇にぱっと灯が燈ったときの感動は忘れられない
今年も多くの笑顔に出会えました

4.　冬晴れを楽しむⅡ

名産「須磨海苔」の主要養殖地　須磨塩屋漁港を訪ねる　2014.1.16.









海側から眺める塩屋漁港　黄色の建物が海苔の加工場　と　右側　旗振り山から須磨の海
ここ塩屋は六甲全山縦走路西のいり口でもある









須磨漁港の沖に浮かぶ名産「須磨海苔」養殖場いかだ群と港の加工場　インターネットより

兵庫県の海苔生産高日本一を支える神戸須磨の海苔



須磨漁港の沖に浮かぶ名産「須磨海苔」養殖場いかだ群で　海苔の収穫中　2014.1.18.





◆　六甲連山が海に落ちる狭い須磨海岸
　　須磨塩屋漁港から　塩屋のランドマーク　海岸沿いの山裾に建つ赤い洋館







5.　冬晴れを楽しむⅢ

冬の楽しみ　ラグビー観戦　　2014.1.11.&1.19.









生駒の麓　　生駒颪が吹く花園ラグビー場で　神鋼-パナソニック戦出陣のウォーミングアップ　2014.1.11.


神鋼対パナソニック　一瞬に賭けて　生駒嵐が吹き降ろす花園ラグビー場で　2014.1.11.


大和証券
大和証券
神鋼38-36東芝　闘志と闘志がぶつかりあう瞬間　神戸ノエビアスタジアム　2014.1.19.

6.　冬晴れの夕暮れ　その美しさに電車の窓からパチリ　　2014. 1.11. 夕





風来坊 2014
3.

【写真アルバム】

古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる

2014.3.28. 1404katakuri00.htm by Mutsu Nakanishi

3年ぶり まだ冷たい風が吹く山の斜面で 元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



西播磨佐用のカタクリの群生地 旧南光町東徳久殿崎を流れ下る千種川 と 旧三日月町弦谷のすぐ近くの丘にある旧三日月藩陣屋 2014.3.28.



春を告げる妖精
「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷





東徳久　殿崎のカタクリ群生地　2014.3.28.
千種の山から流れ出た千種川が北東から南西へ　古代たたらの郷　旧南光町徳久を流れ下る　その河岸の山裾のなだらかな南斜面に広がる



旧三日月町　弦谷のカタクリ群生地　2014.3.28.
旧南光町東徳久とは尾根筋を挟んで南側に広がる旧三日月町　志文川南岸の山裾北斜面に広がる



姫路から佐用を抜けて出雲への街道筋と千種への街道の結節点の城下町 旧三日月町
カタクリが咲く旧三日月町弦谷の北側　対岸の丘の上には今も立派な陣屋が残り、旧三日月町の街道筋・志文川を見下ろしている。

この志文川はカタクリの群生地　東徳久殿崎とは尾根筋を挟んで、東側の谷筋を南へ流れ下って旧三日月町の西で千種川にそそぐ。
また、この千種から流れ出た志文川の谷筋にも転々とたたら跡が残るが、今はそんな喧噪も忘れた静かな山郷である





春を告げる妖精
「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で　冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に　心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り
四季折々　花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町　南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷

【参考　1　西播磨佐用　カタクリの里　探訪】
1. 2011年春の訪れを告げるカタクリの花古代鉄関連地の山麓に咲く花を今年も訪ねました　2011.4.5.
西播磨　佐用町　弦谷のカタクリ
http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/walk8/1105katakuri00.htm
2.【写真アルバム】春の妖精　カタクリの花　兵庫県播磨 佐用町　2010.4.8.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/walk7/1005ktkri00.htm
3.【写真アルバム】西播磨佐用　たたらの里に咲く「カタクリと一本桜」を訪ねる　2009.3.31.
兵庫県佐用町〔旧三日月町　弦谷　& 旧南光町徳久・漆畑
http://www.infokkkna.com/ironroad/2009htm/walk6/0905sayo00.htm

【参考　2　古代たたらの里　西播磨　佐用　】
1. 久しぶりに西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる」　2013.7.19.
千種天児屋たたら跡・岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑を訪ねる
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308chigusa00.htm
2. 播磨国風土記和鉄の道【1】　古代製鉄の一大生産地「讃容の里」Walk　2003.11.14.
西播磨　佐用町　大撫山製鉄遺跡を訪ねて
http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron01.pdf

【写真アルバム】

古代たたらの里　西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる

2014.3.28.　1404katakuri00.htm　by Mutsu Nakanishi

3年ぶり　まだ冷たい風が吹く山の斜面で　元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



春を告げる妖精
「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々　花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町　南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷

桜便りが届きはじめると　毎年気になる　春の妖精「カタクリの花」

今年はぜひとも西播磨佐用のカタクリの花を訪ねたくて
少し早いのですが、3月28日西播磨佐用のカタクリの群生地を訪ねました
西神戸　雌岡山周辺も　桜が咲き始め、もうすっかり春色です
この西神戸雌岡山の頂上近くの斜面にもカタクリの群生地がありますが、
まだ　カタクリはまだ　地中の中。　元気に顔を出すのを待っています



春を迎えた　西神戸　雌岡山の山裾　神出の里　　2014.3.28.


春を迎えた　西神戸　雌岡山の山裾　神出の里　　2014.3.28.


春を迎えた　西神戸　雌岡山の山裾　神出の里　2014.3.28.


雌岡山カタクリの群生地では
カタクリの花に先立つ　雪割草が花を咲かせ始めていました
春を迎えた西神戸神出　雌岡山で　2014.3.28




兵庫県
HYOGO
● 佐用 カタクリの里



西神戸から小野・加西をぬけて、西播磨の山郷　宍粟市旧山崎町から佐用への道をたどる

佐用へたどる街道筋　　川岸に菜の花そして桜も咲き出し、
土手を駆ける子どもたちの歓声　　のどかな山郷はすっかり春色です









中国道に沿って　山深い切窓峠をこえると間もなく見慣れた佐用　上三河の三叉路

山里を取り囲む里山もすっかり春色　いつ来てもうれしい佐用　山里の風景が広がっています
ここから南へ千種川沿いを下れば　下野・漆野・徳久と古代たたらの里が続く　ちょっと時期的には
はやいが、カタクリは咲いているだろうか????　　3年ぶりの出会いです



春を迎えた西播磨　佐用町　旧南光町上三河の山郷　2014.3.28.









春を迎えた西播磨　千種川が流れ下る佐用町漆野　2014.3.28.


西播磨の春の訪れを告げる佐用町「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町弦谷
2014.3.28.




西播磨の山あいを千種川が流れ下る山麓の傾斜地
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 2014.3.28.
西播磨花の郷
東徳久殿崎
カタクリの里
佐用町


かたくりの里

































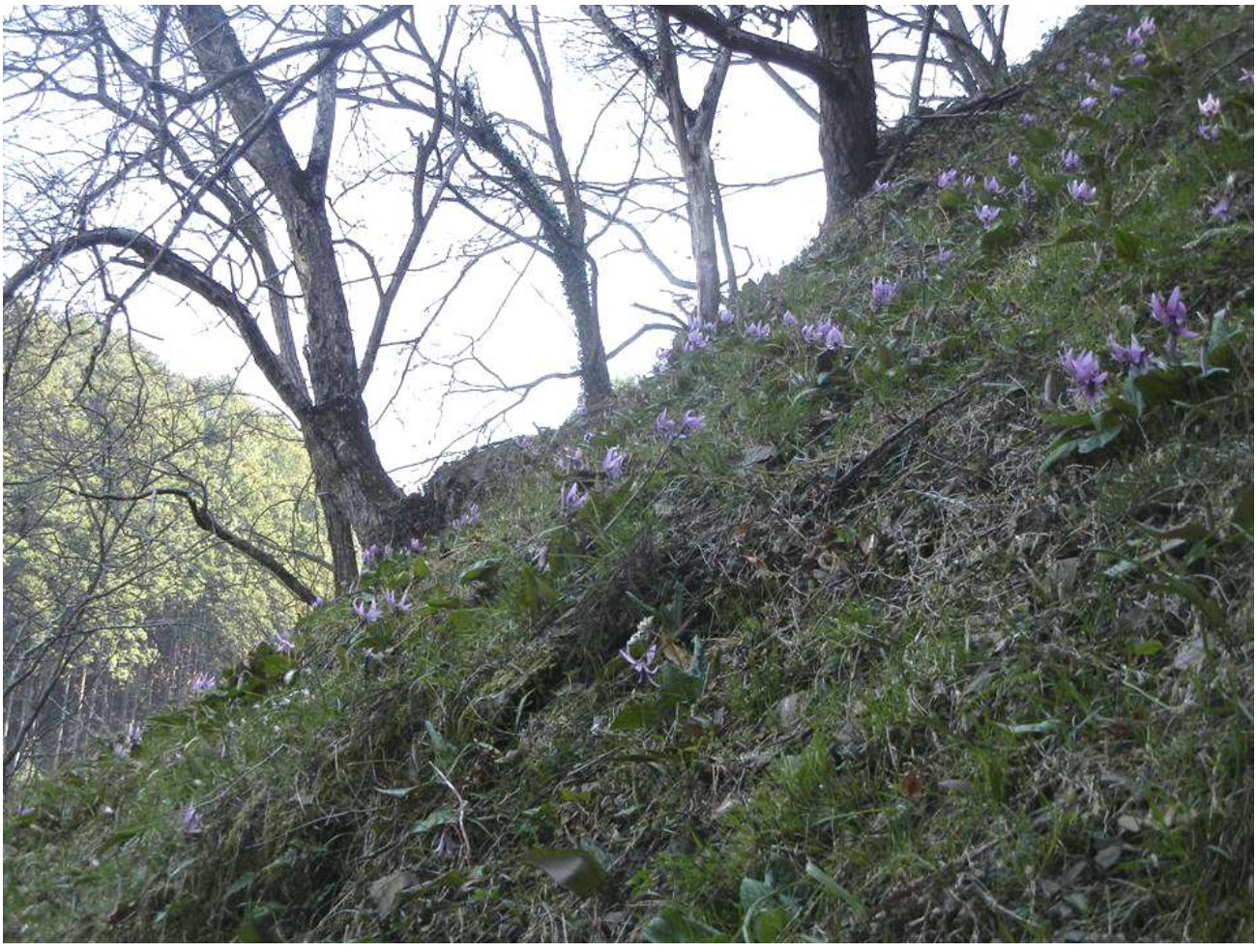








西播磨　旧三日月町弦谷　カタクリの里
2014.3.28.





























春を告げる妖精
「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷









【参考 1 西播磨佐用 カタクリの里 探訪】

1. 2011年春の訪れを告げるカタクリの花古代鉄関連地の山麓に咲く花を今年も訪ねました 2011.4.5.
   西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/walk8/1105katakuri00.htm
2. 【写真アルバム】春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨 佐用町 2010.4.8.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/walk7/1005ktkri00.htm
3. 【写真アルバム】西播磨佐用 たたらの里に咲く「カタクリと一本桜」を訪ねる 2009.3.31.
   兵庫県佐用町〔旧三日月町 弦谷 & 旧南光町徳久・漆畑
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2009htm/walk6/0905sayo00.htm

【参考 2 古代たたらの里 西播磨 佐用 】

1. 久しぶりに西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる」 2013.7.19.
   千種天児屋たたら跡・岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑を訪ねる
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308chigusa00.htm
2. 播磨国風土記和鉄の道【1】 古代製鉄の一大生産地「讃容の里」Walk 2003.11.14.
   西播磨 佐用町 大撫山製鉄遺跡を訪ねて
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron01.pdf



春を告げる妖精
「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷





【写真アルバム】
古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる
2014.3.28. 1404katakuri00.htm by Mutsu Nakanishi
3年ぶり まだ冷たい風が吹く山の斜面で 元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



西播磨佐用のカタクリの群生地 旧南光町東徳久殿崎を流れ下る千種川 と 旧三日月町弦谷のすぐ近くの丘にある旧三日月郵便局 2014.3.28.



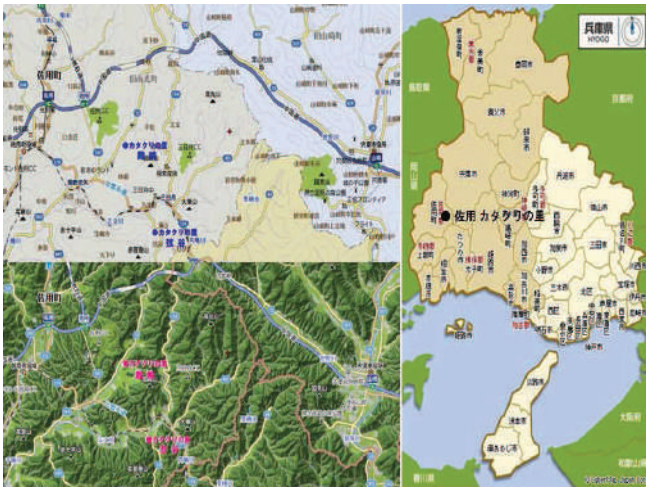
◇ 古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花が咲

また、毎年 楽しみにしているのが、蕾を膨らませると咲くのが気になる「カタクリの花」
春の妖精とも呼ばれる地球氷河期の生き残りの可憐な花
8年かけて「地表に顔をだし、山の斜面にすっくと立って、また肌寒い風に、身を震わせる。
その姿に魅了され、また エネルギーをもらう。

2011年以来の西播磨 佐用のたたらの里に咲くカタクリの花 探訪
今年は 4月にも出会いたいと2月28日 待ちかねた春の陽ざしに 西播磨佐用のカタクリの里へ
また、感動しものでした、元気な姿に出会えてきました。

山合いを千種川が流れ下り、四季折々 花が咲く静かな山郷 兵庫県西播磨佐用
春の訪れを告げる「カタクリ」の群生地 旧南光町徳久 & 旧三日月町弦谷

私には一番好きな「カタクリの花」 今年も元気をもらって 前向いて





【写真アルバム】
古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる
2014.3.28. 1404katakuri00.htm by Mutsu Nakanishi
3年ぶり まだ冷たい風が吹く山の斜面で 元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



春を告げる妖精
「カタクリの花」
2014.3.28.
花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

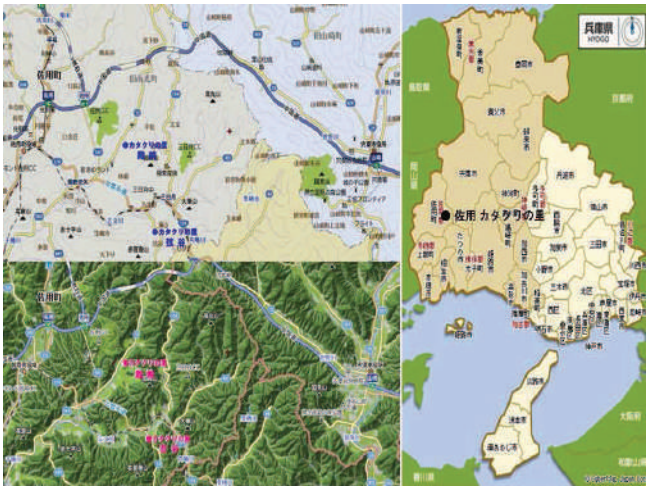
地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷

【参考 1 西播磨佐用 カタクリの里 探訪】
1. 2011年春の訪れを告げる佐用のカタクリの花 古代鉄関連地の山腹に咲く花を今年も訪ねました 2011.4.5.
西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ
http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/walk8/1105katakuri00.htm
2. 【写真アルバム】春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨 佐用町 2010.4.8.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/walk7/1005ktkri00.htm
3. 【写真アルバム】春の妖精 カタクリの花 古代鉄関連地の山腹に咲く花を訪ねる 2009.3.31.
兵庫県佐用町 旧三日月町 弦谷 & 旧南光町徳久・漆堀
http://www.infokkkna.com/ironroad/2009htm/walk6/0905sayo00.htm

【参考 2 古代たたらの里 西播磨 佐用 】
1. 久しぶりに「西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる」 2013.7.19.
千種天児屋たたら跡・岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑を訪ねる
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308chigusa00.htm
2. 播磨国風土記和銅六年(713) 古代製鉄の一大生産地「讃容の里」Walk 2003.11.14.
西播磨 佐用町 大撫山製鉄遺跡を訪ねて
http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron01.pdf



【写真アルバム】
古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる
2014.3.28. 1404katakuri00.htm by Mutsu Nakanishi
3年ぶり まだ冷たい風が吹く山の斜面で 元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



春を告げる妖精
「カタクリの花」
2014.3.28.
花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷


桜便りが届きはじめると　毎年気になる　春の妖精「カタクリの花」
今年はぜひとも西播磨佐用のカタクリの花を訪ねたくて
少し早いのですが、3月28日西播磨佐用のカタクリの群生地を訪ねました
西神戸　雌岡山周辺も　桜が咲き始め、もうすっかり春色です
この西神戸雌岡山の頂上近くの斜面にもカタクリの群生地がありますが、
まだ　カタクリはまだ　地中の中。　元気に蕾を出すのを待っています
春を迎えた　西神戸　雌岡山の山裾　神出の里　2014.3.28.


春を迎えた　西神戸　雌岡山の山裾　神出の里　2014.3.28.


春を迎えた　西神戸　雌岡山の山裾　神出の里　2014.3.28.


雌岡山カタクリの群生地では
カタクリの花に先立つ　雪割草が花を咲かせ始めていました
春を迎えた西神戸神出　雌岡山で　2014.3.28.


西神戸から小野・加西をぬけて、西播磨の山郷　宍粟市旧山崎町から佐用への道をたどる
佐用へたどる街道筋　　川岸に菜の花そして桜も咲き出し、
土手を駆ける子どもたちの歓声　　のどかな山郷はすっかり春色です
西播磨　宍粟市旧山崎町で　2014.3.28.


西播磨　宍粟市旧山崎町で　2014.3.28.


西播磨　宍粟市旧山崎町で　2014.3.28.


西播磨　宍粟市旧山崎町で　2014.3.28.

中国道に沿って　山深い切窓峠をこえると間もなく見慣れた佐用　上三河の三叉路
山里を取り囲む里山もすっかり春色　いつ来てもうれしい佐用　山里の風景が広がっています
ここから南へ千種川沿いを下れば　下野・漆野・徳久と古代だたらの里が続く　ちょっと時期的には
はやいが、カタクリは咲いているだろうか????　3年ぶりの出会いです



春を迎えた西播磨　佐用町　旧南光町上三河の山郷　2014.3.28.



春を迎えた西播磨　佐用町　旧南光町上三河の山郷　2014.3.28.



春を迎えた西播磨　千種川が流れ下る佐用町下野の里　2014.3.28.



春を迎えた西播磨　千種川が流れ下る佐用町下野の里　2014.3.28.



春を迎えた西播磨　千種川が流れ下る佐用町下野の里　2014.3.28.



春を迎えた西播磨　千種川が流れ下る佐用町漆野　2014.3.28.



春を迎えた西播磨　千種川が流れ下る佐用町漆野　2014.3.28.



西播磨の春の訪れを告げる佐用町「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿峠 & 旧三日月町狐谷
2014.3.28.



最後座のふあいと千種川が流れ下る山裾の瀬料地
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧朝光町 東藤大原村 2014.3.28.



かたくりの里





















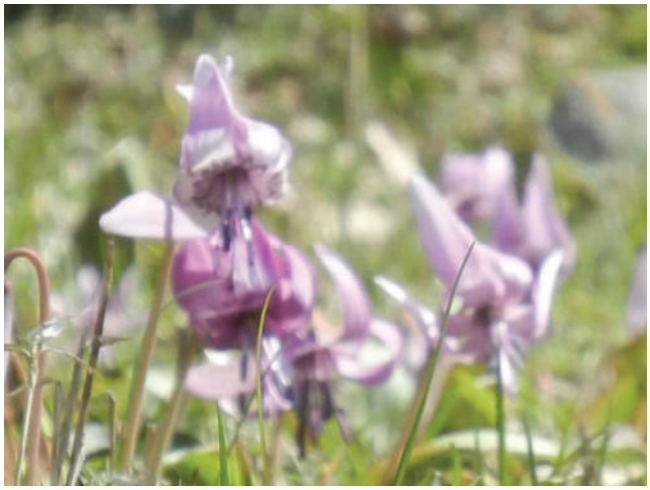














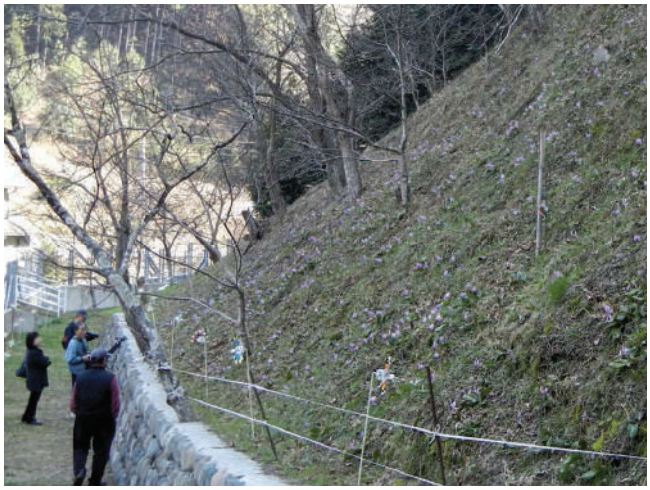







西播磨　旧三日月町抜谷　カタクリの里
2014.3.28.









































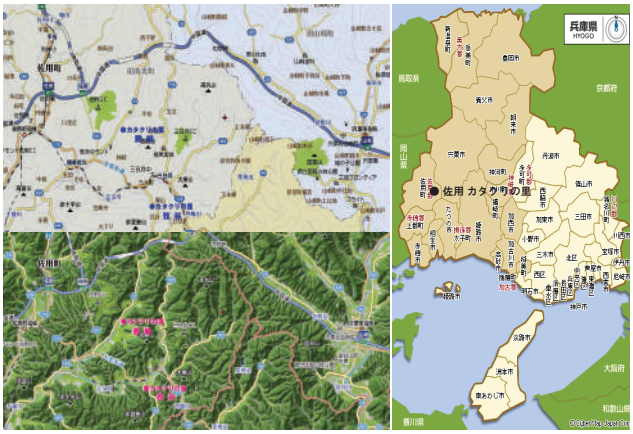




千種の山あいから南へ、尾根を挟んで西側徳久を流れる千種川　そして、東側の志文そして、旧三日月町を流れ下る志文川。この志文川の川筋にも転々とたたら跡があり、かつ志文川と佐用から、一宮へと繋く出雲街道が続く三日月町を見下ろす丘の上に立派な陣屋がある。　　そのちょうど対岸の谷合の入り口が弦谷。

こんな川筋と街道との位置関係。
三日月町から千種へは　志文川を遡って、行くのが、徳久を抜けるよりも本道だったかもしれぬと・・・。　本当に立派な陣屋がありました。
弦谷には何度も通いましたが、この陣屋を見るのは初めてでした。

2014.3.28.





春を告げる妖精
「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で　冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々　花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町　南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷





風来坊 2014
4.

2014 Kyoto-Sakura Walk Album　2014. 4.7. & 4.8.

好奇心一杯で歩いた 2014 京都桜 Walk













<1. 西京極> → <2. 天神川桜堤> → <3. 御室・嵐電沿線　桜のトンネル> → <4. 平野神社> → <5. 高野川桜堤>



4 月 7 日、京都の桜も今が満開。　西京極球場で、今話題の京大田中投手の投げる関学/京大戦がみられるチャンス。
今年もぶらっと　京都の桜も歩いてみたいと、京都下鴨に行く家内についてゆく。
青空を切り裂いて「カ～ン」と鋭い球音が響きわたる。　「ああ　ええな～ぁ」　学生野球ならではの心地よい一瞬。
ここにも春が来たと。

試合観戦の後、晴天のポカポカ陽気の午後。長いこと行ったことのない天神川沿い桜の土手を北に御室・宇多野へ
好奇心いっぱいで　嵐電桜のトンネルを訪ねました。
また、帰る道すがら、長いこと訪ねなかった京都市民の夜桜の名所　平野神社へ。　翌日は家内から「今年の高野川の桜は素晴らしい」と聞いて、ぶらぶら高野川堤へ
好奇心一杯で訪ねた京都　街中の桜の名所のアルバムです

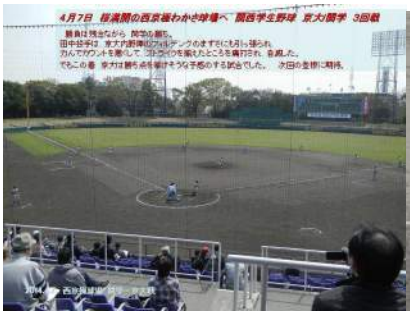




1.　桜満開の西京極　学生野球春季リーグの観戦













2. 西京極の東側　天神川沿いは北の御室へと続く桜堤











3.　嵐電沿線　鳴滝/宇多野間の桜のトンネル





最近良く眼にする嵐山電車の桜の広告　学生時代から何度も言ったことのある界隈ですが、桜のトンネルなどほとんど記憶なし。「今日は行ってみるか」と天神川を北へ市街地を遡って御室界隈へ。

途中　京都市街地へ入る西のターミナルとして整備された天神川駅（地下鉄東西線・嵐電・市バスのターミナル駅）で嵐電沿線地図を見て、桜のトンネルは仁和寺の門前御室駅の西宇多野駅と鳴滝駅の間　南へ流れ下る天神川上流の御室川と嵐電とがクロスするあたりと知れる。　御室へ出て、仁和寺の前から少し、南西へ下って　線路際へ行けばちょうど鳴滝のあたりである。　久しぶりに　ぶらぶら　記憶をたどりながら　わき道を抜けて　双ヶ岡・宇多野界隈の落ち着いた家並を歩いて、嵐電沿線へ。







御室　仁和寺界隈　仁和寺境内背丈の低いことで有名な御室の桜はまだちょっと早い






天神川上流 御室川とクロス嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.


天神川上流 御室川とクロス 嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.


嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.


天神川上流 御室川とクロス 嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.


16 67
天神川上流 御室川とクロス 嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.


RANDEN
623
16 67
天神川上流 御室川とクロス 嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.




嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.


天神川上流 御室川とクロス 嵐電 桜のトンネル 2014.4.7.


RANDEN



RANDEN

4. 古くからの京都の夜桜の名所　西大路の平野神社
















平野神社　境内で　2014.4.7.


「花よりだんご」平野神社の花見はヤッパリ　これやなあ・・・と　出店の中を通り抜け


東北で採取され、奉納されたという餅鉄（磁石石）も健在でした　2014.4.7.　平野神社　境内




2014.4.7.　平野神社　境内


2014.4.7.　平野神社　境内


平野神社　桜苑　2014.4.7.




平野神社　桜苑　2014.4.7.

5. 下鴨　高野川　桜堤　2014.4.8.








高野川堤より比叡山遠望 2014.4.8.


高野川 桜堤 2014.4.8.


高野川堤より比叡山遠望 2014.4.8.






高野川 桜堤 2014.4.8.


高野川 桜堤 2014.4.8.

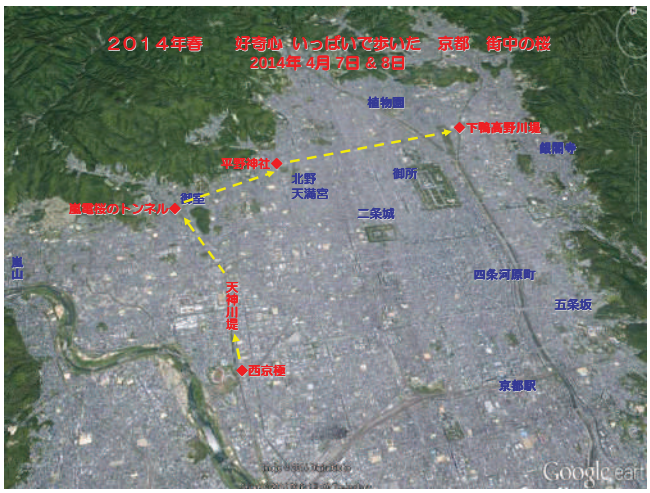

賀茂川・高野川合流点 出町から大文字山を眺める 2014.4.8.

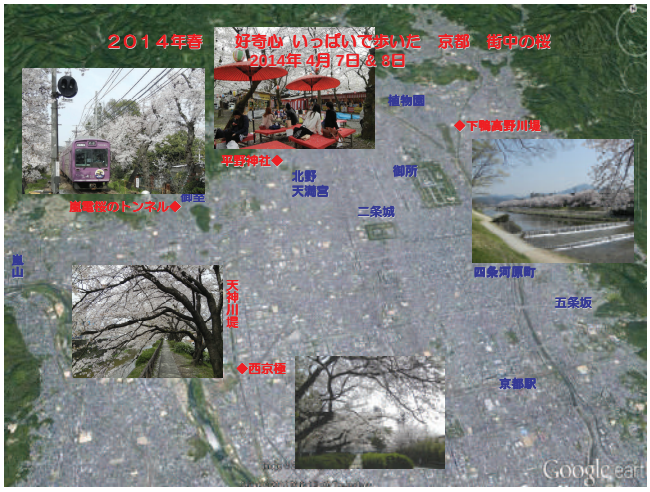

今年は本当に美しい京の桜
記憶が薄れていた青春時代の桜の名所を新しい京都の桜の名所をも 訪ねられて
新たな京の桜の魅力も発見 本当にラッキーな京の桜でした。 2014.4.7&8.


２０１４年春　好奇心 いっぱいで歩いた京都　街中の桜
2014年 4月 7日 & 8日
1. 桜満開の西京極 学生野球 春のリーグ
2. 西京極の東 天神川沿いの桜堤
3. 嵐電 鳴滝/宇多野間 線路沿いの桜のトンネル
4. 古くからの桜の名所 平野神社の桜
5. 高野川桜堤
2014.4.7. 高野川堤


2014.4.7. 高野川堤


２０１４年春　好奇心 いっぱいで歩いた　京都　街中の桜
2014年 4月 7日 & 8日
4月7日、西京極球場で 今話題の京大田中投手の投げる関学/京大戦がみられるチャンスと
京都下鴨に行く家内についてゆく。
試合観戦の後、半日宣告。 長いこと行ったことのない天神川沿い桜の土手を北に御室・宇多野へ
好奇心いっぱいで 嵐電桜のトンネルを訪ねました。
また、帰る道すがら、長いこと訪ねなかった京都市長岡京桜の名所 平野神社へ
翌日 今年の高野川の桜は素晴らしいと聞いて、高野川堤へ
好奇心いっぱいで訪ねた京都 街中の桜の名所のアルバムです
2014.4.7. 高野川堤


２０１４年春　好奇心 いっぱいで歩いた　京都　街中の桜
2014年 4月 7日 & 8日
植物園
◆下鴨高野川堤
平野神社◆
北野
天満宮
御所
嵐電桜のトンネル◆
二条城
嵐山
四条河原町
天神川堤
五条坂
◆西京極
京都駅
Google earth

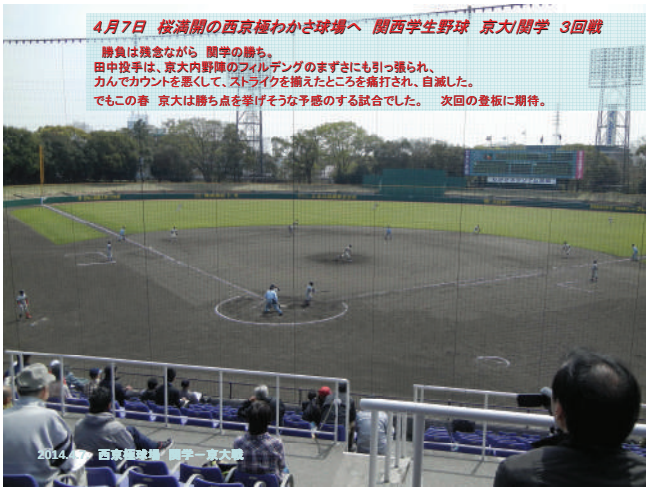

２０１４年春　好奇心 いっぱいで歩いた　京都　街中の桜
2014年 4月 7日 & 8日
植物園
◆下鴨高野川堤
平野神社◆
北野
天満宮
御所
嵐電桜のトンネル◆
御室
二条城
嵐山
四条河原町
天神川堤
五条坂
◆西京極
京都駅
Google earth


2014.4.7. 西京極球場


4月7日 桜満開の西京極わかさ球場へ 関西学生野球 京大/関学 3回戦
ざわつく球場の中で、「カーン」と大空と喧騒を切り裂く打球音が、響き渡る
そして、「パーン」とミットに収まる音も・・・
球場へ行かないと味わえない野球観戦の醍醐味です。
今日は 同時に京大は150km/secの速球派田中投手 京大が春のリーグ戦で勝ち点があげられるか???
興味深々で、出かけました。2014.4.7.
2014.4.7. 西京極球場


7. 西京極球場 関学ー京大戦


2014.4.7. 西京極球場 関学ー京大戦
昨年秋のベストナイン 150km/sec 近い速球を投げる注目の京大田中投手


4月7日 桜満開の西京極わかさ球場へ 関西学生野球 京大/関学 3回戦
勝負は残念ながら 関学の勝ち。
田中投手は、京大内野陣のフィルデングのまずさにも引っ張られ、
力んでカウントを悪くして、ストライクを揃えたところを痛打され、自滅した。
でもこの春 京大は勝ち点を挙げそうな予感のする試合でした。 次回の登板に期待。
2014.4.7. 西京極球場 関学ー京大戦


西京極のグランドの周辺は桜の花で満開でした 2014.4.7.


2014.4.7. 西京極球場


四条天神川 天神川桜堤 2014.4.7.


北の山裾御室川が名前を変えて 西京極のすぐ京の市街地を南北に流れ下る天神川
市街地整備で道路と共に美しくなった川沿いには御室まで桜の土手が続く京の新桜の名所
この川沿いをたどって 御室へ 最近よく目にする高電の桜のトンネルへ 今日は高電界隈を歩こうと興味深々
高電が見る御室界隈には何度も言ったのですが、桜のトンネルの裕福はなく、対策が一緒で歩き出しました。
四条天神川 天神川桜堤 2014.4.7.


四条天神川 天神川桜堤 2014.4.7.


天神川沿いには こんな美しい桜の道が北の御室まで続いていました
四条天神川 天神川桜堤 2014.4.7.


嵐電　鳴滝ー宇多野間　御室川とのクロス周辺　桜のトンネル　2014.4.7.
嵐山よく目にする嵐電沿線の桜。
桜のトンネルを電車が走り抜けて行く。　でも　そんな場所あったかなあ・・・と
天神川駅横をまっすぐ北へ　双ヶ岡・御室の嵐山電車沿線へ


嵐電　鳴滝・宇多野・御室界隈　2014.4.7.


嵐電とクロスする鳴滝駅周辺　天神川上流　御室川　2014.4.7.


北野白梅町ー嵐山を走る嵐電とクロスする鳴滝駅周辺　天神川上流　御室川
嵐電　鳴滝ー宇多野間　御室川とのクロス周辺が目指す嵐電桜のトンネル
平日にも関わらず　多くの人が桜のトンネルを走り抜ける電車にカメラを向けていました。
嵐電とクロスする鳴滝駅周辺　天神川上流　御室川　2014.4.7.


天神川上流　御室川とクロス嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


天神川上流　御室川とクロス　嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


天神川上流　御室川とクロス　嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


天神川上流　御室川とクロス　嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


天神川上流　御室川とクロス　嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


天神川上流　御室川とクロス　嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.



嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


嵐電　桜のトンネル　2014.4.7.


昔の宴会スタイルが今に遊る平野神社　2014.4.7.


学生時代に何度か夜桜見物に繰り出したことがある 古くからの京都の夜桜の名所
少し形が変化しているようですが、昔の宴会スタイルが今も残る平野神社 2014.4.7.

平野神社 2014.4.7.


平野神社 桜苑 2014.4.7.


平野神社 境内で 2014.4.7.


「花よりだんご」 平野神社の花見はヤッパリ これやなあ・・・と 出店の中を渡り歩け


東北で採取され、奉納されたという御鉄(磁石石)も御在でした 2014.4.7. 平野神社 境内


2014.4.7. 平野神社 境内


2014.4.7. 平野神社 境内


平野神社 桜苑 2014.4.7.



平野神社　桜苑　2014.4.7.



高野川　桜堤より　北山を眺める　2014.4.8.



京都高野川堤の桜　今年は特に高野川が素晴らしい　2014.4.8.

京都の中心を流れる鴨川の上流　西の賀茂川と東の高野川
どちらの堤にも桜のトンネルが続くが、人気は河原の広い西の賀茂川堤
でも桜の密度　そして川の景色では東の高野川堤の桜

高野川の土手の桜がこんなに美しいと思ったのは初めて

高野川　桜堤より　北山を眺める　2014.4.8.



高野川堤　上流側



高野川堤　下流側



高野川堤より比叡山遠望　2014.4.8.



高野川堤より比叡山遠望　2014.4.8.



高野川　桜堤　2014.4.8.

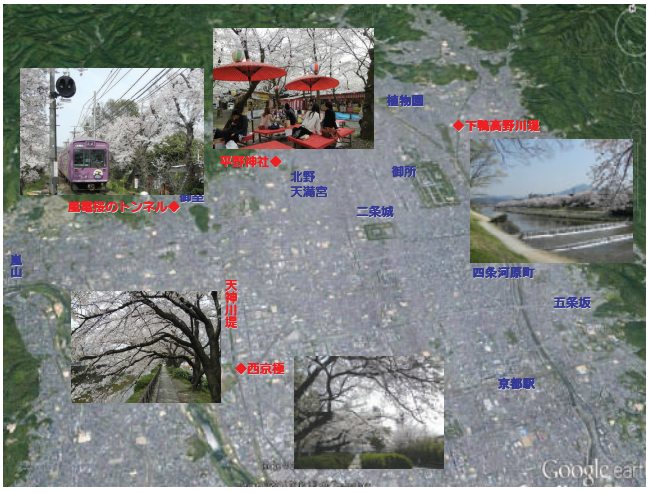


高野川　桜堤　2014.4.8.



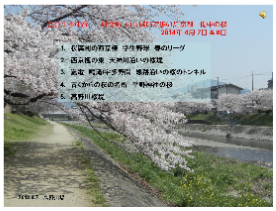








＜1 西京極＞ → ＜2 天神川桜堤＞ → ＜3 御室･嵐電沿線　桜のトンネル＞ → ＜4 平野神社＞ → ＜5 高野川桜堤＞



4月7日、西京極球場で、今話題の京大田中投手の投げる関学/京大戦がみられるチャンス。
京都の桜も今が満開。
今年もぶらっと　京都の桜も歩いてみたいと、京都下鴨に行く家内についてゆく。
青空を切り裂いて「カ～ン」と鋭い球音が響きわたる。
「ああ　ええな～ぁ」学生野球ならではの心地よい一瞬。ここにも春が来たと。

試合観戦の後、晴天のポカポカ陽気の午後。
長いこと行ったことのない天神川沿い桜の土手を北に御室･宇多野へ
好奇心いっぱいで　嵐電桜のトンネルを訪ねました。

また、帰る道すがら、長いこと訪ねなかった京都市民　夜桜の名所　平野神社へ
翌日は　家内から「今年の高野川の桜は 素晴らしい」と聞いて、ぶらぶら高野川堤へ

好奇心いっぱいで訪ねた京都　街中の桜の名所のアルバムです













〈〈　西神戸の里山　丹生山田の郷の春景色　2014.4.23.〉〉





西神戸 丹生山山懐の小さな盆地 「丹生山田の郷」は
今峠道から眺めると生命観あふれる芽吹きの森につつまれている
新緑の里山には　ミツバツツジのピンクがいろどりを添え
集落では　春の農作業が始まり、ゆったりとしたさわやかな春景色

毎年　春を訪ねる神戸の里山の景色ですが、ホームページ更新の作業中にも、
こんな素晴らしい春景色にぜひ今年もお伝えしたいと追加更新しました












山田の郷の東から丹生山を越えて淡河へ抜ける国道428号線　2014.4.23.











山田の郷の田園で　春の農作業が始まっていました　20104.4.23.















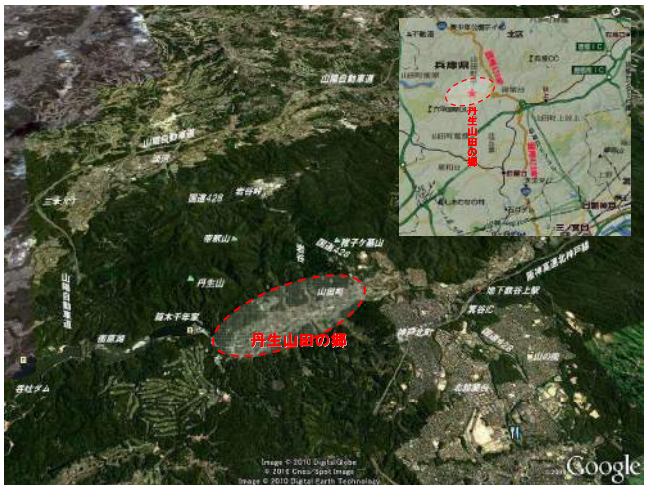


西から東へ　丹生山系の山々に囲まれた神戸の田舎　山田の郷　2014.4.23.



















西神戸木津の集落から山田の郷への峠道で　2014.4.23.



ミツバツツジ　西神戸木津の集落から山田の郷への峠道で　2014.4.23.



山田の郷 の中央部を東西に細長く広がる田圃を丹生山系の山々が取り囲む　2014.4.23.



ミツバツツジ　西神戸木津の集落から山田の郷への峠道で　2014.4.23.





集落から川越しに丹生山を眺める　2014.4.28.





山田の郷を取り囲む雑木林には芽吹いた樹木の間にピンクのミツバツツジが咲き、里山の春景色　2014.4.23.


集落の北側の山の中にある不動寺への道は新緑　緑のトンネル　2014.4.23




新緑に包まれた無動寺の入り口　2014.4.23.


山田の郷から眺める　丹生山系　稚児墓山　2014.4.23


毎年の春の景色　茅吹きの里山　山田町惠谷を眺める　2014.4.24.


無動寺の北側の池の端で　2014.4.23.


山田の郷の東から丹生山を越えて渋河へ抜ける国道428号線　2014.4.23.




山田の郷の東から丹生山を越えて渋河へ抜ける国道428号線　2014.4.23.





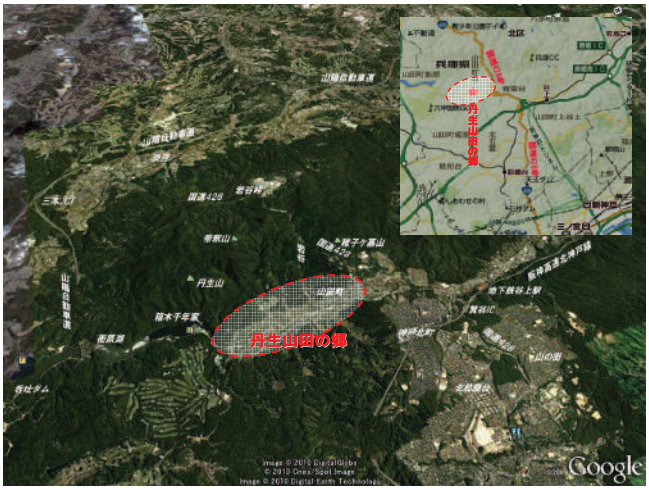

西神戸将生山麓　神戸の田舎
山田の郷の春風景 2014.4.23.
< おしまい >
丹生山田の郷
丹生山田の郷
Google



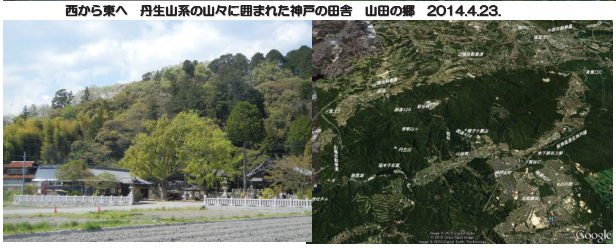



丹生山田の郷
Google






西から東へ　丹生山系の山々に囲まれた神戸の田舎　山田の郷　2014.4.23.








箕谷から淡河へ　丹生山を山越えする国道428号線より眺める山田の集落　2014.4.24.







ミツバツツジ　西神戸木津の集落から山田の郷への峠道で　2014.4.23.



ミツバツツジ　西神戸木津の集落から山田の郷への峠道で　2014.4.23.



西神戸木津の集落から山田の郷への峠道で　2014.4.23.



山田の郷 の中央部を東西に細長く広がる田圃を丹生山系の山々が取り囲む　2014.4.23.



集落から川越しに丹生山を眺める　2014.4.23.



山田の郷を取り囲む雑木林には芽吹いた樹木の間にピンクのミツバツツジが咲き、里山の春景色　2014.4.23.








山田の郷から眺める　丹生山系　稚児墓山　2014.4.23


集落の北側の山の中にある不動寺への道は新緑　緑のトンネル　2014.4.23


新緑に包まれた無動寺の入り口　2014.4.23.


無動寺の北側の池の端で　2014.4.23.


山田の郷の東から丹生山を越えて洲宮へ抜ける国道428号線　2014.4.23.


春午の春の景色　芽吹きの里山　山田町遠景を眺める　2014.4.24.


山田の郷の東から丹生山を越えて洲宮へ抜ける国道428号線　2014.4.23.








丹生山田の舞
< おしまい >



風来坊 2014
6.

「 シャクナゲ 2014 」

六甲森林植物園 石楠花谷 探訪　2014.5.1.

1406rokko00.htm by Mutsu Nakanishi



桜から新緑へ　青空にさわやかな風が吹きくる５月を待ちかねたように新緑が美しい六甲
六甲森林植物園　石楠花谷の「シャクナゲ」が満開になったと聞いて　今年も六甲の森を訪ねました















緑の森で　今年も石楠花に出会えたうれしい一日でした

2014.5.1.　by Mutsu Nakanishi


【五月の風　六甲石楠花谷　アルバム】
5月の風
六甲森林植物園　石楠花谷 探訪
桜から新緑へ　5月を待ちかねたように、新緑が美しい中
石楠花が満開になったと聞いて　今年も六甲の森を訪ねました


























いろいろなシャクナゲのちがい
アズマシャクナゲ
ツクシシャクナゲ
ホソバシャクナゲ
花
葉
分布
本州（岩手・山形県～長野・静岡県）
本州（紀伊半島）・四国・九州
本州（静岡県西部～愛知県東部）
花期
4月中旬～4月下旬
4月下旬～5月上旬
5月上旬～5月中旬










満開 の ツクシ シャクナゲ 2014.5.1.


















アズマシャクナゲとハンカチの木の花　2014.5.1.


花を一杯つけたハンカチの木　2014.5.1.


咲き始めたホソバシャクナゲ　2014.5.1.




咲き始めたホソバシャクナゲ　2014.5.1.






台湾原産のアカボシシャクナゲもありました 2014.5.1.




















5月の風
石楠花に出会い
すがすがしい新緑の森ですごした一日でした
2014.5.1　六甲高山植物園で


5月の風
六甲森林植物園　石楠花谷 探訪　2014.5.上
桜から新緑へ　5月を待ちかねたように、新緑が美しい六甲
石楠花が満開になったと聞いて　今年も六甲の森を訪ねました
















六甲森林植物園 石楠花谷 2014.5.1
ツクシシャクナゲ・アズマシャクナゲが満開に
ホソバシャクナゲも咲き始めました


いろいろなシャクナゲのちがい
アズマシャクナゲ
ツクシシャクナゲ
ホソバシャクナゲ
花
花は淡紅色の漏斗形で広く開き、先は5裂する。雄しべは10個
花は淡紅色で直径4～5cm漏斗形で、7裂する。雄しべは14個
花は紅紫色で直径3～4cm漏斗形で、5裂する。雄しべは10個でやや花冠より短い。
葉
葉は長楕円状被針形で8～15cm。裏面は灰褐色の軟毛が圧着する。
葉は倒被針形で長さ8～20cm。裏面に褐色の長い綿毛が密生する。
葉は狭倒被針形で長さ10～15cm。裏面に褐色の長い軟毛が多い。
分布
本州（岩手・山形県～長野・静岡県）
本州（紀伊半島）・四国・九州
本州（静岡県西部～愛知県東部）
花期
4月中旬～4月下旬
4月下旬～5月上旬
5月上旬～5月中旬

















満開 の ツクシ シャクナゲ　2014.5.1.



















アズマシャクナゲとハンカチの木の花　2014.5.1.



花を一杯つけたハンカチの木　2014.5.1.



咲き始めたホソバシャクナゲ 2014.5.1.



咲き始めたホソバシャクナゲ　2014.5.1.






台湾原産のアカボシシャクナゲもありました　2014.5.1.













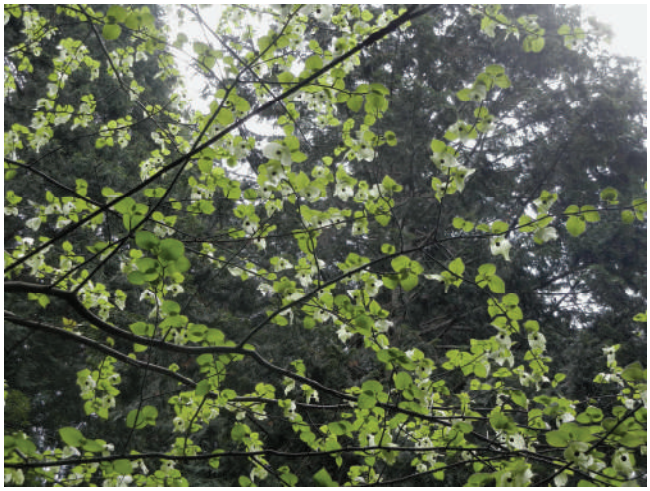








花を一杯つけたハンカチの木　2014.5.1.
































ドウダンツツジ　2014.5.1.




トサミズキ　もう満開を過ぎていました　2014.5.1.


枝一杯に葉をつけた「桂の木」
じっくりと見上げるのは 本当に久しぶり


たたらの歌いには必ずある桂の木
見っ赤な芽吹きから一緒に新緑へ
我は、この新緑の葉は、葉と一緒に美祭の「葉桂」に
まるが、京都では「美祭」です
2014.5.1.


5月の風
石楠花に出会い
すがすがしい新緑の葉ですごした一日でした
2014.5.1.　六甲森林植物園で

風来坊 2014
7.

Jazz の街 神戸　2014 Jazz Street【1】

第 15 回神戸 新開地 ジャズ ボーカルクイーン コンテスト　2014. 5. 10.









薫風５月　ジャズの街　神戸では　春の jazz ストリート
親分ブルーグラス・ケンジー・ムツ　久しぶりの酔いどれ３人組
恒例の新開地ジャズ ストリート　Jazz Vocal　Queen Contest へ
会場で　旧友にも出会って、帰りに　皆で栄太郎へ
一日中　仲間と一緒に　ジャズに酔った　楽しい一日でした。　　2014. 5. 10.



15代 新開地 ジャズ ボーカル クイーンに輝いたのは神戸市の高橋り工さんでした　2014.5.10.




The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日（土）


The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日
Jazz VocalQueen Contest


KOBE JAZZ
VOCAL QUEEN CONTEST
Jazz VocalQueen Contest


Kobe
Jazz VocalQueen
Contest


KOBE JAZZ
VOCAL QUEEN CONTEST
Kobe
Jazz VocalQueen
Contest


タイムテーブル
ファイナリスト
14:30 開場
15:00 オープニング
関西のことば
生保奇・時元代表あいさつ
審査員紹介
15:20 競考会 第1部
①松原衣里
②桐原 知子
③大野 いずみ
④林 けい子
⑤三善 香里
16:35 Guest Time 1
第14回KSJVQCクィーン
宮森 景紀
16:55 オープニング
17:00 競考会 第2部
⑥豊島 ひろ子
⑦上杉 亜希子
⑧宇津志 博恵
⑨高橋 リエ
⑩河村 恭子
18:15 Guest Time 2
Jennifer Kienzle ジェニファーキンズル
Laura Rosca ローラ・ロサック
18:55 表彰式
19:15 審査のことば・終演
松原衣里
豊島 ひろ子
桐原 知子
上杉 亜希子
大野いずみ
宇津志 博恵
林 けい子
高橋 リエ
三善 香里
河村 恭子


KOBE JAZZ
VOCAL QUEEN CONTEST
Kobe
Jazz VocalQueen Contest
Jazz VocalQueen Contest
15代 新開地 ジャズ ボーカル クィーンに輝いたのは神戸市の高橋りエさんでした 2014.5.10.


Jazz VocalQueen Contest
フィナーレは出演者全員で「踊り場」新開地・聖者の行進」の大合唱


出演者もさることながら、審査員のインタビュアー、宝出雄江さん
あのはすばしゃべくる歌謡曲界からは決して聞けないほのぼの声
歌後に出演者をみんなをリードして歌われた「踊り場行進」にはもうびっくりでした


KOBE JAZZ
VOCAL QUEEN CONTEST
Kobe
Jazz VocalQueen
Contest
Jazz VocalQueen Contest


第15回新開地ジャズボーカルクイーンコンテスト
2014.5.10.
The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
Jazz Vocal Queen Contest


薫風5月 ジャズの街 神戸では 春の jazz ストリート
親分ブルーグラス・ケンジー・ムツ 静いどれ3人組
恒例の新開地ジャズ ストリート
Jazz Vocal Queen Contest へ
2014. 5. 10.
The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日(土)
神戸アートビレッジセンター2F「KAVCホール」
新開地ミュージックストリート2014
第14回 神戸新開地音楽祭
このまちがステージ!
5月10日(土)・11日(日)
12:00~20:00
BGMはフィッシュ・ビル 春全員で歌かれた「 我が街 新開地・聖者の行進」です


Kobe
Jazz Vocal Queen
Contest
Shinkaichi Music Street 2014
The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest


The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日(土)
神戸アートビレッジセンター2F「KAVCホール」
The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日(土)
Special Guests from Seattle
Kobe
Jazz Vocal Queen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール


Kobe
Jazz Vocal Queen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール


SHINKAICHI
Kobe
Jazz Vocal Queen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール


Kobe
Jazz Vocal Queen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール


こちら
神戸新開地音楽祭
5月10日(土)・11日(日)
12:00~20:00
CoopCMAP
メインステージ
ROUND1
Kobe
Jazz Vocal Queen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール











15代 新開地 ジャズ ボーカル クイーンに輝いたのは神戸市の高橋リエさんでした 2014.5.10.



15代 新開地 ジャズ ボーカル クイーンに輝いたのは神戸市の高橋リエさんでした 2014.5.10.



フィナーレは出演者全員で「我が町　新開地・聖者の行進 」の大合唱



出演者もさることながら、審査員のヴォーカリスト　黒岩静江さん
あのほそぼそとしゃべる普段好評からは想像できない張りのある歌声
最後に出演者みんなをリードして歌われた「聖者の行進」にはもうびっくりでした


KOBE JAZZ
VOCAL QUEEN CONTEST
Kobe
Jazz VocalQueen
Contest
Jazz VocalQueen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール


KOBE JAZZ
VOCAL QUEEN CONTEST
Jazz VocalQueen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール


The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日(土)
神戸アートビレッジセンター2F「KAVCホール」


The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日(土)
神戸アートビレッジセンター2F「KAVCホール」
The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日(土)


Jazz VocalQueen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール


Jazz VocalQueen Contest
第15回神戸新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト
新開地 2014年5月10日(土) 会場/神戸アートビレッジセンター2階KAVCホール
薫風5月 ジャズの街 神戸では 春の jazz ストリート
綿分ブルーグラス・ケンジー・ムツ さしSりの酔いどれ3人組
恒例の新開地ジャズ ストリート Jazz Vocal Queen Contest へ
会場で 旧友にも出会って、帰りに 皆で栄太郎へ
一日中 仲間と一緒に ジャズに酔った 楽しい一日でした。 2014. 5. 10.


The 15th
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
2014年5月10日(土)
神戸アートビレッジセンター2F「KAVCホール」
新開地ミュージックストリート2014
第14回 神戸新開地音楽祭
このまちのステージ!
5月10日(土)・11日(日)
12:00-20:00
http://www.shinkaichi.or.jp/ongakusai/


第15回神戸新開地ジャズボーカルクィーンコンテスト 2014.5.10.
Kobe Shinkaichi
Jazz Vocal Queen
Contest
Jazz VocalQueen Contest

風来坊 2014
8.

Jazzの街 神戸　2014 Jazz Street【2】

Country Music Live　第13回 FortwortH Jamboree　2014.5.17.

阪神西宮　アミティーホールにて　1406jamboree00.htm　by Mutsu Nakanishi







すがすがしい５月　ジャズの街　神戸を含め、各地でジャズストリートが開催されている。
先週末の神戸新開地ジャズストリートに引き続いて、　５ 月 17 日の週末　西宮アミティーホールで開催された Country　Music の FortwortH Jamboree に前回同様　４人組仲間で出かけました。
阪神国道夙川堤の東にあるライブハウス「FortwortH」に出演する Country のグループ 10 数組が出演する５時間にわたるライブコンサート。 ブルーグラスにアパラチヤ山地に途絶されて育まれた移民たちの歌などが始まりと聞く。そして讃美歌に　黒人霊歌等々　Country　Music は本当に広いなぁ…と。本当に素朴な哀愁を帯びたイングランド民謡の演奏にもびっくり。そして、「なぜ　Country Music にひきつけられるのか??」はたと判った。

「曲想・調子が本当に違っていても　みんな腹の底から、声を出して歌うんや」絶叫型西田佐知子バリやと。
仲間から「アパラチア 3500km の旅　カントリーは長い旅をしながら育った」と教えてもらった。
アトランタの北からアパラチア山脈に沿って　北のカナダへ 3500km のアパラチアン・トレイル
私はよく知りませんでした。





2014　FortworthH Jamboree　写真アルバム








13th
FortworH Jamboree


13th
FortworH Jamboree




13th
FortworH Jamboree


13th
FortworH Jamboree


13th
FortworH Jamboree




13th
FortworH Jamboree


シャギー・マウンテン・ボーイズ
Tex & Cowboyway
OLIVE & NEW ランクラーズ

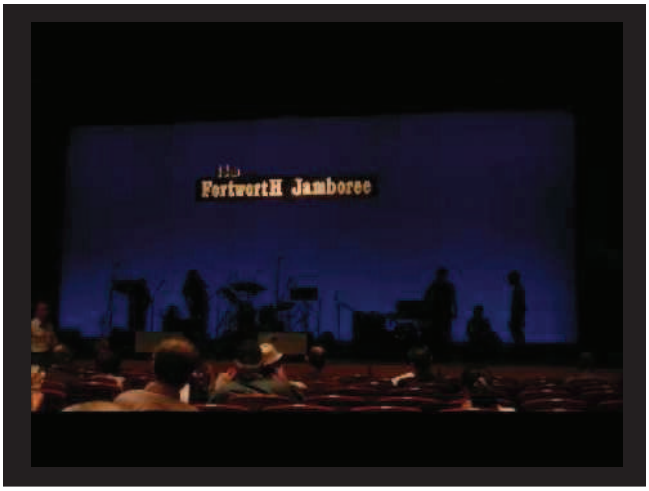

Country Music Live
13th FortworH Janboree
2014.5.17. 西宮 アミティーホール


JAMBOREE
第13回 フォートワース・ジャンボリー
5.
1.30 p
西宮


We Love Country Music
FORTWORTH
JAMBOREE
2014
5.17 (土)
西宮アミティーホール
FortwortH Jamboree



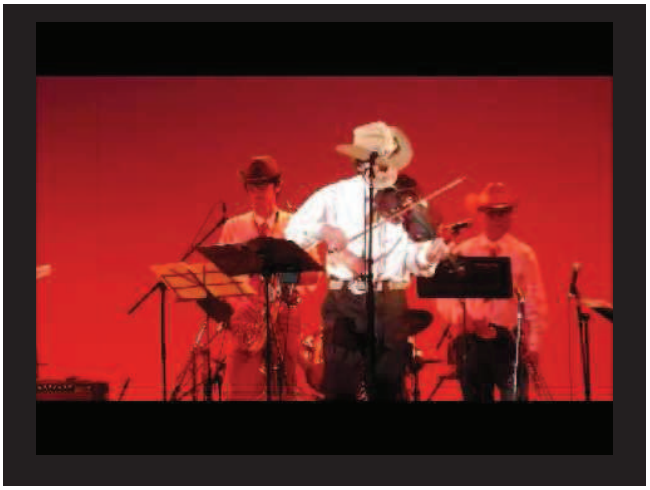

FortwortH Jamboree


FortwortH Jamboree


FortwortH Jamboree
マーベラス桜井 & His Hot Fiddle Band


13th
FortwortH Jamboree


13th
FortwortH Jamboree






FortwortH Jamboree


FortwortH Jamboree


13th
FortwortH Jamboree












13th
FortworH Jamboree
フールズ・シルバー

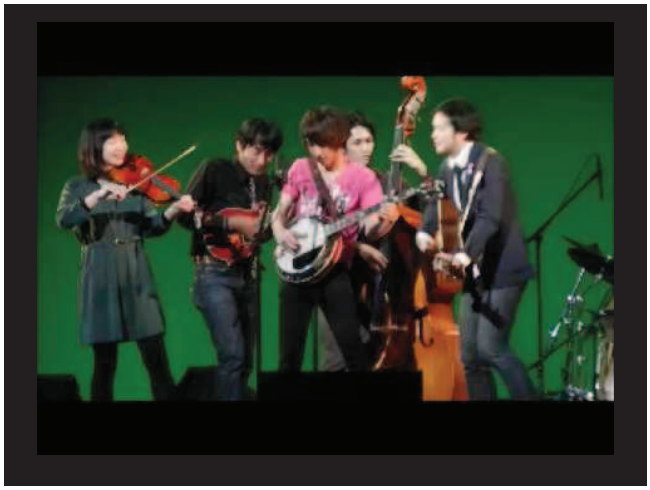

13th
FortworH Jamboree


ブルーグラス・ボリス












サウンド・ブリーズ


13th
FortwortH Jamboree


13th
FortwortH Jamboree
OLIVE & NEW ラングラーズ






13th
FortwortH Jamboree
フォートワース・バンド & フレンズ


13th
FortwortH Jamboree
Tex & Cowboyway


シャギー・マウンテン・ボーイズ


FortwortH Jamboree








13th
FortwortH Jamboree
片岡さわ子/森山美菜/坂本愛江
福原照美 & カウボーイ・ドリーマーズ


13th
FortwortH Jamboree


13th
FortwortH Jamboree


13th
FortwortH Jamboree
福原照晃 & カウボーイ・ドリーマーズ


13th
FortwortH Jamboree


13th
FortwortH Jamboree


13th
FortwortH Jamboree




JAMBOREE
第13回 フォートワース・ジャンボリー
5.
1.30 p
西宮
フールズ・シルバー
フールズ・シルバー

<< Country Music Live 第13回 FortwortH Jamboree アルバム 2014.5.17. >>







風来坊 2014
9.

尼崎市立文化財収蔵庫　平成 26 年度第一回企画展

「秀吉 尼崎の危難」展　　2014.5.16.





芳年　美談武者八景　広徳寺の晩鐘

戦国・桃山時代　岡山備中高松城を攻めていた羽柴（豊臣）秀吉は　本能寺の変　織田信長の訃報を受けて、明智光秀打倒を決意し、急拠 強行軍での「中国大返し」。　その途中　尼崎に至った時の数々の秀吉伝説。「単騎で尼崎に至った秀吉が敵兵に襲われ、みそすり坊主に化けて難を逃れた」との伝承。

その真偽はともかくとして　尼崎の古い住人では　誰もが知る秀吉伝説の一つである。

そんな秀吉伝説にまつわる企画展「秀吉　尼崎の危難」が、新たに城内地区に移設整備された尼崎市の文化財収蔵庫の第 1 回目の企画展として開催されているという。

古い歴史を持つ尼崎ではあるが、埋蔵文化財など尼崎の収蔵文化財を総合展示される場所がなく、なかなか見られなかった。

5 年ほど前に文化財収蔵庫が南城内の旧市立尼崎高校・城内中学として使われた校舎跡へ移り、古くはあるが、広いスペースが確保され、整備も進んで、常設総合展示並びに企画展も開催されるようになっていると聞くが、訪れたことはなし。



その第一回企画展「秀吉の尼崎危難」そして　尼崎から出土した埋蔵文化財の展示を見るいい機会。　尼崎が故郷の私にはうれしい企画に興味深々で行ってきました。

◎　尼崎北城内　尼崎市立文化財収蔵庫へ　旧市尼の校舎を整備して公開展示ができるようになった





阪神尼崎駅の南　東側を南北に流れる庄下川の東側が旧尼崎城のあった城内地区



5 月 16 日晴天の朝　阪神尼崎駅の南側に出る。久しぶりに吸う尼崎の空気。駅のすぐ東側、庄下川にかかる庄下橋を渡ると 10 分ほどで城内地区である。橋からはかつて尼崎城があった城内地区　そして　その南に広がる工場地帯がみわたせる。　かつて公害都市と言われた尼崎であるが、街の環境・美化整備が進み、見渡す景色そして川も本当にきれいになって、昔の景色がもう、想像つかぬ。　でも　あのごちゃまぜの街・エネルギーあふれた都市を象徴する 3 本煙突の景色が消え去ったのは本当に寂しい。

庄下橋を渡り、阪神のレンガ倉庫の横を通り抜けて、城内地区に入る。かつての尼崎城があった城内地区の再開発事業が着々と進んで　本当に静かな緑あふれる街に変貌して、二筋南の開明橋筋に出ると北西部へ移転した旧市尼高があった文化財収蔵庫である。





北城内 文化財収蔵庫のある東西の通り　開明橋筋　収蔵庫周辺　　インターネット google street view より
今は本当に静かな文教区の一角　この地区にあった高校の統合校舎整備の工事が着々と進んでいました

◎　尼崎の歴史については　尼崎市&尼崎市文化財収蔵庫のホームページに数々の懐かしい写真と共に掲載されているので、一度　ご覧ください。

◆ **尼崎市文化財収蔵庫**
http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/bunkazai_0/index.html

◆ **尼崎の文化財**
http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/bunkazai/



以前　尼崎の埋蔵文化財は　あちこちバラバラに収蔵されていて、収蔵庫と聞くと草ぼうぼうの埋蔵文化財の一時的保管倉庫といったイメージが強く、城内に移っても旧校舎を使った保管倉庫なのだろうとずっと思っていました。
しかし、すっかりイメージが違って、旧の市尼の校舎跡とはいえ、入り口の門柱には「尼崎市立文化財収蔵庫」の門碑があり、玄関広場　校舎建物すっかり化粧直しされ、きれいな姿に。　こんなに変わったのだと・・・・





尼崎市立文化財収蔵庫玄関　元市尼の校舎玄関がそのままの姿で残っている　　2014.5.16.

構内広場の向こうには玄関時計塔ホールを中心に東西に旧市尼の校舎が長く伸びて、その校舎の傍らには　この地がかつての「尼崎高等女学校」・「市立尼崎高校」のあった地である碑がきれいに整備され、1913 年設立の文字が刻まれていました。　創立 100 年越えなんだ。　ちなみに　市尼の前身が尼女　そして私の母校　県尼の前身が大正 12 年創立の尼崎中学で、、昨年 90 周年を迎え、両校とも尼崎市内には数多くの卒業生がいる。
市尼は北部に移転しましたが、県尼はここから国道を挟んだ北大物の狭いところにずっとあるのですが、県尼にはこんな碑がないなぁ・・・・・・・と。また、校舎も一新され、今はかつての面影はなし。
　でも、市尼の校舎　今が一番きれいなのと違うのかなぁ・・・・と半分やっかみです。





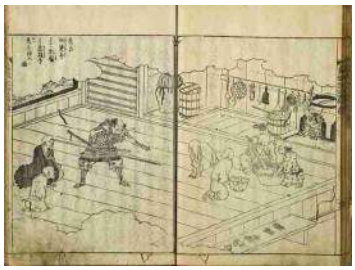


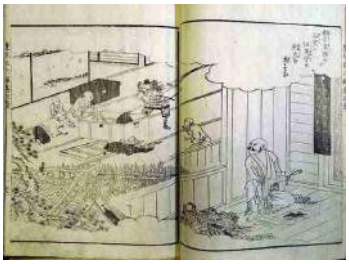
玄関脇にある尼女・市尼発祥の地の碑　1913 年の文字も刻まれていました

玄関から校舎の中に入ると、昔の教室・廊下区分がそのままに内装が整備され、古ぼけた内部のイメージなし。
収蔵庫の展示場や集会場などの公開部分が設営され、常設展示と企画展示が公開され、また集会場では市民公開講座などに使われて言いました。

◎　「秀吉　尼崎の危難展」











「秀吉　尼崎の危難」展

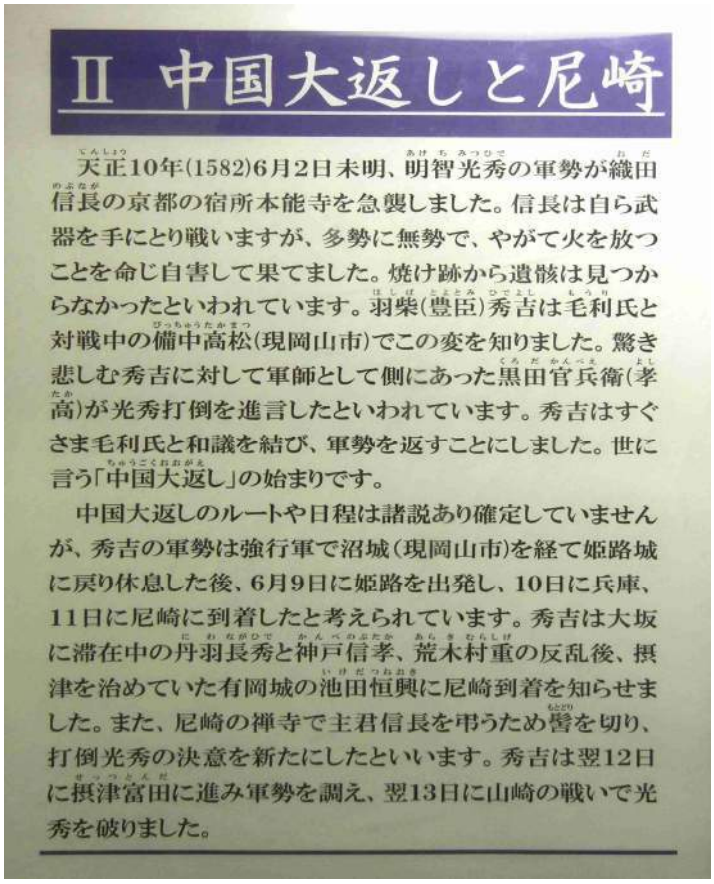
今回は　古い尼崎の住人は誰しも知る　秀吉伝承「秀吉　尼崎の危難」展
本能寺の変後、備中から大急ぎで、尼崎まで取って返してきた秀吉が　数多くの敵兵に遭遇し、寺に逃げて僧に化け、難を逃れたという伝説が生まれた。そして、この伝承を題材に数々の人気歌舞伎・人形浄瑠璃が生まれ、この伝承が更なる伝承を生み、数々の錦絵にも描かれる。
また、「秀吉　尼崎の危難」展では「秀吉の中国大返し」と呼ばれる史実とともに、そこから生まれた数々の伝承を描いた錦絵や数々の摺り絵本から伝承の広がりを展示して、「史実」と時代を経た「伝承」との落差の大きさをも教えてくれる。
私が幼い時から良く聞いていた話も秀吉伝説の部類の一つで、「今も尼崎寺町にある広徳寺にはその時の味噌擂り鉢と棒が残っている」と信じていました。本当はどうやら　後年の脚色伝承であったようだ。

史実は
「中国大返しの途中、秀吉が尼崎に立ち寄り、。禅寺を探し、光秀に討たれた主君織田信長のため、髪を下ろした」
ということだけだったようだ。

そこから、秀吉の立身出世人気談の中で、尼崎で秀吉が光秀軍に囲まれ、寺に逃げて僧に化け、難を逃れたという伝説が生まれ、江戸時代以降、人形浄瑠璃や歌舞伎の題材にもなって、この伝説は益々広がっていったのだろう。

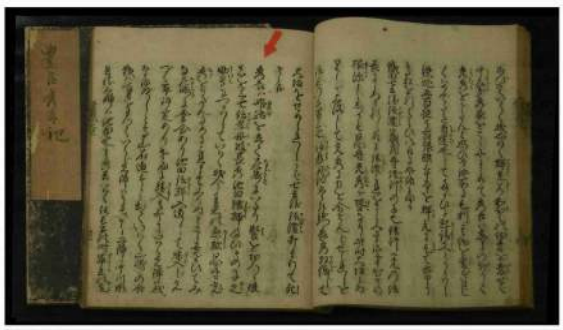
「史実に残るのは　こんなちっちゃなことなのか???」と。
「伝承とはそんなもの」と簡単に片づけられるかもしれないが、今更ながら「秀吉の人気」はすごいもの。
伝承が伝承を生んでゆく。
風評もそうですが、大量の情報入手とボタン一つで　賛同を示すことができる現在のスマートフォン・IT 社会では、その勢いはもっとすさまじく、その怖さを思い知ることができる展示でもある。

展示の内容　少し写真に撮れましたのでバラバラですが、掲載させていただきます。
また、簡単な「秀吉　尼崎の危難」展の解説パンフを収蔵庫でいただきました。　収蔵庫のホームページに内容解説掲載されていなかったので、「秀吉　尼崎の危難」理解のため、この解説バンプを掲載させていただきました。





惹入太閤記　3冊のうち2冊
小瀬甫庵作の豊臣秀吉伝記「太閤記」の版本で、宝永7年(1710)に挿絵入りで刊行された小型横本です。展示している挿絵は、天正10年(1582)4月から始められた備中高松城の水攻めの場面を描いたものです。羽柴秀吉は織田信長の命令で、毛利氏を攻撃するため、出陣し、清水宗治が守る備中高松城を大群で包囲。秀吉は守りの堅い城を落とすため堤防を築いて 足守川の水を城の周囲にあふれさせる水攻めという奇抜な作戦を取りました。


豊臣秀吉記　3冊のうち2冊
建康・室町将軍と織田信長、秀吉の業績を記述した「将軍記」の内の秀吉記で、寛文4年(1664)に刊行されたものです。天正10年(1582)6月2日未明に起きた本能寺の変の知らせを聞いて急ぎ兵を返した秀吉は尼崎まで戻ってきました。本書では、到着した日付は書かれていませんが、神戸信孝や、丹羽長秀、池田恒興に使者を送って尼崎到着を伝えたことや、眼前に迫った明智光秀との対戦に備えて軍議を開いたことなどが述べられています。

Ⅲ 尼崎の危難伝説

羽柴秀吉は中国大返しを成功させ、仇敵明智光秀を討ち破りますが、江戸時代後期に刊行され流行した秀吉伝記にはその際の尼崎での出来事として次のような「尼崎危難」の物語が紹介されています。

光秀を討つため先を急ぐあまり単騎となって武庫川辺りまでやってきた秀吉は、明智勢の待ち伏せにあい、どうにかこれをやり過ごして尼崎の寺に逃げ込みました。秀吉は浴室で僧に姿を変え、次に台所で食事の準備をしていた僧たちに紛れ込んで敵の目を逃れ、後から追いついた加藤清正ら家臣の奮戦で危機を脱した、というのです。

秀吉が逃げ込んだのは、当時は大物にあり、江戸時代初頭に寺町に移転した栖賢寺(現在は京都市に移転)や廣徳寺とされ、尼崎は秀吉ゆかりの地として知られるようになります。

江戸時代の秀吉伝記には史実とは異なる逸話が数多く含まれており、「尼崎危難」もそのような秀吉伝説のひとつです。中国大返しで尼崎に到着した秀吉が禅寺で主君信長を弔うため髻を切ったといわれていますので、この話が核となって創作されたものと考えられます。




▲旗ガ坂伝説地


▲現在の廣徳寺





7 芳虎 姉ヶ崎大合戦

3枚続

幕末の浮世絵師歌川芳虎が描き、万延元年(1860)に刊行された錦絵です。「姉ヶ崎」は尼崎をもじったもので、秀吉の尼崎での危難を題材に描かれています。画面中央には明智方の武士四天王田島が秀吉が乗っていた馬を投げ飛ばそうとしている姿が描かれています。「四天王田島」は秀吉を待ち伏せたとされる四王天但馬守正孝のことです。秀吉は左に小さく描かれていますが、行く手の「長徳寺」は広徳寺のことです。



11 芳年 太平記尼ヶ崎合戦中国引返しの図

3枚続

月岡芳年が描き、文久3年(1863)に刊行された錦絵です。本能寺の変後、中国大返しの際に、先を急ぐあまり単騎となって尼崎まで戻ってきた秀吉が敵方の兵士の待ち伏せにあったものの持ち前の機智でしのいだという、『絵本太閤記』などの秀吉伝記で知られる尼崎危難伝説を題材としたものです。敵兵と戦う「佐藤虎之助正清」は加藤清正のことで、その後方に小さく描かれているのが秀吉です。



13 貞秀 太平記尼ヶ崎合戦

3枚続

幕末から明治期に活躍した浮世絵師歌川貞秀が描いた錦絵です。加藤清正が四王天但馬守を広徳寺で討ち取る場面を描いたもので、文久元年(1861)に刊行されました。幕府の出版規制に配慮して「太閤記」は「太平記」に、また「加藤清正」は「加藤正清」、「四王天但馬守」は「四方手左司馬」に変えられています。伝説の世界では、中国大返しの際に秀吉勢と明智勢による「尼崎合戦」があったことになっています。





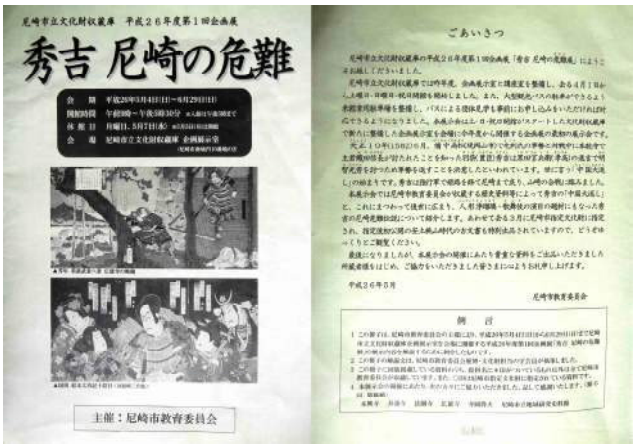
22 日吉丸出世の鑑（ひよしまるしゅっせのかがみ）

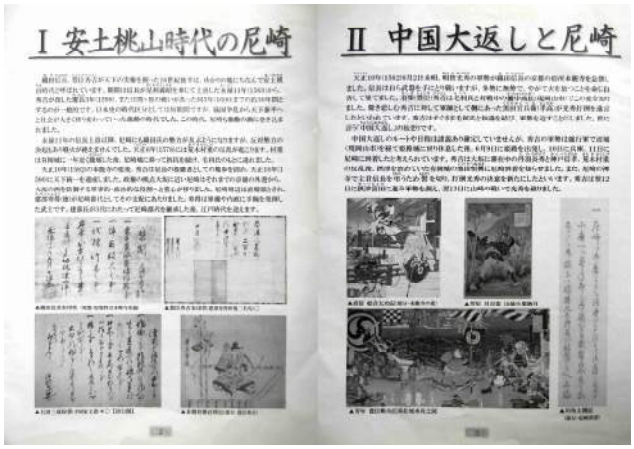
1枚

大坂で出版された豊臣秀吉の出世話の絵双六です。絵の作者国計は幕末の大坂で役者絵などを手がけていた絵師です。日吉丸の誕生から天下制覇まで35場面にわたってよく知られた秀吉の逸話が描かれています。スタートの「振出」は右下端で、時計回りにコマを進んでゆきます。振り出しから18～20番目、画面の右上部分、標題のすぐ左に「尼崎危難」伝説に関わる逸話が描かれています。



【「秀吉　尼崎の危難」展 の 解説パンフ 】　尼崎市立文化財収蔵庫









また、常設展示展では、下記に示したような区分で　尼崎市内の遺跡から出土した考古資料や、尼崎城下町復元模型などの尼崎城や城下町に関する資料、尼崎の近代工業に関する資料、そして昭和 40 年頃まで使用されていた生活用具などが簡単に展示されていました。

1 掘り出された尼崎の歴史　出土遺物等により原始古代から戦国時代までの尼崎の歴史を展示
2　尼崎城と城下町　江戸時代の尼崎城と城下町を模型や出土資料等により展示
3　工都尼崎のあゆみ　明治から現在までの工業都市としての尼崎の歴史と「尼崎市の水道のはじまり」を展示
4　ちょっと昔のくらしの道具　昭和 40 年頃までのいろいろな生活用具を展示
5　玄関ホールでのテーマ展示「ALWAYS 三丁目の夕日 64 ロケ小道具」と　「建築家村野藤吾と尼崎」

その中に、資料では知っていますが、一度見たかった古墳時代の西国への入口だった尼崎の遺構・遺物がいくつか展示されていました。

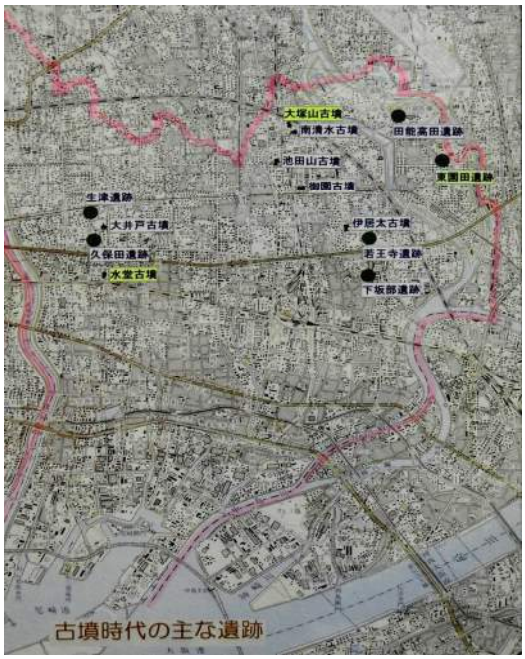
◎水堂古墳出土の副葬品　三角縁神獣鏡・鉄剣や畿内鍛冶房の始まり
◎若王寺遺跡の鉄鍛冶関連遺物(鉄滓・羽口




水堂古墳　副葬遺物



若王子遺跡出土　発掘された古墳時代のフイゴの羽口



ちょっと　残念だったのは　戦後から日本の高度成長時代にかけて日本の屋台骨を支えた「鉄の街　尼崎」を示す展示がなかったこと。　確かに　日本の大工業都市の西の代表「鉄の街」と共に「公害都市」のイメージが付きまとうことにもなったが、それも歴史。　それを伝え語らねば尼崎の歴史はないと思うのですが…

高潮から守る大防潮堤と近代的なパナマ運河方式の閘門式の港を持つ沿岸工業地帯に大谷・住金・神鋼・久保田・日新製鋼など数々の鉄鋼業や金属・機械工業の大工場そして、旭ガラスなど窯業　日紡・郡是などなど繊維工業に三菱電機などなど日本を代表する大工場が立ち並び、それらに電力を供給する大発電所が湊の入り口にどっしりと座　っている。日本の屋台骨を支えた「鉄の街　尼崎」である。

良くも悪くも　そんな時代を尼崎で過ごした人間には本当になつかしい尼崎のイメージ。
ALWAYS 三丁目の夕日もいいが、自信を取り戻せ!! 尼崎!!とも言いたい展示であった。
ちょつとおせっかい。
長年の疑問「秀吉　尼崎の危難」の伝承も　きっちり頭に入って、
半日　たっぷり尼崎の空気を吸った　尼崎北城内 WALK　でした。






開明橋から眺める庄下川周辺　　2014.5.16.

尼崎市立文化財収蔵庫　平成26年度第一回企画展

秀吉尼崎の危難

平成26年5月4日(日)～6月29日(日)

開館時間　午前9時～午後5時30分
（入館は午後5時まで）
休 館 日　月曜日、5月7日(水)
（5月5日(月)は開館）
会　　場　文化財収蔵庫 企画展示室
観 覧 料　無　料





■企画展講座　会場：文化財収蔵庫 講座室　時間：午後2時～4時

5月14日(水)「豊臣期の尼崎郡代建部氏」
6月11日(水)「秀吉の中国大返し」

■学芸員による展示解説　会場：文化財収蔵庫 企画展示室　時間：午後2時～3時

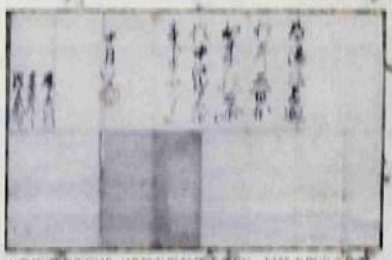
5月4日(日)、17日(土)、31日(土)、6月14日(土)、28日(土)

■浮世絵鑑賞会＆版画体験　会場：文化財収蔵庫 講座室　時間：午後2時～3時

5月24日(土) 秀吉伝説の浮世絵鑑賞と浮世絵版画の摺り体験

■人形劇(パーダサート)上演　会場：文化財収蔵庫 講座室　時間：午後2時～3時

6月21日(土)「秀吉危機一髪！尼崎の秀吉伝説」







主催：尼崎市教育委員会

尼崎市は平成26年に市制100周年を迎えます

尼崎市立文化財収蔵庫
〒660-0850　尼崎市南城内10番地の2
電話/FAX　06-6489-9801
ama-rekihakubunka@city.amagasaki.hyogo.jp





尼崎市立文化財収蔵庫　平成２６年度第１回企画展

秀吉 尼崎の危難

会　　期　平成26年5月4日(日)～6月29日(日)
開館時間　午前9時～午後5時30分　※入館は午後5時まで
休 館 日　月曜日、5月7日(水)　※5月5日(月)は開館
会　　場　尼崎市立文化財収蔵庫 企画展示室
(尼崎市南城内10番地の2)



▲芳年 美談武者八景 広徳寺の晩鐘



▲国周 絵本太功記十段目＜河原崎三升他＞

主催：尼崎市教育委員会

ごあいさつ

尼崎市立文化財収蔵庫の平成２６年度第１回企画展「秀吉 尼崎の危難展」にようこそお越しくださいました。

尼崎市立文化財収蔵庫では昨年度、企画展示室と講座室を整備し、去る４月１日から土曜日・日曜日・祝日開館を開始しました。また、大型観光バスの駐車ができるよう来館者用駐車場を整備し、バスによる団体見学も事前にお申し込みをいただければ対応できるようになりました。本展示会は土・日・祝日開館がスタートした文化財収蔵庫で新たに整備した企画展示室を会場に今年度から開催する企画展の最初の展示会です。

天正１０年(1582)６月、備中高松(現岡山市)で毛利氏の軍勢と対戦中に本能寺で主君織田信長が討たれたことを知った羽柴(豊臣)秀吉は黒田官兵衛(孝高)の進言で明智光秀を討つため軍勢を返すことを決意したといわれています。世に言う「中国大返し」の始まりです。秀吉は強行軍で姫路を経て尼崎まで戻り、山崎の合戦に臨みました。

本展示会では尼崎市教育委員会が収蔵する歴史資料等によって秀吉の「中国大返し」と、これにまつわって後世に広まり、人形浄瑠璃・歌舞伎の演目の題材にもなった秀吉の尼崎危難伝説について紹介します。あわせて去る３月に尼崎市指定文化財に指定され、指定後初公開の安土桃山時代の古文書も特別出品されていますので、どうぞゆっくりとご観覧ください。

最後になりましたが、本展示会の開催にあたり貴重な資料をご出品いただきました所蔵者様をはじめ、ご協力をいただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

平成２６年５月

尼崎市教育委員会

例　言

1 この冊子は、尼崎市教育委員会の主催により、平成26年5月4日(日)から6月29日(日)まで尼崎市立文化財収蔵庫企画展示室を会場に開催する平成26年度第1回企画展「秀吉 尼崎の危難展」の展示内容を解説するために制作したものです。

2 この冊子の解説文は、尼崎市教育委員会歴博・文化財担当の学芸員が執筆しました。

3 この冊子に図版掲載している資料のうち、資料名に＊印がついているもの以外は全て尼崎市教育委員会が収蔵しています。また。○印は尼崎市指定文化財に指定されている資料です。

4 本展示会の開催にあたり、次の方々にご協力いただきました。記して感謝いたします。(順不同、敬称略)

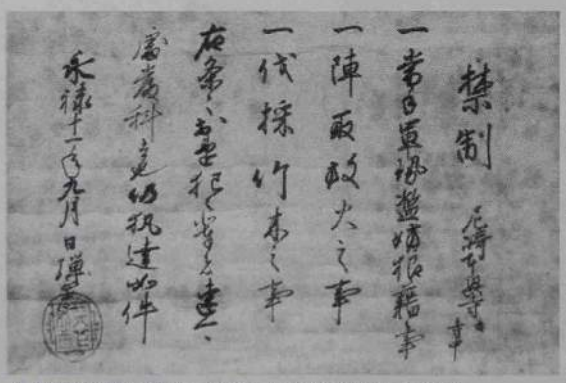
本興寺　長遠寺　法園寺　広徳寺　寺岡得夫　尼崎市立地域研究史料館

Ⅰ 安土桃山時代の尼崎

織田信長、豊臣秀吉が天下の実権を握った16世紀後半は、ゆかりの地にちなんで安土桃山時代と呼ばれています。期間は信長が足利義昭を奉じて上洛した永禄11年(1568)から、秀吉が没した慶長3年(1598)、または関ヶ原の戦いがあった同5年(1600)までの約30年間とするのが一般的です。日本史の時代区分としては短期間ですが、戦国争乱から天下泰平へと社会が大きく移り変わっていった激動の時代でした。この時代、尼崎も激動の渦に巻き込まれました。

永禄11年の信長上洛以降、尼崎にも織田氏の勢力が及ぶようになりますが、反対勢力の決起もあり戦火が絶えませんでした。天正6年(1578)には荒木村重の反乱が起こります。村重は有岡城に一年近く籠城した後、尼崎城に移って抵抗を続け、毛利氏のもとに逃れました。

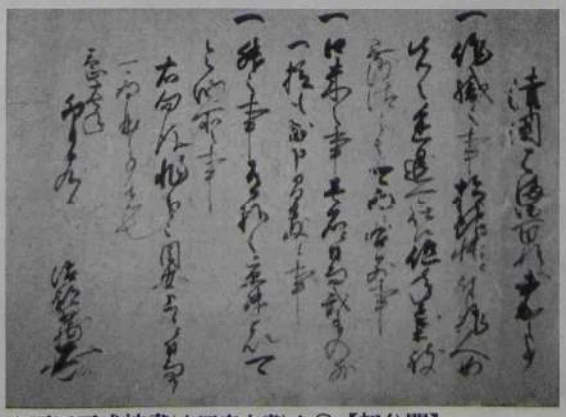
天正10年(1582)の本能寺の変後、秀吉は信長の後継者としての地歩を固め、天正18年(1590)に天下統一を達成しました。政権の拠点大坂に近い尼崎はそれまでの京畿の外港から、大坂の西を防御する軍事的・政治的な役割へと重心が移りました。尼崎周辺は直轄領とされ、建部寿得(徳)が尼崎郡代としてその支配にあたりました。寿得は軍備や内政に手腕を発揮した武士です。建部氏が3代にわたって尼崎郡代を継承した後、江戸時代を迎えます。



▲織田信長朱印状〈複製・原資料は本興寺所蔵〉



▲豊臣秀吉朱印状(建部寿得軒他二名宛)○



▲石田三成掟書(寺岡家文書)＊○【初公開】



▲本朝有像百将伝(部分・豊臣秀吉)

Ⅱ 中国大返しと尼崎

天正10年(1582)6月2日未明、明智光秀の軍勢が織田信長の京都の宿所本能寺を急襲しました。信長は自ら武器を手にとり戦いますが、多勢に無勢で、やがて火を放つことを命じ自害して果てました。羽柴(豊臣)秀吉は毛利氏と対戦中の備中高松(現岡山市)でこの変を知りました。驚き悲しむ秀吉に対して軍師として側にあった黒田官兵衛(孝高)が光秀打倒を進言したといわれています。秀吉はすぐさま毛利氏と和議を結び、軍勢を返すことにしました。世に言う「中国大返し」の始まりです。

中国大返しのルートや日程は諸説あり確定していませんが、秀吉の軍勢は強行軍で沼城(現岡山市)を経て姫路城に戻り休息した後、6月9日に姫路を出発し、10日に兵庫、11日に尼崎に到着したと考えられています。秀吉は大坂に滞在中の丹羽長秀と神戸信孝、荒木村重の反乱後、摂津を治めていた有岡城の池田恒興に尼崎到着を知らせました。また、尼崎の禅寺で主君信長を弔うため髻を切り、打倒光秀の決意を新たにしたといいます。秀吉は翌12日に摂津富田に進み軍勢を調え、翌13日に山崎の戦いで光秀を破りました。



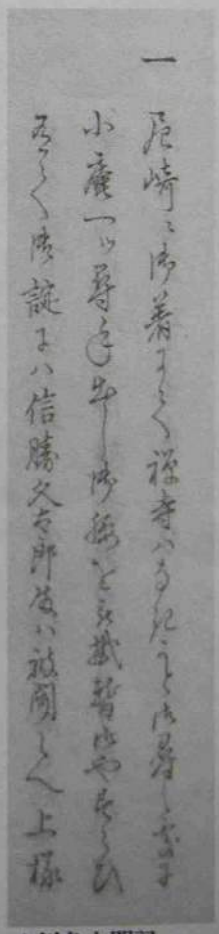
▲貞信 絵合太功記(部分・本能寺の変)



▲芳年 月百姿 山城小栗栖月



▲芳年 豊臣勲功記高松城水攻之図



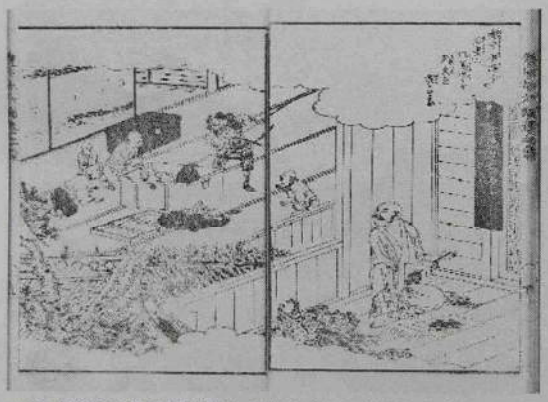
▲川角太閤記
(部分・尼崎到着)

Ⅲ 尼崎の危難伝説

羽柴秀吉は中国大返しを成功させ、仇敵明智光秀を討ち破りますが、江戸時代後期に刊行され流行した秀吉伝記にはその際の尼崎での出来事として次のような「尼崎危難」の物語が紹介されています。

光秀を討つため先を急ぐあまり単騎となって武庫川辺りまでやってきた秀吉は、明智勢の待ち伏せにあい、どうにかこれをやり過ごして尼崎の寺に逃げ込みました。秀吉は浴室で僧に姿を変え、次に台所で食事の準備をしていた僧たちに紛れ込んで敵の目を逃れ、後から追いついた加藤清正ら家臣の奮戦で危機を脱した、というのです。秀吉が逃げ込んだのは、当時は大物にあり、江戸時代初頭に寺町に移転した栖賢寺(現在は京都市に移転)や廣徳寺とされ、尼崎は秀吉ゆかりの地として知られるようになります。

江戸時代の秀吉伝記には史実とは異なる逸話が数多く含まれており、「尼崎危難」もそのような秀吉伝説のひとつです。中国大返しで尼崎に到着した秀吉が禅寺で主君信長を弔うため髻を切ったといわれていますので、この話が核となって創作されたものと考えられます。



▲絵本豊臣勲功記(部分・僧侶に姿を変えた秀吉)



▲芳虎 姉ヶ崎大合戦(部分・逃げる秀吉と追う敵の武士)



▲貞秀 太平記尼ヶ崎合戦

Ⅳ 伝説の広がり

江戸時代後期の秀吉伝記の流行とともに、「尼崎危難」伝説は広く知られるようになり、人形浄瑠璃・歌舞伎に取り入れられ、浮世絵などの絵画作品の画題としても好まれました。

寛政11年(1799)7月に大坂豊竹座で初演された人形浄瑠璃「絵本太功記」は江戸時代後期に刊行され好評を博した秀吉伝記の『絵本太閤記』などを下敷きに創作された芝居です。明智光秀の謀反から没落までの13日間を一日一段で描き、「発端」を加え、全十四段で構成されています。山場は光秀の母皐月がわび住まいする尼崎を舞台に光秀一家の悲運を描く十段目「尼ヶ崎の段」で、歌舞伎では十段目だけが上演されるようになります。

略して「太十」と通称され、この段は浮世絵に多数描かれており、人気の芝居であったことがわかります。また、歌舞伎の人気芝居の場面や風景などを立体的に組み立てて遊ぶおもちゃ絵「立版古」(「切組燈篭」とも)が、江戸時代後期から大正期ごろまで流行しますが、立版古にも「太十」の場面を取り入れたものが作られています。



▲豊国（三代） 絵本太功記十段目



▲極しん板切組燈篭絵本太功記十段目(復元組上げ)



▲国周 太功記十段目光秀



▲芳年 武智光秀



▲周延 絵本太功記十段目

展示資料一覧

No.		展示期間 前期	展示期間 後期	資料名	点数	備考
I	1			信長公記	2 冊	
	2			本朝有像百将伝	2 帖	
	3			織田信長禁制(本興寺文書)〈複製〉	1 幅	
	4			織田信長禁制(長遠寺文書)〈複製〉	1 幅	
	5			重編応仁記	2 冊	
	6			武将肖像画模本	1 巻	
	7			木下秀吉書状(本興寺文書)〈複製〉	1 幅	
	8			荒木村重書状(長遠寺文書)〈複製〉	1 幅	
	9			国芳 太平記英勇伝 荒儀摂津守村重	1 枚	
	10			豊臣秀吉朱印状(建部寿得軒他二名宛)○	1 幅	市指定
	11			羽柴秀吉朱印状	1 幅	
	12			増田長盛定書(守部村文書)	1 通	
	13		*1	石田三成掟書(寺岡家文書)＊○	1 通	市指定 初公開
	14		*2	増田長盛折紙(寺岡家文書)＊○	1 通	市指定 初公開
	15			忝入太閤記	2 冊	
	16			芳形 真柴七雄士集会	3 枚	
	17			芳年 真柴久吉公名護屋陣先手諸将繰出之図	3 枚	
	18			貞秀 真柴久吉播州発向之図	3 枚	
	19			豊宣 太閤記新撰寿語禄	1 枚	
	20			豊宣 新撰太閤記 佐々成政さらさら越え	2 枚	
	21			歴史双六秀吉出世かがみ	1 枚	
	22			日吉丸出世の鑑	1 枚	
	23			芳虎 大功記出世双六	1 枚	
II	1			忝入太閤記	2 冊	
	2			豊臣秀吉記	2 冊	
	3			芳年 豊臣勲功記 高松城水攻之図	3 枚	
	4			木下諸将中国出陣道中之図	1 枚	
	5			明智軍記	2 冊	
	6			川角太閤記	2 冊	
	7			貞信 絵合太功記	3 枚	
	8			貞信 絵合太功記	3 枚	
	9			絵本太閤記	2 冊	
	10			絵本豊臣勲功記	2 冊	
	11			芳年 太平記尼ケ崎合戦中国引返しの図	3 枚	
	12			芳年 英雄五行之内尼ケ崎合戦	3 枚	
	13			漫画日吉丸出世双六	1 枚	
	14			芳虎 山崎大戦之図	3 枚	
	15			芳年 尼崎大合戦武智主従討死之図	3 枚	
	16			芳年 月百姿 山城小栗栖月	1 枚	
III	1			絵本太閤記	1 冊	
	2			絵本豊臣勲功記	1 冊	
	3			尼ヶ崎危難	1 冊	
	4			豊臣秀吉譜(将軍家譜)	1 冊	
	5			摂津名所図会	1 冊	
	6			摂陽群談	1 冊	
	7			芳虎 姉ケ崎大合戦	3 枚	

風来坊 2014
10.

〈スライド動画・抜粋版〉震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる













◎ 6月7日
- 近代製鉄発祥の地「釜石」再訪　橋野洋式高炉跡・大橋鉄鉱山・釜石鉄の歴史館
- 釜石線　Ωループによる北上山地仙人峠越で陸中大橋へ

◎ 6月8日
- 山田線不通区間代行バス・三陸北リアス線で北三陸沿岸をめぐる
- 山田町船越で現在発掘中の古代の製鉄遺跡現地見学
- 岩泉町　龍泉洞再訪　見学
- 北緯４０度地球村　普代・黒崎再訪

◎ 6月9日
- 黒崎岬　普代浜　普代の街見学
- 三陸鉄道で久慈　そして八戸線で種差海岸へ

リアス式海岸が続く三陸沿岸の Iron Road



リアス式海岸が続く三陸は　古代　蕨手刀を手に戦った蝦夷の鉄生産基地・兵器庫であった製鉄地帯。

古代から　たたら製鉄跡が点々と続き、山には岩鉄　川には餅鉄　浜には砂鉄が堆積する砂鉄浜と製鉄原料の宝庫である。また、久慈・八戸は日本有数の砂鉄層（ドバ）が埋まっていて、最近までこの砂鉄を使った製鉄が行われていた。

また、釜石の背後をなす北上山地の山中　大橋・橋野は幕末から明治初期　洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地。そして、その三陸の海は魚や海藻など海産物の宝庫　三陸沿岸の森から海に流れ込んだ鉄がそんな豊かな海を育んだ。

1992 年春　東北の古代からの製鉄地帯　北三陸　岩泉・普代・久慈を訪ね、その時、知った久慈の砂鉄そして琥珀。そして、「琥珀の道・アンバーロード」の言葉。

三陸・久慈に「アンバーロード」そして「和鉄の道・Iron Road」が延々と続く。

私のライフワーク　日本各地の製鉄関連遺跡探訪の Country Walk のタイトルに「Iron Road・和鉄の道」ととしようと。

また、縄文遺跡や東北の山々も含めて、何度も東北に通ううちに

「　あの高嶺 鬼すむ誇り　　その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち　ここは 北上(東北)　-　北上市市民憲章より　-　*」*

と古代蝦夷と呼ばれた人たちを自分たちのルーツとして讃える東北の人たちの心情にも強く心打たれ、またこの心情・連帯感が「日本の心の故郷　縄文」からつながる東北・三陸の独自文化を育ててきたのではないか ？ と。

そんな三陸沿岸が大津波に 2011 年東日本大震災と大津波に襲われ、未曽有の大災害に見舞われた。
いつも頭にあり、気になってきた東北ですが、よう訪ねることができませんでしたが、震災後３年　今、やっと復興が進みだし、三陸鉄道も動き出したと聞き、「この三陸に出かけることも応援の一つ」と。

やっと大震災後　はじめて、かつて歩いた三陸沿岸の「Iron Road 」を釜石から北へ

遠野から北上山地の仙人峠を越えて　釜石→大槌・山田→宮古→岩泉・普代→久慈→八戸

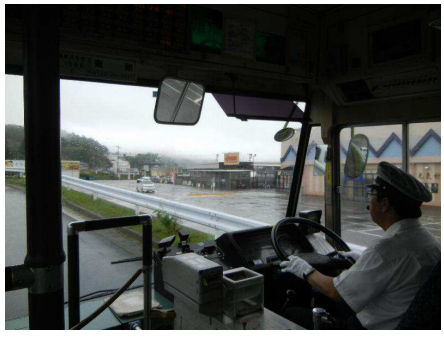
と厳しいリアス式海岸の三陸沿岸の「和鉄の道」を製鉄遺跡や砂鉄浜など鉄の痕跡をたどりつつ、やっと北三陸の「Iron road」を歩いてこれたというか・・・３日間北三陸の街を眺めてきました。
まだまだ　三陸の厳しい現実を眼にすることも多かったですが、三陸沿岸の製鉄関連遺跡や砂鉄浜そして今発掘が進む製鉄遺跡現場にもいってこれました。
行く先々で、多くの人たちに困難に立ち向かう中でも、明るく親切に follow してもらった。
「　あの高嶺 鬼すむ誇り　その瀬音 久遠の賛歌　この大地 燃えたついのち　ここは 三陸　」
の東北讃歌を思い浮かべつつ、感謝と共に、ほっとし、思わず「応援しているよ」と。
多くの人たちと出会い写真や資料の整理もこれからですが、
私のたどった三陸沿岸の Iron Road の今を抜粋版のスライド動画でお伝えします。











2014.6.25.　by Mutsu Nakanishi

今回の主要目的は
大震災後　はじめて、かつて歩いた三陸沿岸の「Iron Road 」を釜石から北へ、厳しいリアス式海岸の三陸沿岸の「和鉄の道」を製鉄遺跡や砂鉄浜など鉄の痕跡をたどりつつ、三陸沿岸に足を踏み入れ、三陸の人たちの復興の足音を直に見聞し、応援のひとつにでもなればと。

1. 三陸への壁北上山地の仙人峠を釜石線Ωループで越えて　三陸・釜石へ
日高見の鬼と呼ばれ、蕨手刀を持って大和と戦った古代蝦夷の雄　アテルイ
その主要鉄生産基地「三陸」ではないか?　その痕跡が見えるかも・・
ひょっとして　製鉄技術について　大陸と独自の交流ルートを持っていたのではないか・・
復興事業推進で次々進む三陸沿岸の製鉄遺跡発掘現場で　そんな痕跡が判るかもしれないと

2. 今　世界産業遺産登録運動が進む　近代製鉄発祥の地「釜石」
   山中に岩鉄　川に餅鉄　浜に砂鉄　豊富な製鉄原料のある釜石の一番奥深い山中に建設された
   日本最初の洋式高炉跡が残る橋野・大橋鉄鉱山を是非訪ねてみたい。
3. 三陸鉄道に乗って、かつて訪ねた「北緯４０度の地球村　普代」の砂鉄浜と断崖そして竜泉洞、
4. 「和鉄の道・Iron Road」と命名のきっかけとなった久慈・八戸の砂鉄を訪ねる
5. 　あとは風来坊　私の興味
   ○　開通した三陸鉄道の今　　○　岩泉　竜泉洞のあのブルー等々

整理はまだ、これからですが、　≪抜粋版で≫今回出かけた三陸沿岸の Iron Road でみたものをスライド原図でお知らせするとともに、下記のように整理して、今後掲載してゆく予定です。

＜詳細版＞　東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる

1.	世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地	「釜石」近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」橋野・大橋を訪ねる	2014.6.7.	掲 載
2.	発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる	古代蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??	2014.6.8.	整理中
3.	三陸鉄道に乗って 三陸沿岸の砂鉄浜 普代浜を訪ねる	20数年前訪れた龍泉洞 そして 砂鉄浜 普代浜 を訪ねる	2014.6.7.&8.	整理中
4.	車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜を	普代から久慈・八戸へ　砂鉄浜の 有家海岸 & 種差海岸	2014.6.9.	整理中
5.	震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今	三陸の街の今　コメントなしのPhoto集です	2014.6.7.-6.9.	整理中

- ◆ 交通の便は非常に悪く、行く先々の集落で雪隠詰になりましたが、車がないと大変。
  リアス式海岸の三陸沿岸をトラバースできる三陸鉄道をまちこがれた気持ちがよくわかる。
- ◆ 復興はまだ　これから。　そこに住む人たちの生活安定が一日も早くたっせいされるよう願いながら帰ってきました。
  行っている間　ずっと大雨にたたられましたが、そこは風来坊　雨も味方につけてぶらぶら。
  　行けてよかった　ほっとしたと。　これでまた　東北へ通えると。

≪ 関連和鉄の道　&　転載・引用などに使った資料及び参考資料　≫

【和鉄の道】

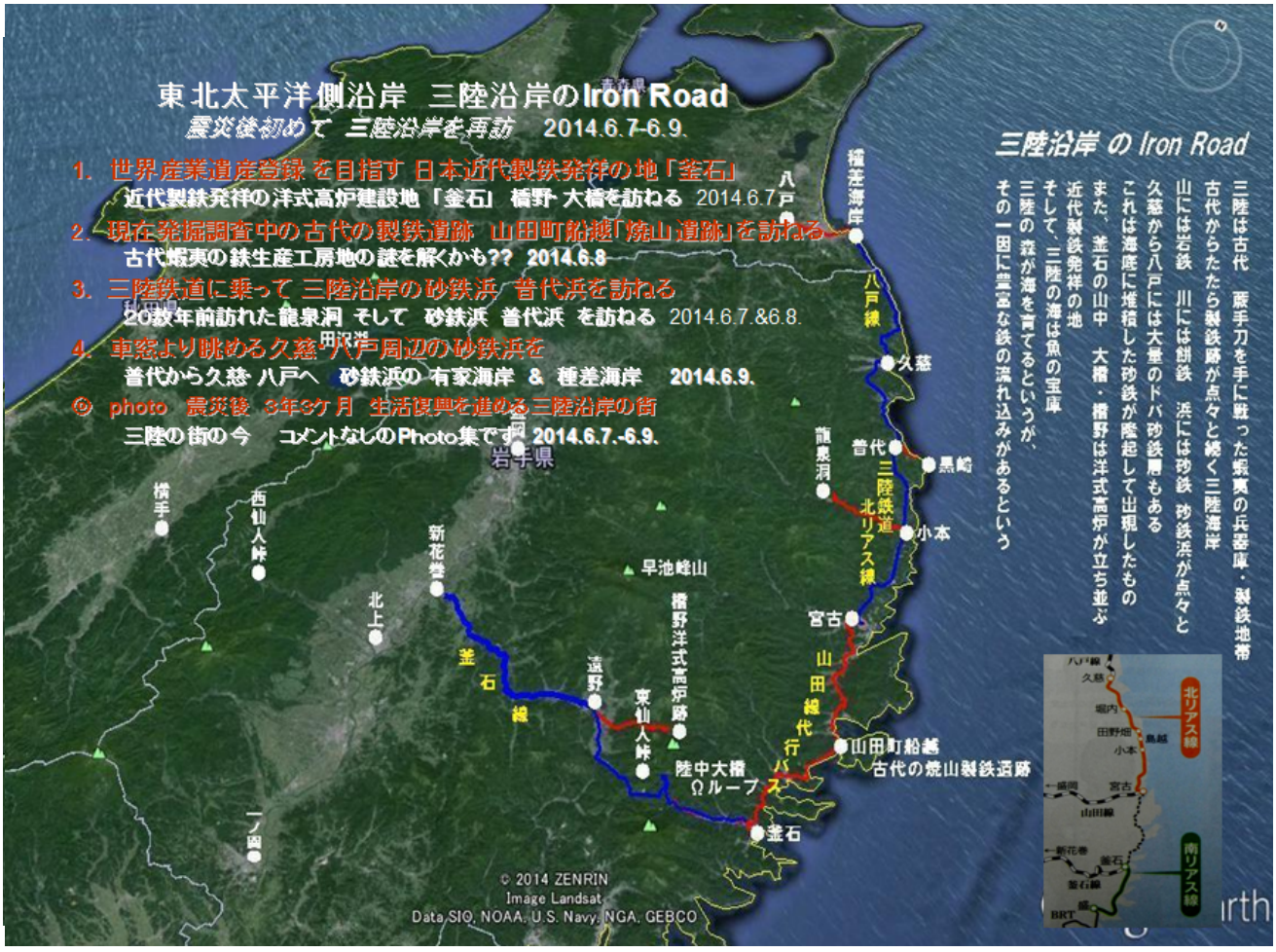
1. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山?　岩手県南部　蝦夷の鉄　北上山地　大鎚・釜石へ
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/kmaisi.pdf
2. 岩手県北上川流域の製鉄地帯　一関博 物館　?　蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ　舞草刀
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb08.pdf
3. 蝦夷の鉄・ 東北　和鉄の道　　東北地方　和鉄の 道　９編　取りまとめ
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf

【転載・引用・参考資料など】

1. 橋野高炉跡パンフレット　日本近代製鉄の先駆け　釜石教育委員会編
   http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,10478,48,255,html
2. 釜石市 home page　　歴史　世界遺産登録推進室ほか
   http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,0,48,255,html
3. 釜石から誕生した近代製鉄のあゆみ
   http://www.nssmc.com/company/publications/monthly-nsc/pdf/2007_7_170_11_12.pdf
4. 岩手県立埋蔵文化財センター所報　「わらびて」（ No.129 ）.　焼山遺跡
   http://www.echna.ne.jp/~imaibun/warabite/no129/warabite129.pdf
5. 田村栄一郎著　「みちのくの砂鉄　いまいずこ」
6. 柴田弘武著　「鉄と俘囚の古代史」

〈抜粋版〉震災後初めて 三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる Photo File



◎ 6月7日
- 近代製鉄発祥の地「釜石」再訪　橋野洋式高炉跡・大橋鉄鉱山・釜石鉄の歴史館
- 釜石線　Ωループによる北上山地仙人峠越で陸中大橋へ

◎ 6月8日
- 山田線不通区間代行バス・三陸北リアス線で北三陸沿岸をめぐる
- 山田町船越で現在発掘中の古代の製鉄遺跡現地見学
- 岩泉町　龍泉洞再訪　見学
- 北緯４０度地球村　普代・黒崎再訪

◎ 6月9日
- 黒崎岬　普代浜　普代の街見学
- 三陸鉄道で久慈　そして八戸線で種差海岸へ







◎ 6月7日 ・近代製鉄発祥の地「釜石」再訪 橋野洋式高炉跡・大橋鉄鉱山・釜石鉄の歴史館
・釜石線 Ωループによる北上山地仙人峠越で陸中大橋へ

東北新幹線 東京上野 6:10発 やまびこ41 新花巻 9:07着
釜石線 新花巻 9:20発 快速 遠野 10:02着

◎ 日本洋式高炉跡見学
遠野駅で 遠野タクシーで 笛吹峠・橋野製鉄跡 川の餅鉄 見学 往復

◎ 釜石へ 釜石線 長いトンネルとΩループ で北上山地仙人峠越
釜石線 遠野 13:06発 釜石 13:54着 車中より 仙人峠を眺める

◎ 鉄の歴史館 再訪 近代製鉄発祥の地「釜石」の鉄の歴史展示見学
釜石駅前 14:07発 平田第6仮設前方面行 路線バスで「観音口」下車 車中より釜石の街見学

◎ 近代製鉄発祥の地 陸中大橋 釜石鉄鉱山(製鉄所)見学
観音口 15:10 発 上大畑行 上大畑から陸中大橋駅行乗継 陸中大橋17:09 着
(釜石駅で列車に乗り換えず、そのまま路線バスで陸中大橋を目指したため、
残念ながら時間切れで、土砂降りの中 陸中大橋駅より釜石鉄鉱山を眺めることになった)

◎ 釜石泊 陸中大橋 17:35発 18:01 釜石着
釜石駅から歩いて 街を眺めながら釜石の中心街 大町の宿へ

◎ 6月8日 ・ 山田線不通区間代行バス・三陸北リアス線で北三陸沿岸をめぐる
・ 山田町船越で現在発掘中の古代の製鉄遺跡現地見学
・ 岩泉 龍泉洞 見学
・ 北緯40度地球村 普代・黒崎再訪

◎ 釜石市街地・港の早朝散歩

◎ 釜石駅山田線代替バスで三陸沿岸を山田町船越へ
県営交通バス 釜石駅 7:50発 船越駅 8:37着 車中より釜石・大槌・山田の見学

◎ 山田町船越古代の焼山製鉄遺跡見学 発掘現場 及び 砂鉄海岸 船越浦の浜 見学

◎ 路線バスで宮古から三陸鉄道北リアス線を乗り継いで小本へ そして竜泉洞見学
県北バス 道の駅やまだ 11:45発 宮古駅 12:49着
バスの車窓より 山田町 & 古代製鉄遺跡 沢田Ⅲ遺跡 遠望
三陸鉄道 宮古駅 13:15発 小本駅 13:48着 「三鉄」乗車と沿岸車窓見学
竜泉洞へのバス運転手さんに紹介してもらってタクシーで劉泉洞往復 竜泉洞見学

◎ 三陸鉄道 北リアス線 乗車 北緯40度の地球村普代 & 砂鉄浜の普代浜
三陸鉄道 小本駅 17:00発 普代駅 17:31 着 黒崎荘宿泊
土砂降りの雨に 浜へ行くのを翌日に廻し、直接黒崎荘へ

◎ 6月9日 ・ 黒崎岬 普代浜 普代の街見学
・ 三陸鉄道で久慈 そして八戸線で種差海岸へ

◎ 黒崎岬 普代浜 普代の街見学
普代村スクールバス 黒崎入口 7:10発 普代浜 7:25着
黒崎展望台・普代浜・普代の街中 walk

◎ 久慈から八戸へ 八戸線沿いの砂鉄浜 有家海岸 種差海岸
三陸鉄道 普代発8:02が雨でラッキーなことに 約40分遅れ
久慈の街再訪のつもりでしたが、小久慈のたたら館すでに閉鎖され、久慈砂鉄と鉄山のあった洋野町大野
を訪ねることもかんがえたのですが、製鉄関連遺跡を訪ねると時間的に新幹線で神戸まで帰れないので、
そのまま 八戸線に乗って、久慈から八戸への砂鉄浜を訪ねることにしました。
普代 8:44 乗車 久慈 9:35着 車窓から砂鉄浜有家海岸を眺める
久慈 9:47発 陸奥白浜着 11:09着 砂鉄浜 種差海岸陸奥白浜を Walk
鮫駅から 路線バスで八戸駅へ

東北新幹線 八戸 15:06発 はやぶさ24号 東京 18:04着
東海道新幹線 東京 18:33 ひかり527 新大阪 21:26
新大阪 こだま 22:03発 新神戸 22:17


三陸鉄道
情熱復活物語
笑顔をつなぐ、ずっと…




アンバーロード
東北 三陸沿岸のIron Road を訪ねる
1992年春 北の古代からの製鉄地帯 北三陸、龍泉洞から普代・久慈を訪ねました
その時 知った久慈の鉄鉄そして琥珀、そして、鉄道の道アンバーロード。
久慈にアンバーロード そして三陸沿岸にはIron Road
製鉄関連鉄跡を訪ねるCountry walkをIron Road・和鉄の道としようと…
そして、この三陸は、古代・蝦千刀を持って戦った蝦夷たちの鉄の生産基地
独自の製鉄文化をそだてたのでは……と。
また、釜石には 日本近代製鉄発祥の地、洋式高炉操業が始まった地であり
山には岩鉄と呼ばれた鉄鉱石 川には鉄鉄がゴロゴロと。
その後 何度となく訪れた東北・北三陸 そして、2011年東日本大震災に見舞われた。
震災後 よう足を踏み入れなかった北三陸のIron roadをはじめてまきました。
1992年に歩いた北三陸のIron Rod・和鉄の道
龍泉洞・田野畑・普代から久慈へ その時の写真をコラージュに


釜石線が仙人峠をΩループで走り抜ける陸中大橋 2014.6.7.
ここは近代製鉄発祥の地 洋式高炉が初めて建設された地
釜石鉱山
大橋一番高炉推定値
大橋二番・三番高炉推定値
釜石線
Ωループ
仙人峠
大橋
陸中大橋駅


史跡 釜石鉄山大橋高炉跡


鉄の資源帯 北上山地を釜石線Ωループで超えて釜石へ 2014.6.7.
遠野
笛吹峠
最古の近代洋式高炉跡
橋野洋式高炉跡
分水界
釜石線Ωループ
日本最初の洋式高炉・大橋高炉建設地
陸中大橋
北上山地
鵜住居
釜石駅
釜石
鉄の歴史館
奥羽山脈の和賀仙人峠(西仙人峠)そして
北上山脈の栄仙人峠 どちらも鉄鉱石を
産出する古代からの厳しい和鉄の道
この二つの峠が 蝦夷の鉄生産基地 秋田
そして 三陸を支えたのではないか??
また 栄仙人峠を越えた陸中大橋は近代
製鉄発祥の地
そんな厳しい栄仙人峠・陸中大橋を釜石
線のΩループで超えてゆく




世界産業遺産登録を目指す日本近代製鉄発祥の地「釜石」
現存する日本最古の高炉跡 橋野鉄鉱山
大門から右手坂を登った上方から、1番高炉・二番高炉跡を振り返る 2014.6.7.
橋野にある3本の高炉のうち 1番・2番高炉は万延元年(1860)または万延2年(1861)に完成され、
明治4年(1871)年に破棄された。





復興事業推進のため三陸沿岸で進む遺跡発掘調査

岩手県埋蔵文化財センター所報「わらびて」129号 2014.2.28.より

三陸沿岸は古代からの鉄鉱石・砂鉄の資源帯であり、 海岸段丘の山裾には古代から点々と製鉄遺跡がある。今 復興道路や住宅建設などの震災復興事業推進の発掘調査の中で、数々の遺跡発掘調査が行われ、数々の製鉄関連遺跡の遺構・遺物が明らかになっている。 中でも 山田町の山裾からは 次々と9か所にも及ぶ古代の製鉄遺跡が発掘され、古代の製鉄炉など古代三陸の製鉄が解き明かされるのではないかといわれる。 山田町船越の湾を臨む丘の斜面から羽口が差し込まれた形のままで古代の製鉄炉が発見されたと聞いて、釜石から宮古への代行バスの途中にある山田町船越の「焼山遺跡」そして 船越半島浦の浜の砂鉄を見学してきました。



発掘調査が進む古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」 2014.6.8.



復興事業推進で発掘調査が進む 古代の製鉄遺跡跡 山田町船越 焼山遺跡 2014.6.7.

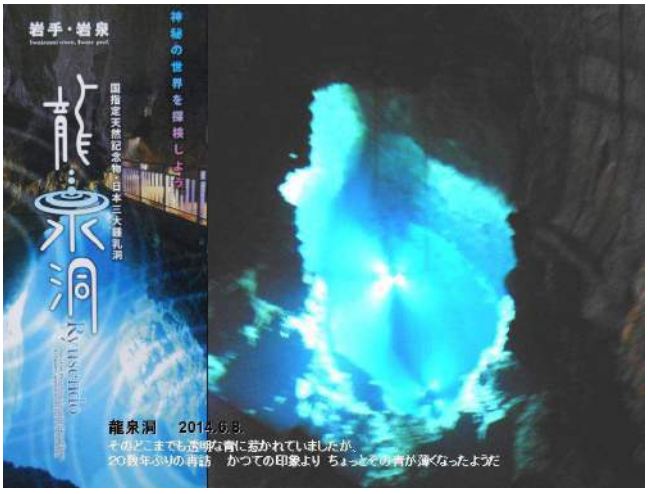


砂鉄浜 焼山遺跡の下にある船越半島山田湾に面した浦の浜 20146.7.


三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜
土砂降りの雨に煙る砂鉄浜　普代川河口　普代浜　2014.6.8朝


三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜
久慈ー八戸車窓より 砂鉄浜 洋野町 陸中中野・有家海岸 2014.6.9.


三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜
砂鉄浜 八戸種差海岸 2014.6.9.


岩手・岩泉
神秘の世界を探検しよう
龍泉洞
国指定天然記念物 日本三大鍾乳洞
龍泉洞　2014.6.8.
そのどこまでも透明な青に惹かれていましたが、
20数年ぶりの再訪　かつての印象より ちょっとその青が薄くなったようだ


20数年ぶりに再訪した龍泉洞　2014.6.8.

三陸鉄道　北リアス線　2014.6.8. & 6.9

リアス式海岸の崖と谷で、隣の集落と隔てられ
集落それぞれが小宇宙ともいわれる三陸沿岸の町々

鉄道の復旧を待ち望んだ人たちの
気持ちが　よくわかる「三鉄」

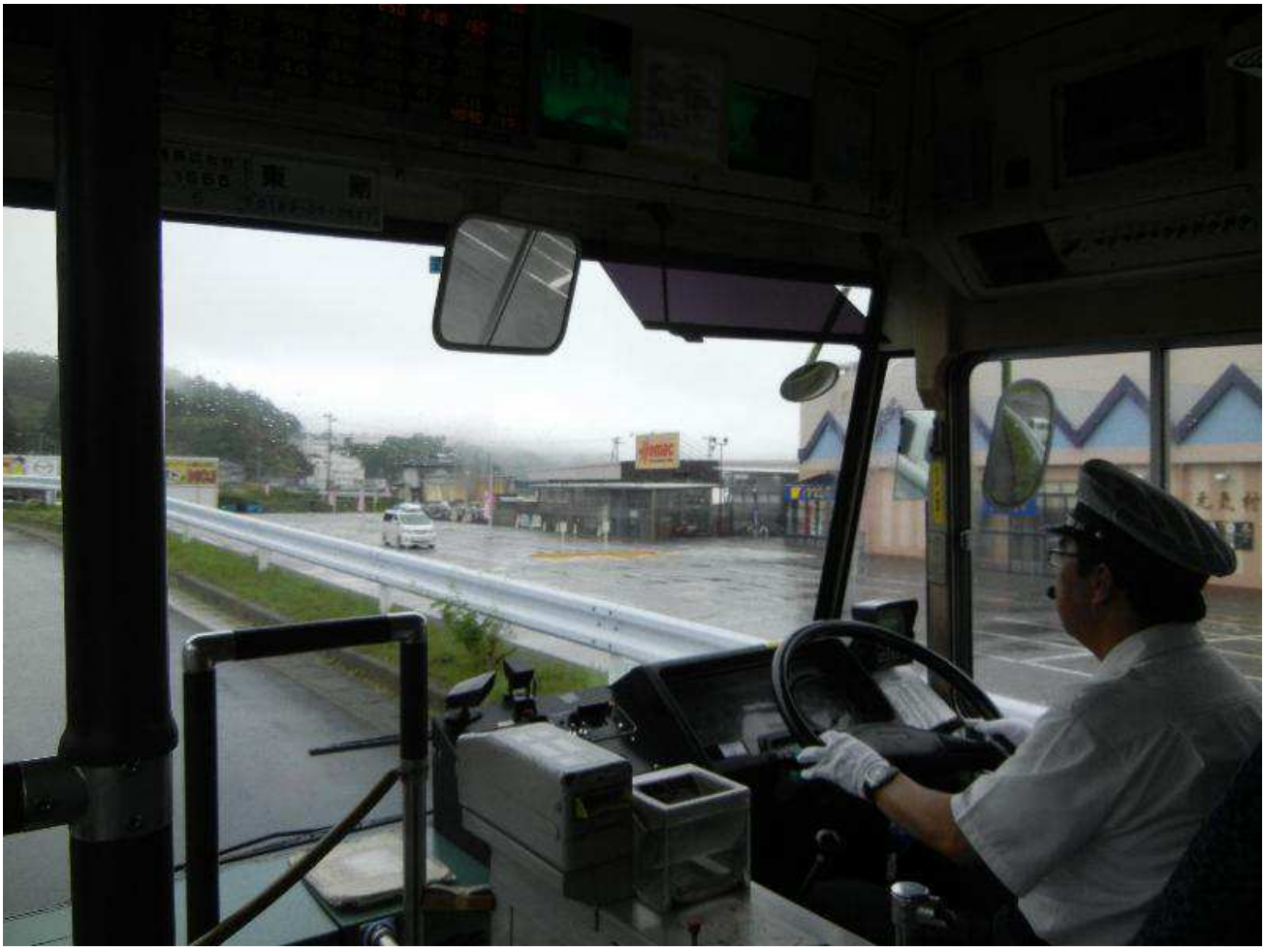














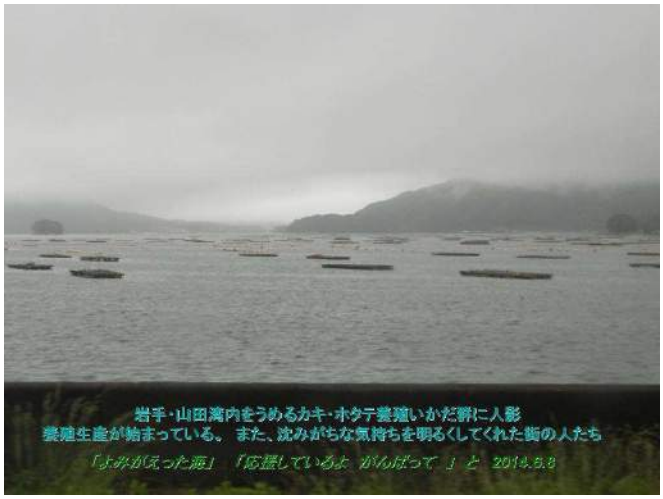

普代の街で　元気な声の響きに吸い寄せられて
早朝のスクールバス&昆布の加工場　2014.6.9.


普代の名産
短冊状に細かく切った昆布をのりのように
漉き込んでつくる「すき昆布」に赤紫の海藻「ふのり」



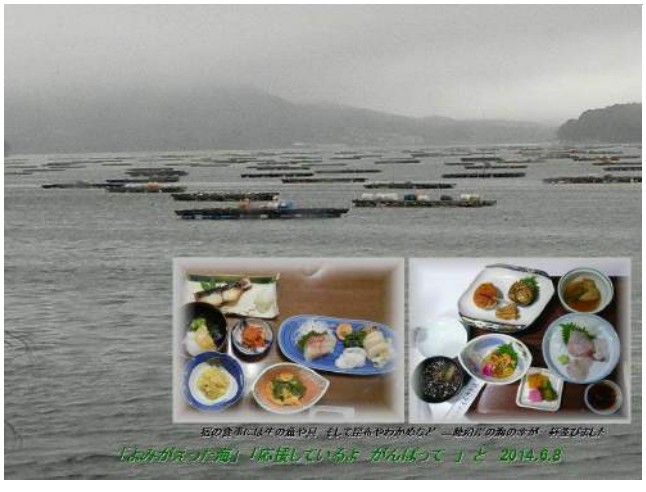














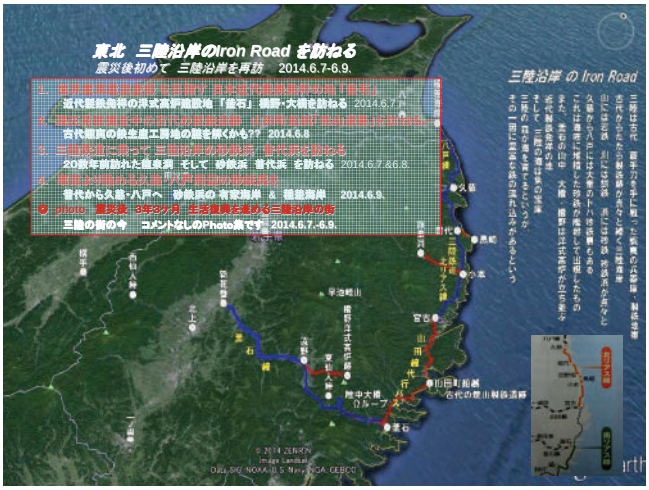


行く先々で、多くの人たちに困難に立ち向かう中でも、明るく親切に follow してもらった。

「　あの高嶺 鬼すむ誇り　その瀬音 久遠の賛歌　この大地 燃えたついのち　ここは 三陸　」

の東北讃歌を思い浮かべつつ、感謝と共に、ほっとし、思わず「応援しているよ」と。


東北　三陸沿岸のIron Road を訪ねる
震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9.
三陸沿岸 の Iron Road
Google earth


東北　三陸沿岸のIron Road を訪ねる
震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9.
三陸沿岸 の Iron Road


東北　三陸沿岸のIron Road を訪ねる　2014.6.7.-6.9.
花巻から仙人峠を越えて釜石　そして　北三陸沿岸　walk
北リアス線
南リアス線


1992年に歩いた北三陸のIron Rod・和鉄の道
龍泉洞・田野畑・普代から久慈へ　その時の写真をコラージュに


東北　三陸沿岸のIron Road を訪ねる
1992年春　北の古代からの製鉄地帯　北三陸　龍泉洞から普代・久慈を訪ねました
その時　知った久慈の砂鉄そして琥珀　そして、琥珀の道アンバーロード。
久慈にアンバーロード　そして三陸沿岸には「Iron Road」
製鉄関連遺跡を訪ねるCountry walkを「Iron Road・和鉄の道」としようと・・・・
そして、この三陸は　古代　蒙手刀を持って戦った蝦夷たちの鉄の生産基地
独自の製鉄文化をそだてたのでは・・・・と。
また、釜石には　日本近代製鉄発祥の地　洋式高炉操業が始まった地で知り、
山には砦鉄と呼ばれた鉄鉱石　川には鉄鉄がゴロゴロと。
その後、同様なかく訪ねた東北・北三陸　そして、2011年東日本大震災に見舞われた。
震災後　よう足を踏み入れなかった北三陸のIron roadをはじめて歩きました。
1992年に歩いた北三陸のIron Rod・和鉄の道
龍泉洞・田野畑・普代から久慈へ　その時の写真をコラージュに


鉄の資源帯　北上山地を釜石線Ωループで超えて釜石へ　2014.6.7.
釜石線Ωループ
陸中大橋
釜石
Google


釜石線が仙人峠をΩループで走り抜ける陸中大橋　2014.6.7.
ここは近代製鉄発祥の地　洋式高炉が初めて建設された地


世界産業遺産登録を目指す日本近代製鉄発祥の地　「釜石」
現存する日本最古の高炉跡　橋野鉄鉱山
大門から右手坂を登った上方から、1番高炉・二番高炉跡を振り返る　2014.6.7.
橋野にある3本の高炉のうち　1番・2番高炉は万延元年(1860)または万延2年(1861)に完成され、
明治4年(1871)年に破棄された。
2番高炉
1番高炉

三陸沿岸の Iron Road



復興事業推進のため三陸沿岸で進む遺跡発掘調査

岩手県埋蔵文化財センター所報「わらびて」129号 2014.2.28.より

三陸沿岸は古代からの鉄鉱石・砂鉄の資源帯であり、海岸段丘の山裾には古代から点々と製鉄遺跡がある。今 復興道路や住宅建設などの震災復興事業推進の発掘調査の中で、数々の遺跡発掘調査が行われ、数々の製鉄関連遺跡の遺構・遺物が明らかになっている。 中でも 山田町の山裾からは 次々と9か所にも及ぶ古代の製鉄遺跡が発掘され、古代の製鉄炉など古代三陸の製鉄が解き明かされるのではないかといわれる。 山田町船越の湾を臨む丘の斜面から羽口が差し込まれた形のままで古代の製鉄炉が発見されたと聞いて、釜石から宮古への代行バスの途中にある山田町船越の「焼山遺跡」そして 船越半島浦の浜の砂鉄を見学してきました。





発掘調査が進む古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」2014.6.8.



復興事業推進で発掘調査が進む 古代の製鉄遺跡跡 山田町船越 焼山遺跡 2014.6.7.



砂鉄浜 焼山遺跡の下にある船越半島山田湾に面した浦の浜 20146.7.

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜



土砂降りの雨に煙る砂鉄浜 普代川河口 普代浜 2014.6.9.朝

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜



久慈ー八戸車窓より 砂鉄浜 洋野町 種中中野・有家海岸 2014.6.9.

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜



砂鉄浜 八戸種差海岸 2014.6.9.

三陸鉄道 北リアス線 2014.6.8. & 6.9

リアス式海岸の湾と谷で、隣の集落と隔てられ
集落それぞれが小宇宙ともいわれる三陸沿岸の町々

鉄道の復旧を待ち望んだ人たちの
気持ちが よくわかる「三鉄」

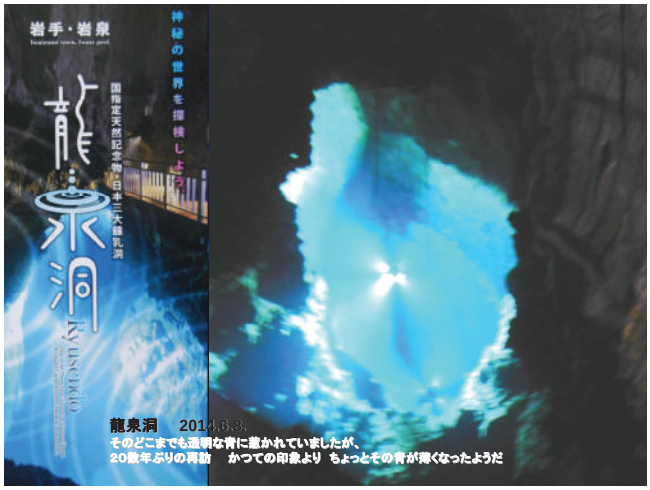




普代の街で 元気な声の響きに癒し寄せられて
早朝のスクールバス&昆布の加工場 2014.6.9.



普代の名産
短冊状に細かく切った昆布をのりのように
漉き込んでつくる「すき昆布」に赤紫の海藻「ふのり」


岩手・岩泉
神秘の世界を探検しよう!
龍泉洞
国指定天然記念物 日本三大鍾乳洞
RYUSENDO
龍泉洞　2014.6.8.
そのどこまでも透明な青に驚かれていましたが、
20数年ぶりの再訪　かつての印象より ちょっとその青が薄くなったようだ


20数年ぶりに再訪した龍泉洞　2014.6.8.


震災後３年の今　釜石　2014. 6.7. & 6.8.
月極駐車場
駐車禁止
ご遠慮ください


街の至る所に東京の到達点と、道路網図を示す標識があり、こんな街の中までとびっくり。
でも、三陸の中心都市、街に活気を感じた歩みがどこかしこに


復興が始まったといいますが、山裾の高台には数多くの仮設住宅がありました　2014.6.7.

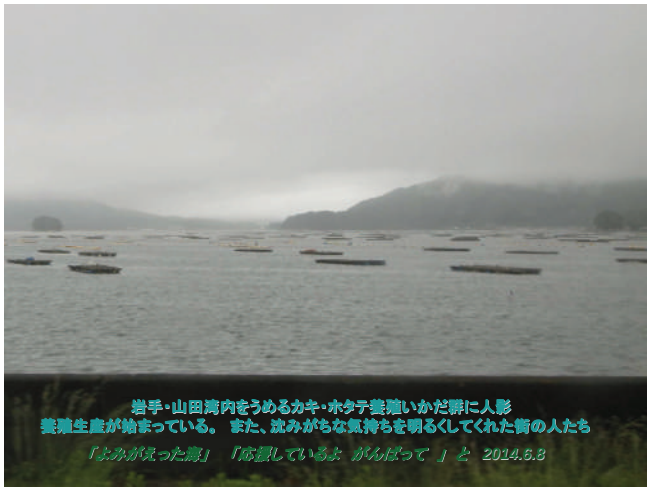

3年たった今 釜石・大槌町から山田町へ
震災後　山田町への代行バスより　2014. 6.8.


震災後3年の今　山田町で　2014.6.8.
船越の半島を乗り越して　山田の街に入ると
3年もたっているのにと…声も出ない



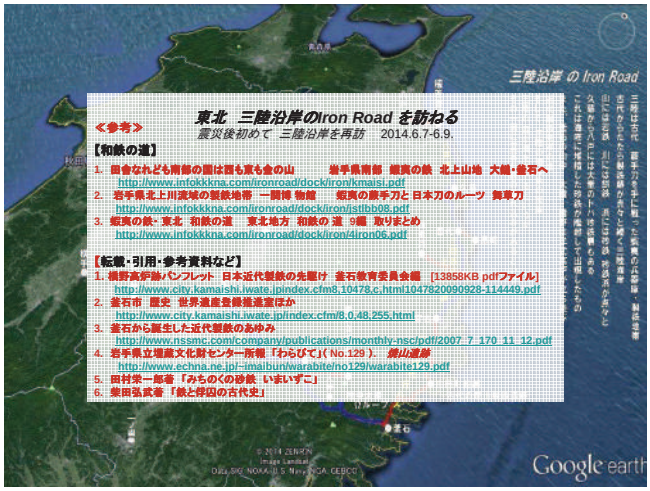












1.	世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地 「釜石」近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石」 橋野・大橋を訪ねる	2014.6.7.
2.	発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる 古代蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??	2014.6.8.
3.	三陸鉄道に乗って 三陸沿岸の砂鉄浜 普代浜を訪ねる 20数年前訪れた龍泉洞 そして 砂鉄浜 普代浜 を訪ねる	2014.6.7.&6.8.
4.	車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜を 普代から久慈・八戸へ 砂鉄浜の 有家海岸 & 種差海岸	2014.6.9.
5.	震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今 三陸の街の今 コメントなしのPhoto集です	2014.6.7.-6.9.

風来坊 2014
11.

東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9

世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地

1． 近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」橋野・大橋を訪ねる． 2014.6.7.



北上山地を遠野から西に三陸へ越える厳しい峠「仙人峠」。 古代大和の侵攻に戦った蝦夷の鉄の資源帯・鉄の生産基地といわれ、三陸への入口である。 今は別名銀河鉄道 釜石線が長いトンネルと Ω ループでこの峠を 越え、三陸・釜石に入る。 この山中は岩鉄・川には餅鉄・海には砂鉄がある鉄の宝庫で、「釜石」はこれらの鉄資源を使って明治の初め、日本で初めての洋式高炉操業での製鉄が行われた「日本の近代製鉄発祥の地」。2008 年近代製鉄の発祥から 150 年を迎え、現在「日本の近代製鉄発祥の地」として世界産業登録を目指す取組が街を挙げて推進されている。

近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 釜石の橋野・大橋鉄鉱山を訪ねる 2014.6.7.

1. 釜石線 別名「銀河鉄道」に乗って遠野・釜石へ
2. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野高炉跡へ
   遠野から笛吹峠越で北上山地を越える
3. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野鉄鉱山(製鉄所)見学
4. 北上山地の険しい分水界 仙人峠をを釜石線の長いトンネルとΩループで越える
   近代製鉄発祥の地「陸中大橋」を経て釜石へ
5. 釜石 鉄の歴史館 再訪
6. 土砂降りの中路線バスで再度 近代製鉄発祥の地 陸中大橋へ
   日本初の洋式高炉の操業地 陸中大橋 旧釜石鉄鉱山（製鉄所）

◎ 震災後３年 釜石の今 Photo

【参考】近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 釜石の橋野・大橋鉄鉱山の概略

釜石線 Ω ループで仙人峠を越えた山中の「陸中大橋」は日本で最初に洋式高炉による近代製鉄が始まった釜石鉄鉱山(製鉄所)があった地。 また、同じ山中 北側の橋野鉄鉱山には現存する最古の 洋式高炉が３基も残っている。「三陸沿岸の Iron Road 再訪」を計画した時から、是非この仙人峠を越えて釜石から三陸沿岸に入ろうと。

また、洋式高炉跡が残る釜石「橋野」へは車なくしては近づけぬ山中。今回はタクシーを使っても、是非この洋式高炉跡を訪ねようと時間表や資インターネット資料などををひねくり回して、 日本近代製鉄発祥の地「釜石」の「陸中大橋」と「橋野」をやっとスケジュールに組み込めました。 土砂降りの雨の中の訪問でししたが、釜石線 Ω ループによる仙人峠と共に本当にうれしい「日本近代製 鉄発祥の地」訪問。やっと行けました。

近代製鉄の発祥から 150 周年を記念して　2008 年発行された記念切手











日本の近代製鉄発祥の旧釜石工業所　釜石鉄鉱山(製鉄所)の地　陸中大橋





日本最古の洋式高炉が３基残る釜石橋野鉄鉱山跡

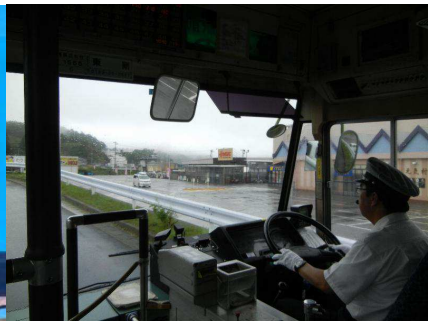





釜石駅前　鉄住金の建物にほっとする　　釜石の港の背後の丘にある鉄の歴史館ある鉄の歴史館







今回出かけた「三陸沿岸の Iron Road　Walk」本稿に引き続き下記のごとく整理掲載してゆく予定です。

＜詳細版＞　東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる

1.	世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地	「釜石」近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」 橋野･大橋を訪ねる	2014.6.7.	掲 載
2.	発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる	古代蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??	2014.6.8.	整理中
3.	三陸鉄道に乗って 三陸沿岸の砂鉄浜 普代浜を訪ねる	20数年前訪れた龍泉洞 そして 砂鉄浜 普代浜 を訪ねる	2014.6.7.&8.	整理中
4.	車窓より眺める久慈･八戸周辺の砂鉄浜を	普代から久慈･八戸へ　砂鉄浜の 有家海岸 ＆ 種差海岸	2014.6.9.	整理中
5.	震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今	三陸の街の今　コメントなしのPhoto集です	2014.6.7.-6.9.	整理中

≪ 関連和鉄の道 ＆ 転載･引用などに使った資料及び参考資料 ≫

【和鉄の道】

1. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山?　岩手県南部　蝦夷の鉄　北上山地　大鎚・釜石へ
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/kmaisi.pdf
2. 岩手県北上川流域の製鉄地帯　一関博 物館　?　蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ　舞草刀
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb08.pdf
3. 蝦夷の鉄・ 東北　和鉄の道　　東北地方　和鉄の 道　９編　取りまとめ
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf

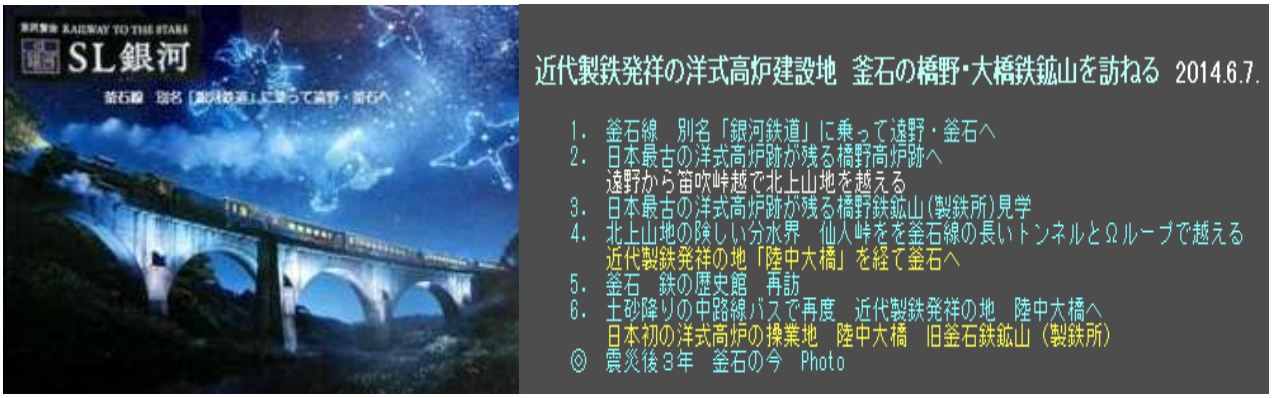
【転載・引用・参考資料など】

1. 橋野高炉跡パンフレット　日本近代製鉄の先駆け　釜石教育委員会編
   http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,10478,48,255,html
2. 釜石市 home page　　歴史　世界遺産登録推進室ほか
   http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,0,48,255,html
3. 釜石から誕生した近代製鉄のあゆみ
   http://www.nssmc.com/company/publications/monthly-nsc/pdf/2007_7_170_11_12.pdf
4. 岩手県立埋蔵文化財センター所報　「わらびて」（ No.129 ）.　焼山遺跡
   http://www.echna.ne.jp/~imaibun/warabite/no129/warabite129.pdf
5. 田村栄一郎著　「みちのくの砂鉄　いまいずこ」
6. 柴田弘武著　「鉄と俘囚の古代史」

世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地　*2014.6.7.*

Photo File　　鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」橋野・大橋を訪ねる







6月7日早朝　土砂降りの雨の中
上野6:10発やまびこ41号で　三陸沿岸Iron Road の旅へ出発

6月7日　世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地「釜石」walk
近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石」　橋野・大橋を訪ねる　2014.6.7.

《 スケジュール 》

東北新幹線　東京上野 6:10発 やまびこ41　新花巻　9:07着
釜石線　新花巻　9:20発　快速　遠野 10:02着
◎ 釜石市橋野鉄鉱山 現存する日本最古の洋式高炉跡　見学
遠野駅で遠野タクシーで　笛吹峠・橋野製鉄跡見学　往復
◎ 釜石へ　鉄の歴史館　再訪　10数年ぶりの再訪
釜石線　遠野　13:06発　釜石　13:54着　車中より仙人峠越　Ωループを　陸中大橋を眺める
◎ 日本最初の高炉操業による初出銑　近代製鉄発祥の地　陸中大橋　大橋鉄鉱山
時間的に大橋鉄鉱山跡へ行き着くか　不明で菅とにかく陸中大橋へ　路線バスを乗り継ぐ
釜石市内、大橋・上大畑～上中島～教育センター～釜石駅前～小白浜・荒川・大石
タイムリミット　観音口 16:18分　大橋 17:09　陸中大橋JR17:35発で釜石へ
◎ 釜石市内泊

いつもは、行き当たりばったりのWalkですが、今回ばかりは地図と時間表をながめながら頭をひねる。
一番の問題は釜石の山奥　アクセスのない橋野・陸中大橋・鉄の歴史館の組み合わせ
結局　現存する日本最古の洋式高炉跡橋野へは遠野駅から観光タクシーを予約した。
また、出発の６月７日は土曜日　釜石線人気のSL「銀河」の運行日　でもこれに乗ると橋野には行けず、遠野駅で昼間停車中のSL「銀河」をながめられるか???

1. 釜石線　別名「銀河鉄道」に乗って　遠野・釜石へ





















2. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野高炉跡へ　遠野より　県道 35 号線笛吹峠越をタクシーで

橋野洋式高炉跡は釜石市にあるが、釜石側からだと釜石市街地から北の沿岸へ出て、鵜住居から鵜住居川沿いに遠野−鵜住居を結ぶ県道 35 号線を遡らねばならず、随分遠くなるが、遠野から同じ県道 35 号線　笛吹峠越の方がはるかに近く、タクシーのアクセスもはるかに良く、時間も 30 分ほどで橋野高炉跡にゆける。















遠野から北上山中へわけいり、笛吹峠を越えて約 30 分ほどで橋野む高炉跡のある青ノ木原入口　谷筋へ下る





3. 日本最古の洋式高炉跡が残る橋野鉄鉱山(製鉄所)跡の見学




一番高炉（湯出し口より）

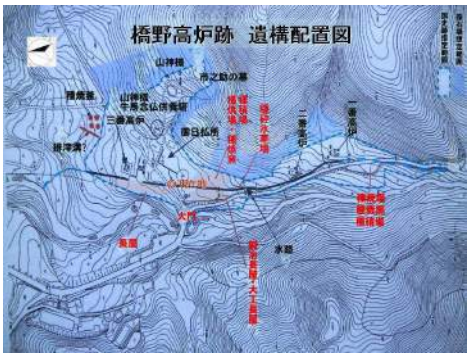

二番高炉（ふいご座より）


三番高炉（湯だし口より）


一番高炉の図


二番高炉の図


改修により三番高炉が築造された仮高炉









橋野高炉跡への入口　橋野鉄鉱山　旧大門　2014.6.7.

この入口から奥　右手南側から北へ流れ下る谷川沿いの山裾台地に3基の洋式高炉跡を中核に製鉄諸施設の遺構が残る橋野鉄鉱山(製鉄所)跡が広がっていました









橋野鉄鉱山の入口　旧大門　2014.6.7.

大門正面から左右にY字に坂道が伸びていて　その分岐の角に橋野鉄山の案内板　右への道の傍らに「史跡　橋野高炉跡」の石碑が立ち　案内板の後の台地の柵にも碑がみえる。
案内板には　橋野鉄山の概略解説や橋野鉄山の3基の高炉などの諸施設の配置図が示されている。

◎ Y字分岐の左分岐の台地に3番高炉跡
◎ 正面Y字中央が御日払所などの鉄山経営事務所
◎ 右分岐谷川沿いの緩い坂道を登ってゆくと2番高炉跡と1番高炉跡がある。







大門の案内板の横から　坂道を登って台地の上にあがると、南から北への山裾　緑に囲まれたなだらかな傾斜地に細長く橋野鉄山諸施設の遺構が広がっていました。坂道のすぐ南側高台には左右の高炉跡案内標識とともに、「日本最古熔鉱炉記念碑」がありました。





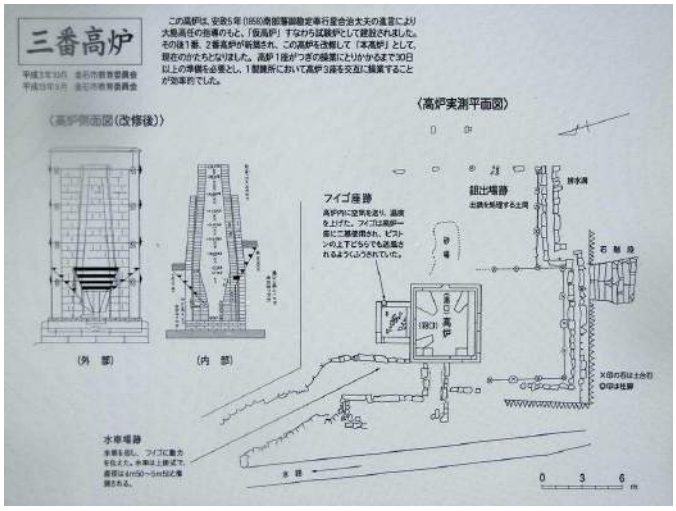
橋野高炉跡　大門左手三番高炉跡がある北西側台地に広がる主要遺構群　遠望　2014.6.7.



三番高炉　元治元年(1864)以降にここにあった仮高炉を改修して築造一番・2番高炉が廃棄後も、橋野が明治27年(1894)閉鎖されるまで稼働していた。

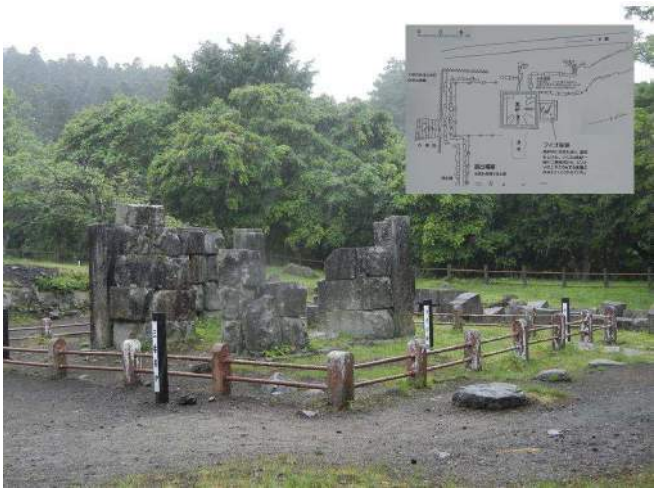


橋野3番高炉と傍らの案内板　2014.6.7.











水路沿いより北側の３番高炉跡を眺める　2014.6.7.

３番高炉跡から水路沿いを歩いて　記念碑の中央部のところに戻り、
さらに南東側　山裾　台地の御日払所　南東側山裾の林の中にある
山の神を見に行く





台地東北隅から　3番高炉跡　御日払所跡の石組を眺める　2014.6.7.

東側山裾に沿う小さな湿地にはクリン草が咲き始めていました　2014.6.7.





台地の東側樹木の緑に覆われた山腹　林の中に　山の神様　山神社跡　2014.6.7.





台地の東側山裾に沿う小さな湿地にはクリン草が咲き始めていました　　2014.6.7.

一旦中央の大門の案内板の所へ戻って　川の上流南側　森の向こうの台地の２番・１番高炉跡へ　　2014.6.7.









橋野高炉跡　大門右手　南西側　二番・一番高炉跡がある森に広がる主要遺構　遠望　**2014.6.7.**













2番こうろの森を上流側に登ったところに3番高炉がありました　　2014.6.7.



この一番高炉の少し上流側の谷奥に谷川からの取水口があり、ここが、このよく整備された橋野鉱山跡・
橋野鉄鉱山跡の南端。さらに上流側に鉄鉱石を採掘した採掘場があると聞きましたが、今回は行けませんでした。

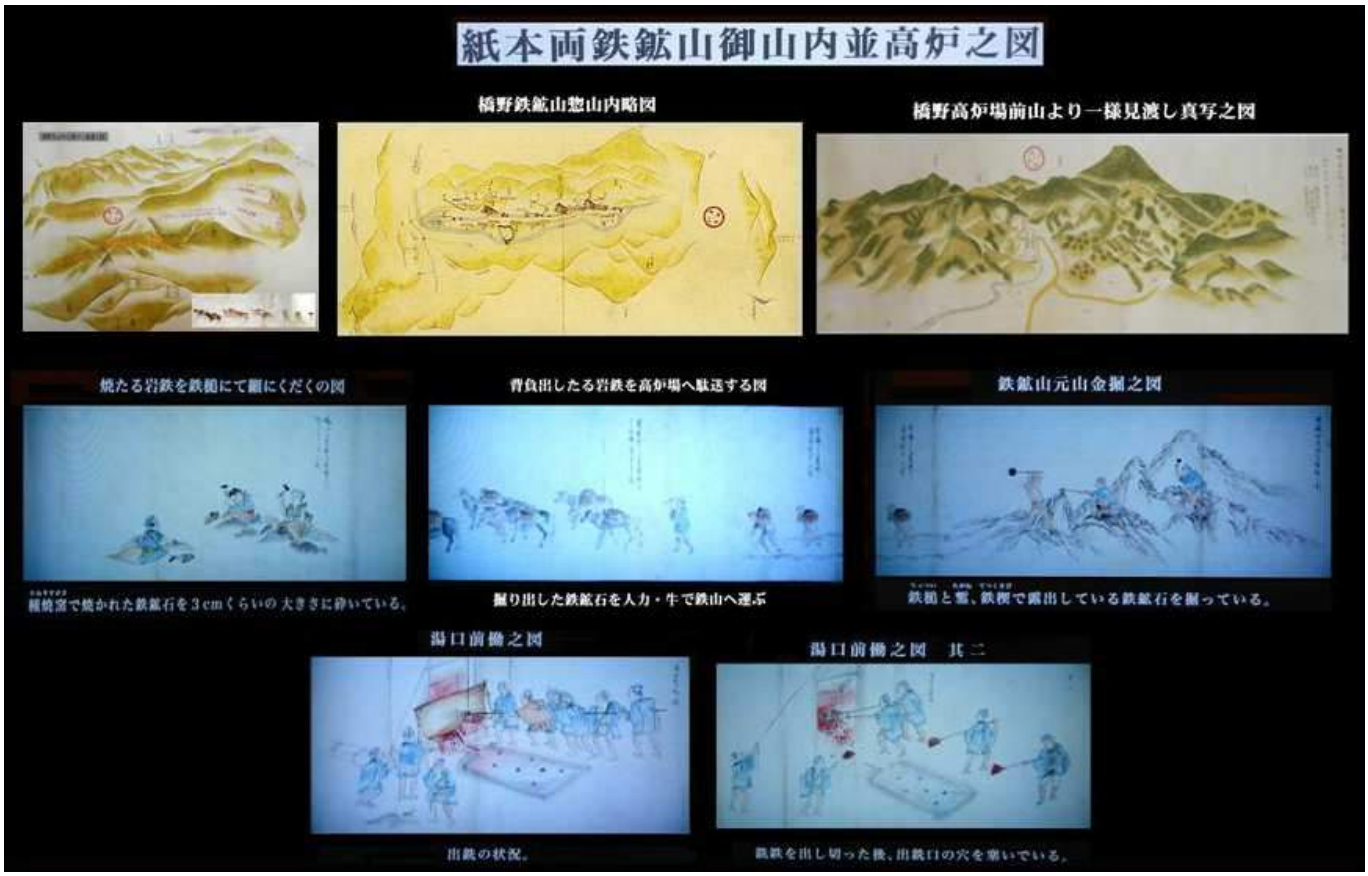


土砂降りの雨の中でしたが、是非とも見たかった現存最古の洋式高炉。
釜石で始まった近代高炉操業がどんなところではじまったのか???
資料にも書かれた「橋野鉄鉱山」の名が示すごとく、場所といい高炉・付属諸施設の配置といい、日本古来の「鉄山」とほぼ同じと感じました。近代製鉄のはじまりも、やはり古来のたたら製鉄の上に立っていると感じました。
本当に険しい山中ですが、この山の周囲からは鉄鉱石・餅鉄の製鉄原料ばかりでなく、豊富な木炭原料・水車送風の取水　そして高炉築造の意思までもこの周辺で採取されたのだと。



誰もいない高炉跡を約１時間。土砂降りの雨にはたたられましたが、やっと見られた洋式高炉の始まりに　満足感一杯で山を下ってきました。

2014.6.7.　11:40　橋野高炉跡から遠野へ　山を下りながら





帰りに立ち寄った橋野高炉インフォメーションセンター。
地元のボランティアの方がつめていて、大歓迎で橋野高炉跡の展示と共に色々お話を聞くことができました。
また、案内板にも示されていたこの釜石での一連の洋式高炉操業の様子を示した「紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図」のビデオを見せていただき、これをクリアーな画像に撮ることができました。

１２時過ぎに遠野の町に帰って、運転手さんに教えてもらって、遠野の名物「ひっつみ」の昼ご飯を済ませて、ぶらぶら歩いて遠野駅へ。
遠野駅につくと、期待通り、向こうのホームに 13:30 発の SL 銀河が停車中で、多くの人が写真撮影に群がっていました。
今回は遠野 13:06 分発の列車で仙人峠そして日本の近代製鉄発祥の地「陸中大橋」を経由して釜石へ。
１０数年ぶりに東仙人峠越を列車で越える。



この列車は陸中大橋に停車しないが、仙人峠を長いトンネルとΩループで、北上山地の険しい分水界を越えて、釜石側　橋野より先に高炉操業が始まった地「陸中大橋」へ下って行く。このΩループによる仙人峠越も楽しみにしていたひとつ。
そのまま陸中大橋を通過して釜石へでて、かつて世話になった「鉄の歴史館」へ行く。
遠野 13:30 発の SL 銀河に乗れば、陸中大橋に停車するのですが、下車すると以前お世話になった「鉄の歴史館」へ行けないので、陸中大橋は残念ながらパス。　　でも、何とか　アクセスを工夫して 「鉄の歴史館」見学の後、再度　陸中大橋にも戻る時間を作りたいと。















4. 北上山地の険しい分水界を釜石線列車　長いトンネルとΩループで越える
近代製鉄発祥の地「陸中大橋」を経て釜石へ

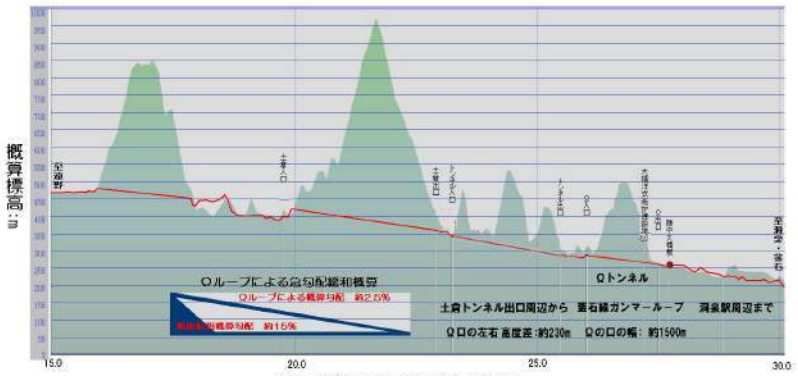
奥羽山脈の和賀仙人峠(西仙人峠)そして北上山脈の東仙人峠　どちらも鉄鉱石を産出する古代からの険しい和鉄の道。　この二つの峠周辺の山々は鉄鉱石が眠る鉄の資源帯であり、両仙人峠が古代　蝦夷の鉄生産基地 秋田 と三陸を支えたのではないか?

また、(東)仙人峠を越えた「陸中大橋」はこの鉄資源を使った近代製鉄発祥の地。(大橋鉄鉱山・旧釜石鉱業所)

そんな険しい仙人峠・陸中大橋を釜石線のΩループで越えてゆく







釜石線 遠野から厳しい北上山地　仙人峠をΩループで越えて釜石へ



１３:06　遠野駅を出発した列車が田園地帯を走り抜け、１５分ほどでいよいよ北上山地の山間へ入ってゆく

遠野から釜石へ　釜石線Ωループ北上山地仙人峠越




13:２５　足ケ瀬駅を過ぎ、すぐ長いトンネルを抜けると　上有住駅の近く　仙人峠道路の滝観洞 IC が下に見え、随分高いところを通過中。　すぐに上有住駅を通過する。　いよいよ　仙人峠を越えるΩループに入る。





滝観洞の赤い橋をすぎ、かなり高い山腹を駆け抜け、長いトンネルで険しい北上山地の分水界を越えて釜石側陸中大橋のΩループへ




陸中大橋　Ωループに入り、Ωループの反対側の線路が見え、すぐに陸中大橋駅が見える





トンネルの中でΩループして、180 度方向をかえて、トンネルを出たところが「陸中大橋駅」











Ωループで 180 度方向をかえて下った谷の出口　口のくびれの角にあたる甲子町周辺で　写真奥が釜石の方向

5. 釜石　鉄の歴史館再訪







久しぶりに訪れた「釜石鉄の歴史館」正面　2014.6.7.
岬の高台にあるため、津波を免れ、震災時にはフェリーボートなど自衛隊の救援基地になったと聞く。
今日は　雨は小降りになったとはいえ、岬周辺には霧がたちこめ、以前見た釜石湾の姿は見えず。



2002年9月に訪れた時の鉄の歴史館からの景色





10 数年前　見たことがない幻の製鉄原料「餅鉄」が是非知りたくて訪れ、甲子川でつい先日採取してきたとう餅鉄をならべて、餅鉄やたたら製鉄の再現についてなど　色々教えてもらった「釜石　鉄の歴史館」。
釜石周辺から産出する鉄鉱石・餅鉄・砂鉄などの鉄原料や現代の製鉄並びに大橋や橋野の洋式高炉による製鉄　そして　たたら製鉄など古代から近代そして現代までの釜石の鉄の歴史が展示されていている。 そして、気になる大槌町小林家に伝わる「大槌烟屋(どうや)鍛冶絵巻」や洋式高炉による製鉄の様子を示した「紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図」なども。
古い時代の展示は以前とほとんど変わっていないようにみえる。
北上山中における製鉄のようすを表わし「大槌烟屋)鍛冶絵巻には、「大道2年」と記されており、「大同2年(802)」とも考えられるが、慶長年間とする説もあり、明らかでない。 もし、802 年ならば、
古代三陸の製鉄の様子を示すのですが…



左:大槌烟屋)鍛冶絵巻に描かれた皮袋ふいごのたたら製鉄 右:鍛冶の様子



橋野鉄鉱山関連の展示　製鉄原料　餅鉄の通い・餅鉄・洋式高炉に使われたレンガ・羽口





陸中大橋の地に日本で最初の高炉操業を行った大橋高炉のパネルより抜粋　　陸中大橋の地に日本で最初の高炉操業を行った大橋高炉のパネルより抜粋

日本の近代製鉄発祥の地　大橋の洋式高炉関連のパネル展示

鉄鉱石・餅鉄を産出する甲子川上流域　仙人峠の陸中大橋に建設された日本最初の洋式高炉　現在はもう休止した釜石鉱山の事務所がその高炉跡地といわれ、その傍らに大橋高炉を築造した大島高任の顕彰碑がある

約１時間「鉄の歴史館」を見学。　３時過ぎ。　時間的に無理とあきらめていましたが、鉄の歴史館の人たちとはなしたり、　展示パネルを見ていて　やっぱり「近代製鉄発祥の地　陸中大橋」の地に立ってみたいと急いで歴史館を後にして、路線バスで釜石駅・大橋へ

6. 土砂降りの中路線バスで再度　近代製鉄発祥の地　陸中大橋へ

日本初の洋式高炉の操業地　陸中大橋　旧釜石鉄鉱山（製鉄所）









観音口から釜石港をながめながら、釜石駅前を通り抜けて、甲子川沿い釜石の街中を抜けてゆく






上大畑は新仙人峠道路と国道との分岐点の小さな集落　てっきり　大橋への乗り継ぎバスがある
と思っていましたが、今日は土曜日　乗り継ぎもできず、タクシーも呼べず
約1時間雨の中　次の大橋行最終便を待つしか仕方なしに

15:10 陸中大橋行のバスに乗れば、何とか行けると　観音口のバス停へ急ぎ、陸中大橋の途中まで行くバスに飛び乗る。
甲子川をさかのぼって、大橋の手前の上大畑の向こうも乗り継げると聞いて、途中のあとは何とかなると…
この時間　陸中大橋への列車があったのに、釜石線はないと思い込んでそのままバスに乗って上大畑へこれが間違いでしたが・・・







土砂降りの夕暮れ　釜石線　陸中釜石駅前　2014.6.7.

結局陸中大橋駅に着いたのは 5:10 土砂降りの夕暮れ。釜石行きの列車は 5:38　そのあとは 20:23 までなし。　高島高任の碑がある旧釜石鉱山事務所前まで行くと釜石へ帰れないと聞いて、結局駅前から旧釜石鉱山を眺めて、次の列車で釜石へ戻りました。











夕暮れ　だれ一人いない　土砂降りに煙る陸中大橋駅　　2014.6.7.夕



陸中大橋駅前　　ぼけてしまいましたが、「釜石街道仙人峠登り口」の道標がありました　　2014.6.7.



「あの高嶺 鬼すむ誇り　その瀬音 久遠の賛歌　この大地 燃えたついのち　ここは 東北　」と

思わず北上市市民憲章に記された東北讃歌が出てくる　-　北上市市民憲章より-「北上」を「東北」に



晴れで、もう少し時間がはやければ、大橋洋式高炉跡の推定値である旧鉱山事務所あたりまで行けたのですが、陸中大橋駅に立ち、周りの山景色を見られたことで、満足。

なお、震災後、事前連絡を取らないと旧鉱山事務所など釜石鉱山の敷地内へは、入れないと聞きました。











釜石に戻ってきたのは18:00　今日の宿へ甲子川を渡って　釜石の中心大町へ　2014.6.7.夕

6日は土曜日　外からの復興工事の人が多いのか、釜石での宿は取りにくかったが、やっと泊まれた





釜石駅横　甲子川にかかる大渡橋より大渡大町の釜石の街と三陸鉄道南リアス線鉄橋







復興事業が進む三陸沿岸の中核都市　インフラ工事など関係者でホテルは満杯で　やっと取れました。 食卓には三陸の海の幸がどっさりと‥‥「ホヤ」に「マンボウ」「うにのいちご煮」などなど関西では中々。また今が旬の「生のおおだこ」も。汁には昆布・ワカメほか幾多の海藻。 すべて　生もの　外へだせないのがなやみだとか‥ ビールには三陸鉄道のラベル。

　隣の席では仕事の疲れを休める三陸の「濁り酒」で一杯が始まっていました。

◎　震災後３年　釜石の今　Photo　2014.6.8.早朝

６月８日早朝　昨日ほどではないがやっぱり細かな霧雨。　食事前に約１時間　釜石の港や街を歩きました。
さすがに、瓦礫はありませんが、街の至る所にその場所に来た津波の高さ標識や避難経路標識があり、
まさかこんな街のなかまでと。　また、今日　通り抜けてゆく北側の鵜住居地区・大槌町はもつときつかったと聞きましたが、釜石の津波の巨大さが身に染みました。
また、街の背後の高台には数多くの仮設住居も見え、インフラ復興は進むもの生活復興はまだこれからと、
「おはようございます」と明るくあいさつを交わす中にも、そのご苦労に心が痛みます。







参考　　近代製鉄発祥の洋式高炉跡を訪ねる　2014.6.7.釜石
陸中大橋 & 橋野　概　説

釜石から誕生した近代製鉄のあゆみ

日本の近代製鉄発祥の地「釜石」

http://www.nssmc.com/company/publications/monthly-nsc/pdf/2007_7_170_11_12.pdf より

日本では長い間、砂鉄を原料とした「たたら製鉄法」による鉄づくりが行われてきた。そして外国船の来航など国防上の理由から、この砂鉄銑を用いた反射炉で大砲鋳造を行ってきたが、砲身にき裂が入りやすいなどの問題があり良質な銑鉄が求められていた。大砲鋳造の技術者として水戸藩に招かれた南部藩士・大島高任は、良質な銑鉄を製造するためには洋式高炉が不可欠であることを痛感し、南部領大橋（現在の釜石市大橋）で高炉の築造、操業に着手した。

大橋を含む釜石一帯は、鉄鉱石の豊かな鉱脈を持ち、動力源の水車を回す橋野川、燃料の木炭を大量に供給できる森林、周辺の労働力などがそろった製鉄業には大変優れた立地であった。

1857年（安政4年）12月1日（新暦で1858年1月15日）、幾多の試練を乗り越え、高任は日本初の洋式高炉による出銑に成功した。その後南部藩は釜石（大橋、橋野、佐比内（遠野）、砂子渡、栗林地区）に合計10座の高炉を築造、このうち橋野三番高炉は36年間操業することとなった。

明治維新後、1880年官営製鉄所として操業を開始したが、政府は高任からの「小さな10トン高炉を段階的に5基に増やす（合計50トン）」という進言を退け、25トン高炉を2基立ち上げる外国人技師の案を採用。この計画はわずか2年で失敗に終わった。

その後、製鉄所関連設備は民間に払い下げられ、東京の「鉄屋」社長の田中長兵衛と横山久太郎は大島高任の「小さく生んで大きく育てる」思想を取り入れて小さな高炉を築造。1886年10月16日、高炉吹入れ49回目で連続出銑に成功することとなった。



釜石製鉄所の歴史

- 安政 4年(1857) 12月1日、大島高任、大橋で日本初の洋式高炉法による出銑に成功（鉄の記念日）
- 明治13年(1880) 官営製鉄所操業開始
  16年(1883) 官営製鉄所廃止
- 18年(1885) 田中長兵衛が払い下げを受け、民営として再興
  19年(1886) 10月16日、49回目の挑戦で連続出銑に成功（釜石製鉄所起業記念日）
- 昭和 9年(1934) 製鉄合同により、日本製鉄(株)となる
  25年(1950) 日本製鉄(株)が富士製鉄(株)と八幡製鉄(株)に分割、富士製鉄(株)釜石製鉄所となる
  45年(1970) 富士製鉄(株)と八幡製鉄(株)が合併し、新日本製鉄(株)となる


大島高任


連続操業に成功した高炉

≪日本近代製鉄の歩み≫

日本で初めて作られた洋式高炉　2012 05 30　　*http://www.kamaishinet.jp/hashino/info.php 等より整理*

日本で初めて作られた洋式高炉は大橋高炉と思われがちであるが、日本で洋式高炉が初めて建設されたのは、1854 年の鹿児島集成館の高炉で、そのあと 1857 年には渡島半島の古武井にも建設されたが、これらの高炉では出銑に至らずに失敗に終わっている。1857 年釜石の大橋、そして翌年橋野にも、同じ参考書をモデルにした洋式高炉が築造され、連続出銑の近代製鉄に成功する。したがって、洋式高炉の操業に成功して、初めて鉄がられたのは大橋ということになり、大橋が近代製鉄法の発祥の地ということになる。また、この釜石地区には大橋 3 基　橋野の 3 基のほか佐比内、砂子渡、栗林地区にも高炉が建設され、、明治の初年にはこれら５ヶ所に１０基の高炉が建設されていたといい、文字通り、「釜石」が、近代製鉄発祥の地になった。



第１図　釜石地方高炉遺跡分布図

幕末の洋式高炉　築造競争表

完成時期	名称	建設場所	
安政元年　７月（1854 年）	集成館	鹿児島県鹿児島市	失敗
安政４年　３月（1857 年）	古武井	北海道函館市	失敗
安政４年 12 月（1857 年）	大橋	岩手県釜石市	成功
安政５年 12 月（1858 年）	橋野	岩手県釜石市	成功


集成館　　大橋高炉



≪日本洋式高炉による近代製鉄発祥の地　大橋鉄鉱山(製鉄所)へのアクセス≫

花巻から西へまっすぐ北上山地を突き切って三陸海岸の釜石に出る釜石線。遠野を出て北上山脈にぶつかり、この険しい(東)仙人峠を越えるため、トンネルとΩループで下り降りたあと、甲子川に沿って下って釜石に出てゆく。

仙人峠を越えて、Ωループをトンネルで出てきたすぐに陸中大橋駅があり、川を挟んで反対側にΩループに入る釜石線と仙人峠を一機にトンネルで抜けてゆく自動車道路が山腹を抜けてゆく。

ここには日鉄鉱業の鉱山(釜石鉱山)があり、この旧鉱山事務所付近が、わが国最初の洋式高炉操業に成功した大橋高炉のあったところで、そのすぐそばに大橋高炉跡の碑が立っている。

今はこの事業所も休止され、樹木に包まれた深い谷　間を甲子川が流れ下るひっそりとした場所である。

この山中に大橋高炉が建設された理由には次の条件が備わっていたからと言われている。

1. この山中で鉄鉱石が産出されたことと同時に豊富な木炭資源がある。
2. 高炉に羽口を通じて、大量の送風を可能とする水車の動力源である谷川がすぐそばにある。
3. この釜石周辺では昔から餅鉄や砂鉄を原料としたたたら製鉄が広く行われ、優れた鉄鍛冶職人と技術があった。

≪日本最古の洋式高炉が残る橋野鉄鉱山(製鉄所)へのアクセス≫

大橋からは北に山を一つ隔てた鵜住居川の上流域にある橋野もその立地条件はほぼ大橋と同じあり、大橋はすでに高炉があった場所が完全に失われているのに対し、橋野では深い森の中、現在も３基の高炉がそのまま残っており、高炉を含め、鉄山跡がそっくりそのまま静かな谷間の森の中に残っている。

この橋野へ行くには、かつての遠野-鵜住居を結ぶ険しい山越の街道筋にあり、釜石からだと一旦海岸沿いの鵜住居に出て、そこから鵜住居川に沿って、約 25km 遡らねばならないが、遠野からだと笛吹峠越約 15km で橋野へ出られる。

ただし、遠野・釜石いずれからも　路線バスなど交通アクセスは現在なく、車かタクシーに頼らねば行くことができぬ。

陸中大橋も　釜石線の駅そして数本釜石市街地から路線バスがあるとはいえ、交通アクセスは悪く、両方ともじっくり事前アクセス検討が必要。要注意である。

日本の近代製鉄発祥の地 「釜石鉄山の大橋」 釜石市陸中大橋

大島高任の指導のもと、釜石鉄山の大橋に洋式高炉が完成。
安政4年(1858) 12月1日 日本初の洋式高炉法による出銑に成功。 この日を鉄の記念日にしている。
輸入に頼っていた反射炉用材料の銑鉄を国産し、近代製鉄技術発展の原点となる

大砲鋳造の技術者として水戸藩に招かれた南部藩士大島高任は亀裂の入りにくい砲身の製作には、「古来のたたら製鉄で作られた砂鉄銑から鉄鉱石を使った近代高炉法による良質な銑鉄製造に切り替えることが不可欠」とし、鉄鉱石を産出し、しかも 古くからのたたら製鉄の盛んな地域で、製鉄技術者のいる釜石の大橋に洋式高炉を建設。高炉法による銑鉄の製造を目指した。そして、1858年の旧暦12月1日、高炉に火入れが行われ、銑鉄の製造が開始された。 日本でも大規模な製鉄業が本格的に始まり、釜石が日本近代製鉄発祥の地と言われるようになった。

大橋の高炉は その後明治はじめころまで稼働しましたが、大橋が官営製鉄所の選鉱場に決まったため明治7年に廃業となり、翌8年に取り壊された。







釜石鉄山大橋高炉跡の碑と碑文

史蹟釜石鉄山大橋高炉跡の碑と碑文

此処は日本近代製鉄発祥の地である。大橋山一帯は磁鉄鉱と黄銅鉱を主とする鉱石が豊富に埋蔵されている。
これが享保12年 (1727) 公儀御薬草御用阿部友之進によって発見された。これを起因に、安政3年(1856)11月、大島高任は貫洞瀬左衛門とともに高炉築立を藩に願い出て許可をうけ、翌年苦心のすえ1座が完成。
安政4年(1857)12月1日 歴史的洋式高炉の出銑に成功した。 後 慶応年間迄に大橋に3座の高炉が構築されている。
現在12月1日を「鉄の記念日」と定められている。 昭和58年10月 釜石市教育委員会







西田進氏Home page 日本の近代化遺産(2) 製鉄業 http://www.nishida-s.com/ima/ichiran/ima033/setsetsu.php?id=4
4製鉄業の近代化遺産を訪ねる 4-2-3 釜石鉱山と大橋高炉跡 より、地図・photo 抜粋させていただきました



世界産業遺産登録を目指す日本近代製鉄発祥の地 「釜石」

現存する日本最古の高炉跡　橋野鉄鉱山（製鉄所）の概略



橋野は釜石市橋野町に所在する現存最古の洋式高炉跡。国の史跡に指定（1957年）されている。

釜石の北西部に位置し、遠野から北上山地の分水界笛吹峠を越えて鵜住居川に沿って　沿岸の釜石市鵜住居・大槌に出る県道の途中　分水界を釜石側に越えた鵜住居川の源流域　青木ケ原にある。大橋とは厳しい山々を挟んで北西側の位置にあり、この山中や鵜住居川流域からも鉄鉱石・餅鉄を産出する。

橋野（現釜石市橋野町青ノ木）の高炉は、大橋での高炉操業の成功から、盛岡藩が製鉄業に乗り出して、大島高任などの指導により、　安政5（1858）年に仮高炉での操業に成功。これが橋野鉄鉱山の始まりで、その後　1860（万延元）年ごろにかけて、一番高炉・二番高炉を建設。　高島高任が建設した仮高炉を改修して三番高炉とし、高炉3基が建設された。
さらに、　釜石地域では明治初期までに7か所13基の高炉が建設されましたが、橋野は当時国内最大の鉄鉱山（製鉄所）だった。

大橋・橋野の高炉はいずれも「ロイク国立鋳砲所における鋳造法」を設計モデルにして築造されたため、ほぼ同じ構造であるという。

1957年国指定史跡となっている。
また、現存する日本最古の高炉跡である橋野高炉跡は、大橋地区釜石鉱山や釜石製鉄所内遺産などと共に日本近代製鉄発祥の地「釜石」の中核産業遺産として、世界産業遺産登録を目指している



三番高炉　元治元年(1864)以降にここにあった仮高炉を改修して築造一番・2番高炉が廃棄後も、橋野が明治27年(1894)閉鎖されるまで稼働していた。







一番高炉（湯出し口より）



一番高炉の図





二番高炉（ふいご座より）



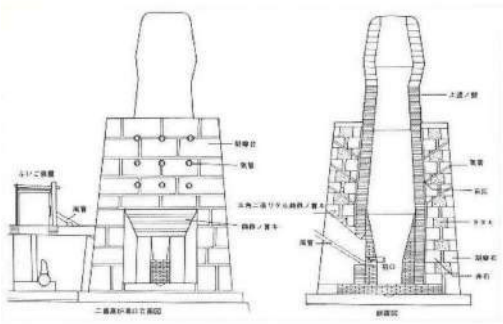
二番高炉の図

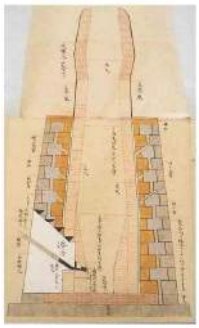


三番高炉（湯だし口より）



この仮高炉を改修して三番高炉が築造
絵図にみられる仮高炉





橋野高炉の構造

現在の高炉跡には高炉の一番外側の花崗岩石組みしか残っていないが、
高炉は外側から花崗岩→タタキ石→甘(丼)石(凝灰岩系の石?)→石灰→耐火煉瓦
という順で組み立てられている。





橋野高炉跡　大門左手三番高炉跡がある北西側台地に広がる主要遺構群　遠望　**2014.6.7.**

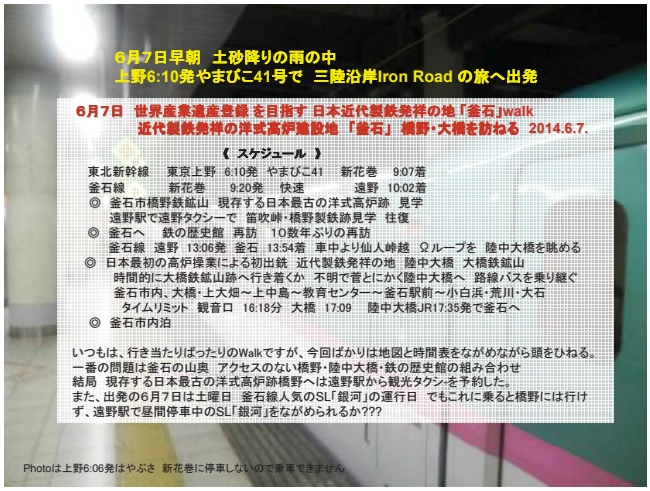


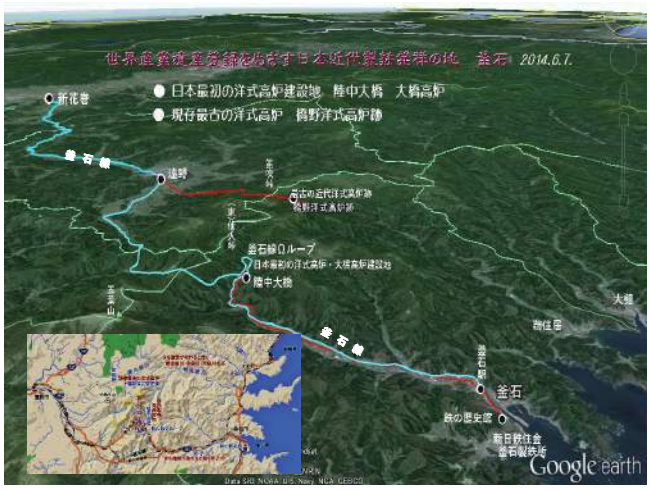
橋野高炉跡　大門右手　南西側　二番・一番高炉跡がある森に広がる主要遺構　遠望　**2014.6.7.**

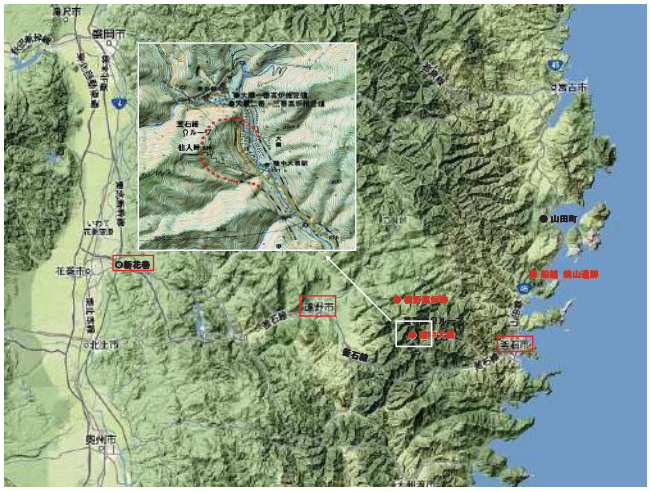

東北 三陸沿岸のIron Roadを訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9
世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地
<詳細版> 1. 近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石」 橋野・大橋を訪ねる 2014.6.7. <スライド動画>
1407sanriku00.htm 2014.7.5. by Mutsu Nakanishi
SL銀河
近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 釜石の橋野・大橋鉄鉱山を訪ねる 2014.6.7.
<詳細版> 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる
震災後 初めて 三陸沿岸の製鉄遺跡関連地の再訪
「釜石」近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石の橋野・大橋鉄鉱山」を訪ねる
古代製鉄の謎を産業革命遺産が解くかも?
5G衛星経由も能登男 そして 岩泉洋 普代浜 を訪ねる
普代から久慈・八戸へ 早坂浜の 有家海岸 & 種差海岸
三陸の街の今 コメントなしのPhoto集です


三陸鉄道 情熱復活物語 笑顔をつなぐ、ずっと。
1
2


東北太平洋側沿岸 三陸沿岸のIron Road 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9.
三陸沿岸 の Iron Road
1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地「釜石」WALK
近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石」 橋野・大橋を訪ねる 2014.6.7.
釜石線
陸中大橋 Ωループ
釜石
山田町船越 古代の律山製鉄遺跡
© 2014 ZENRIN
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO


6月7日早朝 土砂降りの雨の中
上野6:10発やまびこ41号で 三陸沿岸Iron Road の旅へ出発
6月7日 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地「釜石」walk
近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石」 橋野・大橋を訪ねる 2014.6.7.
《 スケジュール 》
東北新幹線 東京上野 6:10発 やまびこ41 新花巻 9:07着
釜石線 新花巻 9:20発 快速 遠野 10:02着
◎ 釜石市橋野鉄鉱山 現存する日本最古の洋式高炉跡 見学
遠野駅で遠野タクシーで 笛吹峠・橋野製鉄跡見学 往復
◎ 釜石へ 鉄の歴史館 再訪 10数年ぶりの再訪
釜石線 遠野 13:06発 釜石 13:54着 車中より仙人峠越 Ωループを 陸中大橋を眺める
◎ 日本最初の高炉操業による初出鉄 近代製鉄発祥の地 陸中大橋 大橋鉄鉱山
時間的に大橋鉄鉱山跡へ行き着くか 不明で昔とにかく陸中大橋へ 路線バスを乗り継ぐ
釜石市内、大橋・上大畑～上中島～教育センター～釜石駅前～小白浜・荒川・大石
タイムリミット 観音口 16:18分 大橋 17:09 陸中大橋JR17:35発で釜石へ
◎ 釜石市内泊
いつもは、行き当たりばったりのWalkですが、今回ばかりは地図と時間表をながめながら頭をひねる。
一番の問題は釜石の山奥 アクセスのない橋野・陸中大橋・鉄の歴史館の組み合わせ
結局 現存する日本最古の洋式高炉跡橋野へは遠野駅から観光タクシーを予約した。
また、出発の6月7日は土曜日 釜石線人気のSL「銀河」の運行日 でもこれに乗ると橋野には行けず、遠野駅で昼間停車中のSL「銀河」をながめられるか???
Photoは上野6:06発はやぶさ 新花巻に停車しないので乗車できません


世界産業遺産登録を目指す日本近代製鉄発祥の地 釜石 2014.6.7.
新花巻
● 日本最初の洋式高炉建設地 陸中大橋 大橋高炉
● 現存最古の洋式高炉 橋野洋式高炉跡
釜石線
遠野
釜石の近代洋式高炉跡
橋野洋式高炉跡
釜石線Ωループ
日本最初の洋式高炉・大橋高炉建設地
陸中大橋
大橋
釜石線
釜石
鉄の歴史館
新日鉄住金 釜石製鉄所
Google earth


遠野市
釜石市
大槌町
花巻市
北上市
奥州市
陸中大橋
釜石線
釜石駅
橋野鉄鉱山


近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 釜石の橋野・大橋鉄鉱山を訪ねる 2014.6.7.
1
2





東京から約3時間　北上市周辺　北上川の鉄橋を渡ると間もなく新花巻　2014.6.7.

このあたりまで北上すると　土砂降りの雨もほぼ止んでラッキー　でも奥羽山脈の山並みは雲の中で　全く見えない

「あの高嶺　星すの空の　その星雲　久遠の real

この大地　燃えたつ火の ろ　ここは 北上　－　北上市市民憲章　」

北上川を眺めこの詩を思い浮かべると、毎度ながら「東北にやってきたと思う



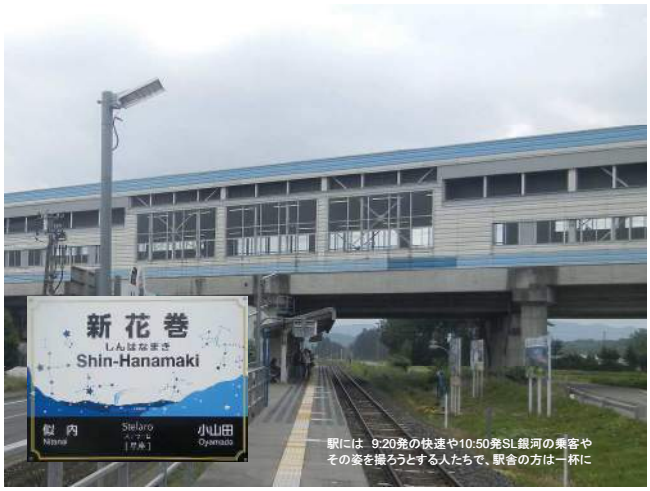
新花巻駅　2014.6.7.

釜石線の新花巻駅は新幹線とクロスした地上駅　一旦改札を出て南へ歩く。

通路にはSL銀河の旗が一杯　人気のSLである。



釜石線　別名「銀河鉄道」に乗って遠野・釜石へ



駅には　9:20発の快速や10:50発SL銀河の乗客や

その姿を撮ろうとする人たちで、駅舎の方は一杯に



新花巻駅　9:20発の快速「はまゆう」入線　2014.6.7.



新花巻から遠野に向かうジーゼル快速　2014.6.7.

銀河鉄道に乗って　遠野・釜石へ

花巻-遠野-仙人峠(陸中大橋)-釜石



天狗に蹴られて裂けたという出羽神社・羽黒岩への入口にある天狗の下駄のモニュメント

綾織村字山口の羽黒様では、今あるとがり岩という大岩と、矢立松という松の木とが、おがり（成長）競べをしたという伝説がある。

高さ9mの巨岩の方は 頭が 少し欠けているが、これは天狗が石の分際で、樹木と丈競べをするなどけしからぬことだと言って、下駄で蹴欠いた跡だといって いる。 こんな遠野の伝説があるという。




遠野駅


日本最古の洋式高炉跡が残る橋野高炉跡へ
遠野より 県道35号線笛吹峠越をタクシーで
橋野洋式高炉跡は釜石市であるが、釜石側からだと鵜住居から鵜住居川沿いの県道35号線を遡らねばならず、遠野から笛吹峠越の方がはるかに近く、アクセスも良い
笛吹峠
橋野洋式高炉跡
鵜住居
遠野駅
観光タクシーで橋野へ
県道35号釜石遠野線
釜石駅
釜石港の製鉄所
旧釜石鉱山大橋
大橋洋式高炉推定地
陸中大橋駅
仙人峠
釜石線Sループ
釜石線 Sループ トンネルで
険しい仙人峠を越えて釜石へ


遠野と釜石鵜住居を結ぶ 県道35号釜石遠野線 通称大槌街道を橋野へ 2014.6.7.
震災直後にはこの険しい笛吹峠越の道が鵜住居→大槌・山田への資材輸送路となったと聞く


笛吹峠周辺からまた土砂降り 遠野駅から約30分ほどで 青木が原 橋野高炉跡への分岐点に
ひとっこひとりいない山中である


雨に煙る大橋高炉跡がある青ノ木原 2014.6.7.
笛吹峠を越えてまもなく、右手道路の下方に突然数軒の人家がみえ、その奥が橋野高炉跡だと運転手さんが教えてくれる


鵜住
35
橋野高炉跡


橋野高炉跡
Hashino Blast Furnace Relics
青ノ木
ーンパーク
橋野高炉跡を
県道35号線 橋野高炉跡への入口 ここから下の青ノ木原の谷筋へ下る


谷筋の青ノ木原におりると こんな山深い地にまるで隠れ家のごとく数軒人家が見える



10:30 橋野高炉跡　大門駐車場前に到着　2014.6.7.
このすぐ手前に　橋野高炉インフォメーションセンターがあるのですが、タクシー素通りで　帰りにたちよることに。
また、ここでタクシーに待ってもらう。　タイムリミット　11:30とする



橋野高炉跡 橋野鉄鉱山　大門　駐車場前　2014.6.7.



橋野高炉跡への入口　橋野鉄鉱山　旧大門　2014.6.7.
この入口から奥　右手南側から北へ流れ下る谷川沿いの山裾台地に3基の洋式高炉跡を中核に製鉄諸施設の遺構が残る橋野鉄鉱山（製鉄所）跡が広がっていました



南から北へ流れ下るこの谷川を東へ渡ると
この谷川に沿って　南北に広がる橋野鉄山の入口　大門　2014.6.7.
この谷川の北方一番上から　3基の現存する最古の高炉跡が広がる橋野鉄山内に
水路を引きこみ、高炉へ風を供給している



橋野鉄鉱山の入口　旧大門　2014.6.7.
大門正面から左右にY字に坂道が伸びていて　その分岐の角に橋野鉄山の案内板　右への道の傍らに「史跡　橋野高炉跡」の石碑が立ち、　案内板の後の台地の橋にも碑がみえる。
案内板には　橋野鉄山の概略解説や橋野鉄山の3基の高炉などの諸施設の配置図が示されている。

◎ Y字分岐の左分岐の台地に3番高炉跡
◎ 正面Y字中央が御日払所などの鉄山経営事務所
◎ 右分岐谷川沿いの緩い坂道を登ってゆくと2番高炉跡と1番高炉跡がある。



旧大門の案内板　橋野高炉跡案内　2014.6.7.





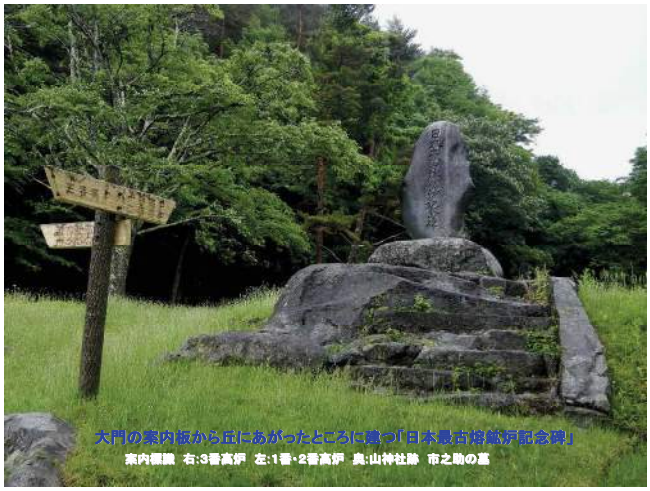
釜石鉄の歴史館展示より



大門の案内板の横から　坂道を登って台地の上にあがる。大門に入る谷川のところからは
思った以上に高くなっていて、この台地が谷川に沿った山裾の傾斜地と知れる



大門の案内板の横から　坂道を登って台地の上にあがると、
南から北への山裾　森に囲まれたなだらかな傾斜地に　細長く　橋野鉄山関連施設の遺構が
広がっていました。坂道のすぐ南側高台には左右の高炉跡案内標識とともに、
「日本最古熔鉱炉記念碑」がありました。

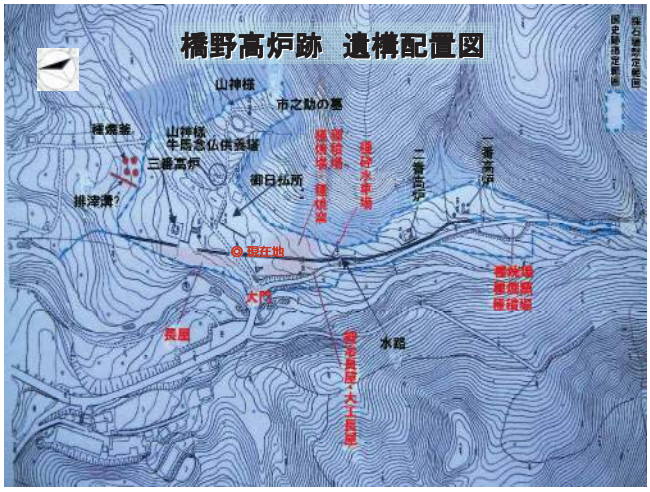


大門の案内板から丘にあがったところに建つ「日本最古熔鉱炉記念碑」
案内標識　右:3番高炉　左:1番・2番高炉　奥:山神社跡　市之助の墓





橋野高炉跡　大門左手三番高炉跡がある北西側台地に広がる主要遺構群　遠望　2014.6.7.



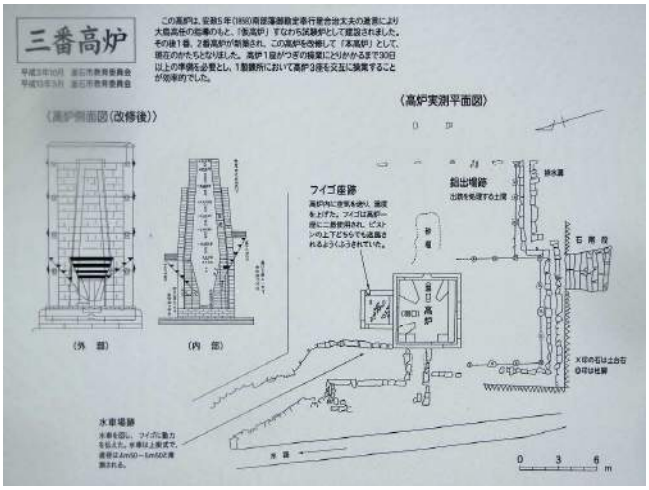


橋野高炉跡　大門右手　南西側　二番・一番高炉跡がある森に広がる主要遺構　遠望　2014.6.7.

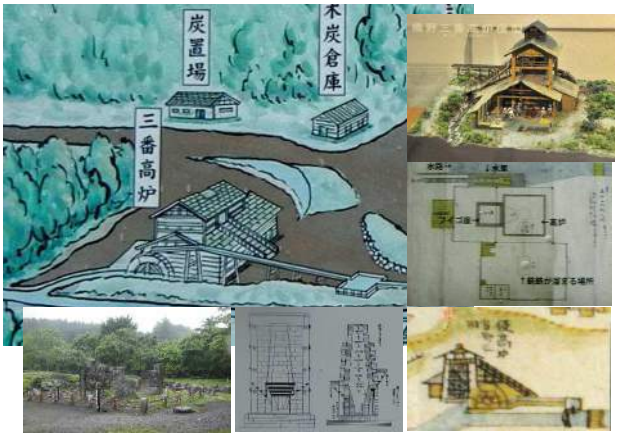




三番高炉　元治元年(1864)以降にここにあった仮高炉を改修して築造一番・2番高炉が廃棄後も、橋野が明治27年(1894)閉鎖されるまで稼働していた。

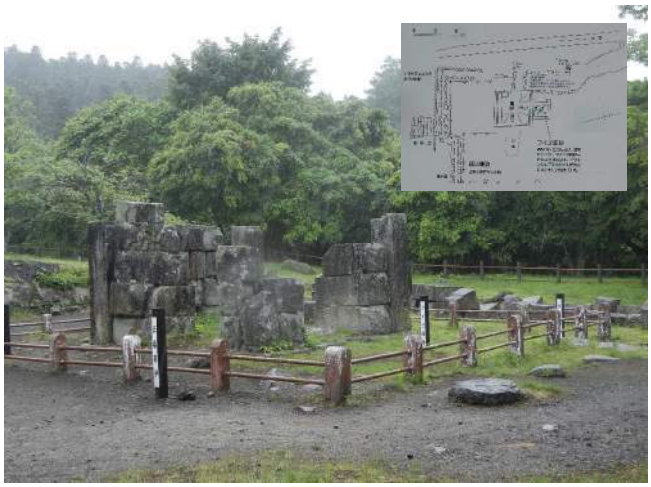


この初期の洋式高炉は どんな風に建屋におさまっていたのだろうか？





三番高炉　水路跡　2014.6.7.







水路沿いより北側の3番高炉跡を眺める　2014.6.7.

3番高炉跡から水路沿いを歩いて　記念碑の中央部のところに戻り、
さらに南東側　山麓　台地の御日払所　南東側山麓の林の中にある山の神を見に行く






山の神 鳥居前
御日払所跡






台地の東側樹木の緑に覆われた山腹　林の中に　山の神様　山神社跡　2014.6.7.


台地東北隅から　3番高炉跡・御日払所跡の石組を眺める　2014.6.7.
東側山裾に沿う小さな湿地にはクリン草が咲き始めていました　2014.6.7.


東側山裾に沿う小さな湿地にはクリン草が咲き始めていました　2014.6.7.


台地東北隅から　御日払所跡の石組を眺める　2014.6.7.
東側山裾に沿う小さな湿地にはクリン草が咲き始めていました


一旦中央の大門の案内板の所へ戻って南側森の台地の2番・1番高炉跡へ　2014.6.7.







大門の所から北へ谷川に沿って登ってゆく　奥に高炉跡が見える

ちょうど大門のところまで東の山裾がY字状に山が張り出し、山裾と谷川に挟まれた坂道を登ってゆく。道の左、台地側には、南奥で分水された水路が奥から伸びている



2番高炉跡　2014.6.7.



2番高炉跡　2014.6.7.

2番高炉は1番高炉と共に万延元年(1860)または万延2年(1861)に完成され、明治4年(1871)年に破棄されたと聞く



2番高炉跡のさらに南奥に一番高炉跡を眺める2014.6.7.



一番高炉跡　2014.6.7.

1番高炉は2番高炉と共に万延元年(1860)または万延2年(1861)に完成され、明治4年(1871)年に破棄されたと聞く



一番高炉跡のさらに谷奥に水路取り入れ口がありました。 2014.6.7.









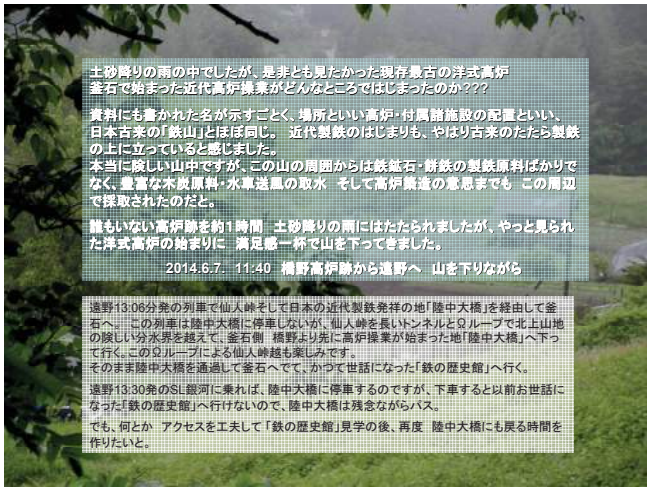


帰りに立ち寄った橋野高炉インフォメーションセンター。地元のボランティアの方がつめていて、大歓迎で橋野高炉跡の展示と共に色々お話を聞くことができました。
また、室内図にも示されていたこの釜石での一連の洋式高炉操業の様子を示した「紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図」のビデオを見せていただき、これもクリアーな画像に撮ることができました。





3番高炉跡に建っていた案内板より



土砂降りの雨の中でしたが、是非とも見たかった現存最古の洋式高炉
釜石で始まった近代高炉操業がどんなところではじまったのか???

資料にも書かれた名が示すごとく、場所といい高炉・付属諸施設の配置といい、日本古来の「鉄山」とほぼ同じ。近代製鉄のはじまりも、やはり古来のたたら製鉄の上に立っていると感じました。
本当に険しい山中ですが、この山の周囲からは鉄鉱石・銑鉄の製鉄原料ばかりでなく、豊富な木炭原料・水車送風の取水　そして高炉操業の意思までも　この周辺で採取されたのだと。

誰もいない高炉跡を約1時間　土砂降りの雨にはたたられましたが、やっと見られた洋式高炉の始まりに　満足感一杯で山を下ってきました。

2014.6.7.　11:40　橋野高炉跡から遠野へ　山を下りながら

遠野13:06分発の列車で仙人峠そして日本の近代製鉄発祥の地「陸中大橋」を経由して釜石へ。この列車は陸中大橋に停車しないが、仙人峠を長いトンネルとループで北上山地の険しい分水界を越えて、釜石側　橋野より先に高炉操業が始まった地「陸中大橋」へ下って行く。このループによる仙人峠越も楽しみです。
そのまま陸中大橋を通過して釜石へでて、かつて世話になった「鉄の歴史館」へ行く。

遠野13:30発のSL銀河に乗れば、陸中大橋に停車するのですが、下車するとお前お世話になった「鉄の歴史館」へ行けないので、陸中大橋は残念ながらパス。

でも、何とか　アクセスを工夫して「鉄の歴史館」見学の後、再度　陸中大橋にも戻る時間を作りたいと。

12時過ぎに遠野の町に帰って、運転手さんに教えてもらって、
遠野の名物「ひっつみ」の昼ご飯を済ませて、ぶらぶら歩いて遠野駅へ







遠野駅につくと、期待通り、向こうのホームに13:30発のSL銀河が停車中で、 多くの人が写真撮影に群がっていました。 今回は先に釜石まで行く快速に乗って、 陸中大橋 Ωループを体験しながら、釜石へ　10数年ぶりの東仙人峠越である

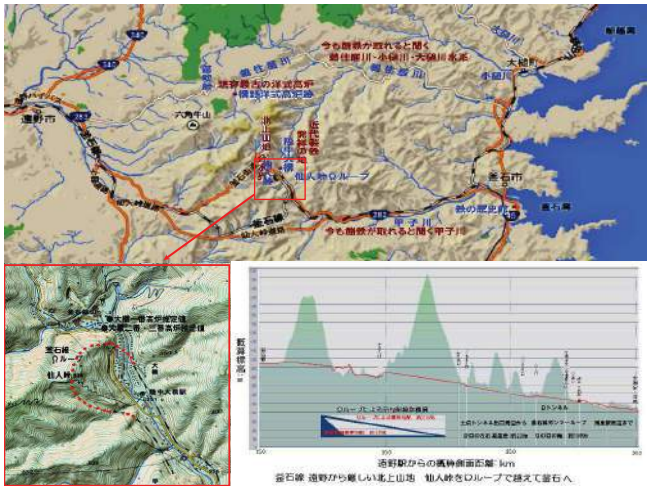


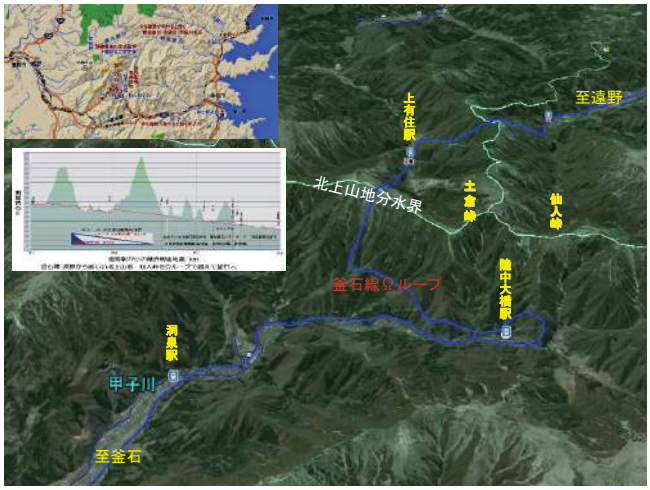


SL銀河で仙人峠越えをしたいが、残念ながらスケジュールが合わない











13:06　遠野を出発した列車が田園地帯を走り抜け、15分ほどでいよいよ北上山地の山間へ入ってゆく。



13:25　足ケ瀬駅を過ぎ、すぐ長いトンネルを抜けると　上有住駅の近く　仙人峠道路の滝観洞ICが下に見え、随分高いところを通過中。　すぐに上有住駅を通過する。　いよいよ　仙人峠を越えるΩループに入る。

遠野から釜石へ　釜石線Ωループ北上山地仙人峠越<1>



長いトンネルで険しい北上山地の分水界を越えて　釜石側陸中大橋のΩループへ



陸中大橋　Ωループ　　Ωループの反対側の線路そして陸中大橋駅が見える



陸中大橋駅を通過中

遠野から釜石へ　釜石線Ωループ北上山地仙人峠越<2>





陸中大橋　釜石線Ωループの反対側線路が道の向こうにあるはずですがよくわからない



陸中大橋　釜石線Ωループの反対側線路が道の向こうにあるはずですがよくわからない



釜石線Ωループの反対側線路鉄橋　陸中大橋



釜石線Ωループの反対側線路鉄橋　陸中大橋





Ωループ の出口　口のくびれの角にあたる甲子町周辺で　写真奥が釜石の方向









久しぶりに訪れた「釜石鉄の歴史館」正面　　2014.6.7.

岬の高台にあるため、津波を免れ、震災時にはフェリーボートなど自衛隊の救援基地になったと聞く。
今日は　雨は小降りになったとはいえ、岬周辺には霧がたちこめ、以前見た釜石湾の姿は見えず。


2002年9月に訪れた時の鉄の歴史館からの景色




気になっている岩手県小林家に伝わる「大槌銅屋(どうや)鍛冶絵巻」

北上山中における製鉄のようすを表わしていて、「大道2年」と記されており、「大同2年(802)」とも考えられるが、明らかになっておらず、慶長年間とする説もある。



皮ふいごを使った製鉄の様子



鍛冶の様子

岩手県小林家に伝わる「大槌炯屋(どうや)鍛冶絵巻」より　製鉄・鍛冶の様子





陸中大橋の地に日本で最初の高炉操業を行った大橋高炉のパネルより抜粋



陸中大橋の地に日本で最初の高炉操業を行った大橋高炉のパネルより抜粋

鉄鉱石・餅鉄を産出する甲子川上流域　仙人峠の陸中大橋に建設された日本最初の洋式高炉　現在はもう休止した釜石鉱山の事務所がその高炉跡地といわれ、その傍らに大橋高炉を築造した大島高任の顕彰碑がある

約1時間「鉄の歴史館」を見学。 3時過ぎ。 時間的に無理とあきらめていましたが、鉄の歴史館の人たちとはなしたり、展示パネルを見ていて　やっぱり「近代製鉄発祥の地　陸中大橋」の地に立ってみたいと。





観音口から釜石港をながめながら、釜石駅前を通り抜けて、甲子川沿い釜石の街中を抜けてゆく



上大畑は新仙人峠道路と国道との分岐点の小さな集落　てっきり 大橋への乗り継ぎバスがあると思っていましたが、今日は土曜日 乗り継ぎもできず、タクシーも呼べず
約1時間両の中 次の大橋行最終便を待つしか仕方なしに

15:10 陸中大橋行のバスに乗れば、何とか行けると 観音口のバス停へ急ぎ、陸中大橋の途中まで行くバスに飛び乗る。
甲子川をさかのぼって、大橋の手前の上大畑の向こうも乗り継げると聞いて、途中のあとは何とかなると…
この時間 陸中大橋への列車があったのに、釜石線はないと思い込んでそのままバスに乗って上大畑へこれが間違いでしたが･･･





土砂降りの夕暮れ　釜石線　陸中釜石駅前　2014.6.7.

結局陸中大橋駅に着いたのは5:10 土砂降りの夕暮れ。釜石行きの列車は5:38 そのあとは20:23までなし。 高島高任の碑がある旧釜石鉱山事務所前まで行くと釜石へ帰れないと聞いて、結局駅前から旧釜石鉱山を眺めて、次の列車で釜石へ戻りました。







陸中大橋駅前　　ぼけてしまいましたが、
「釜石街道仙人峠登り口」の道標がありました　　2014.6.7.



陸中大橋駅　北側　「釜石街道仙人峠」への入口の谷　　2014.6.7.





夕暮れ　だれ一人いない　土砂降りに煙る陸中大橋駅　　2014.6.7.夕
自然と「**あの高嶺　鬼すむ跡り　その瀬音　久遠の賢歌　この大地　燃えたついのち　ここは 東北**」と口にする
・ 北上市市民憲章より －「北上」を「東北」に



日本初の高炉による近代製鉄発祥の地　大橋鉄鉱山遠望　2014.6.7.夕

駅の北側　トンネルの中でΩループを描いて下って来た列車がトンネルから出てくる　　その地
上部が旧釜石鉱山で　霧雨にその建物が煙ってぼんやり見えている



釜石線が仙人峠をΩループで走り抜ける陸中大橋　2014.6.7.
大橋高炉鉄鉱発祥の地　洋式高炉が初めて建設された地

日本の近代製鉄発祥の地　釜石鉄山の大橋

大島高任の指導のもと、釜石鉄山の大橋に洋式高炉が完成。
安政4年(1858)　**12月1日　日本初の洋式高炉法による出銑に成功。**
この日を鉄の記念日にしている。
輸入に頼っていた反射炉用材料の銑鉄を国産し、近代製鉄技術発展の原点となる

大砲鋳造の技術者として水戸藩に招かれた南部藩士大島高任は亀裂の入りにくい砲身の製作には、「古来のたたら製鉄で作られた砂鉄銑から鉄鉱石を使った近代高炉法による良質な銑鉄製造に切り替えることが不可欠」とし、鉄鉱石を産出し、しかも　古くからのたたら製鉄の盛んな地域で、製鉄技術者のいる釜石の大橋に洋式高炉を建設。高炉法による銑鉄の製造を目指した。そして、1858年の旧暦12月1日、高炉に火入れが行われ、銑鉄の製造が開始された。 日本でも大規模な製鉄業が本格的に始まり、釜石が日本近代製鉄発祥の地と言われるようになった。





大橋高炉絵図



釜石鉄山大橋高炉跡の碑と碑文

大橋の高炉は　その後明治はじめころまで稼働しましたが、大橋が官営製鉄所の選鉱場に決まったため明治7年に廃業となり、翌8年に取り壊された。



西田進氏home page　　**日本の近代化遺産(2) 製鉄業** http://www.nishida-s.com/main/categ4/33seitetsugyou/
4.製鉄業の近代化遺産を訪ねる　4．2．3　釜石鉱山と大橋高炉跡　より、地図・photo 抜粋させていただきました



駅の西側　国道283号線　釜石街道の向こう山腹の中央部を釜石線の線路(電線のあたり)が、
左から右へ下ってΩループのトンネルに入ってゆく



Qループトンネルで仙人峠をかけ下って来た17:38発の列車がトンネルより出てきた







釜石に戻ってきたのは18:00　今日の宿へ甲子川を渡って　釜石の中心大町へ　　2014.6.7.夕

6日は土曜日　外からの復興工事の人が多いのか、釜石での宿は取りにくかったが、やっと泊まれた




釜石駅横　甲子川にかかる大渡橋より大渡大町の釜石の街と三陸鉄道南リアス線鉄橋





復興事業が進む三陸沿岸の中核都市　インフラ工事など関係者でホテルは満杯で　やっと取れました。 食卓には三陸の海の幸がどっさりと‥‥「ホヤ」に「マンボウ」「うにのいちご煮」などなど関西では中々。また今が旬の「生のおおだこ」も。汁には昆布・ワカメほか幾多の海藻。 すべて　生もの　外へだせないのがなやみだとか‥‥
ビールには三陸鉄道のラベル。 隣の席では仕事の疲れを休める三陸の「渇り酒」で一杯が始まっていました。







街の至る所に津波の到達表示、避難経路を示す標識があり、こんな街の中までとびっくり。
でも　三陸の中心都市　街に活き活きした歩みがどこかしこに



復興が始まったといいますが、山間の高台には数多くの仮設住宅がありました。　　2014.6.7.









橋野高炉跡 大門左手三番高炉跡がある北西側台地に広がる主要遺構群 遠望 2014.6.7.



西田進氏home page 日本の近代化遺産(2) 製鉄業 http://www.nishida-s.com/main/cate04/33seitetsugyou/
4.製鉄業の近代化遺産を訪ねる 4.2.3 釜石鉱山と大橋高炉跡 より、地図・photo 抜粋させていただきました

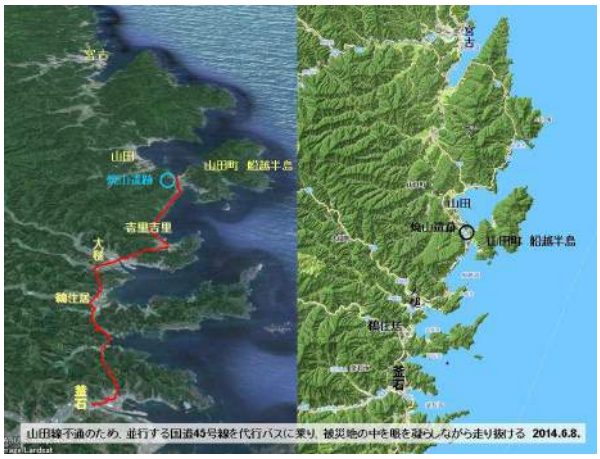




東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9

2. 発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか? 」そんな痕跡を求めて 2014.6.8.





三陸沿岸の Iron Road 製鉄遺跡が連なる山田町へ 山田町船越 発掘調査中の古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」

宮古花崗岩帯の地質が連なる山田町は古くからの鉄資源帯 300 を越える製鉄遺跡がある

2.1. 釜石から山田町船越へ 代行バスで 三陸沿岸の震災・大津波の被災地を走り抜ける

2.2. 船越半島の付け根を南から北へ大津波が半島を横切っていた

2.3. 道の駅山田から少し国道を戻って 船越の集落から焼山遺跡へ

2.4. 古代平安時代の製鉄遺跡「焼山遺跡」2014 年緊急発掘調査現場見学

2.5. 道の駅「やまだ」へ戻って 船越半島の付け根「浦の浜」へ降りる

古代の製鉄遺跡が300以上ある山田町 宮古花崗岩帯から流れ出た砂鉄が浜にある

2.6. 大津波の傷跡が残る山田町を走り抜けて、宮古へ

【参考】 古代三陸で行われた鉄生産技術について

三陸山田湾沿岸の古代製鉄関連遺跡 竪型炉と横型炉 そして 鞴の技術に着目して

◆ *三陸沿岸復興事業推進で進む幾多の遺跡の緊急発掘調査で古代三陸の製鉄がベールを脱ぐ*

● 焼山遺跡（山田町）の製鉄炉

焼山遺跡は、JR船越駅と山田道路との間に挟まれた、南東に開けた谷の北側斜面地に位置しています。

写真は、古代の製鉄炉です。炉の直径は約60cm、円形に掘り込まれています。底には鉄滓が付着しています。左側には鞴から空気を送り込むための羽口が見えます。羽口の太さは約8cmあり、先端が炉内に出るように設置されています。当時の製鉄炉（3頁：想像図）は中から鉄を取り出すために、ほとんどが壊されますから、このように羽口が操業当時の位置をとどめた状態で出土することは珍しいと言えます。羽口の設置位置や角度など、この製鉄炉は多くの情報を私たちにもたらしてくれます。

古代から続く岩手の鉄文化の謎に迫る貴重な資料です。



三陸沿岸の Iron Road Walk 2日目７月８日天候は霧雨

霧雨ですが、今日はいよいよリアス式海岸が続く三陸沿岸を釜石から北へ。大震災の津波が直撃した被災地。

現在も山田線復旧の見込みは建たず、代行バスが釜石－山田-宮古をむすび、その北は４月に全通した三陸鉄道が久慈へと沿岸を結ぶ。 また、虫食い着工されていた三陸沿岸縦貫道路の建設工事が三陸沿岸アクセスの切り札として今最優先で進められている。

この復興道路がめぐる三陸沿岸山裾の高台は縄文時代からの人の暮らしの場所であり、数々の遺跡が眠っている。特にこの三陸沿岸は宮古花崗岩に覆われ、古くからの鉄資源帯で、山や川・浜は砂鉄の宝庫で、この砂鉄を原料に、山裾の谷筋・枝尾根を利用して製鉄がおこなわれ、点々と古代からの製鉄遺跡が眠っている。

特に山田町周辺には３００を越える製鉄遺跡が確認されており、また東北でも一番古い部類に入る８世紀後半の製鉄遺

跡上村遺跡もみつかり、また、蝦夷が手にして大和と戦った蕨手刀も出土するなど東北の製鉄の先進地でもあり、「金山」。この「金山」を手に入れたくて、大和王権は蝦夷征伐・東北侵攻を行ったともいわれている。

午前中に山田町船越で緊急発掘調査が進められている古代製鉄遺跡「焼山遺跡」の発掘地現場を見学し、三陸沿岸の古代の Iron Road の状況について、知見が得られれば・・・・と。

また、午後は宮古から「三陸鉄道」に乗車して、20 数年前に訪れた岩泉・普代など北三陸沿岸の Iron Road を訪ねる。

宿はその時泊まった普代黒崎の国民宿舎が取れているので、

足の向くまま　　気の向くまま三陸の Iron Road を歩く。

気持ちを引き締めてあるかねば・・・・・と。



山田町 古代の製鉄遺跡(一部)
山田町には300を越える製鉄遺跡があり、蕨手刀も出土と聞く
古代の大製鉄地帯　蝦夷の鉄生産基地のロマンを秘めている

古代大和の東北征伐の一因と言われる北上山地に眠る「金の山」。そしてその北上山地を三陸沿岸に越える仙人峠。

その名が示すとおり、厳しい北上山地で隔てられた製鉄資源帯 三陸沿岸。

大和に対抗した蝦夷たち　その手には後に日本刀の原型となった蕨手刀。　「大和に抵抗した蝦夷たちの力の源泉　鉄の生産基地が三陸ではないか」　　そんな鉄のロマンをこの三陸沿岸の IRon Road にずっと抱いている。

東北での製鉄技術流出を恐れ、厳しく統制管理していた大和。

そんなな時代に蝦夷たちは日本刀のルーツというべき、優れた蕨手刀を持って戦った。

蝦夷たちは、大和とは異なる製鉄技術のルートを持ち、優れた鉄器を有してい居た。

古代の製鉄遺跡が数多くあり、蕨手刀も出土しているこの三陸が、その蝦夷の鉄生産基地がではないか?

そんな痕跡が、この三陸沿岸 Iron Road の Walk でみつかれば・・・・と。一番の興味である。

特に山田町の山裾には古代の製鉄遺跡をふくめ、300 を越える製鉄遺跡が確認されている製鉄地帯。　今も緊急発掘調査で 9 つの製鉄遺跡が発掘調査されていると聞く。

「発掘中の古代製鉄遺跡『焼山遺跡』の発掘現場が今だったら見られる」と聞いて、三陸の古代製鉄遺跡の発掘現場が勅にみられるまたとないチャンスであり、ベールを被る蝦夷の鉄の知見も得られるかもしれないと胸ワクワクです。

また、代行バスから乗り継いで　４月全通した三陸鉄道に乗るのも楽しみ。

20 数年前岩泉・龍泉洞から三陸沿岸に出て、満員の三陸鉄道の列車に乗ってふっと思いたって降りた普代。「北緯 40 度地球村普代」の言葉が印象に。　また、その翌日久慈のたたら館を訪ねる中で、「Iron Road」の言葉とイメージができた懐かしい地。　今日はどうなるか　風来坊。

まずは　しっかり被災地を目に焼き付けつつ、山田町船越の製鉄遺跡へ向かう


緊急の発掘調査が進む三陸沿岸
【参考】 山田町船越の古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる
焼山
沢田Ⅲ
●市町村教育委員会の調査
●埋蔵文化財センター等の調査
復興事業推進のため三陸沿岸で進む遺跡発掘調査
岩手県埋蔵文化財センター所報「わらびて」129号 2014.2.28.より
三陸沿岸は古代からの鉄鉱石・砂鉄の資源帯であり、海岸段丘の山裾には古代から点々と製鉄遺跡がある。
今、復興道路や住宅建設などの震災復興事業推進の発掘調査の中で、数々の遺跡発掘調査が行われ、数々の製鉄関連遺跡の遺構・遺物が明らかになっている。 中でも 山田町の山裾からは 次々とが所にも及ぶ古代の製鉄遺跡が発掘され、古代の製鉄炉など古代三陸の製鉄が解き明かされるのではないかといわれる。
山田町船越の滝を臨む丘の斜面から羽口が差し込まれた形のまま古代の製鉄炉が発見されたと聞いて、釜石から宮古への代行バスの途中にある山田町船越の「焼山遺跡」そして 船越浜の砂鉄を見学してきました。
発掘調査が進む古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」 2014.6.8.


現在発掘中の10世紀後半から11世紀の製鉄遺跡
山田町船越「焼山遺跡」
蕨手刀3振り他多数の刀剣類を副葬
8世紀蝦夷の古墳群 山田町 房の沢古墳群

発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる
鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」
2.1.　釜石から山田町船越へ　　代行バスで　震災・大津波の被災地を走り抜ける





霧雨が降り仕切る中、釜石市役所前　7:50 発「道の駅やまだ」行の代行バスで出発する。午前中に山田町船越の山裾にある現在発掘調査中の古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」を見学して、午後　宮古に出て　そこから三陸鉄道に乗って岩泉・普代まで行く。　一応　バスや列車の時刻表は調べてあるので、何とかなる。
でも　この土砂降りの雨　バスに待っている分には心配ないが、どうなることやら。
最初の目的地山田町船越の焼山製鉄遺跡はこの代行バスの終点「道の駅やまだ」のすぐ南東側の山裾。釜石から、国道４５号線を北へ　被災地の鵜住居・大槌町を通り抜けて、山田町船越まで　約５０分。　大津波の被災地の中を通り抜けてゆく。　また、焼山遺跡の位置はすでに地図で場所も分かっているので、心配なし。
　今日は土砂降りの雨の日曜日の早朝なので、バスの乗客は数名。　幸いにも一番前の席も空いていたので、一番前に座って、被災地の様子をしっかり眺めながらリアス式海岸沿いを抜けてゆく。
　出発前にも約１時間釜石の街を歩きましたが、「津波の高さ　〇メートル」と言われても経験もない高さに、ピンときませんが、街のあちこちに貼られている津波の到達高さ標識をみると、「こんな街の中心まで・・・」見上げる高さに「すごい高さだ」と。本当にピクリの連続。でも　さすが中核都市　街も落ち着きを取り戻し、新しい生活が始まっていると思いました。　でも　北へ向かうバスが街を出て、峠にかかる山裾には仮設住宅がびっしりでした。

　　国道４５号線のトンネルを抜け、市街地から山間部に入り、山あいを通り抜け、前が開けると沿岸部の鵜住居地区に入ると様子は一変。　昨日「釜石は落ち着いたが、直撃を受けた鵜住居そして　大槌・山田はもっとひどく、その

厳しさに驚くよ」と聞いていましたが、街の中心部までが津波にさらわれ、高台になっている山裾部を除いて、広大な更地・かさ上げ工事中の土地が至る所で見うけられました。

海に突き出た枝尾根の半島がいくつも立ち並ぶリアス式海岸。　その枝尾根と枝尾根の間が湾になって、海に面してその奥に三方を枝尾根に挟まれた狭い平地があり、集落が営まれている。典型的なリアス式海岸の集落。
湾に入った津波が三陸のそんな町々・集落を襲った。


釜石の市街地をぬけて、鵜住居地区に入って

釜石市の市街地を抜けて、鵜住居地区に入ると眼前の浜側には広大な更地が広がり、
嵩上げの工事車両がいくつも眺められる。　これらの工事が完了しないと街は作れない。



国道 45 号　鵜住居川を渡る　三陸道　（大船渡・気仙沼方面無料区間入口）

三陸道の標識が見るが、ほんの小区間の開通でまだズタズタ三陸沿岸を貫く主要幹線は国道４５号線のみである。、

このためか、国道４５号はよく整備されていて、道幅もひろい。
鵜住居の集落を抜け、またトンネルを抜けると大槌町の看板が見え、小槌川の川岸にある商業施設「マスト」の建物の前に回り込んで停車。大槌町になくてはならない地元商業施設「シーサイドタウン　マスト」。甚大な被害を受けて再開も危ぶまれたが、街の強い要望に応え、11 年 12 月 22 日に復活を果たし、「大槌町復興まちづくり情報プラザ」など新たな復興拠点だと聞きました。





大槌町の小槌川南側土手の下にある商業施設「シーサイドタウン　マスト」前へ









マスト前からまた、国道４５号線に戻って大槌町の中央部へ　かつては街があったところですが、更地に

大槌川を渡って大槌の街を後にする。
今日大槌川・小槌川・鵜住居川を渡って今、大槌川の橋を渡っているのですが、これらの川が流れだす東の山中は鬼伝説が残る古代からの鉄の資源帯であり、古くからのたたら製鉄地帯で、昨日行った洋式高炉跡橋野も鵜住居川の奥。
また、「小林家の製鉄絵図」が描かれたたたらの郷　小鎚　蕨打直の郷もこの奥である。
この国道の南側に山田線の線路そして大槌駅があったのですが、それも全く見つからぬ。
200 年　三陸沿岸のたたらや餅鉄を調べに釜石に来た時に、「小林家の製鉄絵図」がきになって、この大槌まで来て、この大槌川の岸から、これらの山々を眺めつつ、奥にある製鉄関連遺跡に思いをめぐらした記憶があるのですが、今の光景からは、全くその時の景色を思い出せないでいる。





大槌川の川岸から東の山々の奥にあるたたらの郷や鬼伝説に思いをはせる

◆　2002年大槌を訪ねた時に知った　大槌町に伝わる鬼伝説

しおはまやすみ・船橋晴男著「遠野上郷大槌町物語」柴田弘武著「鉄と俘囚の古代史」より引用



小鎚川・大槌川　概　略



大　槌　町(2002年)

「小鎚川の川下より川上に向いて左の山を葡萄森という。土地の人
これをブンタ森と呼び、鵜の住居村との境をなす。
この山裾に大和高取より移り住みし鍛冶屋あり。
いつの頃より、毎夜この家の仕事場を窺い見る鬼が現われ、
やがて屋の柱をゆするなどの狼藉を働く。
鍛冶屋ついに怒り、手に持ちし大槌・小鎚にてその鬼を叩きしという。



(小鎚　蕨打直　小林家に伝わる製鉄絵巻より)

鬼は頭を打ち割られ、大いなる声を発して飛び上がり、そのはずみにて屋根を突き抜け、山奥目指して逃げ行きぬ。
鬼は逃走の途次も小鎚川中流の蕨打直にて川前の一軒の家に打ち当り、その家を壊し、山向こうの橋野の方へ去れり。
鍛冶屋は手負いせる鬼の行方突きとめんと・・・・・弓箭を携えてやまに入る。されど鬼の行方ついに分明ならず。
後に橋野人の伝えしは橋野の山奥、笛吹峠に近き山中、片羽山といえる山の麓にて、
鬼の仰向きになりて死せるを見たりと。この地を誰いうとなくアオノキの地という。今日の青ノ木なり。

鍛冶屋はその後家業に精出さんと思い立ちしも、その手に大槌・小鎚を持つたびに打ち殺せし鬼の思い出されて気色悪し。
ついに鍛冶を廃業せんと鬼を打ちし大槌・小鎚を家の前を流れる川中に打ち捨てり。
鉄にてつくりし小鎚はその川底に沈み、木にてつくれる大槌はその川面に浮き、流れて海へ出でしが、
後ふたたび潮により岸に戻され、一つ北の川筋の河口へ漂い着けりという。
土地の人、誰言うとなく小鎚の沈みし川を小鎚川、大槌の漂い着ける川を大槌川と呼びならわすようになれりとぞ。」





大槌町を抜けた峠道　海ははるか下の崖下であるが、「ここまで浸水区間」の標識がある

大槌の街を抜けるとまた、峠道にかかる。　峠の高いところに「ここまで浸水区間」の標識がある。　何度も見た標識であるが、「こんな高い峠道まで水が来たのか　街中には避難する場所はなかつたのだなぁ・・・」と今更ながら、現実の大津波の恐ろしさに身が引き締まる。

大槌から先　国道４５号線は崖がつつく波板海岸の丘の上　よく整備された道を走る。
まもなく「道の駅やまだ」の標識が緑の山間に出てきて、地図によると、この山間を出れば、西へ船越半島が突き出す山田町船越。終点の「道の駅やまだ」である。焼山遺跡へは一つ手前の船越のバス停からの方が近いのですが、乗り継いで北の宮古への代行バスの様子が判らぬので道の駅の終点まで行く。
まもなく船越の家並みの中にはいり、終点「道の駅やまだ」。
8:37　釜石から約５０分の代行バスの終点に到着。
ラッキーにも、雨があがっている。
ここからはバス会社が代って、さらに宮古へ行く代行バスが接続している。
この位置はちょうど船越半島の付け根の崖の上で、道のがけ下にまっすぐ西へ突き出た船越半島が樹木の間から少し見える。
北側が山田湾　南側が船越湾と地図ではわかるのですが、木々に邪魔され、よく見えない。国道はずつと山腹を走って来たので、海ははるか下で、周りの状況がよくわからない。
山田線が復旧していないので、「道の駅やまだ」は地域の外へ向かう唯一の広場。レストラン・地域の物産売り場などが併設されていて、次々と車が入ってくる。



船越の手前国道４５号線は沿岸の崖の上山腹を走る



国道４５号線　道の駅やまだ

ほのかな期待をもって、北への代行バスに乗り継げないか、案内所を覗くが、予想通り、北へ行く乗り継ぎはなし。日曜日で 11:45 発の宮古行までバスはなし。土砂降りの雨も上がっているし、ゆっくりとこの船越にある古代製鉄遺跡「焼山遺跡」を見学し、浜にも下ってみようと。

この国道４５号の道路の右下側が西へ突き出た船越半島　左手東側の山裾　少し手前のガソリンスタンドの向こうにに山腹の樹木を切り開いて造成中の丘が見える。　この丘が目指す「焼山遺跡」がある場所と知れ、見えているのは丘の北側斜面で、遺跡はその南側と知れる。

国道４５号線が走るこの崖の上からは、津波の痕跡をめにしなかったのですが、崖の下の半島には大津波が押し寄せて集落に甚大な被害がでて、その集落の高台移転の造成地がここと教えてもらった。



道の駅山田　山裾の高台を走る国道 45 号線の西側　崖下の向こうに船越半島の付け根　　2014.6.8



国道 45 号線沿い　道の駅のすぐ南側の山裾　　高台移転のための造成地　　2014.6.8.

この造成地の右手山際へ越えたところが、「焼山遺跡」だった

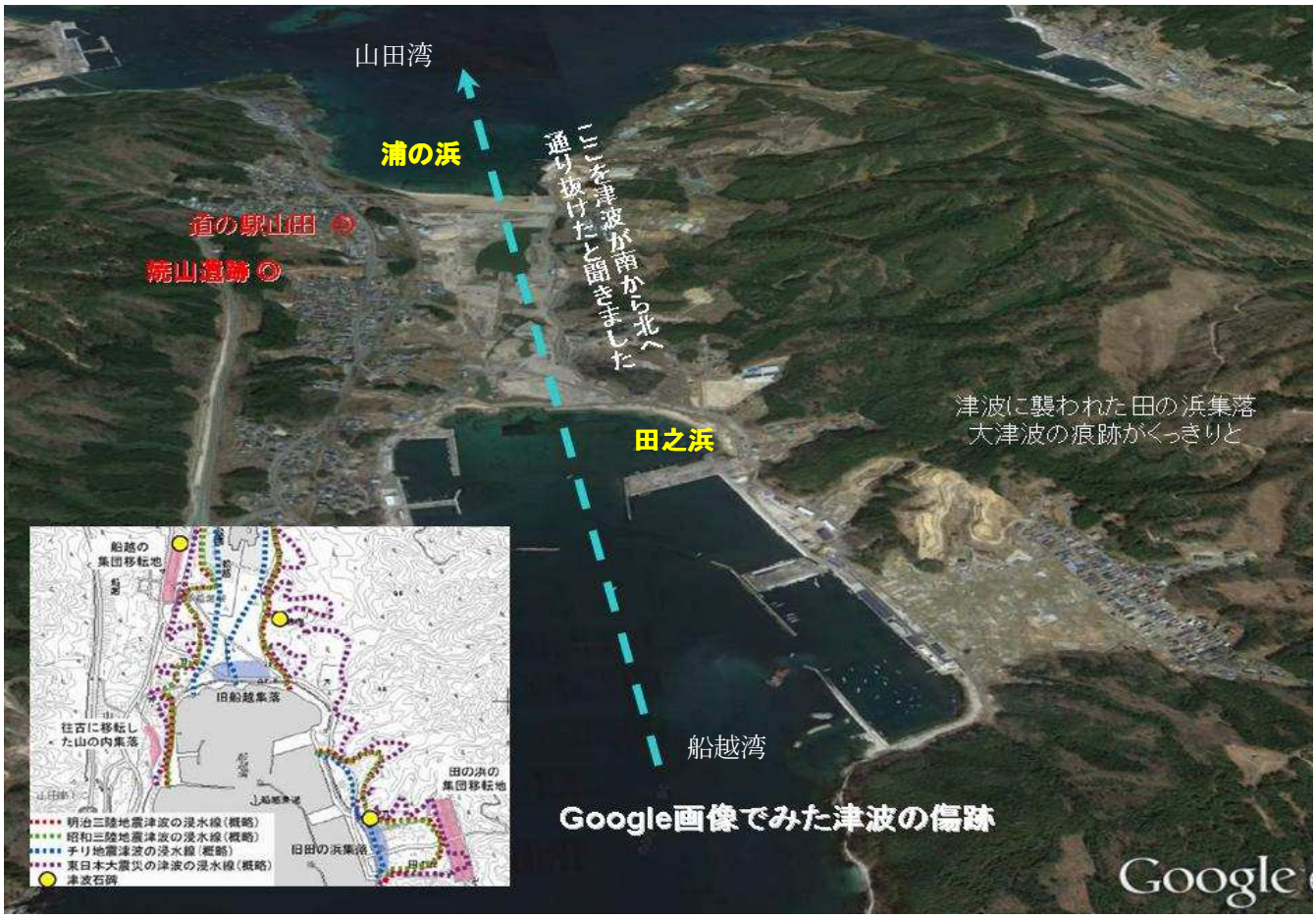
発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる　2014.6.8.

2.2.　船越半島の付け根を南から北へ　大津波が半島を横切っていた

沿岸高台の山裾を走る国道４５号線で山田町船越の道の駅まで来たので、

船越沿岸部　津波の傷跡は見えないが、この船越も大津波の被害を大きく受けていました











船越半島の付け根の浜に降りると浜はかさ上げされた広大な更地が広がっていました　2014.6.8.

2.3.　道の駅山田から少し国道を戻って　船越の集落から焼山遺跡へ







国道４５号線沿い道の駅のすぐ南東側山裾の丘に高台移転のための造成中の丘が見える。
この造成中の丘の向こうの山際へ越えたところが、「焼山遺跡」。　一旦国道を少し南へ戻って船越の家並みの中央　郵便局の所から東へ入る坂道を上って、造成地の東側へ回り込む。

　集落の中央部からまっすぐ北へ登ってゆく坂道の奥に山田町船越支所があり、そこをさらに少し登ったところが、焼山遺跡の発掘現場でした。





船越の集落の中央　郵便局前から東の山裾　船越支所への坂道　2014.6.8.

坂道をのぼってゆくと、スピーカが盛んに「消防団のパレード」への参加を呼び掛けていて、坂の中ほどに消防団の詰所があり、集落の人たちが集まり始めていた。都市部ではもう活動が鈍ってしまった消防団活動が住民ぐるみでおこなわれている。「お茶を飲んでゆき」と声をかけてもらって、発掘現場の様子も教えてもらう。
この前で　坂道は鍵状にまがって、その奥角に　公民館・船越支所の建物があり、その奥すぐ右手に山裾の木々の手前に造成中の丘が見え、手前に駐車場があり、ここが焼山遺跡発掘現場の入口でした。
船越支所の方には電話などでいろいろ教えてもらった先で、遺跡に行く声を掛けに立ち寄りましたが、日曜日で休み。ちょつと戻って　再度消防団集落の方に御声をかけ、遺跡へ向かいました。
雨もあがっていて、ラッキーである。



国道を少し戻って、船越の集落の中　郵便局の所から東へ入る坂を登ってゆくと
左に船越支所　右手に造成地が見え、ここが焼山遺跡の緊急発掘調査現場だった　2014.6.8.



焼山遺跡の緊急発掘調査現場前　2014.6.8.

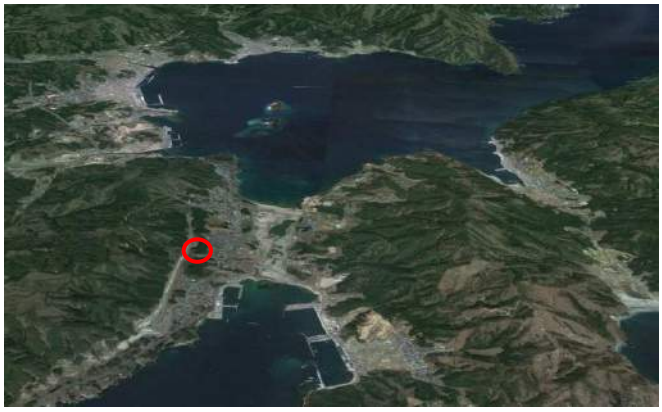




焼山遺跡の緊急発掘調査現場前から振り返ると船越の集落の向こうに船越半島がガスに煙っていました

発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

2.4. 古代平安時代の製鉄遺跡「焼山遺跡」 2014 年緊急発掘調査現場見学　2014. 6. 8.





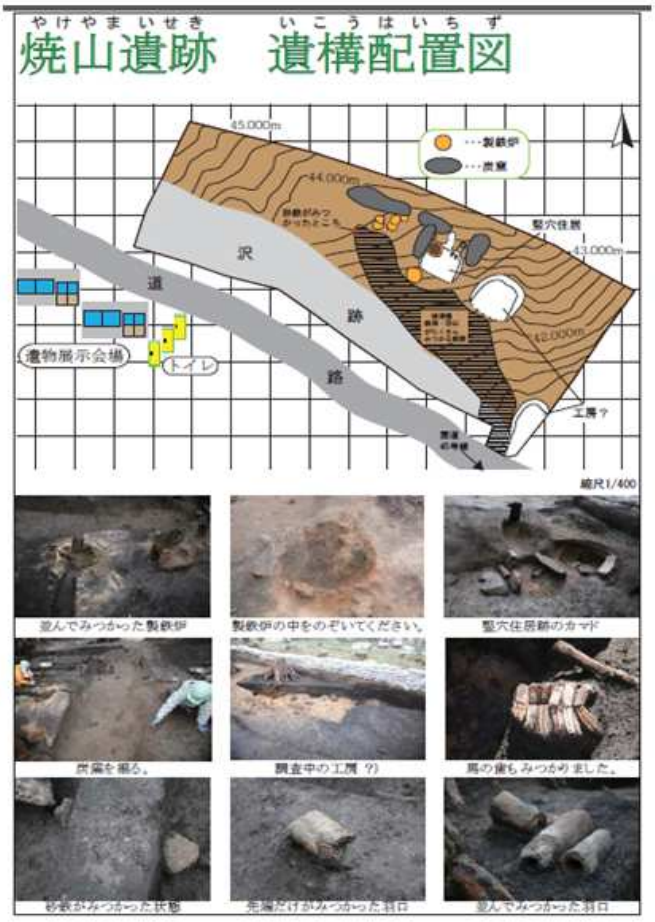


平安時代 10 後半から 11 世紀の製鉄遺跡「焼山」遺跡　2014 年発掘現場　　2014. 6. 7.



古代の製鉄遺跡　山田町船越　焼山遺跡　2014. 6. 7

2013年発掘調査部の遺構配置図



2013年の発掘調査まとめ　2013.11.2現説資料より

◎ 焼山遺跡は古代　平安時代　10世紀後半から11世紀頃の鉄生産にかかわる遺跡で、製鉄炉を築き、炭を焼き、砂鉄を原料に製鉄を行っていた。

◎ 出土した遺構

竪穴住居(古代)	1　棟	工房?　2 棟	
製鉄炉	7　基	炭窯　4 棟	
排滓場	1ヶ所		

◎ 出土した遺物

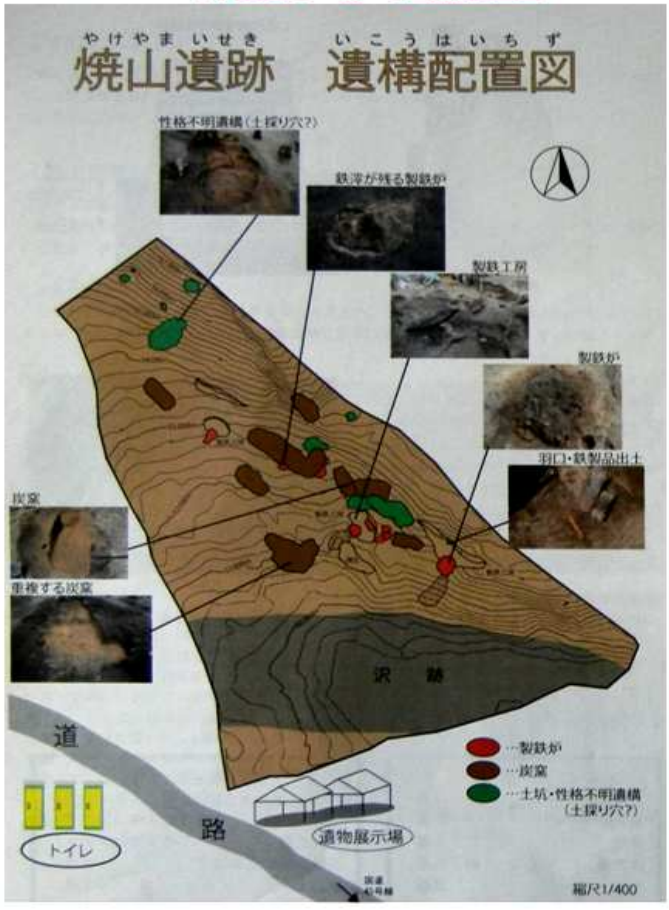
鉄滓	多数　40箱	土師器片	1袋
羽口	多数　3箱	縄文土器片	1袋
砂鉄	1kg	石器	2点
釘	1点		

◎ トピックス

1. 羽口を装着したままの状態で製鉄炉1基がみつかっている。
2. 製鉄炉の下には乾燥のため炭を敷き、焼かれている。
   [製鉄炉の大きさの1例]
   直径約50cm 内径約30cmの円形の炉でふいご座はみつかつていないと聞きました。
   羽口がラッパ状大型で、一本差し込んだままの状態で見つかった製鉄炉から見て、竪型炉だろうが、ふいご座が見つからぬことを含め、即断はできぬ。

炭焼窯というと築造された窯を想像しますが、窯跡の穴が浅井三津から、ここでは平地に穴を掘って薪を組み、上を土で完全に覆う伏せ焼と呼ばれる簡単な方法だったようだ。

2014年発掘調査部の遺構配置図



2014年の発掘調査まとめ　2014.5.31現説資料より

◎ 焼山遺跡は古代　平安時代　10世紀後半から11世紀頃の鉄生産にかかわる遺跡で、製鉄炉を築き、炭を焼き、砂鉄を原料に製鉄並びに鉄器製造を行う鉄生産工房。

◎ 出土した遺構

工房	3棟
製鉄炉	12基
炭窯	11基
排滓場	約2カ所
土坑	8基

◎ 出土した遺物

鉄滓	100箱（大コンテナ）
羽口	20箱（中コンテナ）
縄文土器	1箱（中コンテナ）
石器（磨製石斧など）	4点
小刀	1点

◎ トピックス

1. 前年確証がとれなかったが、本年は明確に**鉄生産工房と言える工房跡が3棟出土。**
   ここからは製鉄炉・鍛冶作業場・小刀などが出土。
2. 製鉄炉は12基見つかっているが、いづれも竪型炉と見える。
3. 炭窯が11基見つかっている。いずれも重畳大量の炭を必要としたことがうかがえる

この焼山遺跡からは２０１３年・２０１４年発掘調査合わせて　製鉄炉１９基　炭窯１５基　そして、鉄工房と推定される建物跡３（＋2?）　排滓場２などの遺構と共に大量の鉄滓・羽口・砂鉄や小刀並びに土器片などが出土し、調査地の至る所に炭焼き窯に付随むする黒色に変色した地面が広がっている。　遺跡の詳細検討はまだこれからですが、１０世紀後半から１１世紀頃平安時代の製鉄遺跡・鍛冶場を含む鉄生産工房跡と推定されている。
２０１３年発掘現場からは羽口が突き刺さったままの製鉄炉、２０１４年発掘現場からは製鉄炉・炭焼き窯などの諸施設がある鉄生産工房跡であることが、浮かび上がってきたという。





焼山遺跡発掘現場　鉄生産工房と製鉄炉　2014.6.8.

蝦夷の族長「アテルイ」が蕨手刀を持って大和と戦ったのは８世紀後半であり、その時代からはかなり後の平安時代の製鉄遺跡であるが、同じ場所で繰り返し、竪型炉が築かれ、りすぐ横に隣接して多数の炭窯があるなど、古代大和が大海瀬田丘陵で育んだ量産型の鉄アレイ型箱型炉の鉄生産工房とはかなり異質なこの三陸沿岸に根差した鉄生産工房のようだ。
誰もいない発掘地　道から外れないよう注意しながら発掘地内に入れてもらう。
まだ、発掘調査中で至る所に炭窯・製鉄炉などと思われる発掘調査穴があいており、傍らには鉄滓などを集めた青い箱が幾つも置かれたままになっている。



古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」　２０１４年発掘調査中の現場　2014.6.8.

丘の斜面を数段のテラスに平坦化して、製鉄炉と見える遺構がいくつもあるのですが、製鐵炉が重なっていたり、穴に掘り下げられていて、特定の自信がない。　現地説明資料で見た製鉄炉遺構や大型羽口からすれば、当時すでにあったと推定される足踏みふいごなどの鞴座が見つかるはずと探すのですが、一つも見つかりませんでした。

あとでお聞きもしたのですが、鞴座は見つかっていないと聞く。
この山田町船越周辺の古代の製鉄炉はみんなそうなのだろうか・・・・・
そうならば、この時期　もうポピュラーに大型で量産型の箱型炉が普及してゆく時代であり、三陸沿岸では古い竪型炉の技術が継承されてきたとの見方もできると。









古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」　２０１４年発掘調査中の現場　2014.6.8.




古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」発掘現場を訪ねて　まとめ　2014.6.8

三陸沿岸のIron Roadを訪ねるWalkで、一番楽しみにしていた古代蝦夷の時代の鉄につながるかもしれない三陸沿岸の古代製鉄遺跡の発掘調査現場山田町船越「焼山遺跡」の見学。
でも、津波の被災地での緊急発掘調査現場でもあり、釜石から山田町へ至る道中で見た被災地は３年経って、インフラ整備が進んでいるとはいえ、復興はまだ手が付き始めたばかり。
そんな製鉄遺跡発掘現場の見学。しっかり　見て帰ろうと。

1. 見学した「焼山遺跡」は10世紀後半から11世紀頃　平安時代の製鉄遺跡で、数多くの製鉄炉・炭焼窯と共に、少なくとも3棟の製鉄工房跡が見つかっている。 砂鉄や黒々とした木炭粉で黒くなった地面や鉄滓が遺跡内至る所に散在し、大量の鉄滓や多数の大型羽口なども出土している。
この遺跡の性格については、まだこれからの解析を待たねばならぬが、周辺で採取された砂鉄を原料とし、すぐ近くの山の樹木から炭を焼き、この場所で一貫した鉄生産が行われた鉄生産工房と推定されている。
2. 出土した製鉄炉は重畳しているものも多いが、楕円形の竪型炉とみられ、トピックスとして羽口が差し込まれたままの製鉄炉が見つかっており、この地域の製鉄炉の性格を知る大きな手口である。
10世紀後半から11世紀というと　東北ではすでに足踏み鞴があらわれており、また出土した羽口を見ると羽口を通して大量送風がなされていたはずであるが、鞴座がみつかっていない。
3. 生産工房に近接して炭焼窯が多数ある竪型炉の鉄生産工房。 この工房の形式も気になるのですが、多数の製鉄炉跡遺構が出土しているにもかかわらず、送風ふいごの形式がクリアーにならぬ。
当時の西からの大型箱型炉に据え付けられている足踏みふいご座が見つからぬ。
この山田で現在発掘調査中の田之浦館遺跡の製鉄炉も同じだという。
これは、この山田周辺　三陸沿岸独自の製鉄炉なのだろうか・・・
そうなると「蝦夷の時代」からはだいぶ後ろではあるが、この山田町からも蕨手刀も出土しており、大和が持ち込んだ製鉄技術とは異なる独自の製鉄技術が継承されてきたともいえ、仙人峠の名前が示す、南北に伸びた険しい北上山地で隔てられた三陸沿岸は　大量の鉄資源を有し、大和に対抗した蝦夷たちの鉄生産基地。
大和がほしがった「金山」だったのかもと・・・夢が広がってくる。

その真偽が判る解析はまだ　これからですが、
「古代　蕨手刀を武器に大和と戦った蝦夷たちの鉄の隠れ生産基地。 それが三陸沿岸のIron Road」との夢
を益々広げてくれた古代製鉄遺跡。 それが山田町船越の「焼山遺跡」発掘調査現場だったと。
霧雨の中でしたが、本当にうれしい久々の製鉄遺跡発掘現場見学でした。

これだけ 沢山の製鉄遺跡がある山田町 「浜にゆけば 砂鉄がきっとあるはず」と 発掘現場を後に船越の浜に向かいました。

近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉
同一時期・同一地点で 9世紀半ば 異なるタイプの製鉄炉 竪型炉と箱型炉が併設

武井製鉄遺跡群　大清水B遺跡・沢入B遺跡の製鉄炉　　2013日本列島発掘新発見展　図録より



大清水B遺跡の箱型炉
中央の黒い部分に粘土で作った炉があり奥の四角の穴は踏み鞴の設置場所



沢入B遺跡の竪型炉
中央の黒い部分が炉で、 その奥の長方形の穴が踏み鞴、手前側が作業場

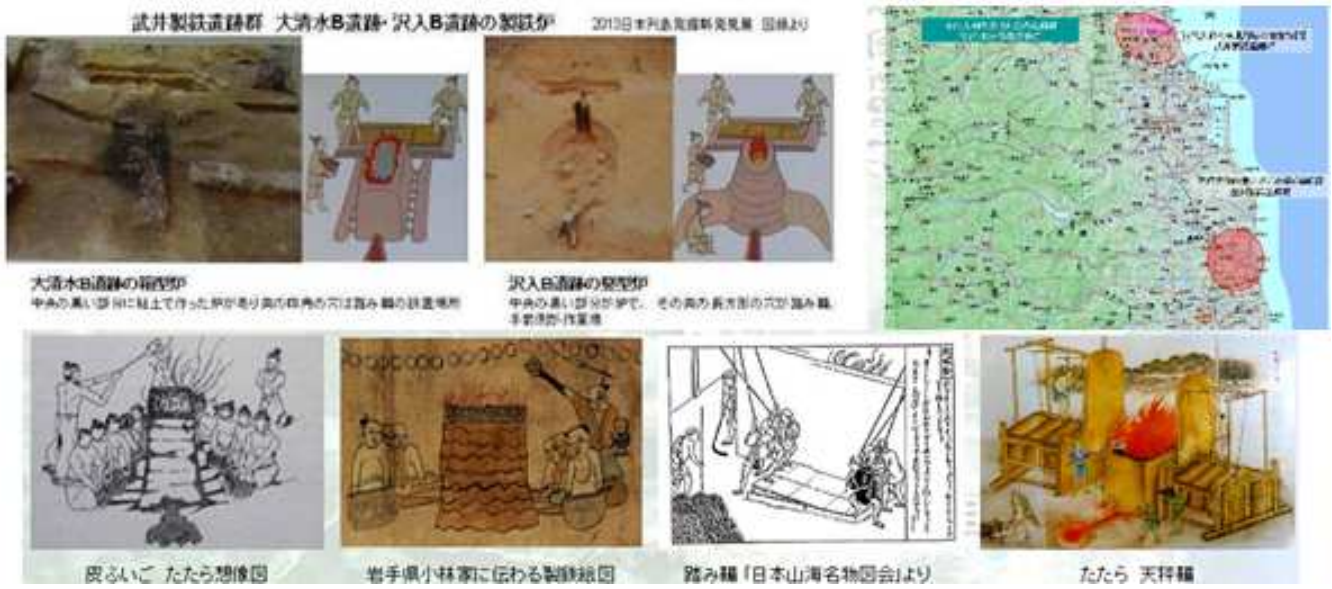
奈良・平安時代　7世紀後半から9世紀後半にかけて、福島県浜通り 地域で多数の製鉄関連遺跡が確認されており、中でも相馬地区地方では　新地町・武井製鉄遺跡群　相馬市・大坪製鉄遺跡群や、南相 馬市・金沢製鉄遺跡群など200を超える製鉄遺跡が出土している。 これらの製鉄遺跡群は律令国家体制を整え、製鉄量産化技術を確立した大和政権蝦夷征伐の最前線の武器庫としての役割を担っていた。
また、これらの製鉄遺跡群の製鉄炉は近畿で育まれた大型の箱型炉 と東北で育まれた竪型炉の両方がそれぞれの場所・時期に応じて建設されてきた。
今回発掘された武井製鉄遺跡群の大清水B遺跡・沢入B遺跡の注目すべき点は近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉の両方が同時期・同地区に並立し、「ズク鉄・銑鉄」生産に用いられていたことで、福島浜通り　北部地区遺跡群の特徴だという。
陸奥南の古代製鉄遺跡群では　踏み鞴付竪型炉はその後、消えてゆくのであるが、もし、鞴付き箱型炉が先に登場していたならば、砂鉄を原料とするたたら製鉄では、難点のある踏み鞴付竪型炉が登場することはなかったのではないか??
その装着は東北で育まれた竪型炉　東北には大和とは異なる独自の製鉄技術入手ルートが垣間見える
踏み鞴が日本のたたら炉に登場する時期は明確ではないが、8世紀中頃の武井製鉄遺跡群の竪型炉に装着された踏み鞴が、その後のたたら製鉄の踏み鞴に大きな影響を与えたともいえるのではないか。。。。。

たたらに用いられた「鞴」の歴史　インターネット検索より

皮鞴　→　踏み鞴　→　天秤鞴　→　水車へ

陸奥南の古代製鉄遺跡群のたたら製鉄炉に踏み鞴が付いて登場する8世紀半ば
いつどこで、たたら製鉄で踏み鞴が使われはじめたのか？ 明確にはなっていない

文献によれば、10世紀の「倭名類聚抄」(934年)では「皮鞴」と区別するために「踏鞴」を「たたら」のこととし、
また、たたら遺跡遺構からは、この陸奥南の製鉄遺跡群や近江など8世紀頃には踏み鞴が現れ、
たたら製鉄の革新に大きく寄与する。
東北の竪型炉は踏み鞴付き製鉄炉のさきがけではないか？？ ・・・・・・



たたら製鉄の歴史は鞴の発達と深く結びついている。

◎ **皮ふいご**　わが国で最初に記録に現れる鞴は天羽鞴という皮鞴。真名鹿(まなか)の皮を全剥ぎにして作ったとされる(日本書紀)。
しかし、その具体的な構造は、岩手県大槌町小林家「製鉄絵巻」や間宮林蔵の「北蝦夷図説」とに見るくらいしかない。

◎ **踏み鞴**　次に登場する踏み鞴については、「倭名類聚抄」(934年)では「皮鞴」を「ふきかわ」とし、
これと区別するために「踏鞴」を「たたら」のこととしている。
そして踏鞴が記録・絵図に現れるのは「東大寺再興絵図」で、銅の溶解に使用されたと紹介されている。
18世紀中頃(1754年)に書かれた「日本山海名物図会」の「鉄蹈鞴」にたたら製鉄に用いられている踏み鞴が描かれる。

◎ **天秤鞴**　そして、17世紀頃には天秤鞴が発明されたという。

たたら製鉄炉の遺構から踏み鞴を検討すると　8世紀頃には　たたら製鉄遺構の製鉄炉に隣接して踏み鞴跡と見られる遺構が出土する。





No.	遺跡名	遺跡番号	地区	調査期間	調査面積	製鉄炉	鍛冶炉	炉跡	木炭窯	工房跡	鉄滓集中	土坑	製鉄関連	鍛冶関連	炉跡	その他
1	諏通Ⅰ	MG04-0032	鳳至	19920501～0827	3,600	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–
2	諏通Ⅱ	MG04-0030	鳳至	19920411～0429	1,000	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–
3	諏白Ⅱ	MG14-0204	鳳至	19910410～0723	3,700	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–
4	諏白Ⅰ	MG14-2261	鳳至	19980501～1030	2,000	1	–	–	–	–	–	○	○	–	–	10世紀
5	上村	MG14-0208	鳳至	19930412～0831	3,700	8	2	12	–	–	–	○	○	○	○	8世紀
6	大畑Ⅰ	LG80-2254	静岡	19930407～0723	250	–	–	–	–	–	–	–	○	○	–	10世紀
7	大畑Ⅱ	LG80-2045	静岡	19920901～1113 19930407～0723	1,375	6	3	–	–	6	○	–	○	–	–	10世紀
9	山ノ内Ⅱ	MG14-0230	船越	19950410～0731	7,290	2	6	10	1	–	○	○	○	–	–	平安
10	山ノ内Ⅱ	MG14-0230	船越	19950807～0818												
11	山ノ内Ⅲ	MG14-0281	船越	19930726～1029 19940405～0812	9,000	8	–	17	1	–	○	○	○	–	○	10世紀
12			山田	19940801～1111	2,000	–	1	–	–	–	○	–	–	–	–	平安
13			山田	19950615～0804	2,500	–	–	–	–	–	○	○	○	–	–	–
14	沢田Ⅰ	LG94-0032	山田	19960801～0830	960	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	–
15			山田	19970407～1113	6,200	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	–
16			山田	19980529～0630	400	–	–	–	–	–	○	○	○	–	–	–
17	沢田Ⅱ	LG94-0033	山田	19960411～0731	4,000	1	6	–	2	–	○	○	○	–	–	8世紀
18	房ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19960412～0614	3,600	–	–	–	–	–	○	○	○	–	–	刀剣類
19	房ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19960801～1107	1,900	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	–
20	房ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19970407～0704	2,300	–	–	7	–	–	○	○	○	–	–	刀剣類
21	神沢Ⅱ	LG94-0079	山田	20010417～0731	8,400	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	–
22	諏神	MG03-1267	鳳至	19931007～1017	84	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
23	上村B	LG94-0273	大沢	19981006～1030	390	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
24	諏通Ⅵ	MG04-0009	鳳至	20000419～0526	3,000	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
25	諏山Ⅰ	MG04-0063	鳳至	19991208～ 20000020	2,520	29	–	15	–	7	–	○	○	–	○	10～11世紀
26		MG04-0060	鳳至	20000808～1124												
27					71,329	55	19	61	4	13						

2.5.　道の駅「やまだ」へ戻って　船越半島の付け根「浦の浜」へ降りる

古代の製鉄遺跡が３００以上ある山田町　宮古花崗岩帯から流れ出た砂鉄が浜にあると



焼山遺跡の下にある船越半島山田湾に面した浦の浜 うっすらと砂鉄がたいせきしていました　20146.7.

国道４５号線の道の駅「やまだ」のすぐ横から西へ、下の浜へ降りて行く道を少し行くと、復旧がまだ手つかずの山田線の大浦未踏切にでました。　全くの手つかずの状態での３年間。線路には雑草がいつぱいでした。

ここから住宅の横を抜けて少し下って行くと浦の浜である。

砂浜をイメージしていたのですが、そこにはかさ上げ盛り土がなされた広大な更地が西側の半島側の山際まで広がっていました。　一瞬　津波が通過していった所だとは気が付きませんでしたが、南から北へ西側の半島の山際まで一杯に広がって、津波が通過した後でした。



国道のすぐ下　山田線の大浦踏切　復旧がまだで線路には雑草がいっぱいになっていました　2014.6.8.



浦の浜へ降り、振り返ると高架橋の奥に今歩いてきた道が見え、随分高い位置に国道45号線が走っていると



大浦踏切から「浦の浜」が広がる平地部におりて、船越半島側を眺める　　2014.6.8.

津波が右から左へ通り抜けた跡だろう。盛土でかさ上げされた更地が半島側　浦の浜集落まで続いている

盛り土を降りて　北側　山田湾に面した浦の浜は白砂の浜がひろがり、うっすらと砂鉄が堆積して、やつぱりここは砂鉄浜だと。　また、正面に広がる美しい山田湾の水平線には端から端まで、白い線。

眼を凝らしてみると幾重にも重なった養殖筏が重なり合って一本の線に見えていました。

山田湾は波穏やかで栄養豊富な海　ホタテ・ホヤ・カキの養殖が盛んな地。山田湾の養殖がふっかつしつつあるのだと・・・。　昨日の夕食にも三陸名産のホタテ・ホヤが三陸沿岸の魚と一緒にでていました。

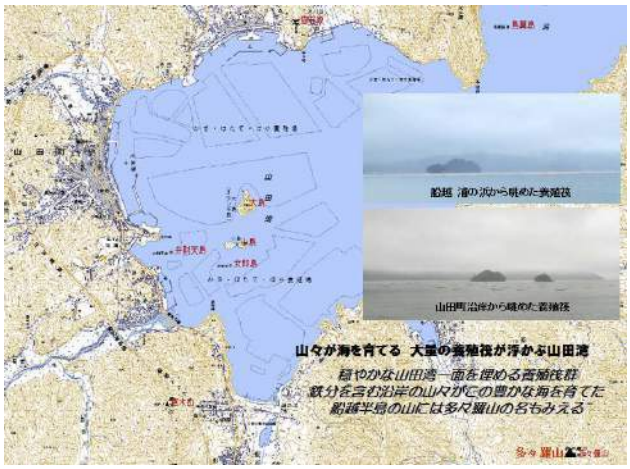




船越半島　浦の浜から眺める山田湾　　2014.6.8.

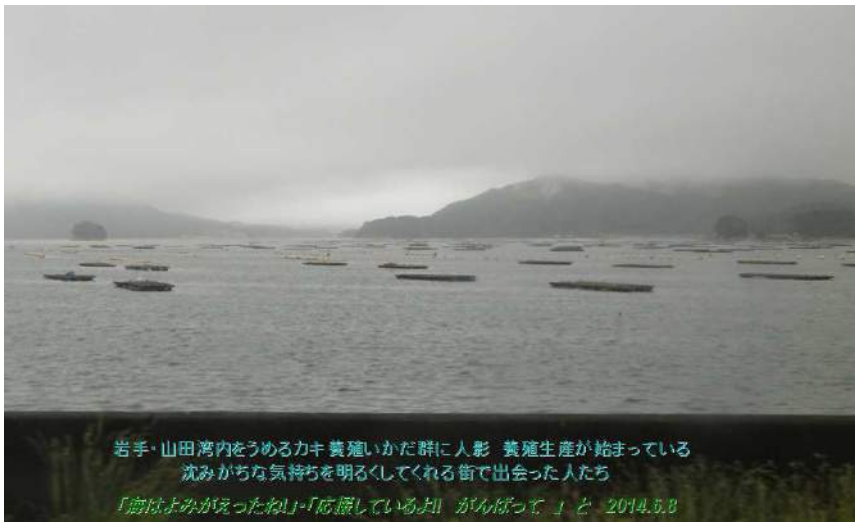
浜にはうっすら砂鉄が文様を描き、山田湾水平線には　山田湾に浮かぶ無数の養殖筏が一筋の白い線に

三陸は沿岸の山々から流れ出た鉄分などが育てた豊かな海　それが戻りつつあるのだと。





三陸沿岸の宮古花崗岩帯に含まれる鉄分が三陸の豊かな海をそだてた。山田湾一杯に広がる養殖場が地図にも記載されています。そして、この宮古花崗岩に含まれる砂鉄が大量に浜に堆積して砂鉄浜を形成。古代から 300 を越えるたたら製鉄遺跡を形成してきた原動力はこの砂鉄だと。



午後　代行バスで山田湾に沿って通過するときには、無数の養殖筏群がはっきり見えました。

「鉄が育てた豊かな海」とうれしくなるとともに、「三陸復興のおおきな支えになってほしい」と。

この西の海に突き出た船越半島の両側は砂鉄浜。特に南の船越半島に面した田之浜には大量の砂鉄の体積があるとききました。











船越湾側の田之浜の砂鉄

山田湾側 浦の浜の砂鉄

船越湾の浜では海が荒れた後、大量の砂鉄が海岸のコンクリート堤に残っていると聞きました

発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

2.6.　大津波の傷跡が残る山田町を走り抜けて、宮古へ　2014.6.8.




11:45 宮古行の代行バスで宮古に向かって出発

10:30　浜から道の駅に帰るとまた雨は土砂降りに　10:40 発の代行バスがあると思っていましたが、日曜日で運休。11:45 までバスがないのに、はっと気づく。 道の駅の中にはいったり、観光案内所の人たちとしゃべったり・・・・時間をつぶして、やっと１１:45 発の代行バスに乗り込み、山田の街を走り抜けて宮古へ。
宮古につくのは 12:49。　午後は宮古から、三陸鉄道に乗って岩泉・普代へ




船越の半島を乗り越して　山田の街に入ると　３年もたっているのにと…声も出ない　2014.6.8.




かつてはこの周辺が山田町の中心だったのでしょうが、今は　ただただ　街と共にそこに住む人たちの一日も早い復興を祈り、支援したいと　2014.6.8.

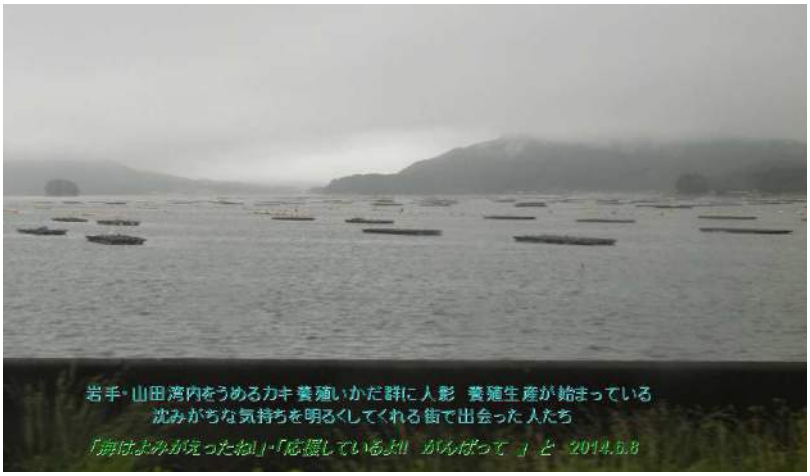


山田病院も山際にある街のグランドに仮設で移転して診療を続けていました。思わずガンバッテと

山田湾に面した海岸にバスがでると、山田湾に浮かぶ無数の養殖いかだが見えました。山田湾を埋め尽くすすごい数。
目頭が熱くなって　思わず、言葉がついて出る。・・・・・
筏にはいくつか　人の影が見えて、うれしかった。
被災した街の中を何にも出来ぬまま、ただ通り抜けてゆくのが、腹立たしい。



山田湾に浮かぶ無数の養殖いかだ　　2014.6.8.





JR 宮古駅 12:45 到着
隣に三陸鉄道の駅も見える

山田町を通り過ぎると宮古の街はもうすぐそこ。
車窓から移り行く都の市街地を眺めながら、今通り抜けてきた山田の街を思い返しているうちに
12:45 JR 宮古駅に到着です。

発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて　　2014.6.8

古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」発掘現場を訪ねて　まとめ

三陸沿岸の Iron Road を訪ねる Walk で、一番楽しみにしていた古代蝦夷の時代の鉄につながるかもしれない三陸沿岸の古代製鉄遺跡の発掘調査現場山田町船越「焼山遺跡」の見学。
でも、津波の被災地での緊急発掘調査現場でもあり、釜石から山田町へ至る道中で見た被災地は３年経って、インフラ整備が進んでいるとはいえ、復興はまだ手が付き始めたばかり。
そんな製鉄遺跡発掘現場の見学。しっかり　見て帰ろうと。

1. 見学した「焼山遺跡」は１０世紀後半から１１世紀頃　平安時代の製鉄遺跡で、数多くの製鉄炉・炭焼窯と共に少なくとも３棟の製鉄工房跡が見つかっている。　砂鉄や黒々とした木炭粉で黒くなった地面や鉄滓が遺跡内至る所に散在し、大量の鉄滓や多数の大型羽口なども出土している。
この遺跡の性格については、まだこれからの解析を待たねばならぬが、周辺で採取された砂鉄を原料とし、すぐ近くの山の樹木から炭を焼き、この場所で一貫した鉄生産が行われた鉄生産工房と推定されている。

2. 出土した製鉄炉は重畳しているものも多いが、楕円形の竪型炉とみられ、トピックスとして羽口が差し込まれたままの製鉄炉が見つかっており、この地域の製鉄炉の性格を知る大きな手口である。
１０世紀後半から１１世紀というと　東北ではすでに足踏み鞴があらわれており、また出土した羽口を見ると羽口を通して大量送風がなされていたはずであるが、鞴座がみつかっていない。

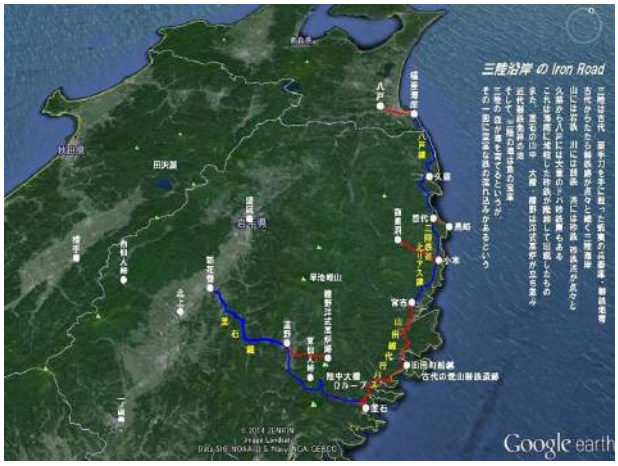
3. 竪型炉を有し、近接して炭焼窯が多数ある鉄の生産工房。
この工房の形式も気になるのですが、多数の製鉄炉跡遺構が出土しているにもかかわらず、送風ふいごの形式がクリアーにならぬ。当時の西からの大型箱型炉に据え付けられている足踏みふいご座が見つからぬ。
この山田で現在発掘調査中の田之浦館遺跡の製鉄炉も同じだという。
これは、この山田周辺　三陸沿岸独自の製鉄炉なのだろうか・・・
そうなると「蝦夷の時代」からはだいぶ後ろではあるが、この山田町からも蕨手刀も出土しており、大和が持ち込んだ製鉄技術とは異なる独自の製鉄技術が継承されてきたともいえ、仙人峠の名前が示す、南北に伸びた険しい北上山地で隔てられた三陸沿岸は大量の鉄資源を有し、大和に対抗した蝦夷たちの鉄生産基地。
大和がほしがった「金山」それが　三陸沿岸の鉄だったのかもと・・・夢が広がってくる。

4. 三陸沿岸の山々にある「鉄」が豊かな海を育てる
山田湾を埋め尽くす無数の養殖筏群を見て、「豊かな海　三陸」
「鉄が育てる豊かな海」はキャッチフレーズだけではないんだと。

大和に対抗した蝦夷たちの鉄生産基地。　大和がほしがった「金山」それが　三陸沿岸の鉄だったのかも
その真偽が判る解析はまだ　これからですが、
「古代　蕨手刀を武器に大和と戦った蝦夷たちの鉄の隠れ生産基地。　それが三陸沿岸の Iron Road 」との夢
そんなロマンを益々広げてくれた古代製鉄遺跡。　それが山田町船越の「焼山遺跡」発掘調査現場だったと。
霧雨の中でしたが、本当にうれしい久々の製鉄遺跡発掘現場見学でした。
また、三陸の復興はまだこれから　そんな中　山田湾を埋め尽くす養殖群など新しい地道な展開が始まっている。
三陸で暮らす人たちの元気な姿を垣間見ることもでき、風化させることなく　しつかり応援せねばと。

2.　発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて　2014.6.8.





【参考資料】

1. 岩手県立埋蔵文化センター所報 「わらびて」　１２９号　2014.2.28.
2. 岩手県立埋蔵文化センター　焼山遺跡　2014.5.31.　現地説明資料
3. 岩手県立埋蔵文化センター　焼山遺跡　2013.11.2　.現地説明資料
4. 岩手県立埋蔵文化センター　発掘！岩手の遺跡　焼山遺跡　　2015.11.10.　ほか
5. 山田町観光協会　公式ブロク　山田とことこ日記　焼山遺跡
6. 弥生文化博物館考古学セミナー　岩手県での発掘調査　　災害復興のために
   講演スライド& 資料
   ◎　広瀬時習氏　「沢田Ⅲ遺跡　－　鉄生産関連遺構の調査　－」　h26.6.28.
   ◎　三好孝一氏　　山田町　田之浜館　現地説明会資料　h25.8.2.

【和鉄の道・Iron Road　*by Mutsu Nakanishi*　】

1. 福島県武井製鉄遺跡群の近接する沢入Ｂ・大清水Ｂ製鉄遺跡
   古代たたら製鉄の革新技術「踏み鞴」の実用展開のさきがけか??　2013.8.
   -金沢・武井製鉄遺跡群に出現した踏み鞴付き竪型炉 -
2. 黄金吹く行方製鉄遺跡群　福島県　原 町　　蝦 夷征伐の兵器庫　金沢製鉄遺跡　1999.11
3. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山　岩手県南部　蝦夷の鉄　北上山地　大鎚・釜石へ　2002.10
4. 岩手県北上川流域の製鉄地帯　一関博 物館　　蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ　舞草刀.　2001.10.
5. 蝦夷の鉄・ 東北　和鉄の道　　東北地方　和鉄の 道　9編　取りまとめ　2004.1.

【参考】　古代三陸で行われた鉄生産技術について
竪型炉と横型炉　そして　鞴の技術に着目して

蕨手刀を手に大和と戦った蝦夷の鉄生産基地は三陸沿岸だったのだろうか ????

【参考1. 】【和鉄の道- Iron Road】
平安時代　大和政権の蝦夷征伐の最前線の兵器庫　武井製鉄遺跡群の製鉄遺跡
大清水B遺跡- 沢入B遺跡　福島県新地町 2013日本列島発掘新発見展より
近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉
同一時期 同一地点で 9世紀半ば 異なるタイプの製鉄炉 竪型炉と箱型炉が併設

【参考2】 三陸山田湾沿岸の古代製鉄関連遺跡
三陸は蕨手刀を持って戦った蝦夷の製鉄基地？
大和とは異なる独自の製鉄- 鍛冶技術交流ルートがあったのでは???
大阪弥生博物館で開催された　災害復興支援　緊急発掘調査報告より

1 . 緊急発掘調査で出土した山田町の古代製鉄遺跡　「田之浜館遺跡」&「沢田Ⅲ遺跡」

1.1. 山田町の地質と山田町の古代製鉄遺跡例
1.2. 広瀬時習氏講演スライドより　山田町沢田Ⅲ遺跡
11- 12世紀平安時代後半の製鉄遺構や 縄文中期の竪穴住居などが出土した
1.3. 三好孝一氏講演スライドより　山田町船越半島　田の浜館跡
中世の城館跡と平安時代の鉄生産跡
1.4. 三陸山田湾沿岸の古代製鉄関連遺跡リスト

【参考3】 山田町織笠にある八世紀後半の製鉄遺跡　上村遺跡
岩手日報　平泉栄耀の記憶　⑭金と鉄と馬　　２００５年5月２５日　　より
【参考4】奈良時代　8世紀　蕨手刀3振りや大量の刀剣類を副葬していた
山田町房の沢古墳群・房の沢Ⅳ遺跡
【参考5】古代 岩手県三陸沿岸「閉伊」の製鉄と蝦夷について インターネットより
柴田弘武　閉伊村のえみし- 特産品「鉄」 http://emisi.com/semi/14semi/material/hei.htm より

【参考1. 】 平安時代 大和政権の蝦夷征伐の最前線の兵器庫 武井製鉄遺跡群の製鉄遺跡
大清水B遺跡- 沢入B遺跡　福島県新地町 2013日本列島発掘新発見展より

【和鉄の道- Iron Road】発掘された日本列島2013 新発見考古学展に見る 昨年度発掘された製鉄関連遺跡の紹介
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1309souma00.htm より

近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉
同一時期- 同一地点で 9世紀半ば 異なるタイプの製鉄炉 竪型炉と箱型炉が併設

武井製鉄遺跡群 大清水B遺跡- 沢入B遺跡の製鉄炉　2013日本列島発掘新発見展 図録より



大清水B遺跡の箱型炉
中央の黒い部分に粘土で作った炉があり奥の四角の穴は踏み鞴の設置場所



沢入B遺跡の竪型炉
中央の黒い部分が炉で、 その奥の長方形の穴が踏み鞴、
手前側が作業場

奈良- 平安時代　7世紀後半から9世紀後半にかけて、福島県浜通り 地域で多数の製鉄関連遺跡が確認されており、中でも相馬地区地方では　新地町- 武井製鉄遺跡群　相馬市- 大坪製鉄遺跡群や、南相 馬市- 金沢製鉄遺跡群など200を超える製鉄遺跡が出土している。 これらの製鉄遺跡群は律令国家体制を整え、製鉄量産化技術を確立した大和政権蝦夷征伐の最前線の武器庫としての役割を担っていた。
また、これらの製鉄遺跡群の製鉄炉は近畿で育まれた大型の箱型炉 と東北で育まれた竪型炉の両方がそれぞれの場所- 時期に応じて建設されてきた。
今回発掘された武井製鉄遺跡群の大清水B遺跡- 沢入B遺跡の注目すべき点は近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉の両方が同時期- 同地区に並立し、「ズク鉄- 銑鉄」生産に用いられていたことで、福島浜通り　北部地区遺跡群の特徴だという。
陸奥南の古代製鉄遺跡群では　踏み鞴付竪型炉はその後、消えてゆくのであるが、もし、鞴付き箱型炉が先に登場していたならば、砂鉄を原料とするたたら製鉄では、難点のある踏み鞴付竪型炉が登場することはなかったのではないか??
その装着は東北で育まれた竪型炉　東北には大和とは異なる独自の製鉄技術入手ルートが垣間見える
踏み鞴が日本のたたら炉に登場する時期は明確ではないが、8世紀中頃の武井製鉄遺跡群の竪型炉に装着された踏み鞴が、その後のたたら製鉄の踏み鞴に大きな影響を与えたともいえるのではないか。。。。。

たたらに用いられた「鞴」の歴史　インターネット検索より

皮鞴　→　踏み鞴　→　天秤鞴　→　水車へ

陸奥南の古代製鉄遺跡群のたたら製鉄炉に踏み鞴が付いて登場する8世紀半ば
いつどこで、たたら製鉄で踏み鞴が使われはじめたのか？ 明確にはなっていない

文献によれば、10世紀の「倭名類聚抄」(934年)では「皮鞴」と区別するために「踏鞴」を「たたら」のこととし、
また、たたら遺跡遺構からは、この陸奥南の製鉄遺跡群や近江など8世紀頃には踏み鞴が現れ、
たたら製鉄の革新に大きく寄与する。

東北の竪型炉は踏み鞴付き製鉄炉のさきがけではないか?? ・・・・・・



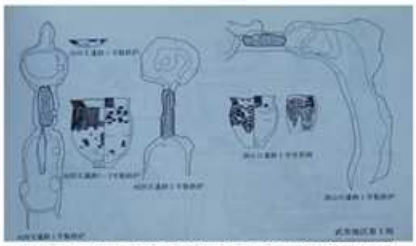
たたら製鉄の歴史は鞴の発達と深く結びついている。

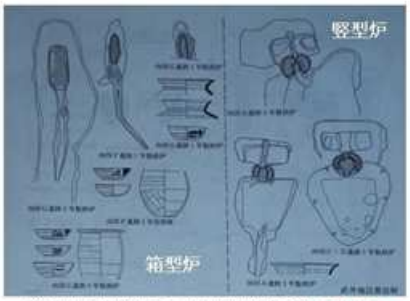
◎ **皮ふいご**　わが国で最初に記録に現れる鞴は天羽鞴という皮鞴。真名鹿(まなか)の皮を全剥ぎにして作ったとされる(日本書紀)。
しかし、その具体的な構造は、岩手県大槌町小林家「製鉄絵巻」や間宮林蔵の「北蝦夷図説」とに見るくらいしかない。

◎ **踏み鞴**　次に登場する踏み鞴については、「倭名類聚抄」(934年)では「皮鞴」を「ふきかわ」とし、
これと区別するために「踏鞴」を「たたら」のこととしている。
そして踏鞴が記録・絵図に現れるのは「東大寺再興絵図」で、銅の溶解に使用されたと紹介されている。
18世紀中頃(1754年)に書かれた「日本山海名物図会」の「鉄鋳鞴」にたたら製鉄に用いられている踏み鞴が描かれる。

◎ **天秤鞴**　そして、17世紀頃には天秤鞴が発明されたという。

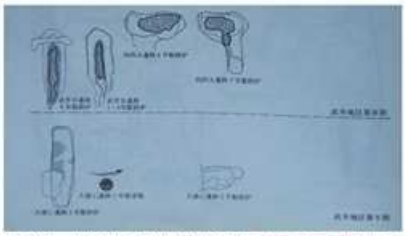
たたら製鉄炉の遺構から踏み鞴を検討すると　8世紀頃には　たたら製鉄遺構の製鉄炉に隣接して踏み鞴跡と見られる遺構が出土する。


第Ⅰ期 尾根置き 近江など大和で育まれた鉄アレイ型箱型炉の時代 7世紀後半



第Ⅲ期 箱型炉と踏み鞴のついた竪型炉出現の時代 8世紀中葉


第Ⅱ期 斜面置き 片側に排滓する箱型炉の時代 8世紀前葉


第Ⅳ期 踏み鞴付き箱型炉・竪型炉の並立 8世紀後葉～9世紀初
第Ⅴ期 単独の踏み鞴のついた大型箱型炉の時代へ 9世紀中葉

陸奥南部　武井製鉄遺跡群の製鉄炉変遷

◎ 7世紀後半　古代大和の東北蝦夷対応の最前線　福島県金沢・武井製鉄遺跡群では近江等大和で
育まれた鉄アレイ型の箱型製鉄炉が登場し、さらに鉄の安定量産立地から、山の尾根から、山の斜面に場所を移し、
製鉄炉が重複して作られるようになる。

◎ 8世紀中葉になると中国にルーツを持ち、東国で育まれた最新の踏み鞴と大型羽口を持つ半地下式竪型炉が現れ、
箱型炉と併用されるようになる。この踏み鞴付き竪型炉の出現は、炉の送風・温度安定と高温化を生み、箱型炉の操業にも
大きな影響を及ぼしたであろうことはまちがいない。

◎ 8世紀後半から9世紀初めには、量産効果をさらに高めるため、箱型炉にも足踏み鞴を付けた大型の長方形箱型炉が登場し、
タイプの異なる2つの製鉄炉が並立する時代を迎える。

◎ 9世紀中葉には足踏み鞴を付けた大型の長方形箱型炉を並べて設置するようになり、鉄の大量生産化がすすむ。
一方、東国・東北で育まれた竪型炉は消えてゆくという。

【和鉄の道・Iron Road】　発掘された日本列島2013　新発見考古学展に見る　昨年度発掘された製鉄関連遺跡の紹介
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1309souma00.htm　より



1. 緊急発掘調査で出土した山田町の古代製鉄遺跡
「田之浜館遺跡」&「沢田Ⅲ遺跡」

弥生文化博物館特別展「縄文! 10000年の旅」
関連考古学セミナー

岩手県での発掘調査災害復興のために

災害復興支援 岩手県山田町緊急発掘調査に応援参加して

2014.6.29. 大阪府立弥生文化博物館



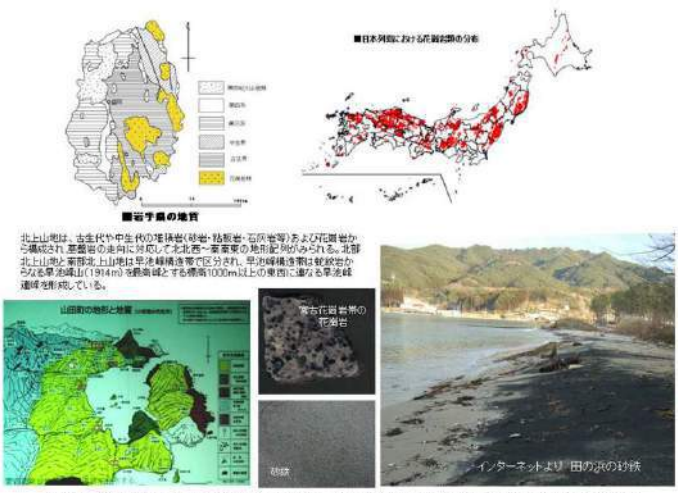
三陸沿岸Iron Roadの探訪から帰って、行けていなかった岩手県の縄文「**縄文! 10000年の旅**」を見に最終日前の6月28日弥生文化子博物館へ
当日関連セミナーとして「岩手県での発掘 災害復興のために」が開催されているのを知り、参加。 大阪から、緊急発掘調査応援に行かれていた2名の方の調査報告で、偶然にも 私の出かけた山田町船越「焼山遺跡」周辺の製鉄遺跡発掘調査を中心とした報告

知りたかった古代の三陸沿岸のたたら製鉄についての知見が倍増。焼山遺跡の報告に追加して、撮らせていただいた関連スライドなどをまとめました。

講演資料 ◎ 三好孝一氏 山田町 田之浜館 現地説明会資料 h25.8.2.
「中世の城館跡と平安時代の鉄生産遺構」

◎ 広瀬時習氏 「沢田Ⅲ遺跡 - 鉄生産関連遺構の調査 -」 h26.6.28.









船越　浦の浜から眺めた養殖筏



山田町沿岸から眺めた養殖筏

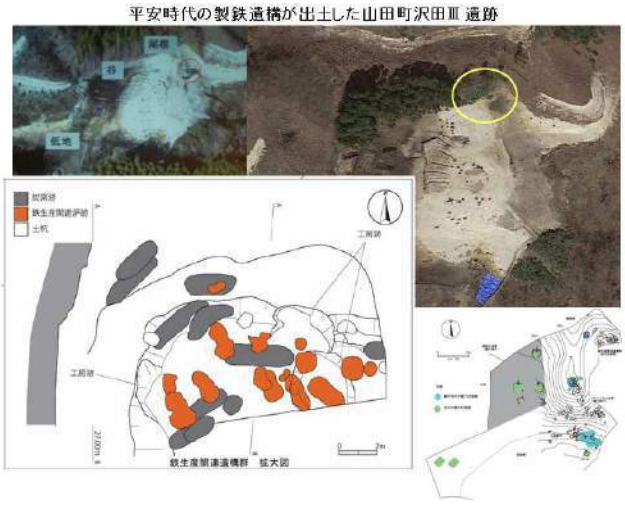
三陸沿岸の山々にある砂鉄　鉄が育てた豊かな三陸の海


1.2. 山田町沢田III遺跡
11･12世紀平安時代後半の製鉄遺構や 縄文中期の竪穴住居などが出土した
広瀬時習氏講演スライドより
宮古花崗岩帯の山々でおおわれている山田町沿岸
山には山砂鉄 浜には浜砂鉄が堆積し、
古代から370を越える製鉄遺跡が確認されていているという。
そして、眼前の海には 「ホタテ」「牡蠣」「ホヤ」の養殖いかだが湾内一杯 無数に広がっている。
陸から流れ出た鉄分が育てた豊かな海である
Google


沢田III遺跡
上村遺跡はこのあたりか？
外山遺跡
田の浜館跡
Google


沢田III遺跡
鉄生産関連遺構群
尾根
谷
低地
調査区全景（南から）
標高12～30m
風化花崗岩（真砂土）層
山田町沢田III遺跡から見つかった遺構
●縄文時代 竪穴住居10棟 土坑50期 包含層層1
●古代 竪穴住居跡9棟
鉄生産関連炉跡16基 炭窯跡 11基
尾根部の北東端に位置する南谷の狭い範囲に重層して数多くの製鉄遺構が出土


見つかった遺構
●縄文時代 竪穴住居10棟 土坑50期 包含層層1
●古代 竪穴住居跡9棟
鉄生産関連炉跡16基 炭窯跡 11基
11･12世紀平安時代後半の製鉄遺構や縄文中期の竪穴住居などが出土した山田町沢田III遺跡


平安時代の製鉄遺構が出土した山田町沢田III遺跡
尾根
谷
低地



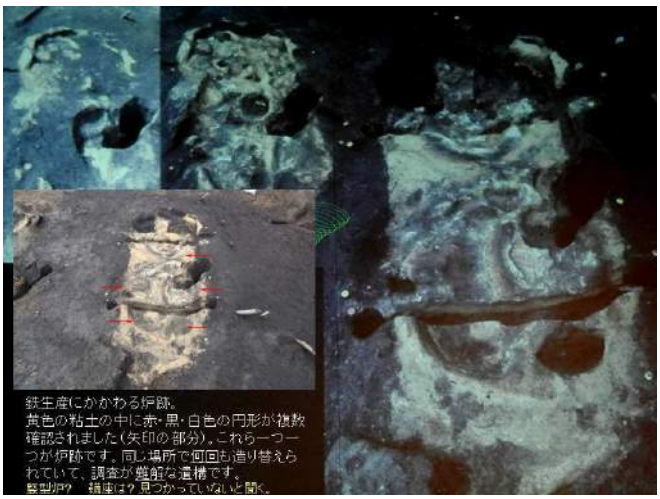


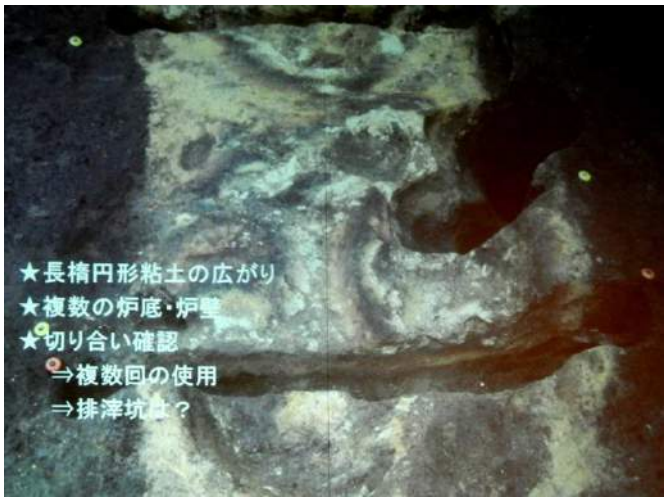
8 世紀に東日本に登場した半地下式竪型炉の系譜に属し　大きなラッパ状羽口が製鉄炉に装着。

6 世紀に西日本で始まった箱型炉の系譜とは異なるといわれている。　その後　福島県相馬の武井・金沢製鉄遺跡群にも箱型製鉄炉と併用で現れ、足踏みふいごの装着は竪型炉から始まったのではないかと思っている???

平安時代　大型箱型炉の登場と共に　竪型炉は次第に消えてゆくが、

三陸では鋳物銑の需要により、竪型炉は存続してゆく　　M.Nakanishi





沢田Ⅲ遺跡

- 鉄生産関連遺構の発見
  - ※山田町内遺跡詳細分布調査では、製鉄遺跡（387遺跡）として周知されていなかった沢田Ⅲ遺跡で鉄生産関連遺構が発見された。
- 立地：南向き傾斜地の狭い範囲に遺構が密に分布
  - ※炉跡19基（2タイプ）・炭窯跡11基が狭い範囲に連続して構築されていた。
- 時期：平安時代後期
  - ※炭素14年代



南谷より山田湾を望む

竪形炉の導入

- 北陸・関東・東北において、奈良時代から平安時代の初めにかけて大形の箱形炉から竪形炉へ炉形を変更する。
- 従来は、高チタン砂鉄を原料として使用する場合には、竪形炉の方が還元性が高いと言われていたが、この時期の箱形炉は技術的に優れており、これが原因とは考えにくい（真鍋2012）
- 新たな製品に対応した鋳造技術を持った工人の得意とする溶解炉と類似した構造の、竪形炉が広まったと考えられる（律令国家の関与）。

鋳造を主とする南部鉄器と関係するのだろうか??

東北における鉄生産の歴史的背景

- 斉明天皇の時期（658~660）、阿部比羅夫は日本海沿岸を北に遠征（3回）
- これに対応して、太平洋側でも行われたとの指摘もある
- この時期に、陸奥南部の福島県沿岸部の製鉄遺跡群が盛期となる
- 光仁・桓武・平城・嵯峨天皇の774~811年、「38年戦争」陸奥南部の鉄生産の第2の盛期。
- 鉄生産は、こうした歴史的な背景のもと、東北に根付くとともに、実際にはその技術は、律令国家の思惑を超えて、広がっていったものと考えられる。
- 養老律令の関市令弓箭条（げんしりょう・きゅうせんじょう）の東辺・北辺の夷狄の地に製鉄施設を置くことを禁じる条文があることは、実際はそうした状況があったことを物語っているのであろう。
- 元正天皇の715年には、蝦夷須賀君古麻比留が、先祖以来昆布を献上してきた功績により、閇村（現在の岩手沿岸中部閉伊地方）に郡家を建てることを許され百姓身分編入された（『続日本紀』）

古代の鉄器と生産

- 鍬先の研究において北東北は、8世紀後半から9世紀にかけて城柵などを中心に、律令国家の関与があったと考えられる形態の鍬先（新U字型鍬先（林2010）が広まるが、独自の系譜を持つ鍬先が使われ、さらに9世紀末以降の製鉄遺跡の増加する時期以降個別化の一途をたどったとされる（林2010）
- 古代の製鉄炉についても、岩手・青森・秋田の東北三県で、3類型の分類が可能。津軽能代型・岩木山型・閉伊型と集落との立地関係や、設置場所の地形、炉の構造などに相違がみられる。

この古代の製鉄炉変遷　私のイメージとはちょっと違っていました。平安後期の変遷中心の記述か?　By Mutsu Nakanishi

蝦夷と鉄生産

- 都母・尓薩体・弊伊などの沿岸部の蝦夷の拠点との摩擦と交易発展、鉄生産・久慈の琥珀を含む、膨大な北方文物の入手が、公的・私的両面で進行。圧力とともに、交易による文物の入手など、多面的な理解が重要。
- 古代から中世への権力構造と経済活動の方向性の転換の中で、蝦夷社会も大きく揺れ、巻き込まれていく。
- また、古代末~中世初頭にかけて、11世紀後半は前九年・後三年の役以降,平泉を築いた奥州藤原氏の栄華など、外部世界ではなくなりつつある状況。
- 沢田Ⅲ遺跡は、こうした時代背景の中の製鉄遺跡である。
- 今後の調査で、周辺地域も含めて新たな発見が期待される。
- これらの成果はこの地域の蝦夷と倭人の歴史のあらたな重要資料となっていくのではないだろうか。

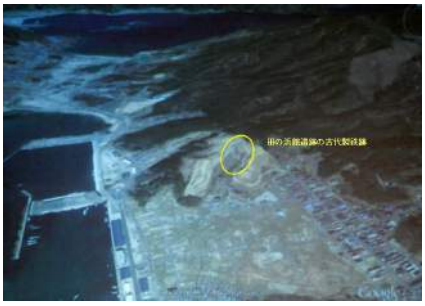
この沢田Ⅲ製鉄遺跡でも多数の製鉄炉跡が見つかっているが、鞴座が見つからぬと聞く。
平安時代後期には　すでに足踏み鞴が普及し、製鐵炉には鞴座があると思うのですが、不思議である。

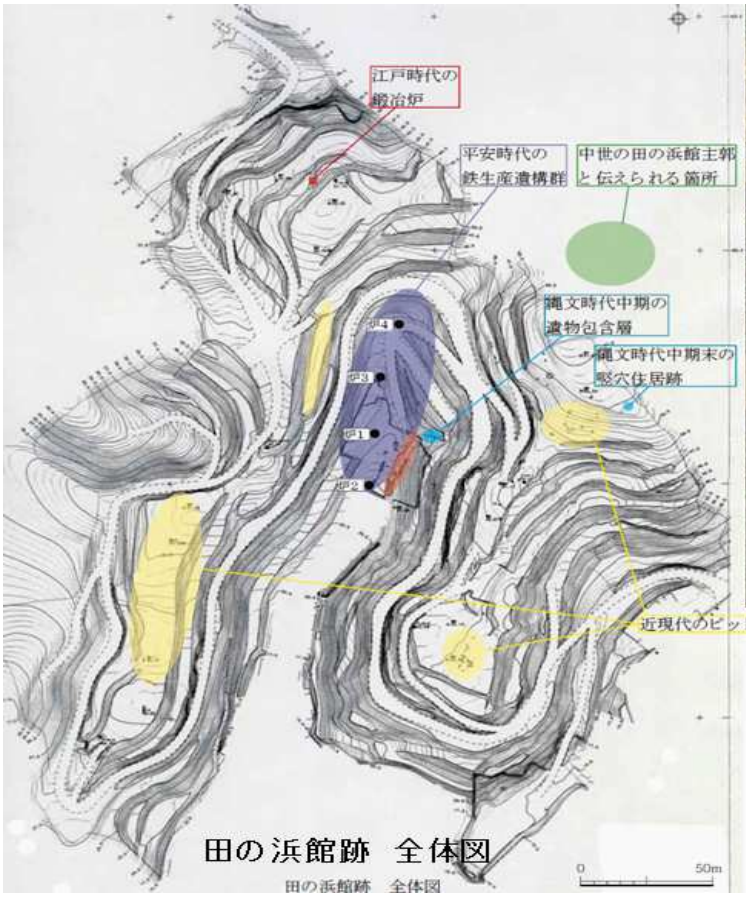
1.3．　山田町船越半島　田の浜館跡

中世の城館跡と平安時代の鉄生産跡　　三好孝一氏講演スライドより











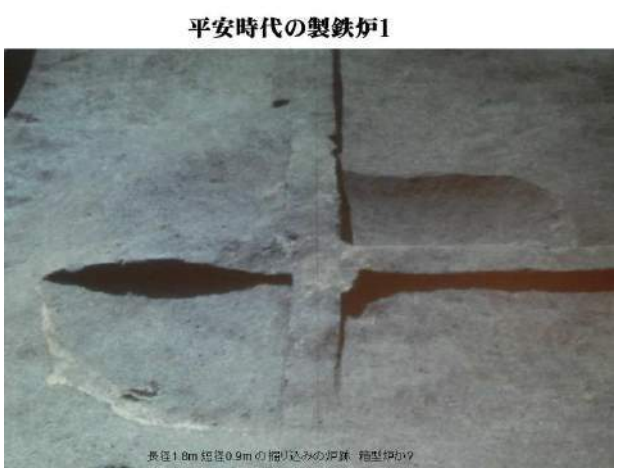
見つかった遺構と遺物

- 縄文時代　竪穴住居跡　1棟　遺物包含層　1ヶ所
- 平安時代　製鉄炉　4基　炭窯　5基　土坑　1基
- 中世の城館遺構
  城館遺構があると考えていたが、近現代の農地造成地
- 江戸時代以降　鍛冶炉　1基　炭窯　1基　ほか







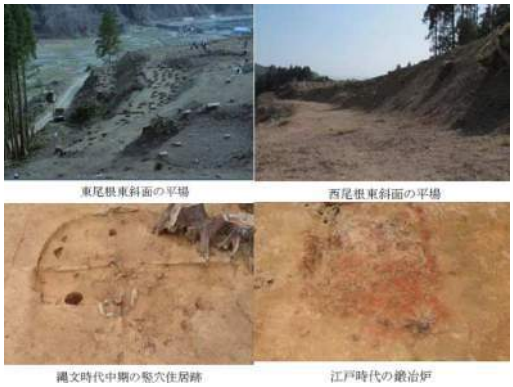


この平安時代の中・後期になるとすでに製鉄炉は大型化し、足踏み鞴が炉の直ぐ傍に据えられているはずであるが・・・・今、山田町で緊急発掘調査されているこれら古代の製鉄遺跡では竪型炉と思われる製鉄炉が多数見つかっているのにも関わらず、鞴座が見つからぬと聞く。



ふと思ったのが、小槌町小林家住宅の製鉄絵図。あの絵図に描かれている製鉄炉は革袋の鞴であり、時代はかなり新しいとする説もある。
この三陸では連綿として、古い時代の小型竪型炉の製鉄技術がずっと継承されつづけられていることも含め、独自技術継承がづっとつづいているかもしれない。その中は、蝦夷時代の製鉄技術も・・・とクリアーにはなっていませんが、古代三陸の製鉄炉・製鉄工房は大和の文化圏の製鉄遺跡とすこし異質な印象を受けています。







鉄生産関連遺構の調査例（山田町）

No.	遺跡名	遺跡番号	地区	調査期間	調査面積（㎡）	検出遺構 製鉄関連 古代 製鉄炉	鍛冶炉	炭窯跡	廃滓場	工房跡	出土遺物 鉄製品	製鉄関連 羽口	鉄滓	鍛造剥片	炉壁	その他
1	細浦Ⅰ	MG04-0032	織笠	19920501～0627	3,600	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2	細浦Ⅱ	MG04-0030	織笠	19920411～0428	1,000	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－
3	清台Ⅱ	MG14-0204	織笠	19910410～0723	3,700	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－
4	清台Ⅲ	MG14-2281	織笠	19900820～1008	2,000	1	－	－	－	－	－	○	○	－	－	10世紀
5	上村	MG14-0204	織笠	19920413～0831	3,700	8	2	12	－	－	○	○	○	○	－	8世紀
6	大畑Ⅰ	LG93-2354	飯岡	19930407～0723	250	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	10世紀
7 8	大畑Ⅱ	LG93-2345	飯岡	19920901～1113 19930407～0723	1,375	6	3	－	－	6	○	－	○	－	－	10世紀
9	山ノ内Ⅱ	MG14-0230	船越	19950410～0731	7,290	2	6	10	1	－	○	○	○	－	－	平安
10	山ノ内Ⅱ	MG14-0230	船越	19950807～0918												
11 12	山ノ内Ⅲ	MG14-0281	船越	19930726～1028 19940405～0812	9,000	8	－	17	1	－	○	○	○	－	○	10世紀
13	沢田Ⅰ	LG94-0032	山田	19940801～1111	2,000	－	1	－	－	－	○	－	－	－	－	平安
14			山田	19950615～0804	2,500	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－
15			山田	19960801～0803	980	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－
16			山田	19970407～1113	6,200	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－
17			山田	19990629～0830	480	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－
18	沢田Ⅱ	LG94-0033	山田	19960411～0731	4,000	1	6	－	2	－	○	○	○	－	－	8世紀
19	房ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19960413～0614	3,600	－	－	－	－	－	○	○	○	－	－	刀剣類
20	房ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19960801～1107	1,900	－	－	7	－	－	○	○	○	－	－	刀剣類
21	房ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19970407～0704	2,300											
22	柳沢Ⅱ	LG94-0079	山田	20010417～0731	8,400	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－
23	猿神	MG03-1267	織笠	19931007～1017	84	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
24	山B	LG84-2273	大沢	19981006～1030	390	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
25	細浦Ⅵ	MG04-0039	織笠	20000418～0526	3,000	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
26	後山Ⅰ	MG04-0063	織笠	19991202～20000320	2,520	29	－	15	－	7	－	○	○	－	○	10～11世紀
27		MG04-0063	織笠	20000606～1124												
					71,329	55	18	61	4	13						

山田町では数多くの古代製鉄関連遺跡が出土している。
蝦夷の時代とおもわせる 8 世紀の製鉄遺跡「上村遺跡」が焼山遺跡のある船越地区のすぐ北隣の織笠地区から出土。
また、船越半島の付け根の田の浜館遺跡からも平安時代前期と分析された製鉄遺跡が出土している。
古くから砂鉄を産するこの山田町海岸でたたら製鉄が行われていたことがわかる。

古代岩手県の歴史より　蝦夷の時代



この時代でもう一つ見逃せないのが鉄生産と鉄製品です。山田町上村遺跡で見つかった奈良時代の製鉄炉と鍛冶炉が古い例になりますが、その近辺である山田町山ノ内Ⅱや山ノ内Ⅲ・湾台Ⅱほかの各遺跡では平安時代の製鉄炉や鍛冶炉が検出されています。また、約7.6万㎡を調査した宮古市島田Ⅱ遺跡は製鉄から鍛冶まで一貫して行う大規模なムラであることが分かりました。177棟の竪穴住居跡と共に製鉄炉・鍛冶炉・炭窯などの遺構があり、豊富な鉄製品と鉄滓・鍛造剥片・フイゴの羽口などの遺物を特色とします。宮古市を中心とした沿岸中部の鉄生産関連遺跡は蝦夷と呼ばれた人々の生業と密接に係わっているものです。

三陸の製鉄　　古代三陸で一番古い製鉄遺跡

参考3.　山田町織笠にある八世紀後半の製鉄遺跡　上村遺跡

岩手日報　平泉栄耀の記憶　⑭金と鉄と馬　　2005年5月25日　　より

https://www.iwate-np.co.jp/sekai/sekaiisan/sekaiisan14.htm

今、岩手で最も古いとされる製鉄跡は、山田町上村(かみむら)遺跡の８世紀後半。奈良時代のことだ。
ただし、確定とはいかない。
９２年の発掘調査で、炉跡が見つかり、製鉄遺跡なのは間違いない。
時代は鉄滓などの捨て場で出土した土師器(はじき)片の年代観で特定した。
しかし、土師器片が鉄滓と同時代ではなく、他の時代の混入物といわれれば、否定し難い。

東北に視野を広げれば、国府多賀城(宮城県多賀城市)に鉄製品を供給した柏木遺跡(同)が８世紀初め。
そこから上村遺跡(８世紀後半)へ技術が伝わった、と考えると、年代的・経路的にはつじつまが合うが、
「製鉄技術、なかでも炉への送風方法が決定的に違う」と岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの佐々木清文調査二課長はいう。
「足踏み式ふいごの多賀城とは違う送風法」　つまり、律令国家の官営技術とは異なる製鉄を上村遺跡の人々は行っていた。
近年、海の蝦夷のダイナミックな交流が注目される。
遺物に北と南、多様な地域からの品々が交じっていたことがわかってきたのだ。
三陸の製鉄技術は、独自のものか、あるいはどこからか影響を受けたものだろうか。
いえるのは、沿岸を中心とした古代製鉄が、蝦夷から安倍、藤原へと、富と権力を支え続けた。
みちのくの栄枯盛衰を、真っ赤に燃える製鉄の火を見るように、製鉄技術者は見続けたはずだ。



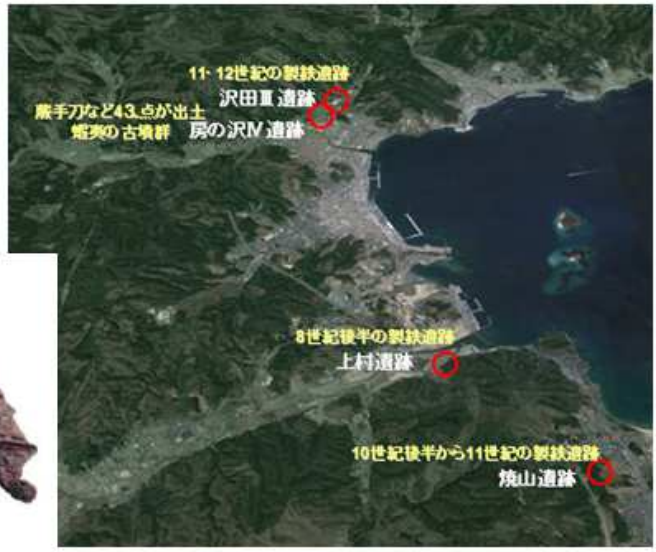
今回資料に記した山田町船越「焼山遺跡」関連の周辺の古代の製鉄遺跡

上村は織笠川河口近くの下流域の南側の山裾　山田町織笠第一地割。
上村遺跡の位置はよう確認していませんが、地図によれば、今回発掘調査現場を見学した船越の「焼山遺跡」とは東西に張り出した小さな尾根筋を挟んで、両側　北側の位置にある小さな谷筋。
「この山田町周辺では古代蝦夷の時代から、たたら製鉄が行われていた」とのロマンが広がってくる。　　2014.6.7.　Mutsu Nakanishi

参考4　奈良時代　8世紀　蕨手刀3振りや大量の刀剣類を副葬していた
山田町房の沢古墳群・房の沢Ⅳ遺跡







標高60メートルの尾根上に1200年前古墳時代末期から奈良時代にかけてつくられた古墳群
平成8～9年に緊急発掘調査が行われ、４～5m前後の墳丘の埋葬部分と三日月型の溝から
なる35基の円墳と馬の墓などが発見された。
副葬品として最終的に蕨手刀や直刀など刀剣類43点が出土した。
当時は、中央政府に属していなかった東北地方北部にも、中央政府の勢力が及び、「蝦夷(えみし)」と呼
ばれた人々と争っていた時代で、当時山田地方を納めていた蝦夷の首長クラスであったと考えられている。

遺跡の大半は、三陸縦貫山田道路建設工事で消滅したが、丘の上には現在も数基の古墳が残されている。
現在は三陸縦貫道の下になりました。山田北小学校の北西の辺りです。



参考5　古代　岩手県三陸沿岸「閉伊」の製鉄と蝦夷について　インターネットより

柴田弘武　閉伊村のえみし・特産品「鉄」 http://emisi.com/semi/14semi/material/hei.htm より

1992年に山田町織笠の上村遺跡で、8世紀後半と見られる製鉄遺跡が発見されて、俄然三陸地方の古代製鉄が注目されるようになった。上村遺跡について、八木光則氏は「蝦夷社会の地域性と自立性　－陸奥を中心として－」という論文(『古代蝦夷の世界と交流』所載)で次のように書いている。

「最近岩手県上村遺跡で、八世紀後半とみられる製錬炉九基と鍛冶遺構二基が確認された。
この地域は城柵官衙から離れ、郡制が施行されていない地域にあり、また周辺に多くの鉄器が普及していることから、官営的な工房でなく、在地向けの工房と考えられる。前述のように北東北での鉄器の遺存率は南東北を越えるものであり、上村遺跡は北東北独自の製錬を証明するものである」

その後山田町では　**山ノ内Ⅲ遺跡**(10世紀代の製鉄炉8基と鍛冶炉)、**山ノ内Ⅱ遺跡**(9世紀代の製鉄炉2基と鍛冶炉・木炭窯)、**沢田Ⅱ遺跡**(8世紀代の製鉄炉1基と鍛冶炉)、**後山Ⅰ遺跡**(11・12世紀の製鉄工房跡7棟、製鉄・鍛冶炉30基、炭窯13基など)、湾台Ⅱ・Ⅲ遺跡など8つの古代製鉄遺跡が発掘されている。

岩手県文化振興事業団の佐々木清文氏も「北上山地の古代製鉄」(資源・素材'96秋季大会、資料)で、

「岩手県内では、9世紀以降に北上川流域で製鉄が行われる以前に沿岸部で製鉄が行われ、しかも10世紀あるいはそれ以降まで製鉄が行われている。しかも沿岸部では、8世紀以降の集落遺跡の数が急に多くなり、弥生時代以降の遺跡の少なさが不思議なくらいである。(中略)
沿岸地方は、北上山地南部の砂金の産出地と共に　早くから律令政府との結びつきがあったようである。
中央との交渉を通じて伝わってきた製鉄技術は、はたして政府の援助を伴っていたかどうかは疑わしい。
炉の形態が小型化していることや送風装置が異なることから、地方の有力者が中心になって見よう見まねのような状態から製鉄を行ったと考えるのが自然である」と述べている
(なお「送風装置が異なる」というのは、上段テラスの輪が非シーソー式であることをさしている)。

そして1999年以降現在に至っては、宮古市八木沢の島田Ⅱ遺跡の発見がある。
ここでは10世紀の製鉄・精錬・鍛冶までの一貫生産が行われたことが判明した。住居址150棟、工房跡80棟前後も発掘され、古代屈指の大規模製鉄集落であることが明らかになっている。

こうして8世紀から始まった三陸地方の独自の製鉄・鍛冶は、12世紀まで連続して営まれていたことが明らかになりつつある。

*8～9世紀の製鉄は、迫りくる律令国家の攻撃を前にして、日高見国(蝦夷国)の存亡をかけたえみし軍の武器の調達のためだった、ということは考えられないだろうか。**房の沢遺跡古墳群から出土した、大量の蕨手刀**などの刀などを考えると、　アテルイたち北上川流域えみし軍の武器供給地として　閉伊地方があった、という考えを私は捨て切れないのである。*

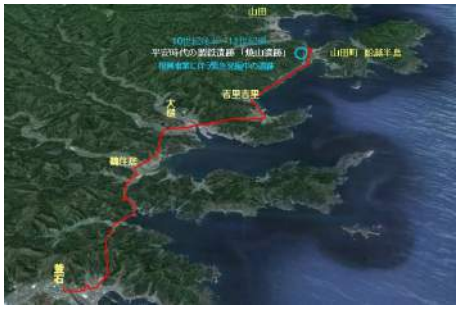
10世紀以降の製鉄も、安倍氏や平泉藤原氏の武器供給地の役割を果たしていたと考えたい。

閉伊村のえみし　柴田弘武 http://emisi.com/semi/14semi/material/hei.htm より　抜出し転記

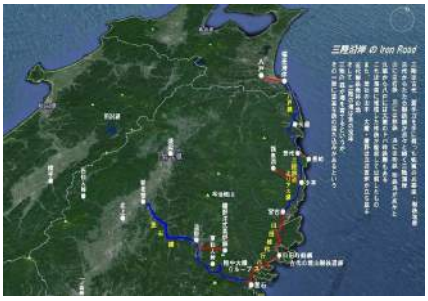
東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

1. 世界産業遺産登録を目指す 日本近代製鉄発祥の地 「釜石」　近代製鉄発祥の地「橋野・大橋鉄鉱山」を訪ねる　2014.6.7.
2. 発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる　蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??　2014.6.8.
3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞＆普代・黒崎を訪ねる　龍泉洞・北緯40度地球村　普代　2014.6.7.&6.8
4. 普代から久慈・八戸　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　有家海岸　＆　種差海岸　2014.6.9.
5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の 今三陸の街の 今　コメントなしのPhoto集　2014.6.7.-6.9.

2.　発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる
鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて　2014.6.8.







≪　この項　おしまい　≫

2014.7.18.　by Mutsu Nakanishi

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地 「釜石」　近代製鉄発祥の地「橋野・大橋鉄鉱山」を訪ねる　2014.6.7.
2. 発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる　蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??　2014.6.8.
3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 &普代・黒崎を訪ねる　龍泉洞・北緯40度地球村　普代　2014.6.7.&6.8
4. 普代から久慈・八戸　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　有家海岸　&　種差海岸　2014.6.9.
5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今三陸の街の今　コメントなしのPhoto集　2014.6.7.-6.9.

2.　発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて　2014.6.8.



現在発掘中の10世紀後半から11世紀の製鉄遺跡
山田町船越「焼山遺跡」



古代の製鉄遺跡(一部)
山田町には300を越える製鉄遺跡があり、蕨手刀も出土と聞く
古代の大製鉄地帯　蝦夷の鉄生産基地のロマンを秘めている





蕨手刀3振り他多数の刀剣類を副葬
8世紀蝦夷の古墳群　山田町　房の沢古墳群

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

2.　発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて　2014.6.8.





【　内　容　】

2.1.　釜石から山田町船越へ
　代行バスで　震災・大津波の被災地を走り抜ける　　しっかり眼に焼き付けておかねば・・・
2.2.　船越半島の付け根を南から北へ大津波が半島を横切っていた
2.3.　道の駅山田から少し国道を戻って　船越の集落から焼山遺跡へ
2.4.　古代平安時代の製鉄遺跡「焼山遺跡」2014年緊急発掘調査現場見学
2.5　道の駅「やまだ」へ戻って　船越半島の付け根「浦の浜」へ降りる
　古代の製鉄遺跡が300以上ある山田町　宮古花崗岩帯から流れ出た砂鉄が浜にある
2.6.　大津波の傷跡が残る山田町を走り抜けて、宮古へ

【参考】　古代三陸で行われた鉄生産技術について
三陸山田湾沿岸の古代製鉄関連遺跡

7月8日天候は霧雨　三陸沿岸のIron Road Walk 2日目の概要

霧雨ですが、今日はいよいよリアス式海岸が続く三陸沿岸を釜石から北へ。大震災の津波が直撃した被災地。　現在も山田線復旧の見込みは建たず、代行バスが釜石－山田－宮古をむすび、その北は4月に全通した三陸鉄道が久慈へと沿岸を結ぶ。
また、リアス式沿岸アクセスの切り札として　虫食い着工されていた三陸沿岸縦貫道路の建設が最優先で進められている。　この復興道路がめぐる山裾の高台は古代から山や浜から出る砂鉄を使った製鉄遺跡の宝庫。
午前中に山田町船越で緊急発掘調査が進められている古代製鉄遺跡「焼山遺跡」の発掘地現場を見学し、かつて蕨手刀を手に大和と戦った蝦夷の鉄の謎に迫れる地検がえられれば・・・・・・・・・

其の後、午後は宮古から「三陸鉄道」に乗車して、20数年前に訪れた岩泉・普代など北三陸沿岸のIron Roadを訪ねる。
宿はその時泊まった普代黒崎の国民宿舎が取れているので、足の向くまま気の向くまま三陸のIron Roadを歩く。
気持ちを引き締めてあるかねば・・・・・と。

一番の興味は、古代大和の東北征伐の一因と言われる北上山地に眠る「金の山」。　大和と蝦夷の攻防に大きくかかわったのが、仙人峠の名が示す厳しい北上山地で隔てられ、製鉄資源帯でもあった三陸沿岸ではないか・・・・と。　東北での製鉄技術流出を恐れ、厳しく統制管理していた大和。
Ⅲな時代に蝦夷たちは日本刀のルーツというべき、優れた蕨手刀を持って戦った。　蝦夷たちは、大和とは異なる製鉄技術のルートを持ち、その蝦夷の鉄生産基地が古代の製鉄遺跡が数多くあり、蕨手刀も出土しているこの三陸ではないかと。
「発掘中の古代製鉄遺跡現場が今だったら見られる」と聞いて、新たな知見が得られるのではないかと胸ワクワクです。

また、代行バスから乗り継いで　三陸鉄道に乗るのも楽しみ。
20数年前岩泉・龍泉洞から三陸沿岸に出て、満員の三陸鉄道の列車に乗ってふっと思いたって降りた普代。「北緯40度地球村普代」の言葉が印象に。
また、翌日久慈のたたら館を訪ねる中で、「Iron Road」の言葉とイメージができた懐かしい地。　今日はどうなるか　風来坊。
まずは　しっかり被災地を目に焼き付けつつ、山田町船越の製鉄遺跡へ向かう







緊急の発掘調査が進む三陸沿岸

【参考】　山田町船越の古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる





復興事業推進のため三陸沿岸で進む遺跡発掘調査

岩手県埋蔵文化財センター所報「わらびて」129号　2014.2.26 より

三陸沿岸は古代からの鉄鉱石・砂鉄の資源帯であり、　海岸段丘の山裾には古代から点々と製鉄遺跡がある。
今　復興道路や住宅建設などの震災復興事業推進の発掘調査の中で、数々の遺跡発掘調査が行われ、数々の製鉄関連遺跡の遺構・遺物が明らかになっている。　中でも　山田町の山裾からは　次々と9か所にも及ぶ古代の製鉄遺跡が発掘され、古代の製鉄炉など古代三陸の製鉄が解き明かされるのではないかといわれる。
山田町船越の湾を臨む丘の斜面から羽口が差し込まれた形のままで古代の製鉄炉が発見されたと聞いて、釜石から宮古への代行バスの途中にある山田町船越の「焼山遺跡」そして　船越浜の砂鉄を見学してきました。





発掘調査が進む古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」　2014.6.8.

◆　三陸沿岸復興事業推進で進む幾多の遺跡の緊急発掘調査で古代三陸の製鉄がベールを脱ぐ

● 焼山遺跡（山田町）の製鉄炉

焼山遺跡は、川船越駅と山田道路との間に挟まれた、南東に開けた谷の北側斜面地に位置しています。
写真は、古代の製鉄炉です。炉の直径は約60cm、円形に掘り込まれています。底には鉄滓が付着しています。左側には鞴から空気を送り込むための羽口が見えます。羽口の太さは約8cmあり、先端が炉内に出るように設置されています。当時の製鉄炉（3頁・想像図）は中から鉄を取り出すために、ほとんどが壊されますから、このように羽口が推奨当時の位置をとどめた状態で出土することは珍しいと言えます。羽口の設置位置や角度など、この製鉄炉は多くの情報を私たちにもたらしてくれます。
古代から続く岩手の鉄文化の謎に迫る貴重な資料です。







三陸沿岸のIron Roadを訪ねるにあたって、インターネット検索で、岩手県埋蔵文化財センター所報「わらびて」129号に三陸沿岸沿全域にわたり、復興事業と関連した緊急発掘調査されていることが紹介されていました。　　その特集には、山田町他で続々と古代の製鉄遺跡の緊急発掘調査が行われ、昨年の調査で羽口が差し込まれたままの製鉄炉。また、同じ山田町沢田Ⅲ遺跡でも古代繰り返し製鉄が行われたことを示す重なり合った製鉄炉　そして、北の野田村平清水Ⅲ遺跡からは蕨手刀1振が出土したことが紹介されていた。　　今
三陸沿岸全域にわたって　急ピッチに進められている遺跡発掘調査で　東北古代の製鉄地帯　三陸沿岸のIron Road　がクリアーになる。　気になっている古代蝦夷の製鉄も明らかになるかもしれないと。

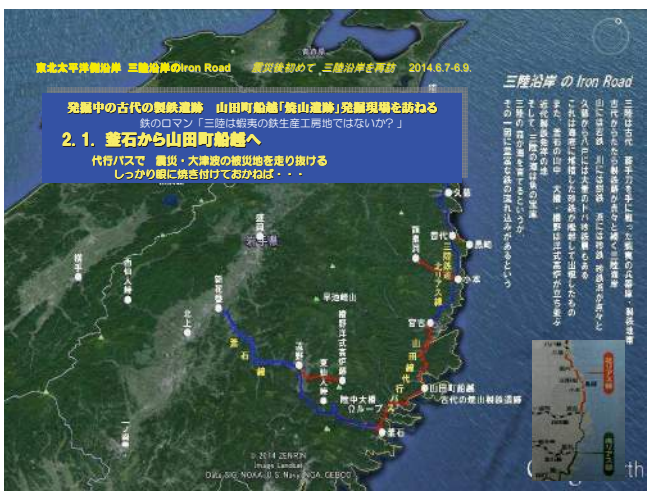
照会の電話に「山田町焼山遺跡は　現地説明会が終わったばかり。　調査作業が続いていて、今だったら発掘現場がそのまま見学できる」と教えてもらって、遺跡の場所などを確認。　さっそく　山田町船越にある古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」を是非訪ねようとインターネットで、周辺の遺跡資料や地図　そしてにアクセス情報を集め、山田町訪問のスケジュールを組む。

釜石から山田町を経由して宮古へ結ぶ山田線は現在も不通であるが、遺跡のすぐそばの山田町船越の道の駅まで釜石から代行バスがあり、また、ここから、さらに北へ宮古行の代行バスに乗り継ぎ出来るれことが判ってラッキー。　釜石から山田までバスで50分ほど、早朝のバスに乗れば、ゆっくり製鉄遺跡を見学して、午後には宮古から三陸鉄道に乗れる。うまくアクセスあれば、龍泉洞へも行って、普代へ行ける。　問題は雨　降ったりやんだりならば最高と・・・・



山田町には370を越える製鉄関連遺跡があり、
現在緊急発掘されている遺跡も9つにのぼると聞く

山田町の古代製鉄　300を越える関連遺跡より　今回調べた関連古代製鉄遺跡をプロットしました





山田線不通のため、並行する国道45号線を代行バスに乗り、被災地の中を眼を凝らしながら走り抜ける　2014.6.8.



山田線不通のため、並行する国道45号線を代行バスに乗り、被災地の中を暖を凝らしながら走り抜ける 2014.6.8.


土砂降りの雨 釜石市役所前 7:50発 道の駅山田行の代行バスで出発


復興が始まったといいますが、山間の高台に仮設多くの仮設住宅がありました 2014.6.7.


釜石の市街地をぬけて、鵜住居地区に入って


国道45号 鵜住居川を渡る 三陸道（大船渡・気仙沼方面無料区間入口）


国道45号 大槌町 マスト前へ 大槌の街に入る


国道45号 小鎚川岸 大槌の街を眺める マスト前へ
一度歩いたことがある大槌町ですが、街が原に 山田線の駅も探せない


大槌町になくてはならない地元商業施設「シーサイドタウン マスト」
甚大な被害を受けて再開も危ぶまれたが、街の強い要望に応え、11年12月22日に復活を果たし、
「大槌町復興まちづくり情報プラザ」など新たな復興拠点だと聞きました。





大槌川を遡って大槌の街を後に　この大槌川・小槌川・鵜住居川が流れだす山中は　鬼伝説が残る古代からの鉄の資源帯であり、古くからのたたら製鉄地帯　昨日行った洋式高炉跡橋野も鵜住居川の奥。　また、小林家の製鉄絵図もあり。
2002年　この大槌の岸から　これらの山々を眺めたことがある。

◆　2002年大槌を訪ねた時に知った　大槌町に伝わる鬼伝説

しおはまやすみ・船橋曜男著「遠野上郷大槌町物語」 柴田弘武著「鉄と俘囚の古代史」より引用



小鎚川・大槌川　概　略



大　槌　町（2002年）



（小鎚　蔵打直　小林家に伝わる製鉄絵巻より）

「小鎚川の川下より川上に向いて左の山を葡萄森という。土地の人これをブンタ森と呼び、鵜の住居村との境をなす。
この山裾に大和高取より移り住みし鍛冶屋あり。
いつの頃より、毎夜この家の仕事場を窺い見る鬼が現われ、やがて屋の柱をゆするなどの狼藉を働く。
鍛冶屋ついに怒り、手に持ちし大槌・小鎚にてその鬼を叩きしという。

鬼は頭を打ち割られ、大いなる声を発して飛び上がり、そのはずみにて屋根を突き抜け、山奥目指して逃げ行きぬ。
鬼は逃走の途次も小鎚川中流の蔵打直にて川前の一軒の家に打ち当り、その家を壊し、山向こうの橋野の方へ去れり。
鍛冶屋は手負いせる鬼の行方突きとめんと……弓箭を携えてやまに入る。されど鬼の行方ついに分明ならず。
後に橋野人の伝えしは橋野の山奥、笛吹峠に近き山中、片羽山といえる山の麓にて、
鬼の仰向きになりて死せるを見たりと。この地を誰いうとなくアオノキの地という。今日の青ノ木なり。

鍛冶屋はその後家業に精出さんと思い立ちしも、その手に大槌・小鎚を持ったびに打ち殺せし鬼の思い出されて気色悪し。
ついに鍛冶を廃業せんと鬼を打ちし大槌・小鎚を家の前を流れる川中に打ち捨てり。
鉄にてつくりし小鎚はその川底に沈み、木にてつくれる大槌はその川面に浮き、流れて海へ出でしが、
後ふたたび潮により岸に戻され、一つ北の川筋の河口へ漂い着けりという。
土地の人、誰言うとなく小鎚の沈みし川を小鎚川、大槌の漂い着ける川を大槌川と呼びならわすようになれりとぞ。」



大槌の街を抜けた峠道で
こんな高いところまで浸水したのかと



大槌から崖がつつく波板海岸の丘の上よく整備された道を走ると間もなく「道の駅」やまだの標識がでてきて、ここを出れば船越半島が西へ突き出す船越。終点である。
焼山遺跡へは一つ手前の船越のバス停からが、近いのですが、様子が判らぬので道の駅の終点まで行く。



8:37　釜石からの代行バスの終点　山田町船越の「道の駅やまだ」到着
ここからはバス会社が代って、さらに宮古へ行く代行バスが接続している。
接続と言っても乗り継ぎはなし。予想通りですが、日曜日で11:45発の宮古行までバスはなく、
ゆっくりとこの船越にある古代製鉄遺跡「焼山遺跡」を見学できる。
この国道45号の道路の右下側が西へ突き出た船越半島　左手の山裾の少し手前の建成中の丘が目指す「焼山」。 少し戻って、船越の集落の中から山へ向かう





山頂の真台を走る国道45号線から眺める船越半島の付け根　2014.8.8









国道45号線の高台から見る船越半島の付け根　2014.6.8.
[illegible]浦の浜・山田湾　左側・南田の浜・船越湾　[illegible]の建物は津波でやられ、閉鎖中の鯨と海の科学館



復旧の見込みがまだたっていない山田線の大浦踏切　2014.6.8.
国道45号線から西へ半島の付け根の浜に降りる途中で



大浦の山田線踏切のすぐ脇には　仮設の鯨と海の博物館の収蔵庫が建てられ、
背後に半島付け根の南側部が見えている



山裾の高台を走る国道45号線から西の船越半島の方へ下って
山田湾と船越湾に挟まれた狭い低地の浜に降りると　こんな風景が・・・
更地・かさ上げされた浦の浜から南西側船越半島の田の浜を遠望　2014.6.8.



更地・かさ上げされた浦の浜遠望　2014.6.8.



船越半島　浦の浜から東側船越半島の付け根を眺める　　写真　左:南　右:北



浦の浜北側に広がる山田湾　浜には多くはありませんが、砂鉄がありました　また　遠くに無数の養殖筏が浮かんでいます



船越半島　浦の浜から西側　船越半島を眺める　　写真　左:北　右:南



2.3.　道の駅山田から少し国道を戻って　船越の集落から焼山遺跡へ

国道45号線の下の浜へ降りる崖の途中にある鯨と海の博物館は現在閉鎖中
すぐ上の影下に、仮設の収蔵庫が建てられ、この周辺の遺跡遺物整理の作業がされていました







国道45号線沿い　道の駅のすぐ南側の山裾　高台移転のための造成地　2014.6.8.
この造成地の右手山際へ越えたところが、「焼山遺跡」だった


山裾の高台を走る国道45号線から眺める船越半島の付け根　2014.6.8.


国道45号線沿い　左: 道の駅のすぐ南側　高台移転のための造成地　右: 道の駅「やまだ」


国道45号線沿い　道の駅のすぐ南側の山裾　高台移転のための造成地　2014.6.8.
この造成地の右手山際へ越えたところが、「焼山遺跡」だった




国道を少し戻って、船越の集落の中　郵便局の所から東へ入る坂を登ってゆくと
左に船越支所　右手に造成地が見えてくる　2014.6.8.


古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」緊急発掘調査現場前　2014.6.8.
船越支所に声をかけようと立ち寄りましたが、日曜日でクローズ。 そのまま坂を少し登ると遺跡の前へ出た。


焼山遺跡前から登ってきた坂を振り返ると船越半島が望に・・・2014.6.8.


古代平安時代の製鉄遺跡「焼山遺跡」
2.4.　2014年緊急発掘調査現場見学　2014.6.8.
平安時代10後半から11世紀の製鉄遺跡「焼山」遺跡　2014年発掘現場　2014.6.7.



2013年発掘調査部の遺構配置図



2013年の発掘調査まとめ　2013.11.2.現説資料より

◎ 焼山遺跡は古代　平安時代　10世紀後半から11世紀頃の鉄生産にかかわる遺跡で、製鉄炉を築き、炭を焼き、砂鉄を原料に製鉄を行っていた。

◎ 出土した遺構

竪穴住居(古代)	1　棟	工房?　2　棟	
製鉄炉	7　基	炭窯　4　棟	
排滓場	1ヶ所		

◎ 出土した遺物

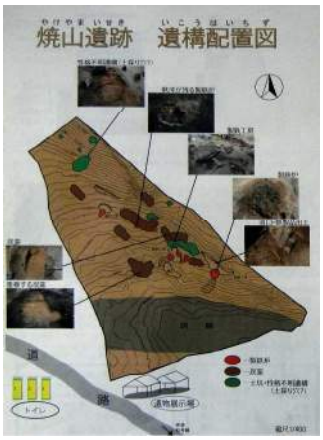
鉄滓	多数	40箱	土師器片　1袋
羽口	多数	3箱	縄文土器片　1袋
砂鉄		1kg	石器　2点
釘		1点	

◎ トピックス

1. 羽口を装着したままの状態で製鉄炉1基がみつかっている。
2. 製鉄炉の下には乾燥のため炭を敷き、焼かれている。
   [製鉄炉の大きさの1例]
   直径約50cm　内径約30cmの円形の炉でふいご座はみつかっていないと聞きました。
   羽口がラッパ状大型で、一本差し込んだままの状態で見つかった製鉄炉から見て、竪型炉だろうが、ふいご座が見つからぬことを含め、即断はできぬ。

炭焼窯というと普通された窯を想像しますが、窯跡の穴が浅井三津から、ここでは平地に穴を掘って薪を組み、上を土で完全に置う伏せ焼と呼ばれる簡単な方法だったようだ。

2014年発掘調査部の遺構配置図



2014年の発掘調査まとめ　2014.5.31.現説資料より

◎ 焼山遺跡は古代　平安時代　10世紀後半から11世紀頃の鉄生産にかかわる遺跡で、製鉄炉を築き、炭を焼き、砂鉄を原料に製鉄並びに鉄器製造を行う鉄生産工房。

◎ 出土した遺構

工房	3棟
製鉄炉	12基
炭窯	11基
排滓場	約2カ所
土坑	8基

◎ 出土した遺物

鉄滓	100箱（大コンテナ）
羽口	20箱（中コンテナ）
縄文土器	1箱（中コンテナ）
石器（磨製石斧など）	4点
小刀	1点

◎ トピックス

1. 前年確証がとれなかったが、本年は明確に**鉄生産工房と言える工房跡が3棟出土**。
   ここからは製鉄炉・鍛冶作業場・小刀などが出土。
2. 製鉄炉は12基見つかっているが、いづれも竪型炉と見える。
3. 炭窯が11基見つかっている。いずれも重量大量の炭を必要としたことがうかがえる



2013年発掘調査部の遺構配置図



2013年の発掘調査まとめ　2013.11.2.現説資料より

◎ 焼山遺跡は古代　平安時代　10世紀後半から11世紀頃の鉄生産にかかわる遺跡で、製鉄炉を築き、炭を焼き、砂鉄を原料に製鉄を行っていた。

◎ 出土した遺構

竪穴住居(古代)	1　棟	工房?　2　棟	
製鉄炉	7　基	炭窯　4　棟	
排滓場	1ヶ所		

◎ 出土した遺物

鉄滓	多数	40箱	土師器片　1袋
羽口	多数	3箱	縄文土器片　1袋
砂鉄		1kg	石器　2点
釘		1点	

◎ トピックス

1. 羽口を装着したままの状態で製鉄炉1基がみつかっている。
2. 製鉄炉の下には乾燥のため炭を敷き、焼かれている。
   [製鉄炉の大きさの1例]
   直径約50cm　内径約30cmの円形の炉でふいご座はみつかっていないと聞きました。
   羽口がラッパ状大型で、一本差し込んだままの状態で見つかった製鉄炉から見て、竪型炉だろうが、ふいご座が見つからぬことを含め、即断はできぬ。

炭焼窯というと普通された窯を想像しますが、窯跡の穴が浅井三津から、ここでは平地に穴を掘って薪を組み、上を土で完全に置う伏せ焼と呼ばれる簡単な方法だったようだ。

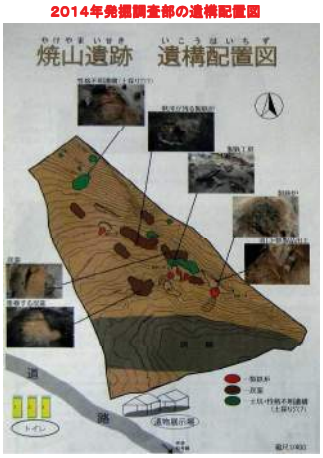


羽口が差し込まれたまま出土した製鉄炉　2013.11.2.　現地説明資料より

直径が70cmほどの製鉄炉跡で、写真の赤い○の部分には羽口が装着されている。
このような状態で出土することは珍しく非常に貴重な製鉄炉。
羽口の傾き、装着位置など重要な情報が得られ、
今後の調査で鉄生産に関する様々な謎がさらに明らかになると思われる



2014年発掘調査部の遺構配置図



2014年の発掘調査まとめ　2014.5.31.現説資料より

◎ 焼山遺跡は古代　平安時代　10世紀後半から11世紀頃の鉄生産にかかわる遺跡で、製鉄炉を築き、炭を焼き、砂鉄を原料に製鉄並びに鉄器製造を行う鉄生産工房。

◎ 出土した遺構

工房	3棟
製鉄炉	12基
炭窯	11基
排滓場	約2カ所
土坑	8基

◎ 出土した遺物

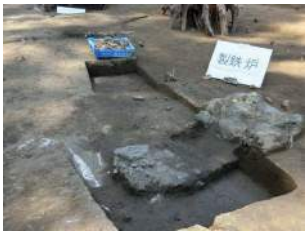
鉄滓	100箱（大コンテナ）
羽口	20箱（中コンテナ）
縄文土器	1箱（中コンテナ）
石器（磨製石斧など）	4点
小刀	1点

◎ トピックス

1. 前年確証がとれなかったが、本年は明確に**鉄生産工房と言える工房跡が3棟出土**。
   ここからは製鉄炉・鍛冶作業場・小刀などが出土。
2. 製鉄炉は12基見つかっているが、いづれも竪型炉と見える。
3. 炭窯が11基見つかっている。いずれも重量大量の炭を必要としたことがうかがえる



焼山遺跡発掘現場　鉄生産工房と製鉄炉　2014.6.8.



製鉄炉跡　床面に見えるのは鉄滓
当時の鉄生産の様子が伺える



製鉄炉　直径約150cm 内径約100cm
左手に流れ出た鉄滓がみられる





山田町観光協会「とことこ」日記より



写真は製鉄炉と工房跡　奥の羽口が並んでいるところ（赤い○）が工房の壁で手前が工房内にある状態の良い製鉄炉。 製鉄炉には溝のような切れ込み（青い○）が見えます。
おそらく羽口（製鉄炉に空気を送り込むための土製の管）が設置されていたものと思われる。
（平成26年6月13日現在）　**《 いわて 調査情報 焼山遺跡 》より**









焼山遺跡発掘現場1　鉄生産工房と製鉄炉　　2014.6.8.



焼山遺跡発掘現場 2　東側から　鉄生産工房跡周辺を眺める
鉄滓を入れた箱がいくつも置かれている。 また、奥に西側の船越集落　半島の付け根が見渡せる



焼山遺跡発掘現場 3　東側から　鉄生産工房跡周辺を眺める
鉄滓を入れた箱がいくつも置かれている。 また、奥に西側の船越集落　半島の付け根が見渡せる



焼山遺跡発掘現場 4



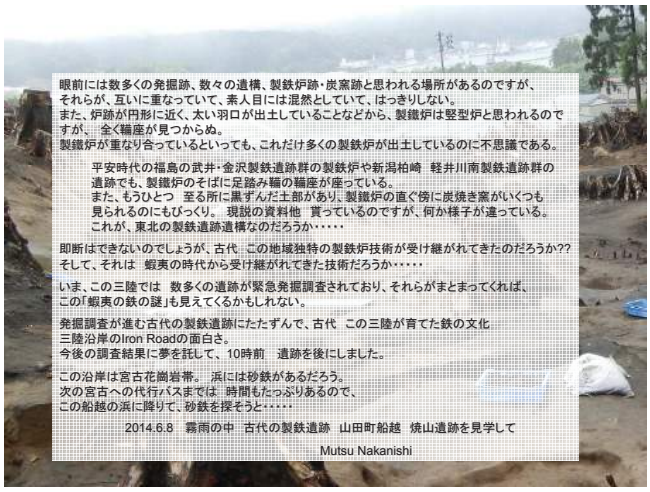
焼山遺跡発掘現場 5



焼山遺跡発掘現場 6　出土品　インターネットからの資料を含む



焼山遺跡の丘の一番上から、船越の集落を眺める　2014.6.8.
右手手前の道路際に見える残土・樹木置場になっているところが、2013年度の発掘調査場所のようだ。



眼前には数多くの発掘跡、数々の遺構、製鉄炉跡・炭窯跡と思われる場所があるのですが、
それらが、互いに重なっていて、素人目には混然としていて、はっきりしない。
また、炉跡が円形に近く、太い羽口が出土していることなどから、製鐵炉は竪型炉と思われるのですが、　全く鞴座が見つからぬ。
製鐵炉が重なり合っているといっても、これだけ多くの製鉄炉が出土しているのに不思議である。

平安時代の福島の武井・金沢製鉄遺跡群の製鉄炉や新潟柏崎　軽井川南製鉄遺跡群の遺跡でも、製鐵炉のそばに足踏み鞴の鞴座が座っている。
また、もうひとつ　至る所に黒ずんだ土部があり、製鐵炉の直ぐ傍に炭焼き窯がいくつも見られるのにもびっくり。 現説の資料他　貰っているのですが、何か様子が違っている。
これが、東北の製鉄遺跡遺構なのだろうか・・・・・

即断はできないのでしょうが、古代　この地域独特の製鉄炉技術が受け継がれてきたのだろうか??
そして、それは　蝦夷の時代から受け継がれてきた技術だろうか・・・・・

いま、この三陸では　数多くの遺跡が緊急発掘調査されており、それらがまとまってくれば、
この「蝦夷の鉄の謎」も見えてくるかもしれない。

発掘調査が進む古代の製鉄遺跡にたたずんで、古代　この三陸が育てた鉄の文化
三陸沿岸のIron Roadの面白さ。
今後の調査結果に夢を託して、10時前　遺跡を後にしました。

この沿岸は宮古花崗岩帯。 浜には砂鉄があるだろう。
次の宮古への代行バスまでは　時間もたっぷりあるので、
この船越の浜に降りて、砂鉄を探そうと・・・・・

2014.6.8　霧雨の中　古代の製鉄遺跡　山田町船越　焼山遺跡を見学して

Mutsu Nakanishi

古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」発掘現場を訪ねて　まとめ　2014.6.8

三陸沿岸のIron Roadを訪ねるWalkで、一番楽しみにしていた古代蝦夷の時代の鉄につながるかもしれない
三陸沿岸の古代製鉄遺跡の発掘調査現場山田町船越「焼山遺跡」の見学。
でも、津波の被災地での緊急発掘調査現場でもあり、釜石から山田町へ至る道中で見た被災地は3年経って、
インフラ整備が進んでいるとはいえ、復興はまだ手が付き始めたばかり。
そんな製鉄遺跡発掘現場の見学。 しっかり　見て帰ろうと。

1. 見学した「焼山遺跡」は10世紀後半から11世紀頃　平安時代の製鉄遺跡で、数多くの製鉄炉・炭焼窯と共に、少なくとも3棟の製鉄工房跡が見つかっている。 砂鉄や黒々とした木炭粉で黒くなった地面や鉄滓が遺跡内至る所に散在し、大量の鉄滓や多数の大型羽口なども出土している。
この遺跡の性格については、まだこれからの解析を待たねばならぬが、周辺で採取された砂鉄を原料とし、すぐ近くの山の樹木から炭を焼き、この場所で一貫した鉄生産が行われた鉄生産工房と推定されている。
2. 出土した製鉄炉は重量しているものも多いが、楕円形の竪型炉とみられ、トピックスとして羽口が差し込まれたままの製鉄炉が見つかっており、この地域の製鉄炉の性格を知る大きな手口である。
10世紀後半から11世紀というと　東北ではすでに足踏み鞴があらわれており、また出土した羽口を見ると羽口を通して大量送風がなされていたはずであるが、鞴座がみつかっていない。
3. 生産工房に近接して炭焼窯が多数ある竪型炉の鉄生産工房。 この工房の形式も気になるのですが、多数の製鉄炉跡遺構が出土しているにもかかわらず、送風ふいごの形式がクリアーにならぬ。
当時の西からの大型箱型炉に据え付けられている足踏みふいご座が見つからぬ。
この山田で現在発掘調査中の田之浦館遺跡の製鉄炉も同じだという。
これは、この山田周辺　三陸沿岸独自の製鉄炉なのだろうか・・・
そうなると「蝦夷の時代」からはだいぶ後ろではあるが、この山田町からも蹲手刀も出土しており、大和が持ち込んだ製鉄技術とは異なる独自の製鉄技術が継承されてきたともいえ、仙人峠の名前が示す、南北に伸びた狭い北上山地で隔てられた三陸沿岸は　大量の鉄資源を有し、大和に対抗した蝦夷たちの鉄生産基地。
大和がほしがった「金山」だったのかもと・・・夢が広がってくる。

その真偽が判る解析はまだ　これからですが、
「古代　蹲手刀を武器に大和と戦った蝦夷たちの鉄の隠れ生産基地。 それが三陸沿岸のIron Road 」との夢
を膨らませてくれた古代製鉄遺跡。 それが山田町船越の「焼山遺跡」発掘調査現場だったと。
霧雨の中でしたが、本当にうれしい久々の製鉄遺跡発掘現場見学でした。

これだけ　沢山の製鉄遺跡がある山田町「浜にゆけば　砂鉄がきっとあるはず」と　発掘現場を後に船越の浜に向かいました。







国道45号線の道の駅「やまだ」のすぐ横から西へ、浜へ下って行く道を少し行くと復旧がまだ手つかずの山田線の大浦水路切。
ここから住宅の横を抜けて少し行けば、浦の浜である







大浦水切から「浦の浜」が広がる平地部において、船越半島側を眺める　2014.6.8.
津波が左から右へ通り抜けた跡だろう、
盛土でかさ上げされた更地が半島側の浦の浜の集落まで続いている。

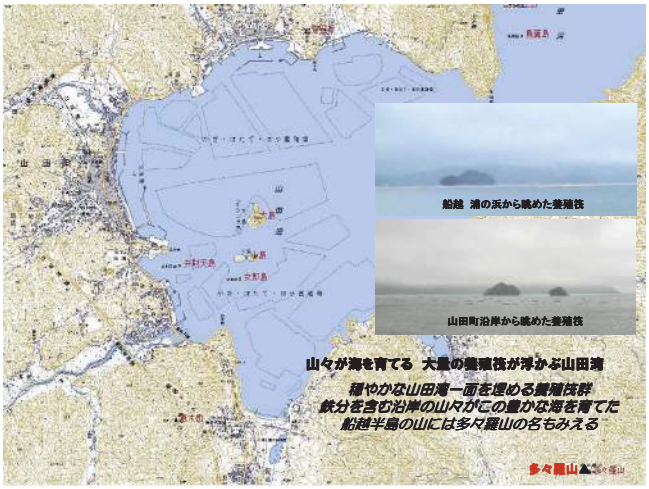


浦の浜から　盛土・高架橋の奥に今歩いてきた道が見えている　2014.6.8.





船越半島　浦の浜から眺める山田湾　2014.6.8.
浜にはうっすら砂鉄が文様を描き、山田湾水平線には　山田湾に浮かぶ無数の養殖筏が一筋の白い線に





船越半島　浦の浜　　薄ら砂鉄が文様を描いている　2014.6.8.





船越湾側の田之浜の砂鉄



山田湾側　浦の浜の砂鉄

船越湾側田之浜では海が荒れた後、大量の砂鉄が海岸のコンクリート堤に残っていると聞きました



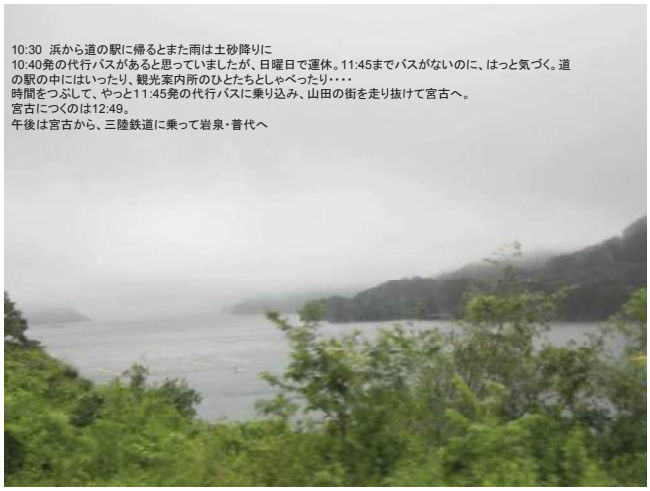
船越半島　浦の浜から東側船越半島の付け根を眺める　　写真　左:南　右:北



浦の浜北側に広がる山田湾　浜には多くはありませんが、砂鉄がありました　また　遠くに無数の養殖筏が浮かんでいます



船越半島　浦の浜から西側　船越半島を眺める　　写真　左:北　右:南



























発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて 2014.6.8

古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」発掘現場を訪ねて まとめ

三陸沿岸のIron Roadを訪ねるWalkで、一番楽しみにしていた古代蝦夷の時代の鉄につながるかもしれない
三陸沿岸の古代製鉄遺跡の発掘調査現場山田町船越「焼山遺跡」の見学。
でも、津波の被災地での緊急発掘調査現場でもあり、釜石から山田町へ至る道中で見た被災地は3年経って、インフラ整備が進んでいるとはいえ、復興はまだ手が付き始めたばかり。
そんな製鉄遺跡発掘現場の見学。しっかり 見て帰ろうと。

1. 見学した「焼山遺跡」は10世紀後半から11世紀頃 平安時代の製鉄遺跡で、数多くの製鉄炉・炭焼窯と共に、少なくとも3棟の製鉄工房跡が見つかっている。 砂鉄や黒々とした木炭粉で黒くなった地面や鉄滓が遺跡内至る所に散在し、大量の鉄滓や多数の大型羽口なども出土している。
この遺跡の性格については、まだこれからの解析を待たねばならぬが、周辺で採取された砂鉄を原料とし、すぐ近くの山の樹木から炭を焼き、この場所で一貫した鉄生産が行われた鉄生産工房と推定されている。
2. 出土した製鉄炉は重畳しているものも多いが、楕円形の竪型炉とみられ、トピックスとして羽口が差し込まれたままの製鉄炉が見つかっており、この地域の製鉄炉の性格を知る大きな手口である。
10世紀後半から11世紀というと 東北ではすでに足踏み鞴があらわれており、また出土した羽口を見ると羽口を通して大量送風がなされていたはずであるが、鞴座がみつかっていない。
3. 生産工房に近接して炭焼窯が多数ある竪型炉の鉄生産工房。 この工房の形式も気になるのですが、多数の製鉄炉跡遺構が出土しているにもかかわらず、送風ふいごの形式がクリアーにならぬ。
当時の西からの大型箱型炉に据え付けられている足踏みふいご座が見つからぬ。
この山田で現在発掘調査中の田之浦館遺跡の製鉄炉も同じだという。
これは、この山田周辺 三陸沿岸独自の製鉄炉なのだろうか・・・
そうなると「蝦夷の時代」からはだいぶ後ろではあるが、この山田町からも蕨手刀も出土しており、大和が持ち込んだ製鉄技術とは異なる独自の製鉄技術が継承されてきたともいえ、仙人峠の名前が示す、南北に伸びた険しい北上山地で隔てられた三陸沿岸は 大量の鉄資源を有し、大和に対抗した蝦夷たちの鉄生産基地。
大和がほしがった「金山」だったのかもと・・・夢が広がってくる。
4. 三陸沿岸の山々にある「鉄」が豊かな海を育てる 山田湾を埋め尽くす養殖筏群にそれを感じました

その真偽が判る解析はまだ これからですが、
「古代 蕨手刀を武器に大和と戦った蝦夷たちの鉄の隠れ生産基地。 それが三陸沿岸のIron Road 」との夢
そんなロマンを益々広げてくれた古代製鉄遺跡。 それが山田町船越の「焼山遺跡」発掘調査現場だったと。
霧雨の中でしたが、本当にうれしい久々の製鉄遺跡発掘現場見学でした。

また、三陸の復興はまだこれから そんな中 山田湾を埋め尽くす養殖群など新しい地道な展開が始まっている。 三陸で暮らす人たちの元気な姿を垣間見ることもでき、風化させることなく しつかり応援せねばと。





2. 発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる

鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて 2014.6.8.

【参考資料】

1. 岩手県立埋蔵文化センター所報「わらびて」 129号 2014.2.28.
2. 岩手県立埋蔵文化センター 焼山遺跡 2014.5.31. 現地説明資料
3. 岩手県立埋蔵文化センター 焼山遺跡 2013.11.2 .現地説明資料
4. 岩手県立埋蔵文化センター 発掘! 岩手の遺跡 焼山遺跡 2015.11.10. ほか
5. 山田町観光協会 公式ブロク 山田とことこ日記 焼山遺跡
6. 弥生文化博物館考古学セミナー 岩手県での発掘調査 災害復興のために
講演スライド& 資料
◎ 広瀬時習氏 「沢田Ⅲ遺跡 － 鉄生産関連遺構の調査 －」 h26.6.28.
◎ 三好孝一氏 山田町 田之浜館 現地説明会資料 h25.8.2.

【和鉄の道・Iron Road *by Mutsu Nakanishi* **】**

1. 福島県武井製鉄遺跡群の近接する沢入B・大清水B製鉄遺跡
古代たたら製鉄の革新技術「踏み鞴」の実用展開のさきがけか?? 2013.8.
－金沢・武井製鉄遺跡群に出現した踏み鞴付き竪型炉－
2. 黄金吹く行方製鉄遺跡群 福島県 原 町 蝦 夷征伐の兵器庫 金沢製鉄遺跡 1999.11
3 田舎なれども南部の国は西も東も金の山 岩手県南部 蝦夷の鉄 北上山地 大鎚・釜石へ 2002.10
4. 岩手県北上川流域の製鉄地帯 一関博 物館 蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ 舞草刀. 2001.10.
5. 蝦夷の鉄・ 東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の 道 9編 取りまとめ 2004.1.



【参考】 古代三陸で行われた鉄生産技術について

竪型炉と横型炉 そして 鞴の技術に着目して

蕨手刀を手に大和と戦った蝦夷の鉄生産基地は三陸沿岸だったのだろうか ????

【参考1. 】【和鉄の道・Iron Road】
平安時代 大和政権の蝦夷征伐の最前線の兵器庫 武井製鉄遺跡群の製鉄遺跡
大清水B遺跡・沢入B遺跡 福島県新地町 2013日本列島発掘新発見展より
近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉
同一時期・同一地点で 9世紀半ば 異なるタイプの製鉄炉 竪型炉と箱型炉が併設

【参考2】三陸山田湾沿岸の古代製鉄関連遺跡
三陸は蕨手刀を持って戦った蝦夷の製鉄基地？
大和とは異なる独自の製鉄・鍛冶技術交流ルートがあったのでは???
大阪弥生博物館で開催された 災害復興支援 緊急発掘調査報告より

1．緊急発掘調査で出土した山田町の古代製鉄遺跡 「田之浜館遺跡」&「沢田Ⅲ遺跡

1.1. 山田町の地質と山田町の古代製鉄遺跡例
1.2. 広瀬時習氏講演スライドより 山田町沢田Ⅲ遺跡
11・12世紀平安時代後半の製鉄遺構や 縄文中期の竪穴住居などが出土した
1.3. 三好孝一氏講演スライドより 山田町船越半島 田の浜館跡
中世の城館跡と平安時代の鉄生産跡
1.4. 三陸山田湾沿岸の古代製鉄関連遺跡リスト

【参考3】 山田町織笠にある八世紀後半の製鉄遺跡 上村遺跡
岩手日報 平泉栄耀の記憶 ⑭金と鉄と馬 ２００５年５月２５日 より
【参考4】奈良時代 8世紀 蕨手刀3振りや大量の刀剣類を副葬していた
山田町周の沢古墳群・周の沢Ⅳ遺跡
【参考5】古代 岩手県三陸沿岸「閉伊」の製鉄と蝦夷について インターネットより
柴田弘武 閉伊村のえみし・特産品「鉄」 http://emisi.com/semi/14semi/material/hei.htm より

【参考1. 】 平安時代　大和政権の蝦夷征伐の最前線の兵器庫　武井製鉄遺跡群の製鉄遺跡
大清水B遺跡・沢入B遺跡　福島県新地町　2013日本列島発掘新発見展より

【和鉄の道・Iron Road】発掘された日本列島2013　新発見考古学展に見る　昨年度発掘された製鉄関連遺跡の紹介
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1309souma00.htm　より

近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉
同一時期・同一地点で 9世紀半ば 異なるタイプの製鉄炉 竪型炉と箱型炉が併設



奈良・平安時代　7世紀後半から9世紀後半にかけて、福島県浜通り 地域で多数の製鉄関連遺跡が確認されており、中でも相馬地区地方 では　新地町・武井製鉄遺跡群　相馬市・大坪製鉄遺跡群や、南相 馬市・金沢製鉄遺跡群など200を超える製鉄遺跡が出土している。これらの製鉄遺跡群は律令国家体制を整え、製鉄量産化技術を確立 した大和政権蝦夷征伐の最前線の武器庫としての役割を担っていた。
また、これらの製鉄遺跡群の製鉄炉は近畿で育まれた大型の箱型炉 と東北で育まれた竪型炉の両方がそれぞれの場所・時期に応じて建設されてきた。
今回発掘された武井製鉄遺跡群の大清水B遺跡・沢入B遺跡の注目すべき点は近畿で育まれた大型の箱型炉と東北で育まれた竪型炉の両方が同時期・同地区に並立し、「ズク鉄・銑鉄」生産に用いられていたことで、福島浜通り 北部地区遺跡群の特徴だという。
陸奥南の古代製鉄遺跡群では　踏み鞴付竪型炉はその後、消えてゆくのであるが、もし、鞴付き箱型炉が先に登場していたならば、砂鉄を原料とするたたら製鉄では、親点のある踏み鞴付竪型炉が登場することはなかったのではないか??
その装着は東北で育まれた竪型炉　東北には大和とは異なる独自の製鉄技術入手ルートが垣間見える
踏み鞴が日本のたたら炉に登場する時期は明確ではないが、8世紀中頃の武井製鉄遺跡群の竪型炉に装着された踏み鞴が、その後のたたら製鉄の踏み鞴に大きな影響を与えたともいえるのではないか。。。。。



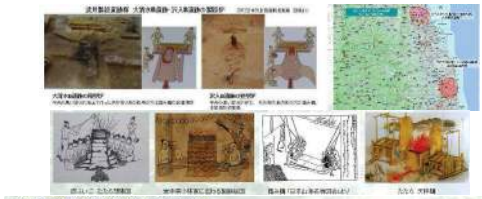
◎ 7世紀後半　古代大和の東北蝦夷対応の最前線　福島県金沢・武井製鉄遺跡群では近江等大和で育まれた鉄アレイ型の箱型製鉄炉が登場し、さらに鉄の安定量産立地から、山の尾根から、山の斜面に場所を移し、製鉄炉が重複して作られるようになる。
◎ 8世紀中葉になると中国ルーツを持ち、東国で育まれた最新の踏み鞴と大型羽口を持つ半地下式竪型炉が現れ、箱型炉と併用されるようになる。この踏み鞴付き竪型炉の出現は、炉の送風・温度安定と高温化を生み、箱型炉の操業にも大きな影響を及ぼしたであろうことはまちがいない。
◎ 8世紀後半から9世紀初めには、量産効果をさらに高めるため、箱型炉にも足踏み鞴を付けた大型の長方形箱型炉が登場し、タイプの異なる2つの製鉄炉が並立する時代を迎える。
◎ 9世紀中葉には足踏み鞴を付けた大型の長方形箱型炉を並べて設置するようになり、鉄の大量生産化がすすむ。
一方、東国・東北で育まれた竪型炉は消えてゆくという。

【和鉄の道・Iron Road】 発掘された日本列島2013　新発見考古学展に見る　昨年度発掘された製鉄関連遺跡の紹介
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1309souma00.htm　より

たたらに用いられた「鞴」の歴史　インターネット検索より
皮鞴 → 踏み鞴 → 天秤鞴 → 水車へ

陸奥南の古代製鉄遺跡群のたたら製鉄炉に踏み鞴が付いて登場する8世紀半ば
いつどこで、たたら製鉄で踏み鞴が使われはじめたのか？ 明確にはなっていない

文献によれば、10世紀の「倭名類聚抄」(934年)では「皮鞴」と区別するために「踏鞴」を「たたら」のこととし、また、たたら遺跡遺構からは、この陸奥南の製鉄遺跡群や近江など8世紀頃には踏み鞴が現れ、たたら製鉄の革新に大きく寄与する。
東北の竪型炉は踏み鞴付き製鉄炉のさきがけではないか?? ……



たたら製鉄の歴史は鞴の変遷と深く結びついている。
◎ 皮ふいご　わが国で最も古く記録に現れる鞴は天羽鞴という原始的な皮製(または)の袋を交互に引いて作ったとされる(日本書紀)。
しかし、その具体的な構造は、岩手県大坪町(すずめ製鉄遺跡等)や栃古林前の「土製羽口」とに見られるくらいしかない。
◎ 踏み鞴　次に登場する踏み鞴については、「倭名類聚抄」(934年)では「皮鞴」をふきかわ」とし、これと区別するために「踏鞴」をたたらとしている。
そして「和漢三才図会」地図に載せられた「備中吉備津宮」で、鋼の溶解に使用されたと紹介されている。
「10世紀中葉(1754年)」に書かれた「日本山海名物図会」の「鉄師鞴」にたたら製鉄に用いられている踏み鞴が描かれる。
◎ 天秤鞴　そして、17世紀頃には天秤鞴が発明されたという。
たたら製鉄炉の遺構から踏み鞴を検討すると　8世紀頃には　たたら製鉄遺構が製鉄炉に関連して踏み鞴跡と見られる遺構が出土する。





1.　緊急発掘調査で出土した山田町の古代製鉄遺跡
「田之浜館遺跡」&「沢田Ⅲ遺跡」

弥生文化博物館特別展「縄文! 10000年の旅」
関連考古学セミナー

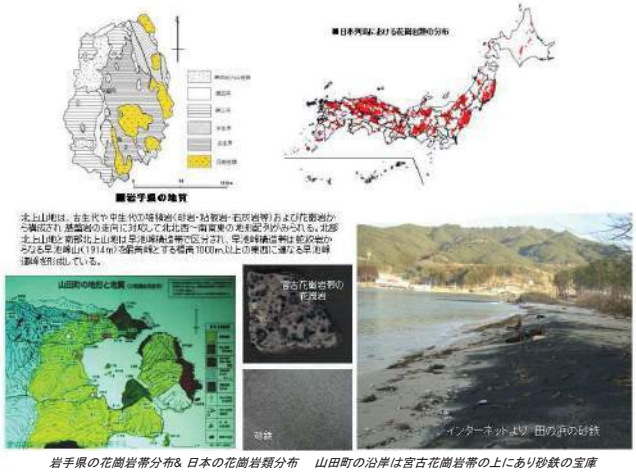
岩手県での発掘調査災害復興のために
災害復興支援　岩手県山田町緊急発掘調査に応援参加して
2014.6.29.　大阪府立弥生文化博物館



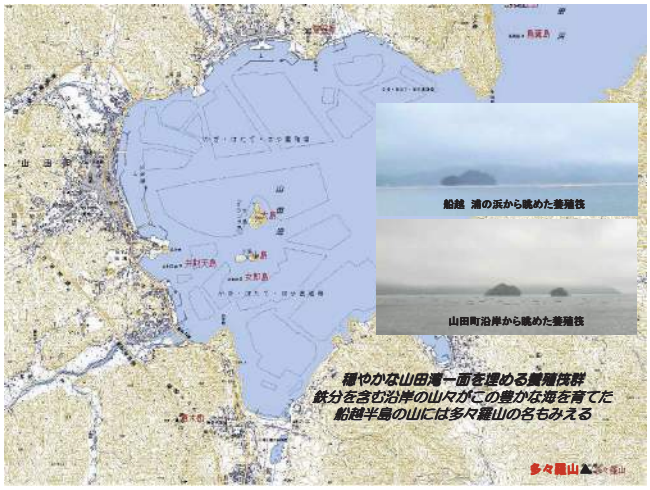
三陸沿岸Iron Roadの探訪から帰って、行けていなかった岩手県の縄文「**縄文! 10000年の旅**」を見に最終日前の6月28日弥生文化子博物館へ
当日関連セミナーとして「岩手県での発掘　災害復興のために」が開催されているのを知り、参加。　大阪から、緊急発掘調査応援に行かれていた2名の方の調査報告で、偶然にも　私の出かけた山田町船越「焼山遺跡」周辺の製鉄遺跡発掘調査を中心とした報告
知りたかった古代の三陸沿岸のたたら製鉄についての知見が倍増。焼山遺跡の報告に追加して、撮らせていただいた関連スライドなどをまとめました。

講演資料　◎　三好孝一氏　　山田町　田之浜館　現地説明会資料　h25.8.2.
「中世の城館跡と平安時代の鉄生産遺構」
◎　広瀬時習氏　「沢田Ⅲ遺跡　－　鉄生産関連遺構の調査　－」　h26.6.28.

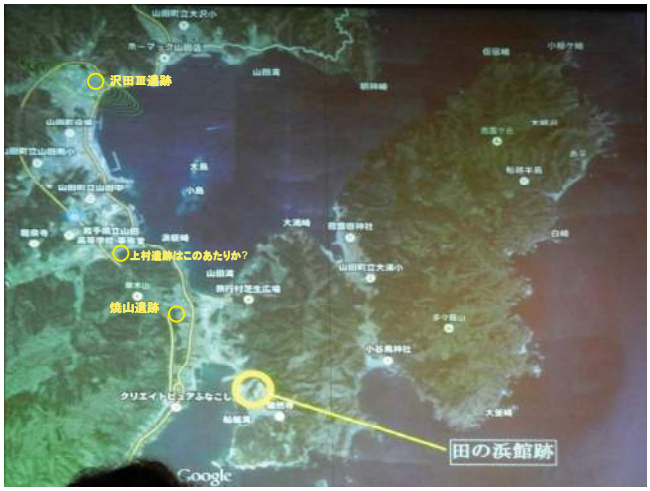




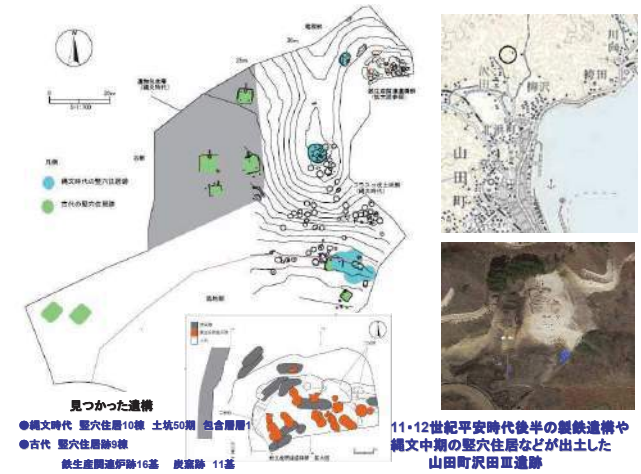
岩手県の花崗岩帯分布& 日本の花崗岩類分布　　山田町の沿岸は宮古花崗岩帯の上にあり砂鉄の宝庫

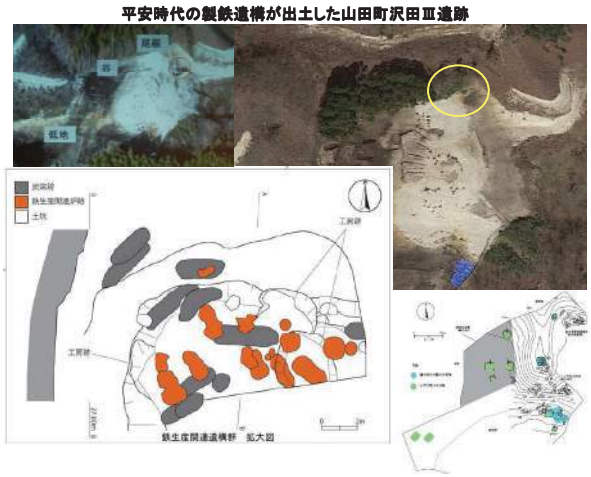








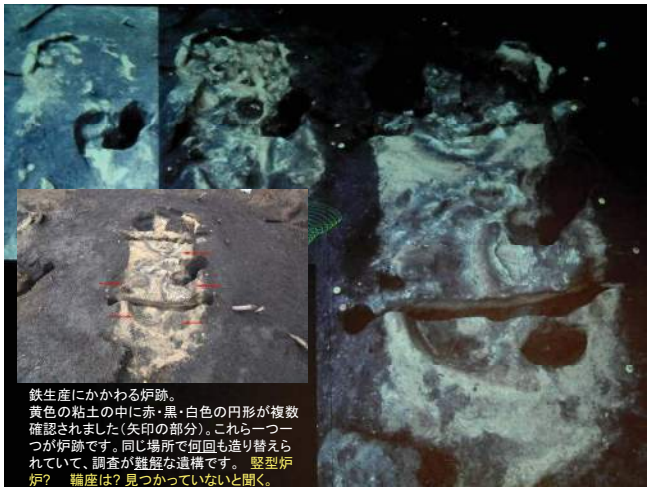








8世紀に東日本に登場した半地下式竪型炉の系譜に属し 大きなラッパ状羽口が製鉄炉に装着。
6世紀に西日本で始まった箱型炉の系譜とは異なるといわれている。 その後 福島県相馬の武井・金沢製鉄遺跡群にも箱型製鉄炉と併用
で現れ、足踏みふいごの装着は竪型炉から始まったのではないかと思っている???
平安時代 大型箱型炉の登場と共に 竪型炉は次第に消えてゆくが、三陸では鋳物銑の需要により、竪型炉は存続してゆく M.Nakanishi



鉄生産にかかわる炉跡。
黄色の粘土の中に赤・黒・白色の円形が複数確認されました（矢印の部分）。これら一つ一つが炉跡です。同じ場所で何回も造り替えられていて、調査が難解な遺構です。 竪型炉炉？　 鞴座は？ 見つかっていないと聞く。





沢田Ⅲ遺跡　竪穴住居　縄文中期の終り頃　約4000年前の住居跡も見つかっている



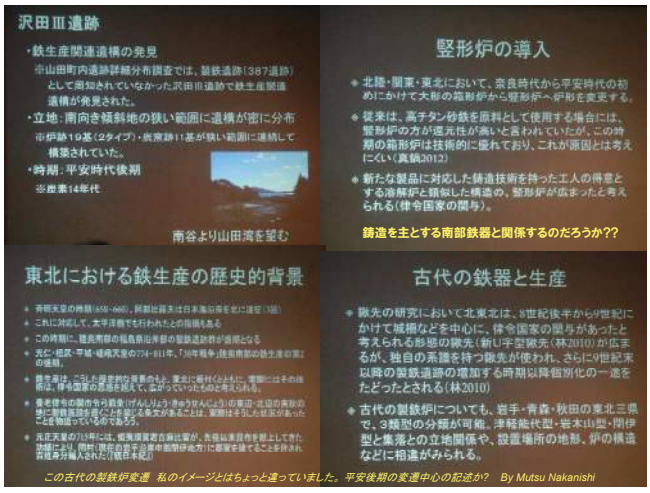
沢田Ⅲ遺跡　竪穴住居の炉跡　右回いを持つ複式炉で、煙道穴までしっかり残っていた

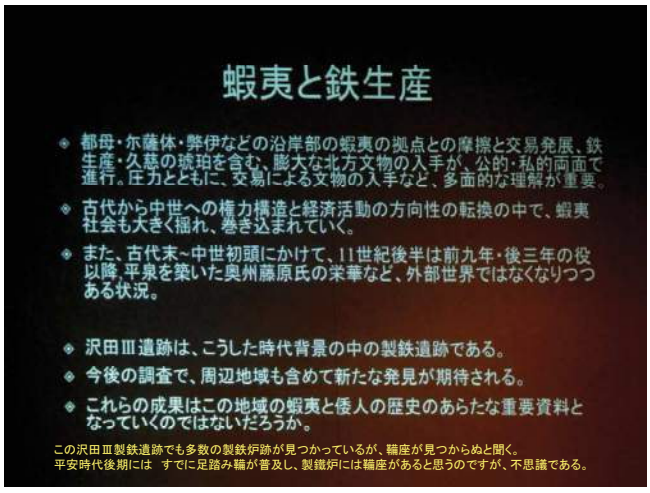


大木式土器と円筒土器の両文化圏の接点域として　重要な遺跡



カマドを持つ古代隅丸方形の竪穴住居跡

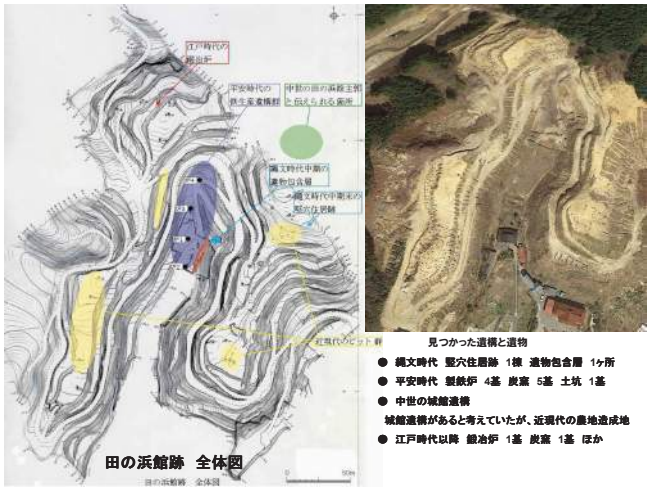





1.3. 山田町船越半島 田の浜館跡
中世の城館跡と平安時代の鉄生産跡
三好孝一氏講演スライドより

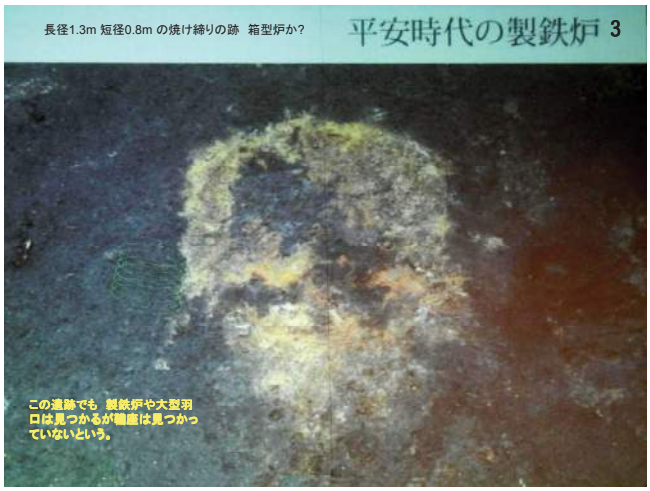

田の浜館遺跡の古代製鉄跡


田の浜館遺跡全景　(西南から)


田の浜館跡　全体図
見つかった遺構と遺物
● 縄文時代　竪穴住居跡　1棟　遺物包含層　1ヶ所
● 平安時代　製鉄炉　4基　炭窯　5基　土坑　1基
● 中世の城館遺構
城館遺構があると考えていたが、近現代の農地造成地
● 江戸時代以降　鍛冶炉　1基　炭窯　1基　ほか




山田町船越半島　田の浜館跡　古代の製鉄跡　現地説明会


長径1.3m 短径0.8m の焼け締りの跡　箱型炉か?
平安時代の製鉄炉 3
この遺跡でも 製鉄炉や大型羽口は見つかるが鞴座は見つかっていないという。


平安時代の製鉄炉1
長径1.8m 短径0.9m の掘り込みの炉跡　箱型炉か?



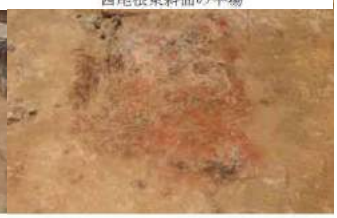
東尾根東斜面の平場



西尾根東斜面の平場



縄文時代中期の竪穴住居跡



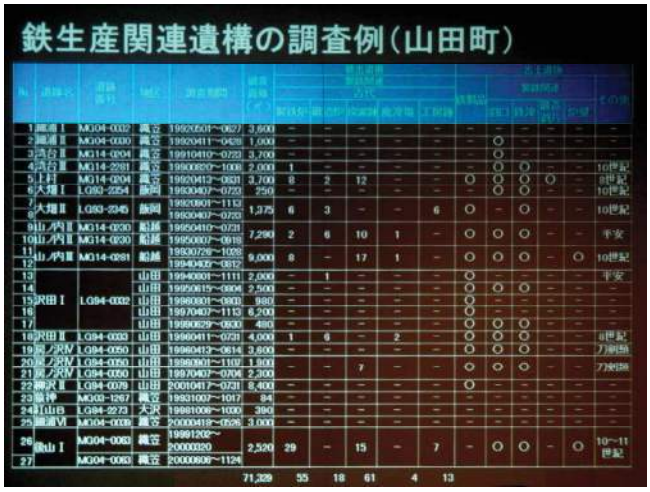
江戸時代の鍛冶炉



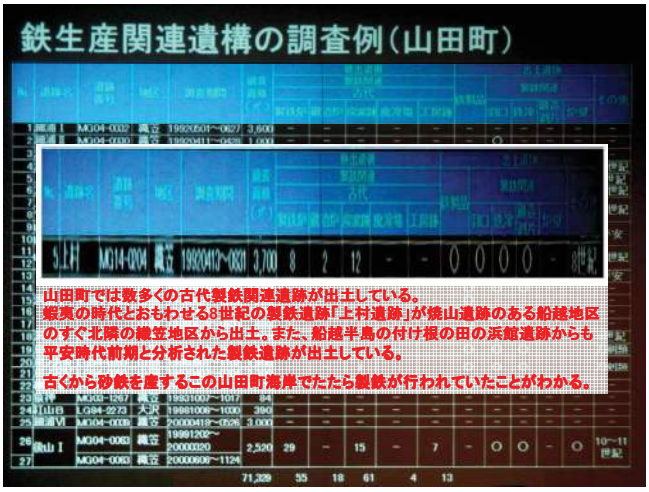
シケの後　田の浜の防波堤際に打ち上げられた砂鉄







No.	遺跡名	遺跡番号	地区	調査期間	調査面積（㎡）	製鉄炉	鍛冶炉	炭窯	鉄滓	工房跡	鉄製品	鉄滓	鍛冶剥片	炉壁	その他
1	瀬浦Ⅰ	MG04-0032	織笠	19920501～0627	3,600	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
2	瀬浦Ⅱ	MG04-0030	織笠	19920411～0428	1,000	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–
3	湾台Ⅱ	MG14-0204	織笠	19910410～0723	3,700	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–
4	湾台Ⅲ	MG14-2281	織笠	19900820～1008	2,000	1	–	–	–	–	–	○	○	–	10世紀
5	上村	MG14-0204	織笠	19920413～0831	3,700	8	2	12	–	–	○	○	○	○	8世紀
6	大畑Ⅰ	LG93-2354	飯岡	19930407～0723	250	–	–	–	–	–	–	○	○	–	10世紀
7	大畑Ⅱ	LG93-2345	飯岡	19920801～1113	1,375	6	3	–	–	6	○	–	○	–	10世紀
8				19930407～0723											
9	山ノ内Ⅱ	MG14-0230	船越	19950410～0731	7,290	2	6	10	1	–	○	○	○	–	平安
10	山ノ内Ⅱ	MG14-0230	船越	19950807～0918											
11	山ノ内Ⅲ	MG14-0281	船越	19930726～1028	9,000	8	–	17	1	–	○	○	○	–	10世紀
12				19940405～0812											
13			山田	19940801～1111	2,000	–	1	–	–	–	○	–	–	–	平安
14			山田	19950615～0804	2,500	–	–	–	–	–	○	○	○	–	–
15	沢田Ⅰ	LG94-0032	山田	19960801～0803	980	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–
16			山田	19970407～1113	6,200	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–
17			山田	19980629～0930	480	–	–	–	–	–	○	○	○	–	–
18	沢田Ⅱ	LG94-0033	山田	19960411～0731	4,000	1	6	–	2	–	○	○	○	–	8世紀
19	尾ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19960413～0614	3,800	–	–	–	–	–	○	○	○	–	7刀剣類
20	尾ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19960801～1107	1,800	–	–	7	–	–	○	○	○	–	7刀剣類
21	尾ノ沢Ⅳ	LG94-0050	山田	19970407～0704	2,300										
22	神沢Ⅱ	LG94-0079	山田	20010417～0731	8,400	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–
23	鉄神	MG03-1267	織笠	19931007～1017	84	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
24	山ⅠB	LG94-2273	大沢	19981006～1030	390	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
25	瀬浦Ⅵ	MG04-0039	織笠	20000418～0526	3,000	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
26	鉄山Ⅰ	MG04-0083	織笠	19991202～20000320	2,520	29	–	15	–	7	–	○	○	–	○	10～11世紀
27		MG04-0083	織笠	20000606～1124											
					71,329	55	18	61	4	13					





6 平安時代 ―蝦夷の時代―

平安時代になると、集落は、数が一気に増加すると共に各地へ拡散します。県北の安比川流域への進出などもその一つの現れです。

平安時代の特徴的な遺物に墨書土器や刻書土器があります。土師器や須恵器に墨で書く、あるいはヘラで文字や記号を刻むものです。それらは律令制度の浸透や文字の普及を知る手がかりになります。盛岡市手田Ⅱ遺跡は奈良・平安時代の集落遺跡ですが、127点と多くの墨書・刻書土器が出土しています。同時に、多くの耳皿や豊富な鉄製品が出土していることからは一般の集落とは異なる役割をもった遺跡であることが推測できます。北上市上鬼柳Ⅲ遺跡からは「佛」の刻書と「寺」の墨書がある坏が出ています。掘立柱建物跡が見つかっていることから、寺院跡であった可能性が指摘されています。なお、細い線で絵が描かれた例が花巻市庫理遺跡や盛岡市細谷地遺跡にあります。

古代岩手県の歴史より　蝦夷の時代

この時代でもう一つ見逃せないのが鉄生産と鉄製品です。山田町上村遺跡で見つかった奈良時代の製鉄炉と鍛冶炉が古い例になりますが、その近辺である山田町山ノ内Ⅱや山ノ内Ⅲ・湾台Ⅱほかの各遺跡では平安時代の製鉄炉や鍛冶炉が検出されています。また、約7.6万㎡を調査した宮古市島田Ⅱ遺跡は製鉄から鍛冶まで一貫して行う大規模なムラであることが分かりました。177棟の竪穴住居跡と共に製鉄炉・鍛冶炉・炭窯などの遺構があり、豊富な鉄製品と鉄滓・鍛造剥片・フイゴの羽口などの遺物を特色とします。宮古市を中心とした沿岸中部の鉄生産関連遺跡は蝦夷と呼ばれた人々の生業と密接に係わっているものです。

三陸の製鉄　古代三陸で一番古い製鉄遺跡

参考3.　山田町織笠にある八世紀後半の製鉄遺跡　上村遺跡

岩手日報　平泉栄耀の記憶　(4)金と鉄と馬　2005年5月25日　より
https://www.iwate-np.co.jp/sekai/sekaiisan/sekaiisan14.htm

今、岩手で最も古いとされる製鉄跡は、山田町上村（かみむら）遺跡の８世紀後半。奈良時代のことだ。
ただし、確定とはいかない。
92年の発掘調査で、炉跡が見つかり、製鉄遺跡なのは間違いない。
時代は鉄滓などの捨て場で出土した土師器（はじき）片の年代観で特定した。
しかし、土師器片が鉄滓と同時代ではなく、他の時代の混入物といわれれば、否定し難い。

東北に視野を広げれば、国府多賀城（宮城県多賀城市）に鉄製品を供給した柏木遺跡（同）が8世紀初め。
そこから上村遺跡（8世紀後半）へ技術が伝わった、と考えると、年代的・経路的にはつじつまが合うが、
「製鉄技術、なかでも炉への送風方法が決定的に違う」と岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの
佐々木清文調査二課長はいう。
「足踏み式ふいごの多賀城とは違う送風法」 つまり、律令国家の官営技術とは異なる製鉄を上村遺跡の
人々は行っていた。
近年、海の蝦夷のダイナミックな交流が注目される。
遺物に北と南、多様な地域からの品々が交じっていたことが
わかってきたのだ。
三陸の製鉄技術は、独自のものか、あるいはどこからか影響
を受けたものだろうか。
いえるのは、沿岸を中心とした古代製鉄が、蝦夷から安倍、藤
原へと、富と権力を支え続けた。
みちのくの栄枯盛衰を、真っ赤に燃える製鉄の火を見るように、
製鉄技術者は見続けたはずだ。

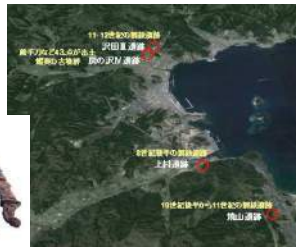


今回資料に記した山田町船越「焼山遺跡」関連の
周辺の古代の製鉄遺跡

上村は織笠川河口近くの下流域の南側の山裾　山田町織笠第一地割。
上村遺跡の位置はよう確認していませんが、地図によれば、今回発掘調査現場を見学した船越の「焼山遺跡」とは東西に張り出した小さな尾根筋を挟んで、両側　北側の位置にある小さな谷筋。
「この山田町周辺では古代製鉄の時代から、たたら製鉄が行われていた」とのロマンが広がってくる。　2014.6.7.　Mutsu Nakanishi

●考4　奈良時代　8世紀　蕨手刀3振りや大量の刀剣類を副葬していた
山田町房の沢古墳群・房の沢Ⅳ遺跡



標高60メートルの尾根上に1200年前古墳時代末期から奈良時代にかけてつくられた古墳群
平成8～9年に緊急発掘調査が行われ、4～5m前後の憤丘の埋葬部分と三日月型の溝から
なる35基の円墳と馬の墓などが発見された。
副葬品として最終的に蕨手刀や直刀など刀剣類43点が出土した。
当時は、中央政府に属していなかった東北地方北部にも、中央政府の勢力が及び、「蝦夷（えみし）」と呼
ばれた人々と争っていた時代で、当時山田地方を納めていた蝦夷の首長クラスであったと考えられている。

遺跡の大半は、三陸縦貫山田道路建設工事で消滅したが、丘の上には現在も数基の古墳が残されている。
現在は三陸縦貫道の下になりました。山田北小学校の北西の辺りです。



参考5　古代　岩手県三陸沿岸「閉伊」の製鉄と蝦夷について　インターネットより

柴田弘武　閉伊村のえみし・特産品「鉄」http://emisi.com/semi/14semi/material/hei.htm より

1992年に山田町織笠の上村遺跡で、8世紀後半と見られる製鉄遺跡が発見されて、俄然三陸地方の古代製鉄が注目されるようになった。上村遺跡について、八木光則氏は「蝦夷社会の地域性と自立性　一陸奥を中心として-」という論文（『古代蝦夷の世界と交流』所載）で次のように書いている。
「最近岩手県上村遺跡で、八世紀後半とみられる製鉄炉九基と鍛冶遺構二基が確認された。
この地域は城柵官衙から離れ、郡制が施行されていない地域にあり、また周辺に多くの鉄器が普及していることから、官営的な工房でなく、在地向けの工房と考えられる。前述のように北東北での鉄器の遺存率は南東北を越えるものであり、上村遺跡は北東北独自の製鉄を証明するものである」
その後山田町では　**山ノ内Ⅲ遺跡**（10世紀代の製鉄炉8基と鍛冶炉）、**山ノ内Ⅱ遺跡**（9世紀代の製鉄炉2基と鍛冶炉・木炭窯）、**沢田Ⅱ遺跡**（8世紀代の製鉄炉1基と鍛冶炉）、**後山Ⅰ遺跡**（11・12世紀の製鉄工房7棟、製鉄・鍛冶炉30基、炭窯13基など）、湾谷Ⅱ・Ⅲ遺跡など8つの古代製鉄遺跡が発掘されている。

岩手県文化振興事業団の佐々木清文氏も「北上山地の古代製鉄」（資源・素材'96秋季大会、資料）で、
「岩手県内では、9世紀以降に北上川流域で製鉄が行われる以前に沿岸部で製鉄が行われ、しかも10世紀あるいはそれ以降まで製鉄が行われている。しかも沿岸部では、8世紀以降の集落遺跡の数が急に多くなり、弥生時代以降の遺跡の少なさが不思議なくらいである。（中略）
沿岸地方は、北上山地南部の砂金の産出地と共に　早くから律令政府との結びつきがあったようである。
中央との交渉を通じて伝わってきた製鉄技術は、はたして政府の援助を伴っていたかどうかは疑わしい。
炉の形態が小型化していることや送風装置が異なることから、地方の有力者が中心になって見よう見まねのような状態から製鉄を行ったと考えるのが自然である」と述べている
（なお「送風装置が異なる」というのは、上段テラスの輪が非シーソー式であることをさしている）。
そして1999年以降現在に至っては、宮古市八木沢の島田Ⅱ遺跡の発見がある。
ここでは10世紀の製鉄・精錬・鍛冶までの一貫生産が行われたことが判明した。住居址150棟、工房跡80棟前後も発掘され、古代閉指の大規模製鉄集落であることが明らかになっている。
こうして8世紀から始まった三陸地方の独自の製鉄・鍛冶は、12世紀まで連綿して営まれていたことが明らかになりつつある。
8～9世紀の製鉄は、迫りくる律令国家の攻撃を前にして、日高見国（蝦夷国）の存亡をかけたえみし軍の武器の調達のためだった、ということは考えられないだろうか。 ***房の沢遺跡古墳群から出土した、大量の蕨手刀****などの刀などを考えると、　アテルイたち北上川流域えみし軍の武器供給地として　閉伊地方があった、という考えを私は捨て切れないのである。*
10世紀以降の製鉄も、安倍氏や平泉藤原氏の武器供給地の役割を果たしていたと考えたい。
閉伊村のえみし　柴田弘武 http://emisi.com/semi/14semi/material/hei.htm より　抜出し転記

発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる
鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか？」そんな痕跡を求めて　2014.6.8

古代の製鉄遺跡「焼山遺跡」発掘現場を訪ねて　まとめ

三陸沿岸のIron Roadを訪ねるWalkで、一番楽しみにしていた古代蝦夷の時代の鉄につながるかもしれない
三陸沿岸の古代製鉄遺跡の発掘調査現場山田町船越「焼山遺跡」の見学。
でも、津波の被災地での緊急発掘調査現場でもあり、釜石から山田町へ至る道中で見た被災地は3年経って、インフラ整備が進んでいるとはいえ、復興はまだ手が付き始めたばかり。
そんな製鉄遺跡発掘現場の見学、しっかり　見て帰ろうと。

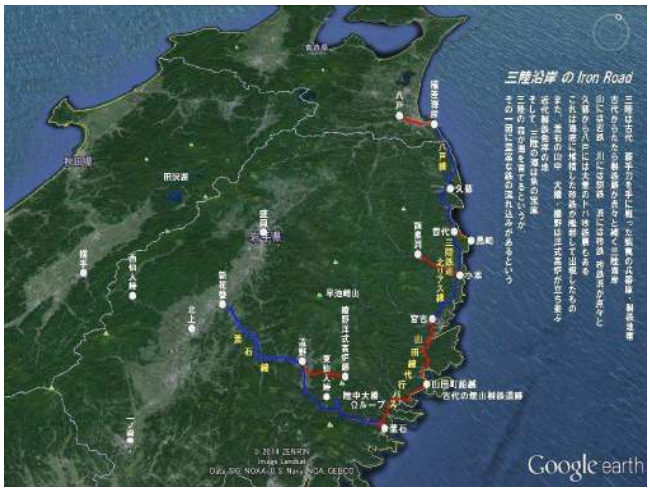
1. 見学した「焼山遺跡」は10世紀後半から11世紀頃　平安時代の製鉄遺跡で、数多くの製鉄炉・炭焼窯と共に、少なくとも3棟の製鉄工房跡が見つかっている。 砂鉄や黒々とした木炭粉で黒くなった地面や鉄滓が遺跡内至る所に散在し、大量の鉄滓や多数の大型羽口なども出土している。
この遺跡の性格については、まだこれからの解析を待たねばならぬが、周辺で採取された砂鉄を原料とし、すぐ近くの山の樹木から炭を焼き、この場所で一貫した鉄生産が行われた鉄生産工房と推定されている。
2. 出土した製鉄炉は重畳しているものも多いが、楕円形の竪型炉とみられ、トピックスとして羽口が差し込まれたままの製鉄炉が見つかっており、この地域の製鉄炉の性格を知る大きな手口である。
10世紀後半から11世紀というと　東北ではすでに足踏み鞴があらわれており、また出土した羽口を見ると羽口を通して大量送風がなされていたはずであるが、鞴座がみつかっていない。
3. 生産工房に近接して炭焼窯が多数ある竪型炉の鉄生産工房。 この工房の形式も気になるのですが、多数の製鉄炉跡遺構が出土しているにもかかわらず、送風ふいごの形式がクリアーにならぬ。
当時の西からの大型箱型炉に据え付けられている足踏みふいご座が見つからぬ。
この山田で現在発掘調査中の田之浦館遺跡の製鉄炉も同じだという。
これは、この山田周辺　三陸沿岸独自の製鉄炉なのだろうか・・・
そうなると「蝦夷の時代」からはだいぶ後ろではあるが、この山田町からも蕨手刀も出土しており、大和が持ち込んだ製鉄技術とは異なる独自の製鉄技術が継承されてきたともいえ、仙人峠の名前が示す、南北に伸びた険しい北上山地で隔てられた三陸沿岸は　大量の鉄資源を有し、大和に対抗した蝦夷たちの鉄生産基地。
大和がほしがった「金山」だったのかもと・・・夢が広がってくる。
4. 三陸沿岸の山々にある「鉄」が豊かな海を育てる　山田湾を埋め尽くす養殖筏群にそれを感じました

その真偽が判る解析はまだ　これからですが、
「古代　蕨手刀を武器に大和と戦った蝦夷たちの鉄の隠れ生産基地。 それが三陸沿岸のIron Road 」との夢
そんなロマンを益々広げてくれた古代製鉄遺跡。 それが山田町船越の「焼山遺跡」発掘調査現場だったと。
霧雨の中でしたが、本当にうれしい久々の製鉄遺跡発掘現場見学でした。

また、三陸の復興はまだこれから　そんな中　山田湾を埋め尽くす養殖群など新しい地遠な展開が始まっている。 三陸で暮らす人たちの元気な姿を垣間見ることもでき、風化させることなく　しつかり応援せねばと。







風来坊 2014
13.

≪写真アルバム≫　**2014 年祇園祭　後祭　　山鉾巡行**

150 年振りに「大船鉾」が都大路をゆく　2014.7.24.







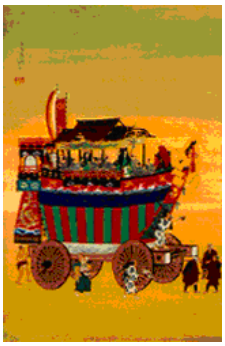






暑い夏の到来。７月 21 日遅れていた梅雨が明けた。　そして、待ちかねたように蝉も鳴きだした。
TV に「コンチキチン」の祇園囃子をバックに京都祇園祭後祭の映像が流れていて、
「150 年ぶりに復元された大船鉾が、本年 49 年ぶりに復活する祇園祭の後祭の山鉾巡行にほかの山鉾９基と一緒に加わる。　後祭に加わる鉾町ではすでに山鉾が組みあがり、夜店や歩行者天国はないが、23 日宵山 24 日山鉾巡行が前祭と同じように行われる。」という。
例年通り 17 日に 23 基の山鉾巡行が行われた祇園祭「今年は行けなかったなぁ」と。

本年の後祭で復元巡行する大船鉾
以前より、大船鉾の祇園祭参加のプロジェクトが着々と進められ、すでに、囃子・飾り席が復活して祇園祭宵山に参加。　そして「罹災１５０年となる平成２６年の節目の年に鉾での巡行復帰を果たす」を目標に大船鉾復元のプロジェクトが急進。
本年山鉾巡行の昔の姿　前祭・後祭の復活と共に、元々の姿　後祭での大船鉾復活巡行が行われることとなったといい、しかも、150 年ぶりに復活した大船鉾が後祭りの山鉾巡行のしんがりを務めるという。
なお、前祭には船鉾　後祭には大船鉾　呼称はどうだったか知りませんが、２基の船鉾がそれぞれに参加していたと聞きました。



故郷尼崎とはちょっと感じが違う京都の祭。祭好きの私にとっては、６年過ごした学生時代の夏の思い出がいっぱい詰まった祭。「コンチキチン」の囃子にはいつも　ついつい　吸い寄せられてしまう。
やっぱり「コンチキチン」の祇園囃子も聞きたいし、復元された大船鉾の巡行も見たいなぁ。。。と、家内にいうと
「23 日の後山の宵山に行って、24 日山鉾巡行を見て帰ってこよう」という。　久しぶりの意見一致。
カンカン照りの 23 日夕方から京都に出かけました。



四条河原町を巡行する大船鉾

23日夕　後祭　宵山







後祭の山鉾巡行に参加する鉾町は四条通の北の一角に集中していて、宵山見物には楽。人にもみくちゃにされながらの宵山見物。夜店や歩行者天国にはなっていませんが、大変な人出の中、「コンチキチン」の響き。ヤッパリ生がいい。また、前祭は混雑でどうにもならなかつた町家が飾る「屏風祭」もゆっくり楽しめました。

24日　後祭　山鉾巡行

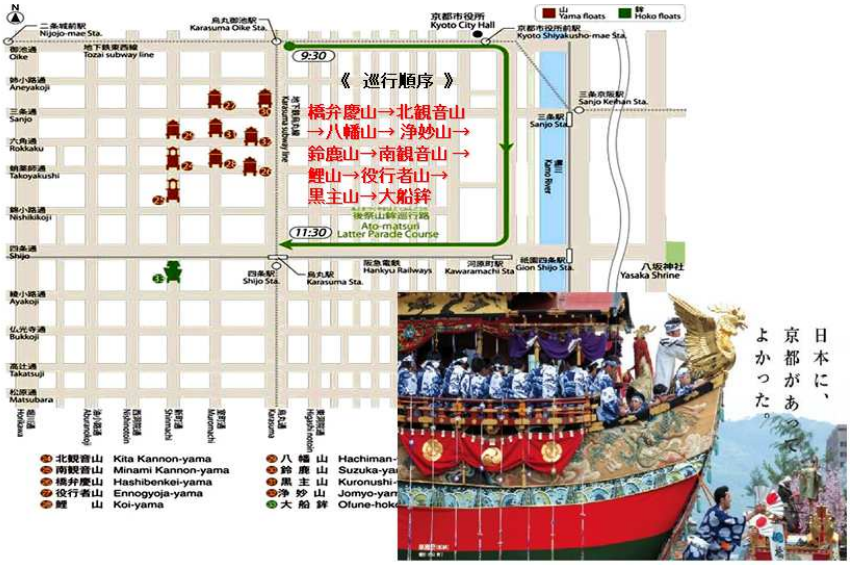
しんがりを務める大船鉾に南観音山・北観音山の２基の曳山。そして、豪華絢爛４００年前のベルギー製ゴブラン織の重文タペストリーが山を飾る鯉山やなど 7 基の山　合わせて１０基の山鉾巡行。

前祭は神輿を迎える巡行　長刀鉾を先頭に四条烏丸から四条通→河原町通→御池通→烏丸御池と「逆コの字」に 23 基の山鉾が巡行。一方　後祭は神輿を送る巡行で、前祭の巡行とは反対方向に、烏丸御池から御池通→河原町通→四条通→四条烏丸へ船弁慶山と北観音山を先頭に 10 基の山鉾が巡行し一番しんがりに大船鉾が行く。

後祭の山鉾巡行は気が抜けるかと思いましたが、人出も多く、17 日前祭の巡行とちっとも変らず。

時間的にも約２時間ちょっとで巡行全体が見られ、だれることもなく、１５０年ぶりの大船鉾の雄姿もあって

むしろ印象に残る美しい巡行でした。





本年復活した祇園祭後祭の「宵山」と「山鉾巡行」をアルバムにして、記録しました。







【写真アルバム】

2014 年祇園祭後祭 山鉾巡行　150 年振りに「大船鉾」が都大路をゆく

◎　2014.7.23.夕　後祭 宵山　　◎ 2014.7.24.　後祭 山鉾巡行









◎　2014.7.23.夕　後祭 宵山

















新町通り　町家の屏風祭　　２０１４．７.２３.夕　　祇園祭後祭　宵山



四条通北側の新町通り　南観音山　　2014．7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山

四条通北側の新町通り　南観音山

話かけた鉾町の人からこんな話を聞きました

宵山の深夜に南観音山、「あばれ観音」

7月23日深夜、本尊の楊柳観音をしばりつけた御輿をかつぎ、暴れながら、町内を3周し、町の両端で激しく揺らすという。正しい説もいつから始まったかもよくわかっていないが　「山鉾巡行で静かに座っていてもらうために今のうちに暴れさせる」という南観音山だけの儀式だと聞く

北観音山と南観音山の真松を飾る「鳥」

北観音山と南観音山の真松を飾る「鳥」が、今年から入れ替わる。昨年までは「北」がハト「南」がオナガドリの木彫だったが、古文書からかつては逆だったことが判明。今年からオナガドリを「北」に、ハトを「南」に据える。

この鳥を飾るため、毎年山の上の松をよじ登って据えるという。

こんな話　鉾町の人からでないと聞けぬ話。
知りませんでした。


四条通北側の新町通り　南観音山　　2014. 7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山


四条通北側の新町通り　南観音山　　2014. 7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山


四条通北側の新町通り　南観音山　　2014. 7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山


四条通北側の新町通り　南観音山　　2014. 7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山


四条通北側の新町通り　南観音山　　2014. 7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山



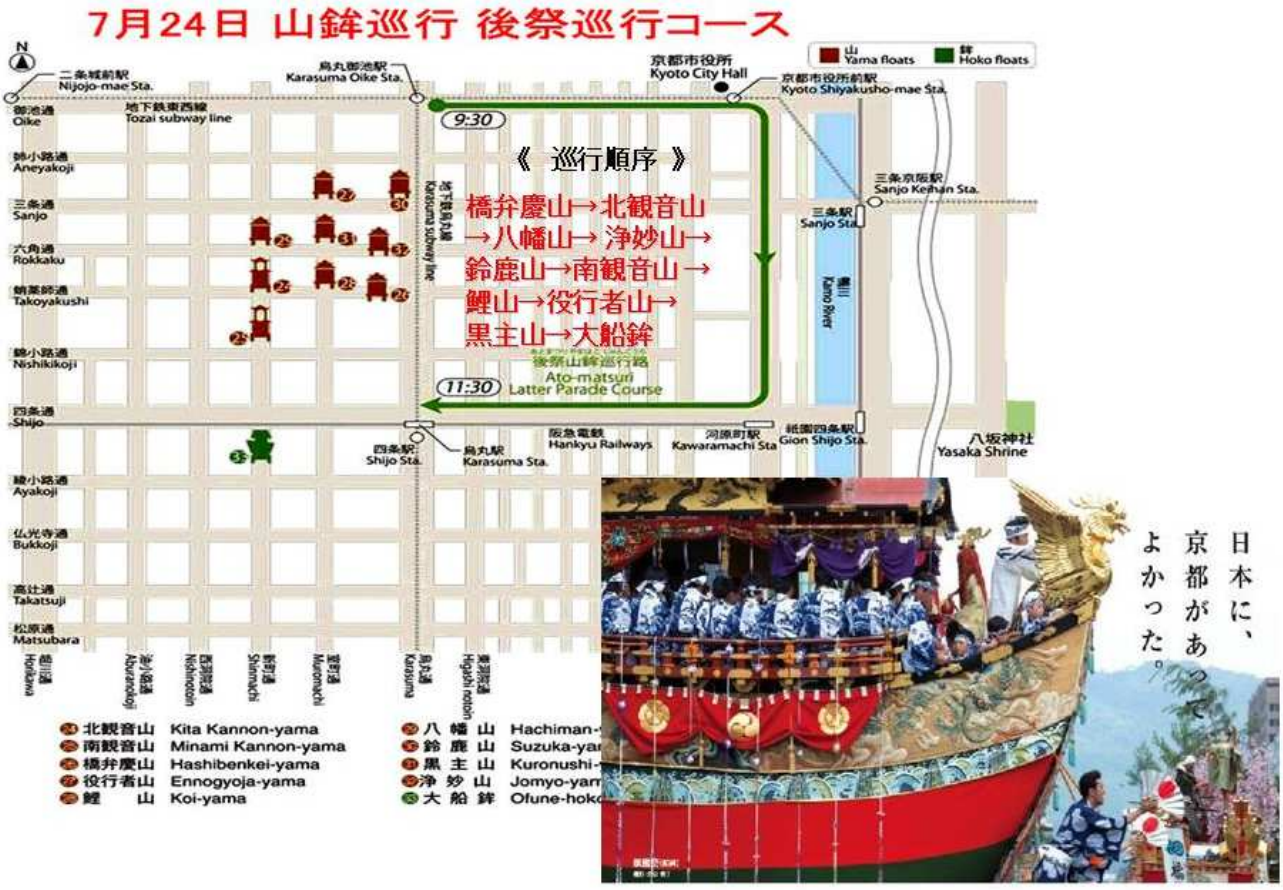
四条通北側の新町通り　北観音山　　2014. 7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山



四条通北側の新町通り　北観音山　　2014. 7.23.夕　　祇園祭後祭　宵山

◎ 2014.7.24.　後祭 山鉾巡行





祇園祭後祭　2014.7.24.　今年祇園祭山鉾巡行が本来の姿に戻ります
7月24日、49年ぶり後祭が復活　150年ぶり大船鉾が町衆の手により復興






2014.7.24、祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山




2014.7.24、祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山




2014.7.24、祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山　辻廻し


2014.7.24、祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山　辻廻し


2014.7.24　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山


2014.7.24　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山




河原町通










河原町御池
Kawaramachimaike


河原町御池
Kawaramachioike
50
南
南


2014.7.24. 祇園祭後祭 河原町御池 山鉾巡行 南観音山





鯉山　重要文化財　400 年前のゴブラン織りタペストリーが山を飾る







2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　黒主山





2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　黒主山













2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　辻廻し







2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　辻廻し




2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾





2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　河原町を行く








2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　四条河原町



2014.7.24.　祇園祭後祭　四条河原町　山鉾巡行

しんがりの大船鉾が　辻廻しを終えて、四条通に入ると　巡行もまもなく終わる

1. ***動画***　*2014 祇園祭 後祭　150 年ぶりに復活　大船鉾が行く*　　*14walk13B.wmv*
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk13B.wmv
2. ***pdf アルバム***　*2014 祇園祭 後祭　150 年ぶりに復活　大船鉾が行く*　　*14walk13photo.pdf*
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk13photo.pdf

◆ 保管　File





参　考　【和鉄の道・Iron Road】

「風来坊・Country Walk」

1. **【スライド動画】祇園祭 2012　宵山 & 巡行の朝 鉾町を歩く　2012.7.16.&7.17.**
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2012htm/walk9/1208gion00.htm
   1. 2012 祇園祭　宵山鉾町 walk
   2. 2012 祇園祭　巡行の朝　鉾町を歩く
2. **【スライド動画】　京都に夏を告げる祇園祭　2011.7.16.& 7.17.**
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2011htm/walk8/1108gion00.htm
   1. 祇園祭宵山　提灯に灯がともり祇園囃子が響く鉾町 walk
   2. 山鉾巡行　　巡行のハイライト　鉾の辻回し

2014祇園祭 後祭 150年ぶりに復活した大船鉾が都大路を行く

7.23. 後祭 宵山
7.24. 後祭 山鉾巡行



暑い夏の到来。
7月21日遅れていた梅雨が明けた。
そして、待ちかねたように蝉が鳴きだした。

TVが150年ぶりに復元された大船鉾の映像を流して、祇園祭後山の案内をしている。今年から24日に後祭があるり、しかも、150年ぶりに復活した大船鉾が後祭りの山鉾巡行のしんがりを務めるという。
「今年は京都祇園祭に行けなかったなぁ」と。

やっぱり「コンチキチン」の祇園囃子も聞きたいし、復元された大船鉾の巡行も見たいなぁ。。。と、家内にいうと「23日の後山の宵山に行って、24日山鉾巡行を見て帰ってこよう」という。 久しぶりの意見一致。

カンカン照りの23日夕方から京都に出かけました。
人にもみくちゃにされながらの宵山。
祇園囃子はヤッパリ生がいい。
しんがりを務める大船鉾に南観音山・北観音山の2基の曳山。 豪華絢爛 400年前のベルギー製ゴブラン織の重文タペストリーが山を飾る鯉山やなど7基の山 合わせて10基の山鉾巡行。
後祭の山鉾巡行は気が抜けるかと思いましたが、人出も多く、時間的にも約2時間ちょっとで巡行全体が見られ、17日の巡行とは趣も変わって だれることもなく、150年ぶりの大船鉾の雄姿もあって むしろ印象に残る美しい巡行でした。

祇園祭後祭 2014.7.24. 今年祇園祭山鉾巡行が本来の姿に戻ります

7月24日、49年ぶり後祭が復活 150年ぶり大船鉾が町衆の手により復興
















四条通南側 新町通 大船鉾 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山


四条通南側 新町通 大船鉾 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山


四条南側 新町通り 大船鉾 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山


新町通り四条南 大船鉾 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山



四条通北側の新町通り 南観音山 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山


四条通北側の新町通り 南観音山 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山


四条通北側の新町通り 南観音山 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山


四条通北側の新町通り 南観音山 2014. 7.23.夕 祇園祭後祭 宵山



四条通北側の新町通り 南観音山　2014. 7.23.夕　祇園祭後祭 宵山





四条通北側の新町通り 南観音山　2014. 7.23.夕　祇園祭後祭 宵山



四条通北側の新町通り 北観音山　2014. 7.23.夕　祇園祭後祭 宵山



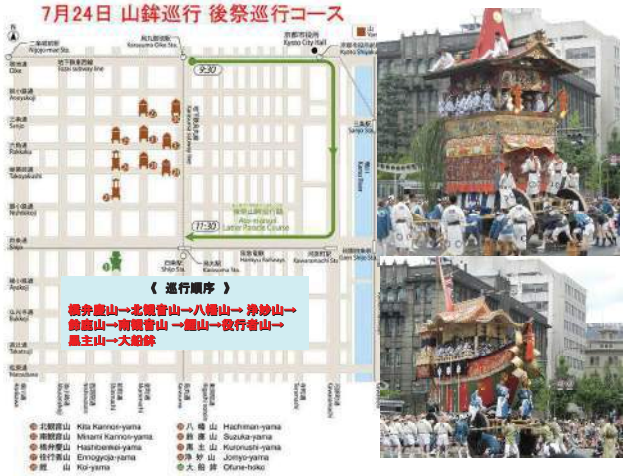
四条通北側の新町通り 北観音山　2014. 7.23.夕　祇園祭後祭 宵山



新町通り 町家の屏風祭　2014. 7.23.夕　祇園祭後祭 宵山



祇園祭後祭　2014.7.24.　今年祇園祭山鉾巡行が本来の姿に戻ります
7月24日、49年ぶり後祭が復活　150年ぶり大船鉾が町衆の手により復興




2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　先頭は橋弁慶山だった


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　先頭は橋弁慶山だった


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　先頭は橋弁慶山だった


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山




2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　北観音山




2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　南観音山



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　南観音山　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　南観音山　辻廻し




2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　南観音山


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　南観音山




2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　鯉山


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　鯉山


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　黒主山


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾






2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　辻廻し


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　辻廻し




2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾


2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　河原町を行く



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　河原町を行く



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　大船鉾　河原町を行く



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　四条河原町



2014.7.24.　祇園祭後祭　河原町御池　山鉾巡行　四条河原町



2014.7.24.　祇園祭後祭　四条河原町　山鉾巡行　四条河原町



2014.7.24.　祇園祭後祭　四条河原町　山鉾巡行　四条河原町



2014.7.24　祇園祭後祭　四条河原町　山鉾巡行　四条河原町



2014.7.24　祇園祭後祭　山鉾巡行　四条河原町　　大船鉾



2014.7.24　祇園祭後祭　四条河原町　山鉾巡行
しんがりの大船鉾が　辻廻しを終えて、四条通に入ると　巡行もまもなく終わる



祇園祭後祭　2014.7.24.
今年祇園祭山鉾巡行が本来の姿に戻ります
7月24日、49年ぶり後祭が復活
150年ぶり大船鉾が町衆の手により復興



風来坊 2014
14.

京都府立植物園 半日会 2014 年京朝顔展 朝顔帳 2014. 8. 5.





毎年楽しみにしている京都府立植物園　半日会の京朝顔展をスライド　動画にしました。
合わせて　アフリカ「バオバブ」の巨樹が白い花を咲かしているのも見てきました

朝早く起きて、咲いた朝顔の数を数え、咲き始めの花にふっと息を吹きかけて、ぱっと咲かせる。 早朝　朝顔のすがすがしい姿・色を見ると夏の一日が楽しくなります。

そんな朝顔の展覧会　京都府立植物園京都半日会の京朝顔展も55回。 どんな花に出会えるか　楽しみで、毎年でかけるのですが、今年も8月5日早朝　第55回目を迎える京都府立植物園・半日会の「京朝顔展」に行ってきました。。

朝顔は早朝から半日だけきれいに咲かせ、午後にはもうしぼんでしまう半日の花。

「次のつぼみを順次準備している」というが、 早朝　咲いてみないとその姿はわからない。「半日会」の名もここからきているといい、大人から子供まで、 誰もが一度は種から育てた経験がある育てやすい花。それでいて奥が深く、それぞれがそれぞれの流儀で楽しめる朝顔



京都半日会の会員も小学生から 80 を越えるお年寄りまで
親子・ご夫婦　二代・三代　そして、朝顔展を見て今日から始めるという人もいて、 その裾野は広い。
毎年出展する地域の小学生たちが、あっという大輪を咲かせるのも楽しみです。
開催期間中　早朝毎日　花の咲いた鉢を持ち込み、毎朝展示する鉢を入れ替え、 キャリア-組も素人一緒になって　その日一番の朝顔を愛であい、 朝顔談義に花を咲かすのが楽しみと聞く。
それにしても、展示する朝顔のほぼすべての入れ替え　期間中全体では 1600 鉢にもおよぶと聞く。



あさがお
花言葉は「明日もさわやかに」
みんな　朝の水やりに　精を出したことがあるやさしい花

夏の朝早く花を咲かせ、昼には　しぼんでしまう 半日の花
でも　毎朝が楽しみな　そのすがすがしさ

明日もさわやかに



第５５回 半日会 京都府立植物園　京朝顔展　朝顔帳　　８月1日 ～ 8月5日

1. 夏の朝　涼しさを演出する京朝顔　　2014.8.4. 早朝
















































NIKON











2. 変化朝顔　「黄握爪龍葉紅覆輪総風鈴獅子咲」
















黄握爪龍葉紅総風鈴獅子咲


青握爪竜葉紅覆輪総風鈴獅子咲

◆　変化朝顔に見る日本人の感性とものづくり　(抜粋)

幾世代　数百年も咲かせ続けてきた江戸の人達の職人技。いわば日本人の観察眼と自然に対する深い感受性で、人手で護り育ててきた江戸伝統の変化朝顔。これが日本人伝統の技。

奈良時代に中国から薬草として伝わり、日本人が品種改良を続け、幾つもの種類に育てた朝顔。
その中で、種をつけず一代限りの花の美しさを連綿として伝えてきたのが「江戸の変化朝顔」。



変化朝顔　【親株と変化朝顔】国立歴史民俗博物館資料より】

身のまわりにある「雑草」も縄文時代から稲と同じように人々が改良を重ねてきた栽培植物の生残り。
ある時代に忘れ去られたま連綿と種を繋いで生き延びてきたものらしい。

「稲など栽培植物が途絶えた時には　人は真っ先にこの雑草に頼らざるを得ないだろう。太古の人々がそれを食としたように…」と辻氏は言う。
そう考えるとこの日本の地にある雑草も「日本人の大事な物作りの技」。
雑草のルーツを知り、「今一度きっと何処かで人の役に立つ時が来る」と考えると忘れられた雑草も素晴らしいものに見えてくる。
このような世界に類のない「太古と現代の樹木や植物の交差点」日本で生きてきた日本人。
その独特の感性の技がなしえた植物が今も「日本伝統の花」として、また「雑草」として生きつづけていること驚きです。

日本人の心　豊かな感性と鋭い監察眼がなしえた伝統の技。それは今も物作りの基本。
大事にして行きたいものだとつくづく思いました。

2000.7　歴史民俗博物館で辻誠一郎氏「江戸の変化朝顔」の話を聞いて

by Mutsu Nakanishi　http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/from2002a.jpg　P10・



変化朝顔では　花ばかりでなく　葉もこんなに千変万化






3. アフリカの巨樹「バオバブ」に今年も珍しい花が咲きました









京都府立植物園 温室 2014.8.4.









4. 我が家の庭で　2014.　8月





夏の朝　涼しさを演出する庭の京朝顔　　今年も咲き始めました
どれも名前がついているのですが、私にはさっぱり
毎朝　一輪一輪と咲いた数を数える
朝のすがすがしさを感じさせてくれる　夏の楽しみです



我が家で咲いた京朝顔　2014.8月















あさがお
花言葉は「明日もさわやかに」
みんな　朝の水やりに　精を出したことがあるやさしい花

夏の朝早く花を咲かせ、昼には しぼんでしまう 半日の花
でも　毎朝が楽しみな　そのすがすがしさ

明日もさわやかに

2014.8月 盛夏
from Kobe　by Mutsu Nakanishi

半日会・京都府立植物園

2014年 京朝顔展 8月1日～8月5日



夏の朝 涼しさを演出する京朝顔　京都府立植物園・半日会 京朝顔展 2014.8.4.早朝

夏の朝のすがすがしさを感じながら、一輪一輪と咲いた朝顔の数を数えるのが毎朝の楽しみです

京都府立植物園京都半日会の京朝顔展も５５回。　どんな朝顔に出会えるか　毎年楽しみにしています。
案内状をいただいて８月４日早朝　半日会京朝顔展に行ってきました。

今年の夏　わが家の庭でも　数多くの朝顔が咲きました。
毎日早く起きて見るのが楽しみ。この清々しさに　一日が楽しくなります。
咲きかけて　咲けない花の頭をそっと撫でて　ふっと息を吹きかけるとぱっと開く。こんな技も嬉しい。

朝顔は　朝早くに咲いて　昼には　もう　しぼんでしまう　本当に半日の花
家の軒下や庭先に植えて夏の日差し除けに　また　植木鉢で
誰もが一度は種から育てた経験がある育てやすい花。それでいて奥が深い。
子どもから何十年のベテランまで　それぞれがそれぞれの流儀で楽しめる朝顔
そんな京都府立植物園京都半日会の京朝顔展も55回。　どんな花に出会えるか　毎年楽しみ
また、毎年出展する地域の小学生たちの花を見るのも楽しみ。 前回は大人も及ばぬ大輪を咲かしていたなあと。

８月５日早朝　半日会京朝顔展に行ってきました。

2014.8月　盛夏　　Mutsu Nakanishi



あさがお
花言葉は「明日もさわやかに」
みんな　朝の水やりに　精を出したことがあるやさしい花

夏の朝早く花を咲かせ、昼には　しぼんでしまう 半日の花
でも　毎朝が楽しみな　そのすがすがしさ

明日もさわやかに



夏の朝　涼しさを演出する京の朝顔　　今年も咲き始めました
どれも名前がついているのですが　私には　さっぱり
毎朝　一輪一輪と咲いた数を数える
朝のすがすがしさを感じさせてくれる　夏の楽しみです







京都府立植物園で　2014.8.4.早朝



京都府立植物園から眺める比叡山　2014.8.4.早朝







今年で55回目を迎える京都半日会の「朝顔展」が京都府立植物園で8月１日から始まった。
朝顔は早朝から半日だけきれいに咲かせ、午後にはもう　しぼんでしまう。
「次のつぼみを順次準備している」というが、どんな花をどんなふうに咲かせるか　早朝咲いてみないとわからない。
「半日会」の名もここからきているといい、会員は親子・ご夫婦　二代・三代　そして小学生から80を越えるお年寄りまで、
そのキャリアーも　初めてから、20・30年　朝顔展を見て　今日から・・・とその裾野は広い。

開催期間中　早朝毎日　花の咲いた鉢を持ち込み、毎朝展示する鉢を入れ替え、
キャリア-組も素人一緒になって　その日一番の朝顔をめであい、朝顔談義に花を咲かすのが楽しみと聞く。
それにしても、展示する朝顔のほぼすべての入れ替え　期間中全体では1600鉢にもおよぶという。

誰でも咲かせられる朝顔。でも　その奥は深い。
丹精こめて低い背丈に切りそろえて、大輪をひとつ咲かせる京都独特の「京朝顔」。
淡い色が見た目にも涼しい朝顔に　大輪の色鮮やかさが清涼感をいっそう際立たせる。
江戸伝統の「変化朝顔」に「こんな姿の朝顔もあるのか？」とびっくりしたこともありました。

半日会に属する家内の幼馴染から「明日咲く鉢　持っといで。 一緒に出展できるよ。 それに新人は賞もあるよ」と
気さくな朝顔展の案内電話をいただいて、8月4日　早朝　家内の自信作というより、今朝早くに花をつけた2鉢を持って、
鴨川沿いの植物園　朝顔展の受付へ。
朝のすがすがしい空気中　　木陰に展示された朝顔に「夏の朝のすがすがしさ」をたっぷり味わってきました。
また、　バオバブの花にも出会ってきました。



第55回朝顔展 2014.8月1日～8月5日 京都 半日会 &府立植物園
























本日の銘花
半日会




連
花一番
千鳴小学校
秀逸


島


本日の
銘花
半日会

































「黄握爪龍葉紅覆輪総風鈴獅子咲」

インターネット検索すると下の写真のような変化朝顔が掲載されていました
龍の握爪と称された葉と同様　花も清楚さよりたくましさを感じます



黄握爪龍葉紅総風鈴獅子咲



青握爪竜葉紅覆輪総風鈴獅子咲



変化朝顔では　花ばかりでなく　葉もこんなに千変万化

◆ 変化朝顔に見る日本人の感性とものづくり （抜粋）

幾世代　数百年も咲かせ続けてきた江戸の人達の職人技。いわば日本人の観察眼と自然に対する深い感受性で、人手で護り育ててきた江戸伝統の変化朝顔。これが日本人伝統の技。



奈良時代に中国から薬草として伝わり、日本人が品種改良を続け、幾つもの種類に育てた朝顔。
その中で、種をつけず一代限りの花の美しさを連綿として伝えてきたのが「江戸の変化朝顔」。　　変化朝顔　【親株と変化朝顔】国立歴史民俗博物館資料より】

身のまわりにある「雑草」も縄文時代から稲と同じように人々が改良を重ねてきた栽培植物の生残り。
ある時代に忘れ去られたまま連綿と種を繋いで生き延びてきたものらしい。

「稲など栽培植物が途絶えた時には　人は真っ先にこの雑草に頼らざるを得ないだろう。太古の人々がそれを食としたように…」と辻氏は言う。
そう考えるとこの日本の地にある雑草も「日本人の大事な物作りの技」。
雑草のルーツを知り、「今一度きっと何処かで人の役に立つ時が来る」と考えると忘れられた雑草も素晴らしいものに見えてくる。
このような世界に稀のない「太古と現代の樹木や植物の交差点」日本で生きてきた日本人。
その独特の感性の技がなしえた植物が今も「日本伝統の花」として、また「雑草」として生きつづけていること驚きです。

日本人の心　豊かな感性と鋭い観察眼がなしえた伝統の技。それは今も物作りの基本。
大事にして行きたいものだとつくづく思いました。

2000.7　歴史民俗博物館で辻誠一郎氏「江戸の変化朝顔」の話を聞いて　　by Mutsu Nakanishi
http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/from2002a.jpg　P10















京都府立植物園　温室　2014.8.4.


京都府立植物園温室　2014.8.4.


京都府立植物園　2014.8.4.


京都府立植物園で　2014.8.4.


京都府立植物園で　2014.8.4.















あさがお
花言葉は「明日もさわやかに」
みんな 朝の水やりに 精を出したことがあるやさしい花

夏の朝早く花を咲かせ、昼には しぼんでしまう 半日の花
でも 毎朝が楽しみな そのすがすがしさ

明日もさわやかに

2014.8月 盛夏
from Kobe by Mutsu Nakanishi



半日会・京都府立植物園

2014年 京朝顔展 8月1日～8月5日



夏の朝のすがすがしさを感じながら、一輪一輪と咲いた朝顔の数を数えるのが毎朝の楽しみです





風来坊 2014
15.

日本の恐竜化石の宝庫　福井県勝山市　福井県立恐竜博物館

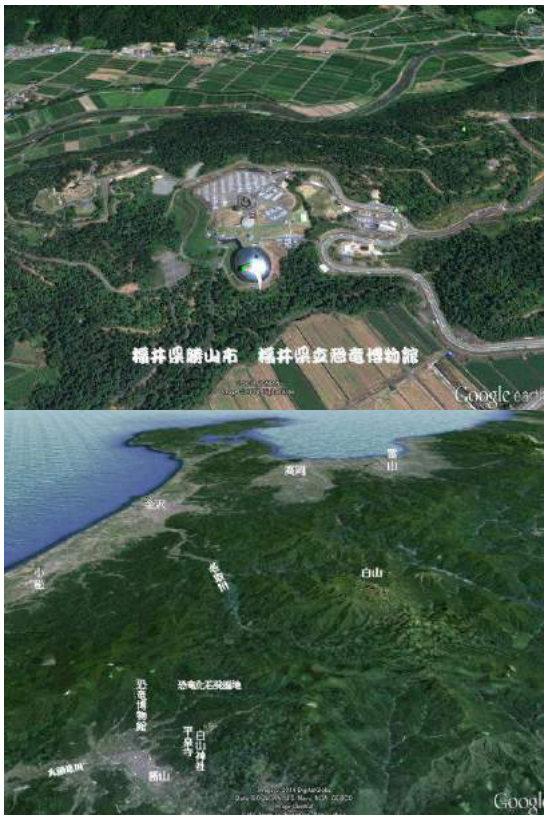
恐竜博物館の代表といわれる巨大な恐竜博物館　　2014.8.14



恐竜博物館　ドームのメイン展示「ティラノザウルス」　2014.8.14.

今から約 1 億 2000 万年前　大陸と地続きだった日本にいた巨大な恐竜たち
恐竜化石の宝庫福井県勝山市　　恐竜博物館の日本の代表といわれる巨大な福井恐竜博物館へ行ってきました

8 月 14 日　前日京都で　家内の実家の墓参りを済ませた帰りに、「丹波竜の展示館に立ち寄って帰ろうか?」と孫に言うと「恐竜みたい」と積極的。
それならば多少時間がかかるが、京都から真っ直ぐ北に出て、新しくできた小浜道から、福井勝　山の「恐竜博物館」に連れて行ってやろうと家内の運転で　福井県勝山市にある恐竜博物館へ。
私は恐竜博物館へ行くのは初めてですが、この地へは何度か通ったことがあり、恐竜化石の宝 庫　福井県勝山は知っていたのですが、ここへは行ったことなし。



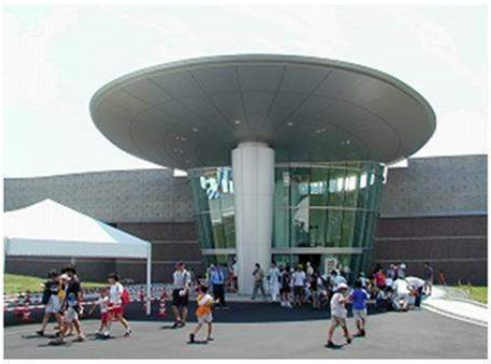
福井県福井平野を形成する九頭竜川が東の山岳地帯から流れ下ってくるこの谷筋は東海地方美濃と北陸越前を結ぶ街道筋。
幻に終わった越美南・北線が太平洋・日本海側の両方から山に分け入るり、ユニークな地方鉄道福井電鉄の沿線で、勝山へ行く途中には永平寺もある。
また、北陸・加越は「鉄」の先進地で、古代　早くから大陸から鉄が入り、この九頭竜川流域にも　そんな鉄の道の痕跡が残っています。
白山信仰が盛んな頃　白山への表参道として栄えた勝山。
その山中に 1 億数千年前　恐竜が沢山住む地球の歴史を語れるロマンあふれる地で、　是非訪れたいと思いながら、いつもパスしてきた場所。
今回は私にとってもいい機会になりました。

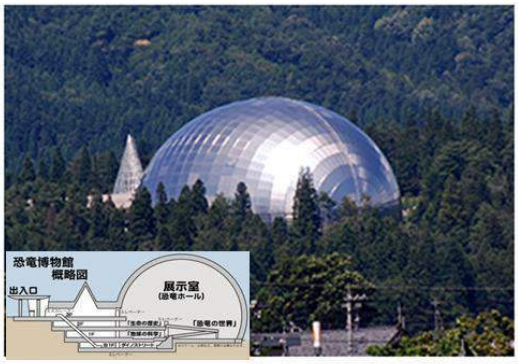
福井県勝山は九頭竜川中流の山懐　白山神社があり、かつて　白山が「加賀」に編入されてしまう前は、 白山への表参道としてにぎわったところで、兵庫県篠山の「丹波竜」が発掘される前から、恐竜 2 体の全身骨格が出土した日本最大の恐竜化石発掘地として有名。
福井県立恐竜博物館は　2000 年（平成 12 年） これらの発掘成果をもとに、「恐竜」を中心とした国内最大級の地質・古生物学博物館として、「福井県立恐竜博物館」が開設された。





銀色の巨大な卵型のドームの中に、巨大な恐竜ティラノサウルスのリアルな実物復元展示や数々の恐竜 の全身骨格の復元展示などで知られ、大人から幼児までが楽しめる博物館として、入館者数が年間で 50 万人を超える福井県を代表するスポットとなっている。
初めて見る近未来を思わせる銀色の卵型の巨大なドームが建つ丘を背景に　田園の中に立つ巨大な恐竜のモニュメントにもう　出だしから圧倒。 博物館前も中も　訪れた人たちや車でごった返していましたが、中に入るととにかくすごい。 見上げる実物大巨大恐竜たちの大きさに　みんな一瞬息を止めて　ポカンと見上げる。


福井県立恐竜博物館のエントランス



深緑の木々の中に光り輝く福井県立恐竜博物館のドーム

最近の博物館・水族館はどこもみんなそうですが、巨大すぎて　半日ではとても回り切れない。
発掘現場へのツアーや発掘体験　そして　特別展も開催されていましたが、とても回り切れず。


地下1階へおりる長いエスカレーターにのって、ドーム内の展示室「恐竜ホール」へ
インターネットより

白山信仰の表参道　白山神社の奥　白山が見えるところまで　登っても見たいし、 勝山の街　そして隣の大野　そして古代の鍛冶工房跡が点々と残る九頭竜川の河口にも行ってみたい。 次回　ゆっくり　一人でこようと・・・。

白山山系の山々をバックにした見晴らしのいい丘の上　未来を思わせる銀色の卵型の建物の中 地球36億年の歴史　1億数千年前太古の空間に呼び戻され、そんな中で巨大恐竜たちに出会えました。
おすすめの福井県立恐竜博物館の紹介です。

2014.8.月　　by Mutsu Nakanishi

写真抜粋　≪　恐竜博物館見学　　福井県勝山市　　2014.8.14　≫



≪福井県勝山　恐竜化石の発掘地　福井県勝山市北谷≫



≪北陸道　福井北 IC より東へ勝山街道を勝山市の恐竜博物館へ　2014.8.14.≫

北陸道　福井北 IC をでて、九頭竜川沿いの勝山街道を東に遡り、勝山の街に入ると　木々に包まれた丘の上に巨大な銀色の卵型の建物が左手に見えてくる。 これが巨大な恐竜ティラノサウルスのリアルな実物復元展示や数々の恐竜の全身骨格の復元展示で知られ、日本を代表するといわれる福井県恐竜博物館　巨大な恐竜を実物展示するのに、この卵型の巨大ドームが必要だった。



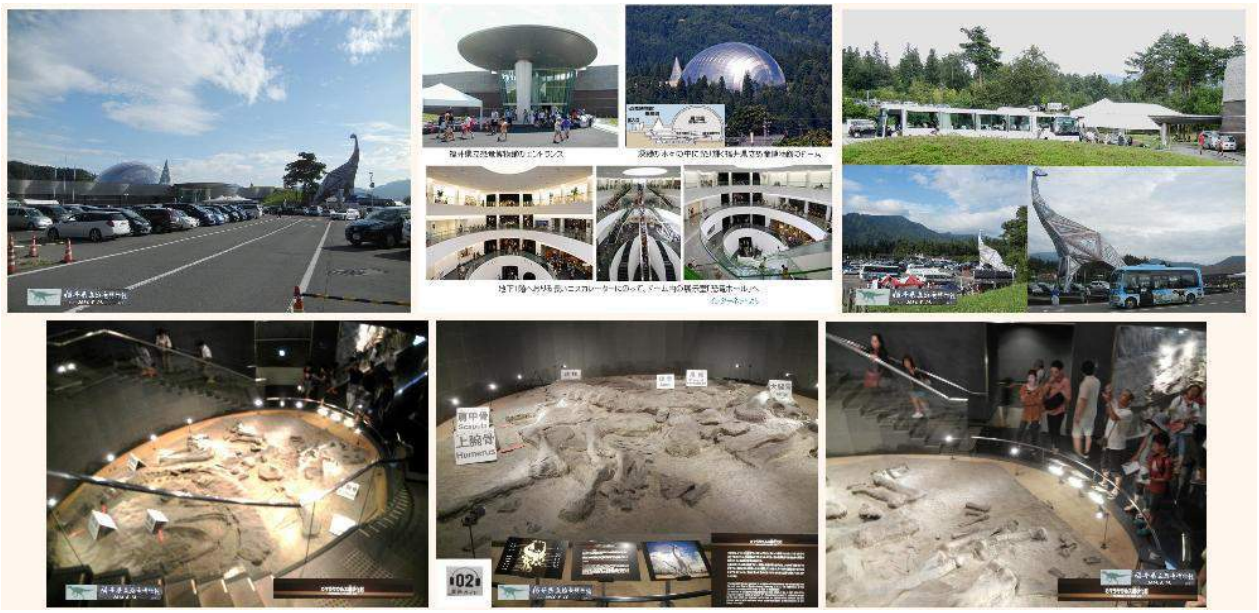




恐竜博物館のある丘へ上がる手前の田園地に　巨大な野外モニュメント　ホワイトザウルスが立っている。

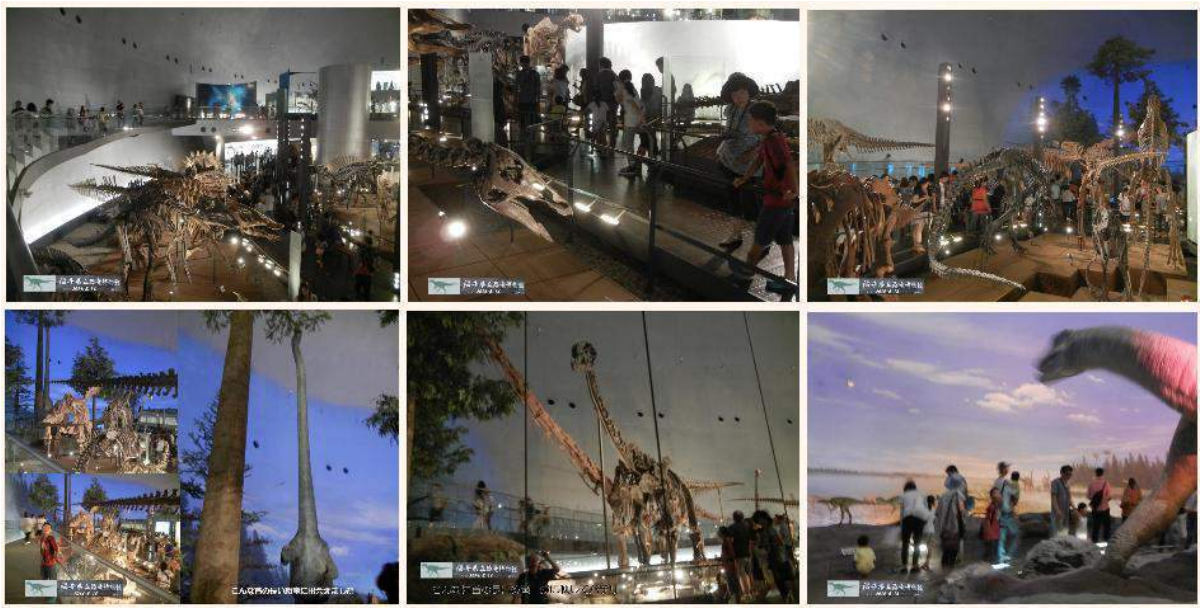
もう孫はテンション上がりっぱなし。 恐竜博物館の期待がさらに高まってくる。

≪福井県立恐竜博物館　展示　　2014.8.14.≫





恐竜博物館　ドームのメイン展示「ティラノザウルス」　2014.8.14.

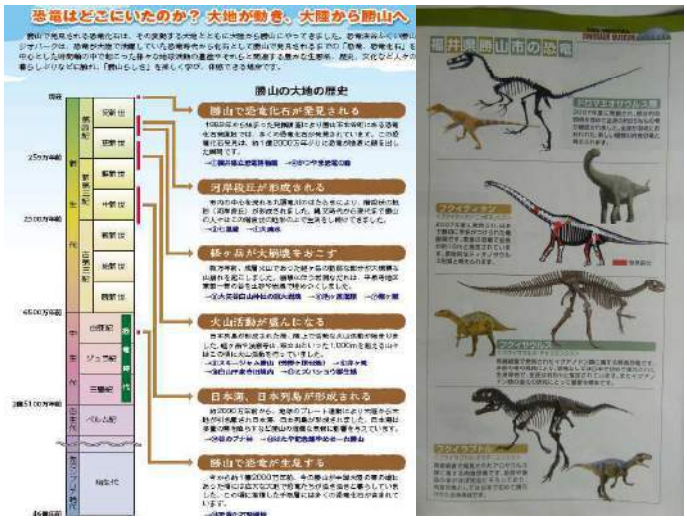




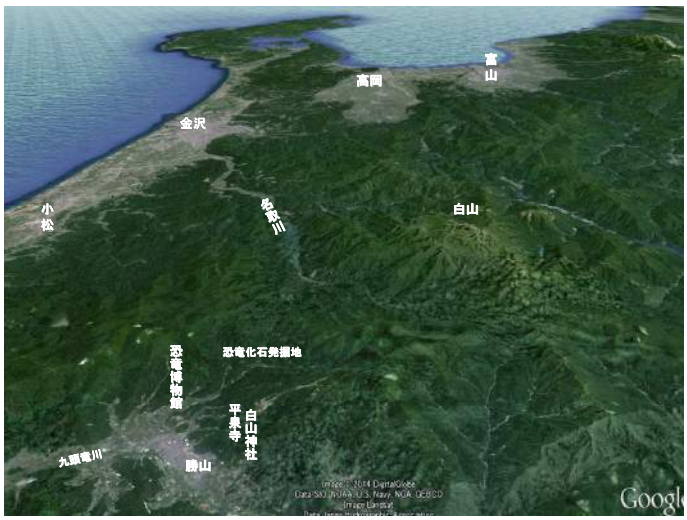
《　恐竜化石発掘現場　》


奥河内谷
護摩堂峠
杉山鉱泉
135
東山いこいの森
かつやま子どもの村中
本誓寺支坊
416
高尾岳
板谷
たけとう病院
勝山市役所 野向小
長尾山総合公園
勝山市
雁が原スキー場
御立山
勝山店
勝山警察署
261
17
浄願寺
福井県立勝山高
勝山市役所
131
大師山
大師山清大寺・越前大仏
成器南小
勝山市役所 勝山南部中
平泉寺白山神社
恐竜化石発掘現場


福井県立恐竜博物館
福井福井県勝山市村岡町にある恐竜を主たるテーマとした自然史博物館で、展示内容の量・質共に極めて高く、日本における恐竜博物館の代表
勝山市では、平成元年から続けられている福井県の恐竜化石発掘調査事業により、学術的に貴重な恐竜化石が数多く発見されました。これまでにフクイラプトル、フクイサウルスの全身骨格が復元されたのをはじめ、恐竜の卵や幼体の骨、足跡化石なども発見され、恐竜たちの暮らしぶりが次第に明らかになってきています。
これらの成果をもとに、「恐竜」を中心とした国内最大級の地質・古生物学博物館として、「福井県立恐竜博物館」を2000年（平成12年）7月14日にオープンし、現在では、入館者数が年間で50万人を超える福井県を代表するスポットとなっている。
福井県勝山市　福井県立恐竜博物館
8月14日　孫と一緒に福井県の恐竜博物館に行ってきました
Google earth


恐竜はどこにいたのか？ 大地が動き、大陸から勝山へ
勝山の大地の歴史
勝山で恐竜化石が発見される
河岸段丘が形成される
桜ヶ岳が大崩壊をおこす
火山活動が盛んになる
日本海、日本列島が形成される
勝山で恐竜が生息する
福井県勝山市の恐竜




富山
高岡
金沢
小松
名取川
白山
恐竜博物館
恐竜化石発掘地
平泉寺
白山神社
九頭竜川
勝山
Google


恐竜化石発掘地
恐竜博物館
九頭竜川
勝山
平泉寺　白山神社
Google earth


福井県の恐竜
勝山市の恐竜化石発掘地
福井県勝山市の恐竜


恐竜化石発掘現場
勝山市
平泉寺白山神社


恐竜化石発掘地







福井県勝山市　福井県立恐竜博物館　2014.8.14.





恐竜博物館　ドームのメイン展示「ティラノザウルス」　2014.8.14.





福井から勝山へ　東から西へ　九頭竜川に沿って　国道416号線　勝山街道　永平寺町を通る　2014.8.14.



福井から勝山へ　東から西へ　九頭竜川に沿って　勝山街道　国道416号線を通る　2014.8.14.



恐竜渓谷の名前が道路標識に　また　水力発電所が右手に　　2014.8.14.
国道416号線　市荒川橋の手前で



九頭竜川の南側から北側へ市荒川橋を渡って　勝山市に入り　さらに東へ　　2014.8.14.
雲がかかっているが、岐阜県との県境　白山山系の山々が壁のようにたちはだかっている



真っ直ぐ東の山並みへ延びる国道416号線　山並みがぐんぐん近づいてくる　　勝山市荒土町で



勝山の市街地に入り、 左手の山裾の丘に銀色卵型のドームが見え隠れ
間もなく左手に恐竜博物館への標識がでてきて、どうやらこのドームが博物館のようだ



416号線を左手に折れると銀色卵型のドームが正面に　恐竜博物館はすぐそこに
私の抱いていたイメージとは全く異なる大きな博物館であると



恐竜博物館手前の道脇には「白恐竜・ホワイトザウルス」のモニュメント　2014.8.14.





ホワイトザウルスのモニュメント前で　2014.8.14.











福井県立恐竜博物館のエントランス



深緑の木々の中に光り輝く福井県立恐竜博物館のドーム



地下1階へおりるエスカレーターにのって、ドーム内の展示室「恐竜ホール」へ。

インターネットより



















恐竜博物館　ドームのメイン展示「ティラノザウルス」　2014.8.14.






ティラノサウルス　恐竜博物館で　2014.8.11






こんなに首の長い恐竜　鏡に映してパチリ


こんなに首の長い恐竜　鏡に映してパチリ








こんな首の長い恐竜に出会えました






ティラノサウルス　恐竜博物館で　2014.8.14.






恐竜博物館を堪能して帰路に　2014.8.14.夕


かつての白山の表参道
平泉寺白山神社へ寄り道　2014.8.14.
高岡
金沢
小松
手取川
白山
恐竜博物館
恐竜化石発掘地
白山神社
平泉寺
九頭竜川
勝山





平泉寺白山神社説明文

福井、石川、岐阜、の三県にまたがる白山（標高二七〇二メートル）古くから信仰の山として、富士山や立山と共に日本の三名山と仰がれました。そして白山は、福井県、[illegible]偉大な宗教家泰澄大[illegible]で開かれ、ここ平泉寺白山神社も、大師によって養老元年（西暦七一七年）に創立されました。

以来、平泉寺は、白山の表参道として、更に中世には、四十八社三十六堂六千坊が建ち並び、多くの僧兵を擁して大いに栄え、この時代には福井県（当時の越前）の宗教、文化、武力、の中心として、強大な勢力を誇っていたと伝えられています。ところが天正二年（一五七四年）に加賀の一向一揆の乱入によって、全山ことごとく焼失してしまいましたが、豊大閤の時に再興され、尚白山を管理していましたが、明治四年（一八七一年）に白山は、加賀に編入され、同時に神佛分離の命令によって寺号を棄てて白山神社となって今日に至っています。しかも今過大社の面目を残し、全盛時代を物語る参道の石だたみ、本社前の大石垣、大拝殿当時の礎石を始めとして、老木が左右に立ち並んでいます。更に六百年前に建てられた橋木正成公の墓塔や、永平寺奉納の石燈籠など、数多くの史跡に富み、平泉寺城趾として国の文化財に指定をされています。また、この境内には慶長年間に作られたと言われる旧玄成院庭園があり、国の文化財に指定されています。このように境内がそのまま史跡であり、数多くの文化財が保存されている所は他には見あたりません。

かつての白山の表参道
平泉寺白山神社鳥居前　2014.8.15.











風来坊 2014
16.

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて　三陸沿岸を再訪　 2014.6.7-6.9

3. 三陸鉄道に乗って　２０数年前訪れた龍泉洞 ＆ 普代・黒崎を訪ねる

宮古から久慈へ　大震災･津波の被災地を結ぶ三陸鉄道 北リアス線に乗って北三陸沿岸をめぐる　2014. 6.8. & 6.9.





3. 三陸鉄道に乗って　２０数年前訪れた龍泉洞 ＆ 普代・黒崎を訪ねる

3.1.　震災・大津波の被災地の今を三陸鉄道の車窓からしっかりと眺める
3.2.　２０数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　 透明なブルーに出会いたくて
3.3.　土砂降りの雨の中　北緯４０度の地球村　普代・黒崎へ
3.4.　普代から久慈へ
　　普代川の河口の砂鉄浜の今「普代浜 ＆ 普代の街」　and 三陸鉄道の車窓
3.5.【資料】　南部鉄を支えた久慈の砂鉄と製鉄　＆　旧たたら館







1992 年４月に訪れた久慈・三陸沿岸の Country Walk　 琥珀の町「久慈」で「アンバーロード・琥珀の道」の言葉を眼にして、久慈のある三陸沿岸は琥珀ばかりでなく、古くからの製鉄資源帯・製鉄地帯。
そこには「古代からの鉄の道がある」とふと頭に浮かんだ　「アイアン　ロード」の言葉。響きもいい。
「和鉄の道・Iron Road」と名付け、たたら探訪の Country Walk をライフワークに。

２０数年ぶりに訪れた三陸沿岸は大津波に襲われた被災の地復興はまだまだこれから。２０数年前の記憶をたどりながらこの三陸沿岸の今をしっかり眺めようと。
雨にはたたられましたが、多くの人たちに出会い、 笑顔で声をかけていただいて　ほっとしながらもうれしい旅でした。
一日も早い三陸沿岸の生活復興を祈りながら　八戸へ

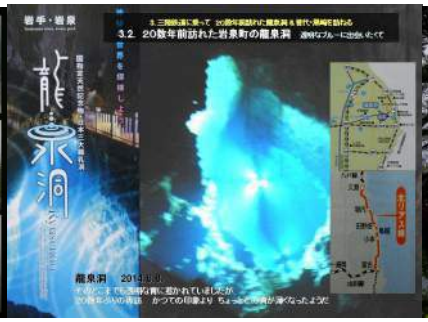


やっと　三陸沿岸の Iron Road を訪ねることができました。

by　Mutsu Nakanishi

≪三陸沿岸の Iron Road Walk　2 日目　2014.8.8.午後　三陸鉄道　宮古から普代への車窓・龍泉洞・普代村黒崎≫







6 月8日　厚い雨雲に覆われ、霧雨が降ったり止んだりの一日。

午前中に山田町船越の古代の製鉄遺跡の発掘現場を見学したあと、霧雨の中　代行バスで宮古駅に 12:45 到着。

TV などの報道で薄々感じていましたが、山田町の市街地や船越の浜など　まだ草ぼうぼうの広大な荒れ地に被災地の今。

今更ながら津波の強烈な破壊力と被災された人たちの辛苦に、声も出ず。　しっかりと現状を眼に焼き付けました。

また、山田町船越の数多くの古代製鉄遺跡に接し、知りたかった古代三陸の製鉄の様子も　おぼろげながら頭に入った午前でした。午後は今回の三陸沿岸の Iron Road Walk　の目的の一つである4月全線開通の**「三陸沿岸被災地の絆の中心と聞く三陸鉄道」**に乗る。

◎　20 数年前　東北の古代からの資源帯　三陸海岸を訪ねて　岩泉・龍泉洞から三陸沿岸に出て、満員の三陸鉄道の列車に乗ってふっと思いたって降りた普代。「北緯 40 度地球村普代」の言葉が印象に。

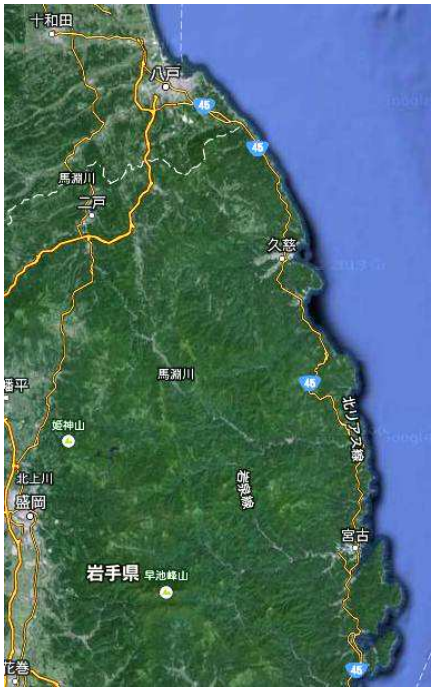
◎　また、翌日久慈のたたら館を訪ねる中で、「Iron Road」の言葉とイメージができた懐かしい地。

天候は　午前中むにつづいて、雨が降ったり止んだり、今日はどうなるか。　宿は以前に泊まったことがある普代黒崎の国民宿舎が取れている。

勝手気ままな三陸鉄道に乗っての　三陸沿岸 Iron Road の気ままな風来坊　Country Walk。

宮古から「三陸鉄道」に乗車して、足の向くまま気の向くまま三陸沿岸の様子を車窓から眺めつつ、20 数年前に訪れた岩泉・普代など北三陸沿岸の Iron Road を訪ねる。この宮古から北に続く三陸沿岸も、また津波の大被災地であり、気持ちを引き締めて歩かねばと。









宮古から久慈まで　リアス式海岸を結ぶ三陸鉄道　北リアス線

リアス式海岸特有の崖から崖へトンネルと鉄橋で渡ってゆく

3.1. 三陸鉄道 宮古から龍泉洞の最寄り駅小本へ

震災・大津波の被災地の今を三陸鉄道の車窓からしっかりと眺める





宮古と久慈を結ぶ三陸鉄道北リアス線始発駅宮古駅正面　2014.6.8.

今回の目的の一つ「三陸鉄鉄道　北リアス線」に乗り込んでの「車窓の旅」のスタート。 13:15 発久慈行の列車に乗り込む。予定はここから約１時間ほど　普代駅下車して普代の浜に降りて　20 数年前に泊まった譜代村黒崎の断崖の上に建つくろさき荘泊まりであるが、土砂降りの雨　普代浜を明日早朝にして、列車との接続は取れていないが、途中の小本駅で降りて 「竜泉洞」のあの「青」を見てから、普代に行くことにする。





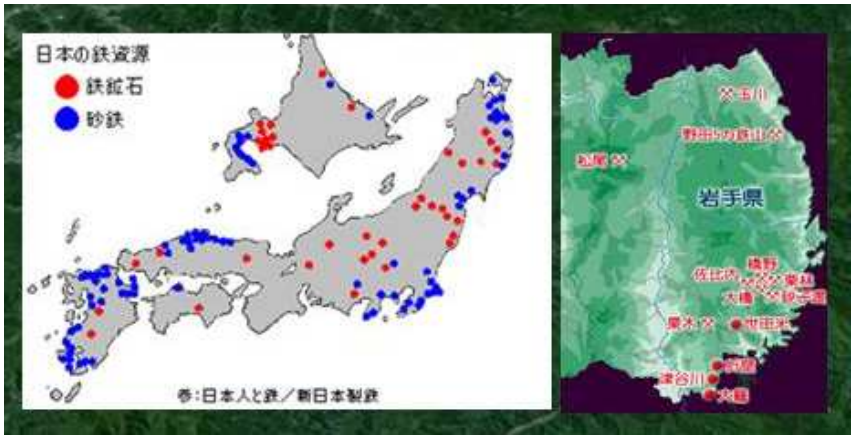




13:15 発久慈行の列車に乗り込み、車窓から三陸沿岸を眺めながら、龍泉洞の最寄り駅　岩泉町小本駅へ

社内には「あまちゃん」のポスターが大きく掲示。 どれほどゆゅくの人たちをゆうきづけたことか・・・・と。

この沿線は背後の北上山地や流れ出る川には鉄鉱石・砂鉄　そして浜には砂鉄が堆積する日本有数の製鉄資源帯であり、これらの川筋には、たたら製鉄が古くから営まれてきた。この北上山地・三陸沿岸の鉄は　特に江戸時代　八戸藩・盛岡藩の鉄素材(鋳物銑)の供給基地として、数多くの鉄山・たたら製鉄が営まれ、特産　南部鉄器を支えた製鉄地帯である。 でも　海岸線はリアス式海岸特有の厳しい崖が複雑に入り込み、三陸鉄道は鉄橋とトンネルでこの厳しい海岸を渡ってゆく。













トンネルを抜け、山と山の間の谷を高架橋で渡り、またトンネルへと列車が渡ってゆく　摂待駅周辺

駅も集落も高架橋周辺の山と山に狭まれた川筋の狭い平地にあり、トンネルを抜け、駅が見えるとほっとする

両側を険しい山で閉ざされたそれぞれの集落。 鉄道がなければ、どこに行くにも厳しい山越　もしくは船を強いられ、孤立する。でも　眼前の海はこの沿岸が育てた豊かな海である。 唯一外部とつながる安定アクセス手段が三陸鉄道なのである。

地図を眺め、実際に三陸沿岸に行って、初めて理解できる地域の人たちの三陸鉄道の全線開通への思いが「三鉄」と呼ぶ言葉に込められている。

実際　コミュニティバスなど代行手段は用意されているが、それぞれ　その集落地域内にとどまり、中央・中核都市とつながるには、今も一日がかり。 いつでもどこでも　すぐに外部や中央につながるといったわけにはゆかぬ。

いつでもどこでも　すぐにアクセスできる我々が忘れている地域アクセスの必要性。 今　鉄道と共に、三陸鉄道に続く三陸沿岸を貫く三陸復興道路の早期完成が切望される理由だろう。

そんなリアス式海岸に暮らす人たちの生活に触れた三陸鉄道です。



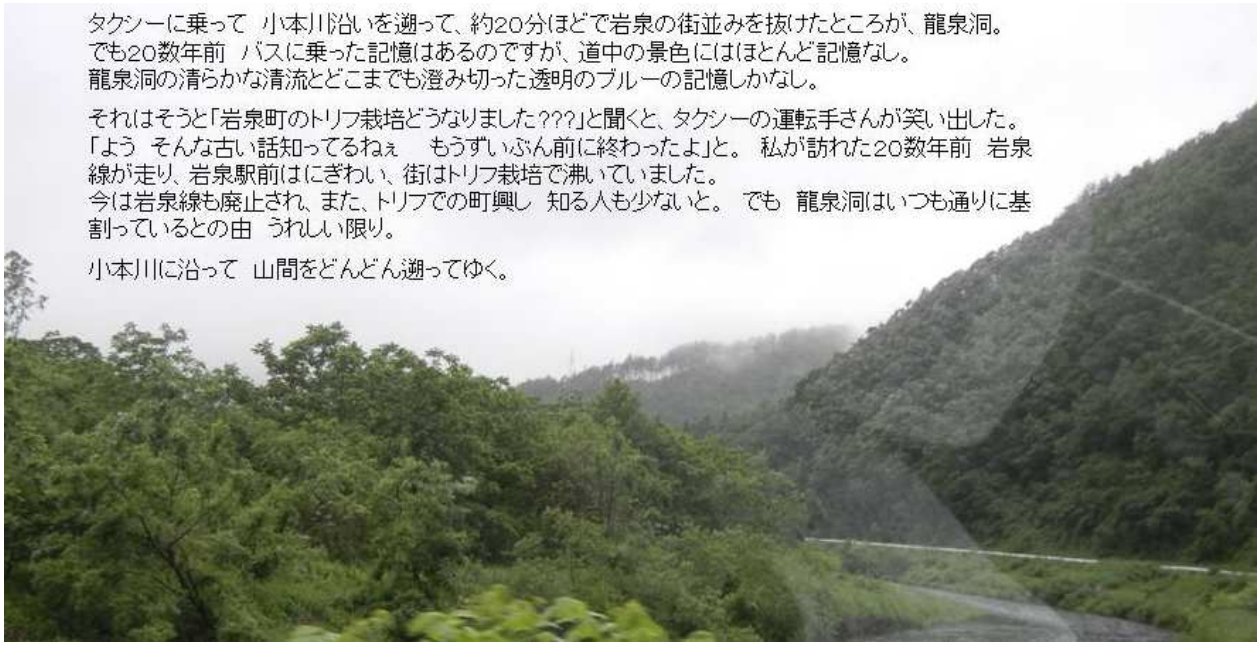
13;45　　摂待駅をでてすぐ長いトンネルにはいり、それを抜けると　向こうには小本川を渡る鉄橋が待ち構え、高架の小本駅に入ってゆく。





宮古を出発して　40分ほど　すこし定刻より遅れて　13:45　　龍泉洞の最寄り駅　小本駅に到着。
予想していた通り、この列車では龍泉洞の乗り継ぎがない。 駅周辺は工事中で、現在無人駅。 駅の直ぐ東側下にバスの駐車場がみえたので、そこで運転手さんに親切に龍泉洞へのアドバイスを受け、タクシーを呼んでもらって龍泉洞へ。
（ まだ、2 時前なのにと思うのですが、龍泉洞へのバスは 3 時頃　見学を済ませて、この駅から 17:07 分の列車には乗れず、結局　18:52 発真っ暗な中での普代行となる。 列車が開通したとはいえ、接続よく機能的に交通アクセスがある状況にはまだ　なっていない。 ）

3.2.　20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　　透明なブルーに出会いに行く



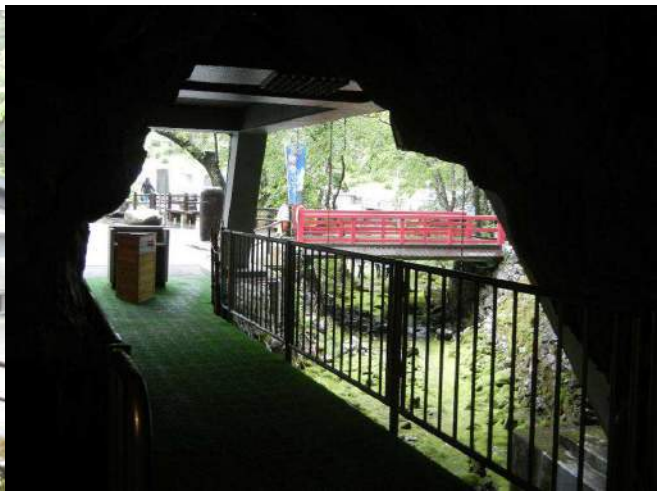


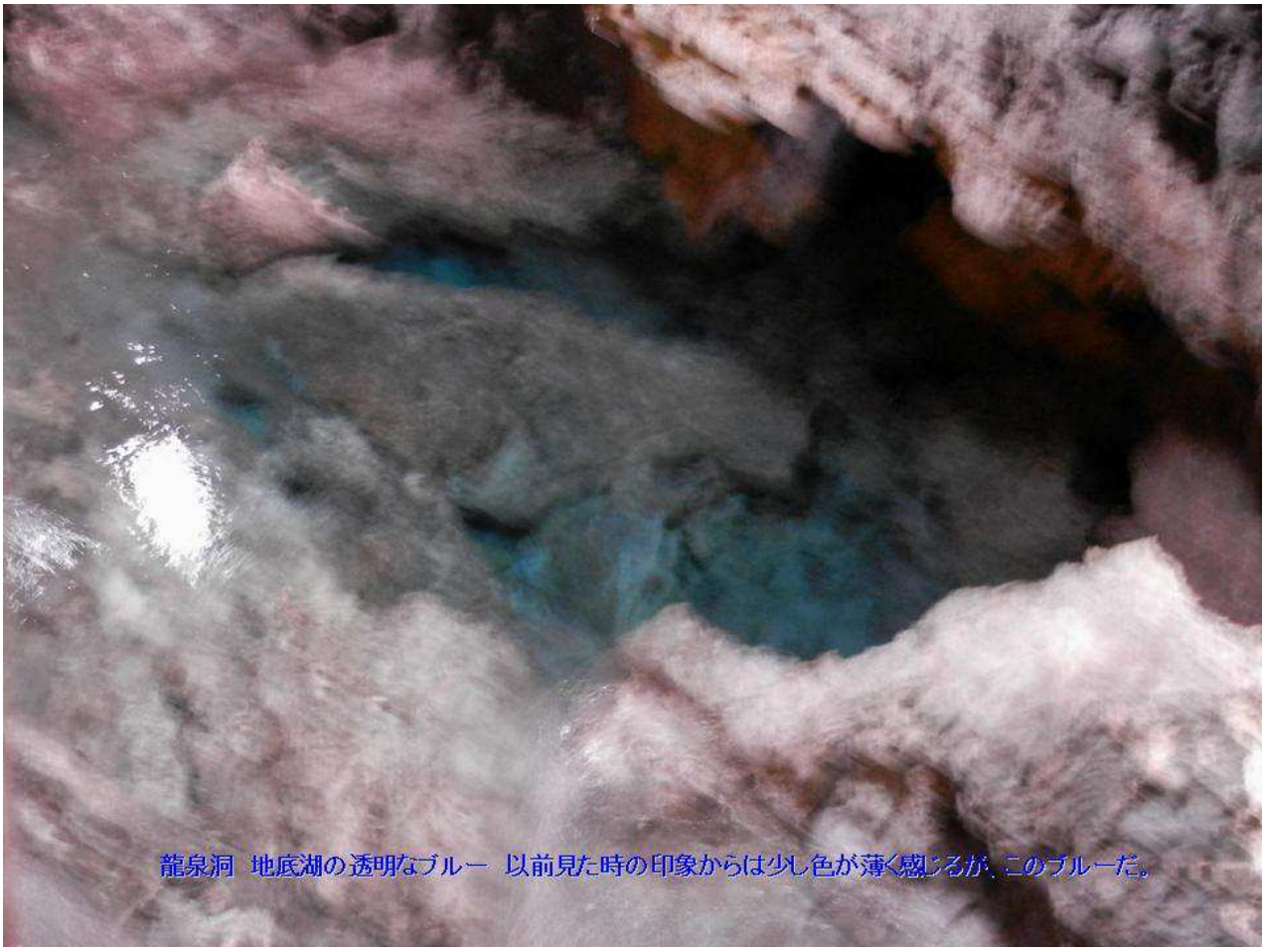




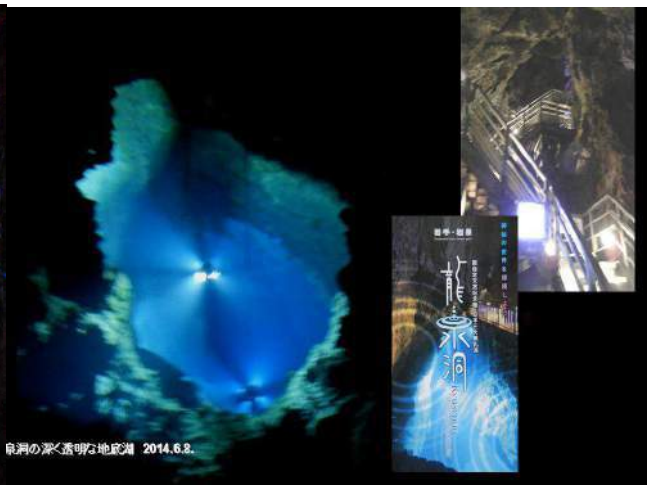
岩泉の集落を眼下に見て、さらに奥へ遡ると緑に包まれた龍泉洞の前に出る　2014.8.8.







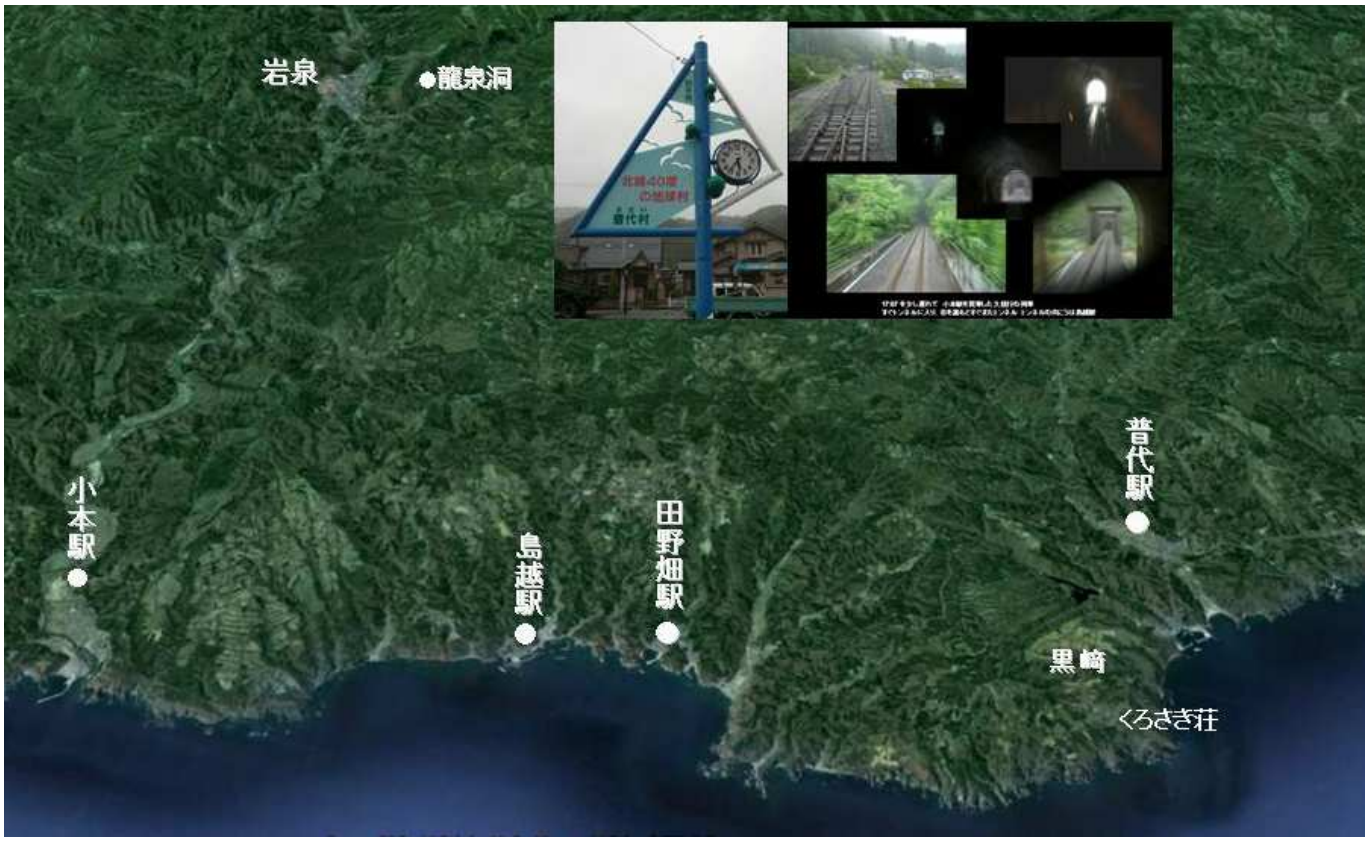




龍泉洞 地底湖のブルー ちょっと色が薄くなった印象 演出の人工照明がちょっときつい

3.3. 土砂降りの雨の中　北緯40度の地球村　普代・黒崎へ

三陸鉄道　小本-普代間の車窓より　小本・島越周辺

















三陸鉄道　小本-普代間の車窓より　小本・島越周辺



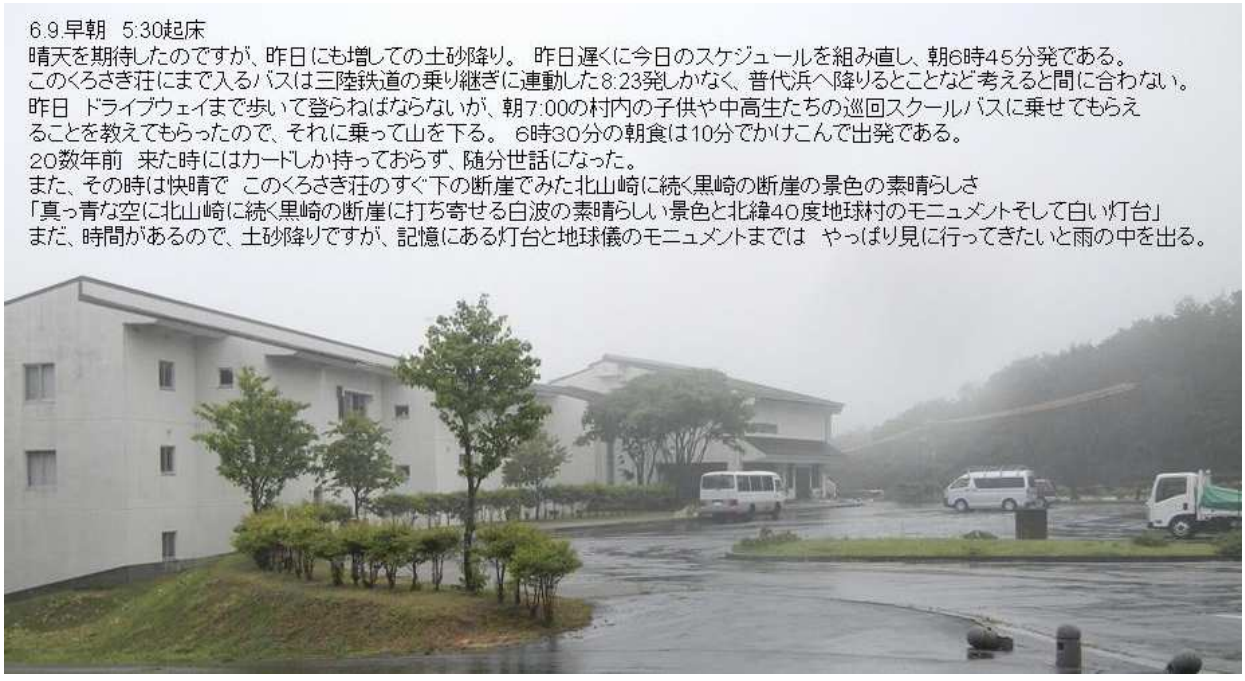


〈三陸沿岸の Iron Road Walk ３日目　.6.9 午前　普代の砂鉄浜「普代浜」・普代の街&三陸鉄道で久慈へ〉

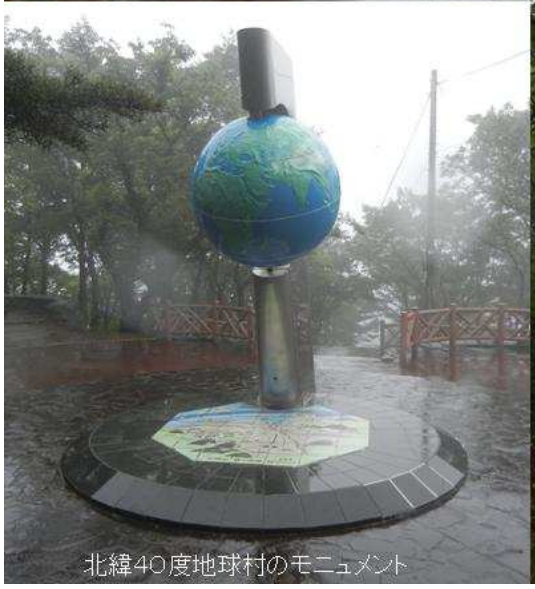


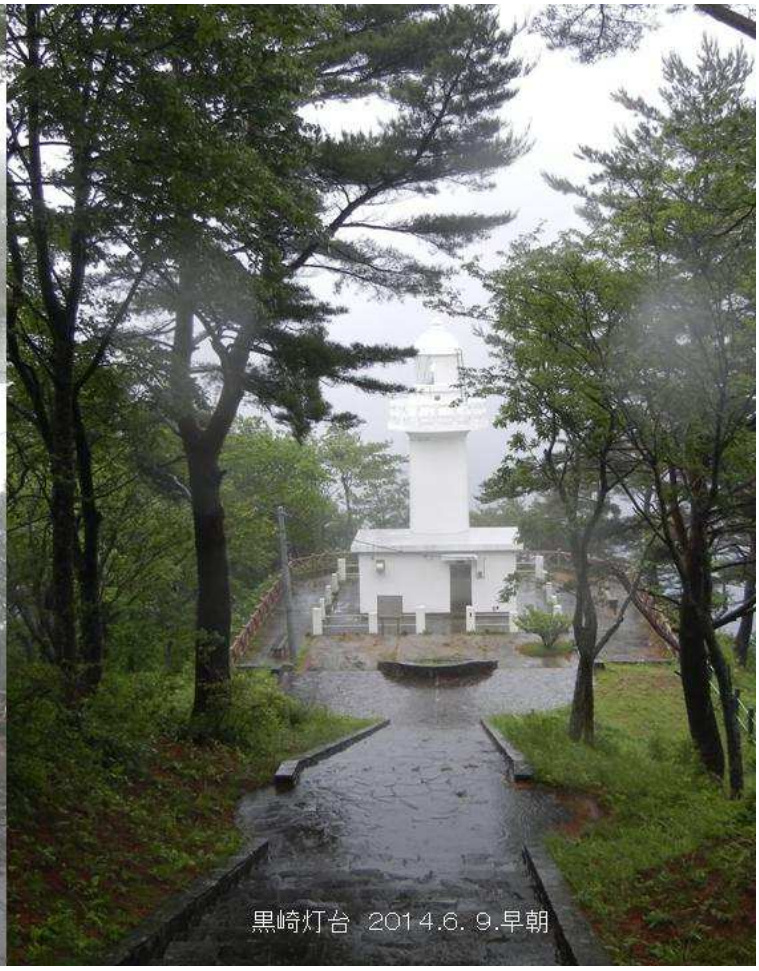
６月９日早朝　昨日夕刻から夜半にかけて降り続く土砂降りの雨。
朝 雨がやんで、晴天を期待しましたが、昨夜にもましてきつい雨が降ったり止んだり。今日は久慈に出て、新幹線で神戸にまで帰らねばならず、時間的余裕がなく、 昨夜は地図や資料と首っ引きで　今日の行程に頭をひねる。
大津波を防いだ普代の巨大堤防と水門　そして砂鉄浜　普代の浜・街も見たいし、また、久慈の駅に立つのも今回の目的の一つ。とにかく黒崎朝７時の村のスクールバスで山を下って　普代の浜に下りないと先が続かない。でも　まだ　黒崎の灯台と普代の象徴北緯 40 度地球村の地球儀モニュメントも見ていない。
　久慈は２０数年前　たたら製鉄遺跡探訪の Country Walk を「Iron Road・和鉄の道」と名付けてライフワークに。きままな風来坊 Walk を楽しもうと決めた地であり、また、あまちゃん人気の久慈にも興味津々。
久慈地域は日本有数の砂鉄の宝庫で、南部鉄の鉄生産地でもあり、久慈地域の製鉄関連遺跡にも立ち寄りたい。
砂鉄を利用した近代量産の直接製鉄がはじめられた鉄の先進地でもある。（　川崎製鉄久慈工場　）
残念ながら　以前訪れた久慈の「たたら館」はなくなっており、また、砂鉄鉱脈が　続く久慈の三鉄地は沿岸内部で、アクセスの算段ができず。 今回は泣く泣く久慈の製鉄関連遺跡を訪ねるのをあきらめ、 以前の資料を含め、書き残していない久慈の製鉄関連遺跡を整理するにとどめる。
土砂降りの雨ですが、朝食前に急いでくろさき荘の直ぐ東の崖　黒崎へ行って、朝食も早々に出発しよう。
そして　普代の浜・街　を歩いた後、普代から三陸鉄道で久慈に出て、そのまま八戸線を乗り継いでこの沿岸の砂鉄浜を車窓から眺めつつ、八戸へ出ることに決めた。
久慈で　うまく都合がつけば、久慈からバスで北上山地を抜けて、一戸へ出ることも頭に入れておこうと思いますが、土砂降りの雨、自由度はほとんどなし。 ６月９日早朝　土砂降りの雨の中　黒崎の宿舎からバス停へ降りる。

≪　６月９日　早朝　土砂降りの中　北山崎につながる三陸屈指の断崖　黒崎の崖に立つ≫

















2014.6.9.早朝　　黒崎の灯台・黒崎の断崖・地球儀モニュメント

3.4. 普代から久慈へ　普代川の河口の砂鉄浜の今「普代浜 & 普代の街」 and 三陸鉄道の車窓

◆ かつて大津波が押し寄せた　普代川の河口　砂鉄浜の普代浜の今　2014.6.9.早朝



砂鉄浜　普代川の河口　普代浜



津波で松林が全部なぎ倒された普代川河口普代浜













霧雨に煙る普代川の河口　普代浜　≪1≫　うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える　2014.6.9.



霧雨に煙る普代川の河口　普代浜　≪3≫　うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える　2014.6.9.



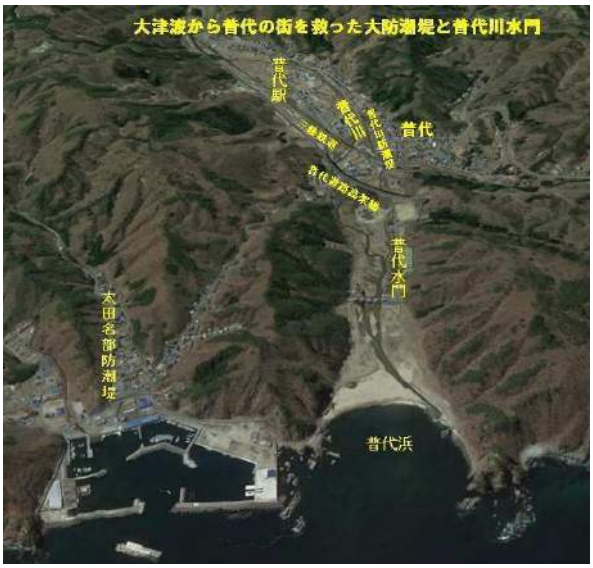


霧雨に煙る普代川の河口 普代浜 ≪2≫ うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える 2014.6.9.



霧雨に煙る普代川の河口 普代浜 ≪5≫ うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える 2014.6.9.





◆　大津波から普代の街を救った集落と沿岸を分ける巨大な防潮堤と普代川水門　2014.6.9.



















普代の街で　元気な声の響きに吸い寄せられて
早朝のスクールバス&昆布の加工場　2014.6.9.



8:20 普代川の土手より　普代の集落を眺める 中央奥が河口　右手川向うが普代の役場で　駅もこちら側にある





8:25　普代駅到着　ラッキーなことに昨夜来の雨で列車が遅れていて、8:02発久慈行に乗れると
これだと　雨降りの中　久慈から待たずに八戸線に乗れそうなので、今日は気楽に砂鉄浜を眺めながら
八戸へ向かって　種差海岸かどこかへ行って　　新幹線で神戸に帰ることに切り替え。



◆ 雨に煙る三陸沿岸を　普代から久慈へ　　2014.6.9.















9:01 野田玉川駅　霧の中



9:11 陸中野田駅 列車行き違い待ち10分以上　ここまで来ると久慈はもうすぐ



9:35久慈駅着
9時47分八戸行の列車に間に合うので、今回は残念ながら久慈Walkをあきらめ
そのまま八戸へ向かうことにしました。
次の列車は12:53で、約2時間では　旧たたら館資料の展示があると聞く民俗資料
館や大野や侍浜など　霧雨の中　行くにはちょっとアクセスが心もとない。



1992年4月に訪れた久慈
「アイアンロード」・「和鉄の道・Iron Road」の言葉が浮かんだ地に
やっとまた　立つことができました

三陸鉄道・JR久慈駅が並び立つ駅前　インターネットより採取

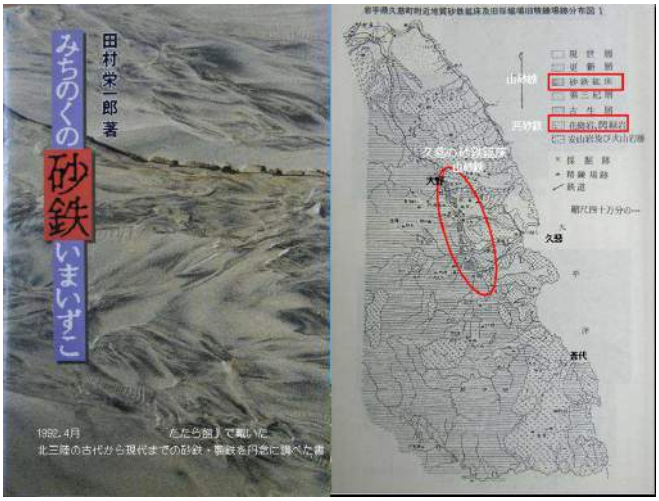


1992 年４月に三陸沿岸の鉄探訪で初めて訪れた北三陸　そして久慈
その後　大津波で未曾有の被害を受けた地によう足を踏み入れられませんでしたが、「アイアンロード」・「和鉄の道・Iron Road」の言葉が浮かんだ地にやっと立てて、今回の目的が果たせた。
1992 年４月に訪れた久慈・三陸沿岸の Country Walk
琥珀の町「久慈」　眼にした「アンバーロード・琥珀の道」 この言葉を聞いたとき　久慈のある三陸沿岸は古くからの製鉄資源帯・製鉄地帯　　そこには「古代からの鉄の道がある」とふと頭に浮かんだ「アイアン　ロード」の言葉。響きもいい。 たたら探訪の Country Walk にこの言葉を使い、「和鉄の道・Iron Road」と名付け、ライフワークに。
２０数年ぶりに訪れた三陸沿岸は大津波に襲われた被災の地　復興はまだまだ　これから
２０数年前の記憶をたどりながら　この三陸沿岸の今をしっかり眺めようと。
雨にはたたられましたが、多くの人たちに出会い、笑顔で声をかけていただいて　ほっとしながらもうれしい旅でした。
一日も早い三陸沿岸の生活復興を祈りながら　八戸へ
やっと　三陸沿岸の Iron Road を訪ねることができました。
2014.6.9.　久慈駅前で　　by　Mutsu Nakanishi

3.5. 【資料】久慈の鉄　　南部鉄器の素材を提供した久慈地方の鉄山から近代直接製鉄法による砂鉄製錬へ
みちのくの砂鉄今いずこ　ほかのより整理

●　南部鉄器の素材を提供した久慈地方の鉄山から近代直接製鉄法による砂鉄製錬へ

久慈地方は大量の砂鉄があり、江戸時代には山陰山陽の鉄と並び、日本の二大産鉄地として、 江戸市場を制覇したことがあるといい、文政年間、南部藩営の御手山は久慈地方にあり、 当時、たたら式精錬法をもって安い木炭と、 低廉な労賃で３千人もの人が、そこで働いていたと 記録に残っていると聞く。



明治時代、高炉精錬法の時代を経て、昭和初期の砂鉄の大量精錬法が取り入れられました。
また、高島高任の釜石の大橋洋式高炉操業に　この久慈の鉄山技術が見込まれ、久慈の鉱山師中野兄弟が参画してゆく。

●　松方五郎悲願の海綿鉄製造

大正時代の末　久慈に眠る大量の砂鉄を使った大製鉄所が建設され、直接製鉄法による不純物の少ない海綿鉄のテスト製造が始まる。
この久慈海綿鉄はスクラップと一緒に平炉や電気炉に投入して精錬する製鋼原料と期待されたが、不純物は少ないもののチタンなどスラグ成分がまだあまりにも多く製鋼原料としては未完成で、ついに実用生産されることなく昭和３年開発は中止。

● **川崎製鉄久慈工場での海綿鉄ルッペ(半溶融鉄)の製造　直接製鉄の先端技術の量産化**

昭和１４年　川崎造船が久慈製鉄所建設を決定するとともに、昭和製鋼などと共同でクルップ・レン直接製鉄法での砂鉄の直接製鉄法の実用量産をめざす。昭和１６年久慈製鉄所完成と共に川鉄(当時川重)単独での砂鉄による直接製鉄を開始し、不純物の少ない半溶融銑「ルッペ」の製造が開始された。

このルッペの不純物の少なさが、特殊鋼製鋼原料に最適とされ、量産が進んで、昭和３０年にはこのルッペの生産が７２００トンに達する。 その後、低コストで大量高速生産ができる転炉製鋼法が主力となる近代銑鋼一貫製鉄所が日本の製鉄業の主流となる中で、昭和４２年　川鉄久慈工場はその役割を終え、 公共用地として整理更地となり、「川崎町」の名を残すのみとなり、現在はその地に久慈市役所が建っている。

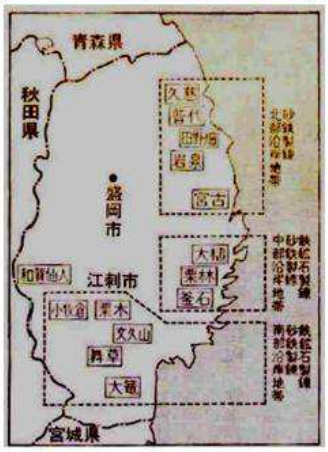
三陸沿岸 の Iron Road　【参考】　北上高地の製鉄

http://www.bunka.pref.iwate.jp/rekishi/kouzan/kouzan01_02.html



◆　製鉄の始まり

北上高地の製鉄業の歴史は古いようですが、中世までの様子はよくわかっていません。
江戸時代に入ると、仙台藩の磐井郡大籠(現在の藤沢町)や折壁や津谷川ともに一関市室根町)、気仙郡の世田米(住田町)などで製鉄が始まったといわれます。
言い伝えでは永禄年間(1558-1570)に土佐と対馬という2人が備中(岡山県)の千松大八郎・小六郎兄弟に弟子入りし、その技術を学んで大籠で製鉄を始めたといいます。
慶長3年(1598)伊達政宗の岩出山築城に際し鉄1,600貫目、同5年(1600)の仙台築城に鉄2万貫目、さらに同7年(1602)には5万貫目を上納したという記録が残っています。
大籠に隣接する馬籠(宮城県本吉町)には、佐藤十郎左衛門という人が中国地方で製鉄を学び、慶長10年(1605)にこの地で製鉄を始めたという言い伝えがあります。
盛岡藩ではこのころ、田野畑村や普代村、山形村(現 久慈市山形町)や大野村(現 洋野町)などで製鉄業が成立し、九戸郡一帯は製鉄の中心地として栄えたと言われています。
17世紀には近隣諸藩に鉄の移出を始め、18世紀中期に中国地方から最新技術が取り入れられて生産量が増加すると、東廻り海運を利用して仙台藩、相馬藩(福島県)、水戸藩、江戸などの遠隔地にも移出されるようになりました。
18世紀後半以降になると、輸送距離が短く運賃の安い南部鉄は備中鉄との競争に打ち勝ち、東日本の太平洋岸の市場をほぼ独占するまでに成長しました。
仙台藩の製鉄が主に農業との兼業であったのに対し、盛岡・八戸藩の鉄産業は地域の豪農や豪商が資本を投下して行う専業従事者による通年操業で、燃料として大量に使う木炭が豊富だったこともその一因となっています。



◆　南部鉄の名声を高めた諸鉄山

盛岡藩では18世紀後半、岩泉の中村屋が経営にたずさわるころから製鉄業が大発展しました。
寛政年間(1789-1800)に開発された割沢・室場・板沢・翁沢・田名部の各鉄山は「野田5カ鉄山」と呼ばれ、秋田藩や弘前藩はもちろん、仙台藩や水戸藩にも移出され、南部鉄の名声を高めました。
また、文化年間(1804-1817)には問屋も設置されています。内陸への運搬には牛方が活躍し、新しい街道も整備され、帰りの荷では米や雑穀などが運ばれ、山村経済の改善にも一役買いました。

八戸藩では享和から文政年間(1801-1829)に飛騨(ひだ・岐阜県)の浜屋茂八郎が製鉄業を営み、生産量が増加しています。その後、八戸藩は鉄山を藩営とし、領内の豪商を支配人に任命して経営を行っています。これより先、藩内には「大野6カ鉄山」と呼ばれる鉄山が開発されています。
この中の一つ・玉川鉄山(軽米町・県指定史跡)は、天保5年(1834)軽米の豪商・淵沢圓右衛門が経営を命ぜられたことが知られています

参考　北三陸沿岸のIron Road　　普代・田野畑のたたら遺跡 [2]

岩手県の鉄鉱床分布 と その参考図



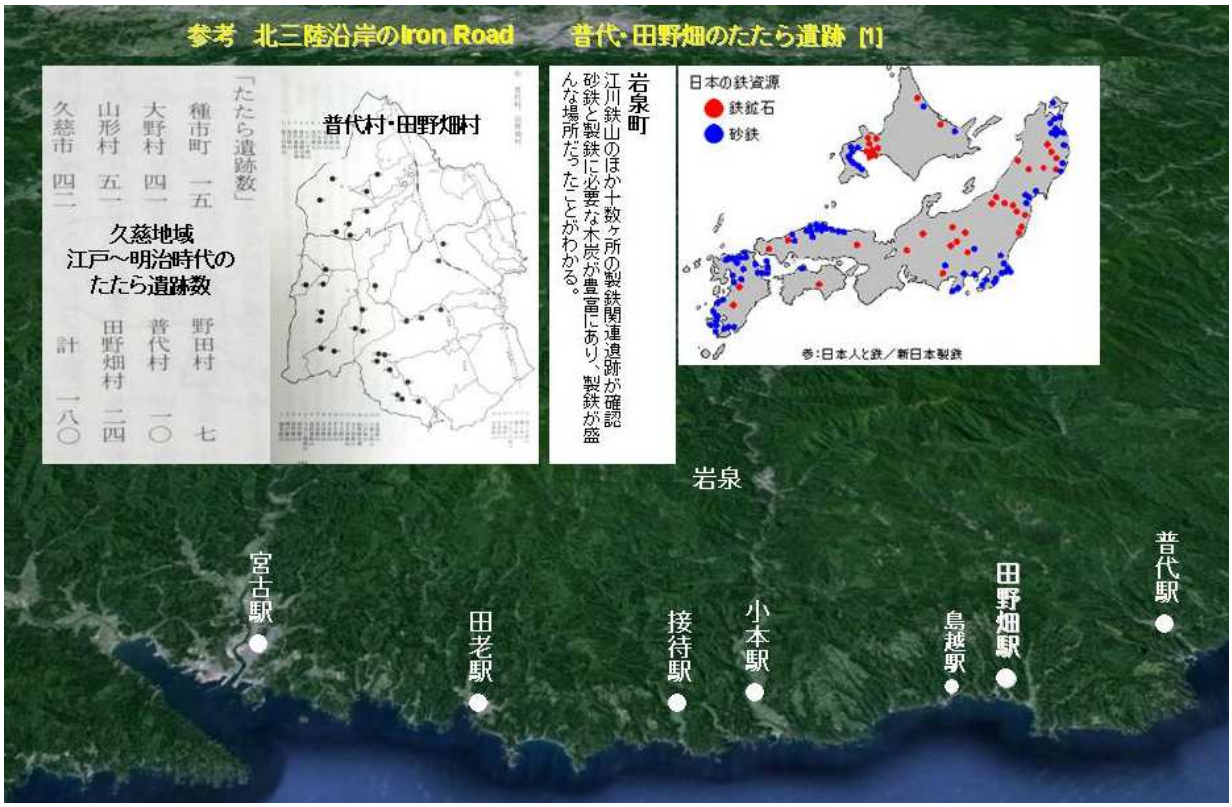


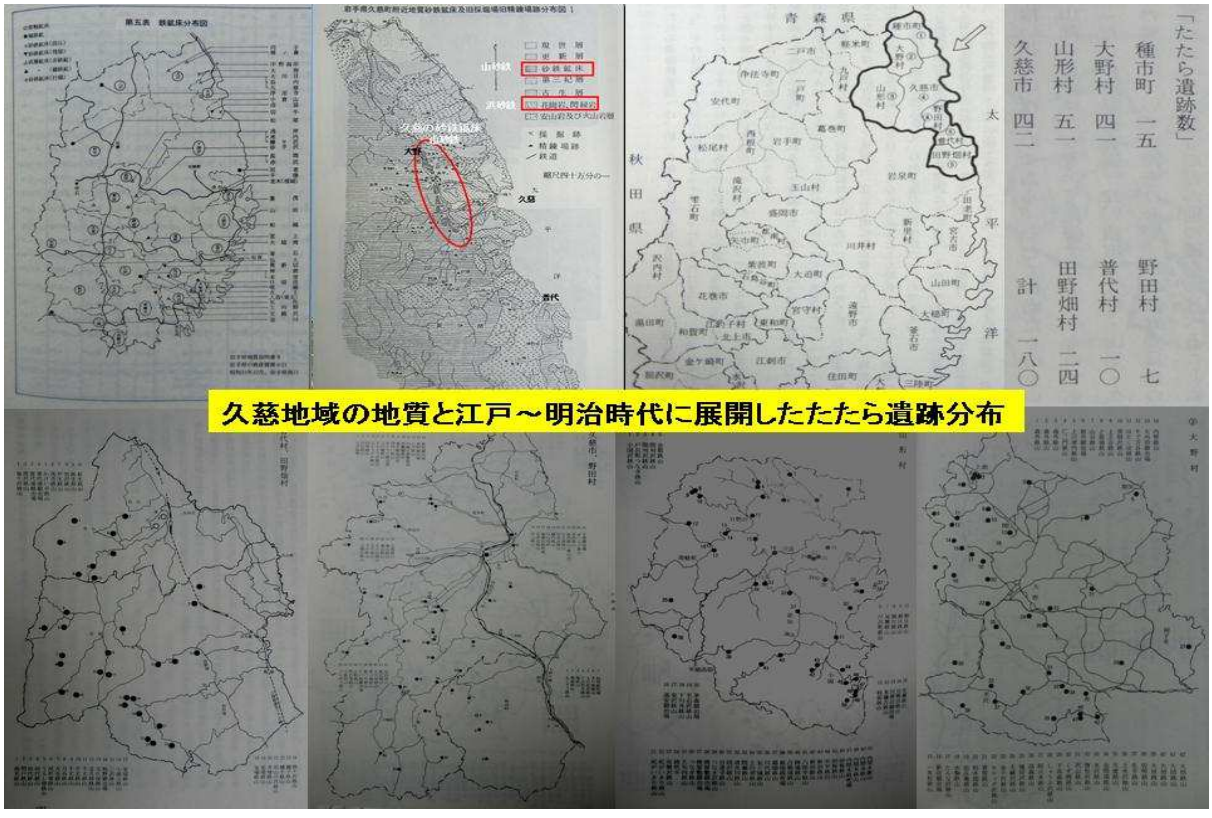
図 1-2　日本列島における花崗岩の分布．黒色部が花崗岩の分布を表す．

http://blogs.yahoo.co.jp/kawakatu_1205/56027852.html





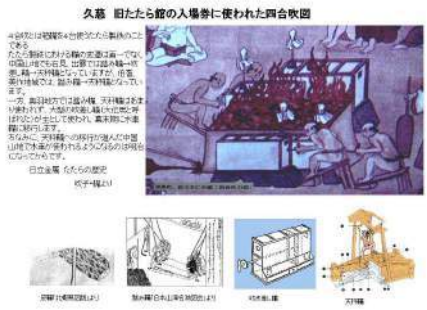




久慈地域の地質と江戸～明治時代に展開したたたら遺跡分布

≪　かつて久慈にあった川鉄の砂鉄資料館「たたら館」展示より　1992 年に訪れた写真より　≫







008 年に閉館された久慈地方の砂鉄資料館　旧たたら館

砂鉄の大産地であった久慈。　江戸時代から明治時代にはこの砂鉄を使って、数多くの鉄山が営まれ、南部鉄の一大供給基地となり、 また、その後　明治には高炉法による製鉄を経て、さらに直接製鉄法による海綿鉄製造が昭和４２年まで川崎製鉄久慈工場でつづけられる東北の大産鉄の地であった。

この久慈地方の砂鉄・たたら製鉄並びに川鉄久慈工場の歴史を示す資料などを保存展示する砂鉄資料館として、２００８年まで続いた。

閉館後、これらの資料は、旧長内中学校内に移され、「たたら伝承館」として、保存展示されていると聞く。













3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる

宮古から久慈へ 大震災・津波の被災地を結ぶ三陸鉄道 北リアス線に乗って 北三陸沿岸をめぐる
2014.6.8. & 2014.6.9.

【引用・転記・参考資料 】

1. 田村栄一郎著「みちのくの砂鉄いまいずこ」
2. 久慈市編 ガイドブック「大地と自然の久慈」
3. 北上高地の砂鉄 http://www.bunka.pref.iwate.jp/rekishi/kouzan/kouzan01_02.html
4. インターネット検索 一部写真 北三陸沿岸のたたらの解説につかわせていただきました

【和鉄の道・Iron Road *by Mutsu Nakanishi* 】

1.「閃光」と「肌光」 - 鉄への思い –
2. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山 岩手県南部 蝦夷の鉄 北上山地 大鎚・釜石へ 2002.10
3. 岩手県北上川流域の製鉄地帯 一関博 物館 蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ 舞草刀. 2001.10.

2014.9.5. by Mutsu Nakanishi

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地「釜石」　近代製鉄発祥の地「橋野・大橋鉄鉱山」を訪ねる　2014.6.7.
2. 発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「境山遺跡」発掘現場を訪ねる　蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??　2014.6.8.
3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 &普代・黒崎を訪ねる　龍泉洞・北緯40度地球村　普代　2014.6.7.&6.8
4. 普代から久慈・八戸　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　有家海岸　&　種差海岸　2014.6.9.
5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今 三陸の街の今　コメントなしのPhoto集　2014.6.7.–6.9.

3. 三陸鉄道に乗って　20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる

宮古から久慈へ　大震災・津波の被災地を結ぶ三陸鉄道 北リアス線に乗って　北三陸沿岸をめぐる
2014.6.8. & 2014.6.9.



東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて　三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

3. 三陸鉄道に乗って　20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる
宮古から久慈へ　大震災・津波の被災地を結ぶ三陸鉄道 北リアス線に乗って　北三陸沿岸をめぐる
2014.6.8. & 2014.6.9.



3.1. 三陸鉄道 宮古から龍泉洞の最寄り駅小本へ
震災・大津波の被災地の今を三陸鉄道の車窓からしっかりと眺める
3.2. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて
3.3. 土砂降りの雨の中　北緯40度の地球村　普代・黒崎へ
3.4. 普代から久慈へ
普代川の河口の砂鉄浜の今「普代浜 & 普代の街」 and 三陸鉄道の車窓
3.5. 資料　南部鉄を支えた久慈の砂鉄と製鉄 & 旧たたら館





東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 3 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる



東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 3 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる



東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 3 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる

北三陸沿岸のIron Rod

1992年4月に訪れた久慈・三陸沿岸のCountry Walk

琥珀の町「久慈」 眼にした「アンバーロード・琥珀の道」
この言葉を聞いたとき　久慈のある三陸沿岸は古くからの製鉄資源帯・製鉄地帯
そこには「古代からの鉄の道がある」とふと頭に浮かんだ「アイアン ロード」の言葉。
響きもいい。

たたら探訪のCountry Walkに この言葉を使って「和鉄の道・Iron Road」と名付け、
ライフワークにと。

20数年ぶりに訪れた三陸沿岸は大津波に襲われた被災の地　復興はまだまだ これから
20数年前の記憶をたどりながら この三陸沿岸の今をしっかり眺めようと。

雨にはたたられましたが、多くの人たちに出会い、笑顔で声をかけていただいて ほっとしながらもうれしい旅でした。　一日も早い三陸沿岸の生活復興を祈りながら 八戸へ
やっと 三陸沿岸のIron Road を訪ねることができました。

by Mutsu Nakanishi



東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 3 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる



東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 3 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる

三陸沿岸 の Iron Road　【参考】 北上高地の製鉄
http://www.bunka.pref.iwate.jp/rekishi/kouzan/kouzan01_02.html





◆ 製鉄の始まり
北上高地の製鉄業の歴史は古いようですが、中世までの様子はよくわかっていません。
江戸時代に入ると、仙台藩の磐井郡大籠（現在の藤沢町）や折壁や津谷川ともに一関市室根町、気仙郡の世田米（住田町）などで製鉄が始まったといわれます。
言い伝えでは永禄年間(1558-1570)に土佐と対馬という2人が備中（岡山県）の千松大八郎・小六郎兄弟に弟子入りし、その技術を学んで大籠で製鉄を始めたといいます。
慶長3年(1598)伊達政宗の岩出山築城に際し鉄1,600貫目、同5年(1600)の仙台築城に鉄2万貫目、さらに同7年(1602)には5万貫目を上納したという記録が残っています。
大籠に隣接する馬籠（宮城県本吉町）には、佐藤十郎左衛門という人が中国地方で製鉄を学び、慶長10年(1605)にこの地で製鉄を始めたという言い伝えがあります。
盛岡藩ではこのころ、田野畑村や普代村、山形村(現 久慈市山形町)や大野村(現 洋野町)などで製鉄業が成立し、九戸郡一帯は製鉄の中心地として栄えたと言われています。
17世紀には近隣諸藩に鉄の移出を始め、18世紀中期に中国地方から最新技術が取り入れられて生産量が増加すると、東廻り海運を利用して仙台藩、相馬藩(福島県)、水戸藩、江戸などの遠隔地にも移出されるようになりました。
18世紀後半以降になると、輸送距離が短く運賃の安い南部鉄は備中鉄との競争に打ち勝ち、東日本の太平洋岸の市場をほぼ独占するまでに成長しました。
仙台藩の製鉄が主に農業との兼業であったのに対し、盛岡・八戸藩の鉄産業は地域の豪農や豪商が資本を投下して行う専業従事者による通年操業で、燃料として大量に使う木炭が豊富だったこともその一因となっています。

◆ 南部鉄の名声を高めた釜鉄山
盛岡藩では18世紀後半、岩泉の中村屋が経営にたずさわるころから製鉄業が大発展しました。
寛政年間(1789-1800)に開発された釜石・室場・板沢・鈴沢・田名部の各鉄山は「野田5カ鉄山」と呼ばれ、秋田藩や弘前藩はもちろん、仙台藩や水戸藩にも移出され、南部鉄の名声を高めました。
また、文化年間(1804-1817)には問屋も設置されています。内陸への運搬には牛方が活躍し、新しい街道も整備され、帰りの荷では米や雑穀などが運ばれ、山村経済の改善にも一役買いました。

八戸藩では享和から文政年間(1801-1829)に飛騨（ひだ・岐阜県）の浜屋茂八郎が製鉄業を営み、生産量が増加しています。その後、八戸藩は鉄山を藩営とし、領内の豪商を支配人に任命して経営を行っています。これより先、藩内には「大野6カ鉄山」と呼ばれる鉄山が開発されています。
この中の一つ・玉川鉄山（軽米町・県指定史跡）は、天保5年(1834)軽米の豪商・瀬沢圓右衛門が経営を命ぜられたことが知られています

東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 3 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる



1. 三陸沿岸のIron Road Walk 2日目 午後の概要

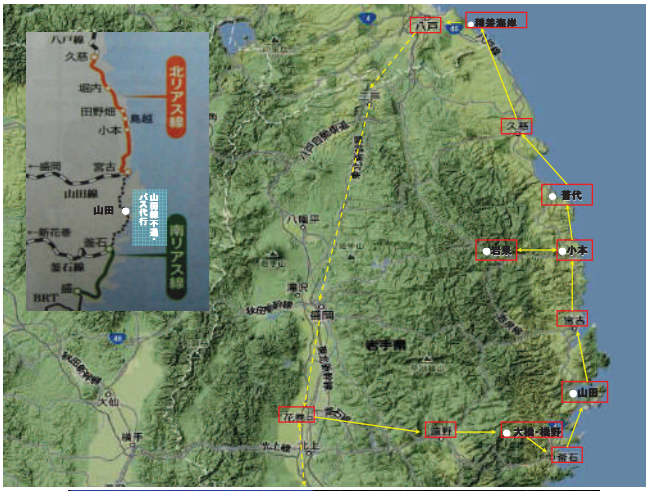
三陸鉄道 宮古から普代への車窓・龍泉洞・普代村黒崎

6月8日 厚い雨雲に覆われ、霧雨が降ったり止んだりの一日。
午前中に山田町船越の古代の製鉄遺跡の発掘現場を見学したあと、霧雨の中 代行バスで宮古駅に12:45到着。
TVなどの報道で薄々感じていましたが、山田町の市街地や船越の浜など まだ草ぼうぼうの広大な荒れ地に被災地の今。今更ながら津波の強烈な破壊力と被災された人たちの辛苦に、声も出ず。
しっかりと現状を眼に焼き付けました。
また、山田町船越の数多くの古代製鉄遺跡に接し、知りたかった古代三陸の製鉄の様子も おぼろげながら頭に入った午前でした。

午後は今回の三陸沿岸のIron Road Walk の目的の一つ「三陸沿岸被災地の絆の中心」と聞く4月全線開通の「三陸鉄道」に乗る。
20数年前 東北の古代からの資源帯 三陸海岸を訪ねて 岩泉・龍泉洞から三陸沿岸に出て、満員の三陸鉄道の列車に乗ってふっと思いたって降りた普代、「北緯40度地球村普代」の言葉が印象に。
また、翌日久慈のたたら館を訪ねる中で、「Iron Road」の言葉とイメージができた懐かしい地。今日はどうなるか 風来坊。

宮古から「三陸鉄道」に乗車して、足の向くまま気の向くまま三陸沿岸の様子を車窓から眺めつつ、20数年前に訪れた岩泉・普代など北三陸沿岸のIron Roadを訪ねる。宿は前に泊まった普代黒崎の国民宿舎が取れているので気楽な風来坊ではあるが、この宮古から北に続く三陸沿岸もまた津波の大被災地であり、気持ちを引き締めて歩かねばと。









12:45 土砂降りの雨の中 山田町からの山田線代行バスが宮古駅に到着
左手にJR宮古駅 右側に隣接して三陸鉄道北リアス線宮古駅が見える





宮古と久慈を結ぶ三陸鉄道北リアス線始発駅宮古駅正面 2014.6.8.

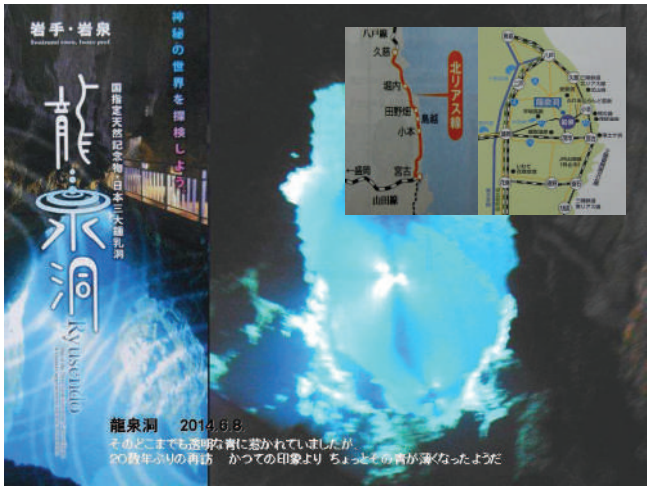


宮古と久慈を結ぶ三陸鉄道北リアス線始発駅宮古駅正面 2014.6.8.



三陸鉄道宮古駅舎内13:15発久慈行に乗る人でごった返していました
この列車に乗り遅れると次は3:05発まで`列車はない


今回の目的の一つ「三陸鉄鉄道　北リアス線」に乗り込んでの「車窓の旅」のスタートです。
13:15発久慈行の列車に乗り込む　今日はここから約1時間ほどの普代駅下車して
普代の浜に降りて　20数年前に泊まった譜代村黒崎の断崖の上に建つくろさき荘泊まりである。
土砂降りの雨　列車、ない車との接続は取れていないが、途中の小本駅で降りて
「竜泉洞」のあの「青」を見てから、普代に行くことにする。
久慈
北リアス線


岩手・岩泉
神秘の世界を探検しよう
国指定天然記念物 日本三大鍾乳洞
龍泉洞
Ryusendo
北リアス線
龍泉洞　2014.6.8
そのどこまでも透明な青に惹かれていましたが
20数年ぶりの再訪　かつての印象より ちょっとその青が薄くなったようだ


久慈
がんばろう！三陸

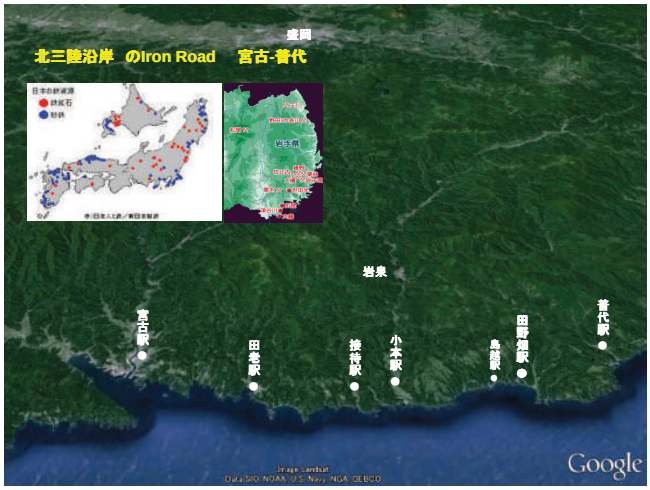

ワンマン
締切


列車に乗り込むとぱっと目に付く「あまちゃん」のポスター
どれだけ多くの人たちを元気づけたことでしょうか・・・・


三陸鉄道
情熱復活物語
笑顔をつなぐ、ずっと…


いってらっしゃい
北リアス線


リアス式海岸を結ぶ三陸鉄道　北リアス線
リアス式海岸特有の崖から崖へトンネルと鉄橋で渡ってゆく


盛岡
北三陸沿岸　のIron Road　宮古-普代
岩泉
宮古駅
田老駅
拝待駅
小本駅
田野畑駅
島越駅
普代駅
Google


両側を険しい山で閉ざされたそれぞれの集落。
どこに行くにも厳しい山越え　もしくは船が泣ければ孤立する。
でも　眼前の海はこの沿岸が育てた豊かな海である。
唯一外部とつながる安定アクセス手段が三陸鉄道。
地図を眺め、実際に三陸沿岸に行って、初めて理解できる
地域の人たちの三陸鉄道の全線開通への思いが「三鉄」と呼ぶ言葉にあらわれている。
実際　コミュニティバスなど代行手段は用意されているが、それぞれ　その集落地域内
にとどまり、中央・中核都市とつながるには、今も一日がかり。
いつでもどこでも　すぐにアクセスできる我々が忘れている地域アクセスの必要性。
三陸鉄道に続く三陸沿岸を貫く三陸復興道路の早期完成が切望される理由だろう。
そんなリアス式海岸に暮らす人たちの生活に触れた三陸鉄道でした。


田老駅の手前で　やっぱりこの周辺も津波にやられたのか、人家がほとんど見えない


13:35 幾つもトンネルを抜け　三陸鉄道　北リアス線　田老駅に入る
宮古駅からすぐ北の山間に分け入り、山間のトンネルをぬけて　市の瀬駅・佐羽根駅を過ぎて、
開けた高台の田老駅にはいる。　沿岸山裾の高台にあり、沿岸部は霧に包まれ、よく見えないが、
右手すぐ下が田老の街そして田老漁港である。


13:32　三陸鉄道　北リアス線　田老駅周辺　海岸側の車窓から【1】　2014.8.8
田老駅周辺　土砂降りで右手の沿岸部がぼんやり霧む中
人家はほとんど見えず、　大きなショベルカーが動いているのが見える


13:32　三陸鉄道　北リアス線　田老駅周辺　海岸側の車窓から【2】　2014.8.8
かつて家並みがあった田老駅周辺


田老駅を過ぎて、またすぐに長いトンネルに入る




長いトンネルを抜けるとまっすぐな線路の向こうに摂待駅がみえている
ここでは土盛りの上を走る三陸鉄道の両側に家並みが見え、ほっとする。

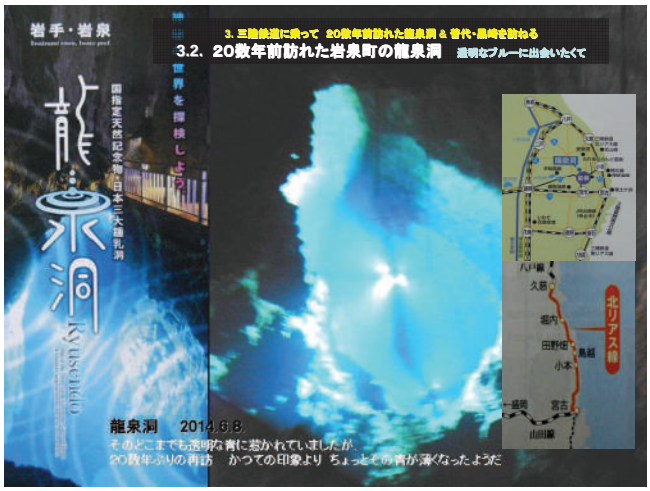

摂待駅を出るとまたすぐに長いトンネルに入り、
13:45 トンネルの向こうには谷を渡る小本川鉄橋が待ち構え、小本駅へ入ってゆく

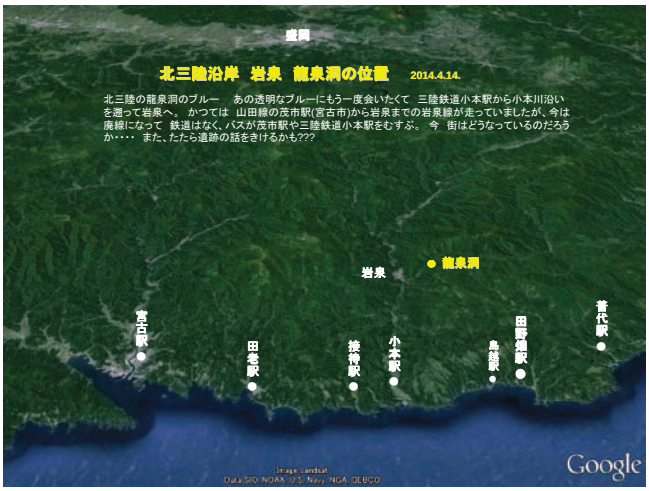


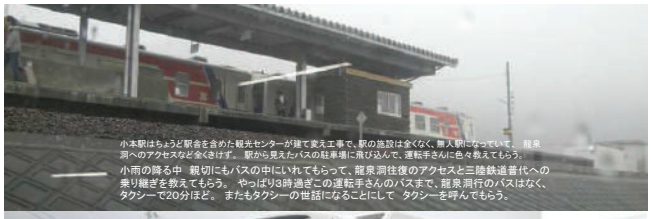

小本川の鉄橋 2014.8.8
東側の北上山地から岩泉を通って 真っ直ぐ西の小本へ流れ下ってくる。
この小本川を遡れば、岩泉の龍泉洞である


小本川の鉄橋の向こうに駅がぼんやり見え、13:45 龍泉洞への入り口 小本駅に到着
ほんの少し三陸鉄道の車窓から三陸沿岸の集落を眺めただけであるが、その厳しさがひしひしと感じられる


宮古を出発して 40分ほど すこし定刻より遅れて 13:45 小本駅に到着
予想していた通り、この列車では龍泉洞の乗り継ぎがない。 ちょうど駅の直ぐ東側下にバスの駐車場があるので、そこへ行って様子を聞くことに。
北リアス線


岩手・岩泉
3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる
3.2. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞 透明なブルーに出会いたくて
世界を揺さぶれ
国指定天然記念物 日本三大鍾乳洞
龍泉洞 2014.6.8
そのどこまでも透明な青に惹かれていましたが、
20数年ぶりの再訪 かつての印象より ちょっとその青が薄くなったようだ
北リアス線


盛岡
北三陸沿岸 岩泉 龍泉洞の位置 2014.4.14.
北三陸の龍泉洞のブルー あの透明なブルーにもう一度会いたくて 三陸鉄道小本駅から小本川沿いを遡って岩泉へ。 かつては 山田線の茂市駅(宮古市)から岩泉までの岩泉線が走っていましたが、今は廃線になって 鉄道はなく、バスが茂市駅や三陸鉄道小本駅をむすぶ。 今 街はどうなっているのだろうか‥‥ また、たたら遺跡の話をきけるかも???
岩泉
龍泉洞
宮古駅
田老駅
摂待駅
小本駅
島越駅
田野畑駅
普代駅
Google



小本駅はちょうど駅舎を含めた観光センターが建て変え工事で、駅の施設は全くなく、無人駅になっていて。 龍泉洞へのアクセスなど全くきけず。 駅から見えたバスの駐車場に飛び込んで、運転手さんに色々教えてもらう。

小雨の降る中 親切にもバスの中にいれてもらって、龍泉洞往復のアクセスと三陸鉄道普代への乗り継ぎを教えてもらう。 やっぱり3時過ぎこの運転手さんのバスまで、龍泉洞行のバスはなく、タクシーで20分ほど。 またもタクシーの世話になることにして タクシーを呼んでもらう。





タクシーに乗って 小本川沿いを遡って、約20分ほどで岩泉の街並みを抜けたところが、龍泉洞。
でも20数年前 バスに乗った記憶はあるのですが、道中の景色にはほとんど記憶なし。
龍泉洞の清らかな清流とどこまでも澄み切った透明のブルーの記憶しかなし。

それはそうと「岩泉町のトリフ栽培どうなりました???」と聞くと、タクシーの運転手さんが笑い出した。
「よう そんな古い話知ってるねぇ もうずいぶん前に終わったよ」と。 私が訪れた20数年前 岩泉線が走り、岩泉駅前はにぎわい、街はトリフ栽培で沸いていました。
今は岩泉線も廃止され、また、トリフでの町興し 知る人も少ないと。 でも 龍泉洞はいつも通りに基割っているとの由 うれしい限り。

小本川に沿って 山間をどんどん遡ってゆく。



藩政時代（江戸～明治） この岩泉でも、砂鉄を木炭で熔かし鉄を造るたたら製鉄が盛んに行われ、それに関連して炭作りや険しい山道の運搬に役立つ牛の飼育が盛んだったという。
江戸時代中期の江川鉄山他 町内には十数ヶ所の製鉄関連遺跡が確認されており、
岩泉町は砂鉄と製鉄に必要な木炭が豊富にあり、製鉄が盛んな場所だったことがわかる。



小本駅からタクシーで約20分ほどで、岩泉の小さな街並を眺めながら、さらに川筋を遡ると緑の山に包まれた川岸に建物が見え、 竜泉洞入口に到着





14:40 龍泉洞のバス乗り場の入り口で、15時ち合わせの約束をして 龍泉洞へ向かう



竜泉洞への入口 橋を渡って奥へ行ったところが竜泉洞である



竜泉洞の入口へ渡る橋の欄干には
「龍」のモニュメントがついていました





1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた震災翌々年代 激減どころか 32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた震災翌々年代 激減どころか 32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



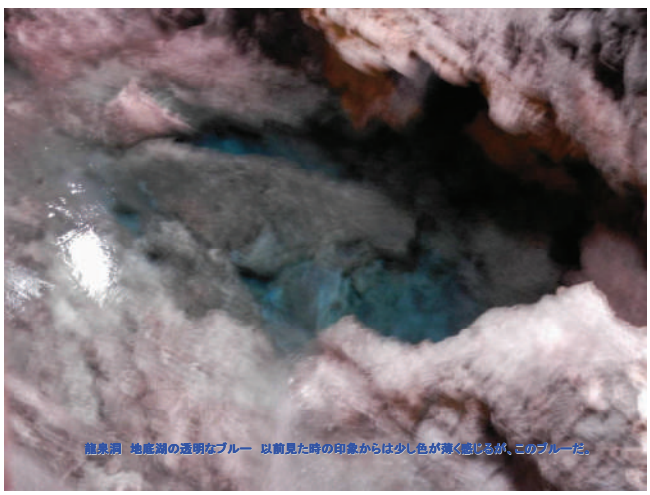
1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた震災翌々年代 激減どころか 32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた震災翌々年代 激減どころか 32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



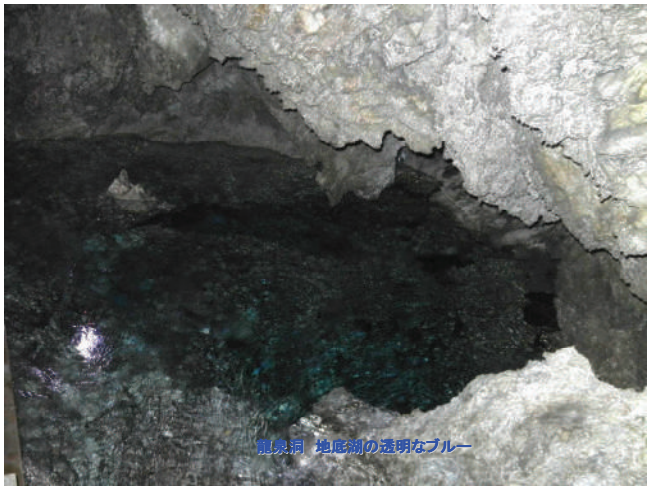
1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた震災翌々年代 激減どころか 32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた震災翌々年代 激減どころか 32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて

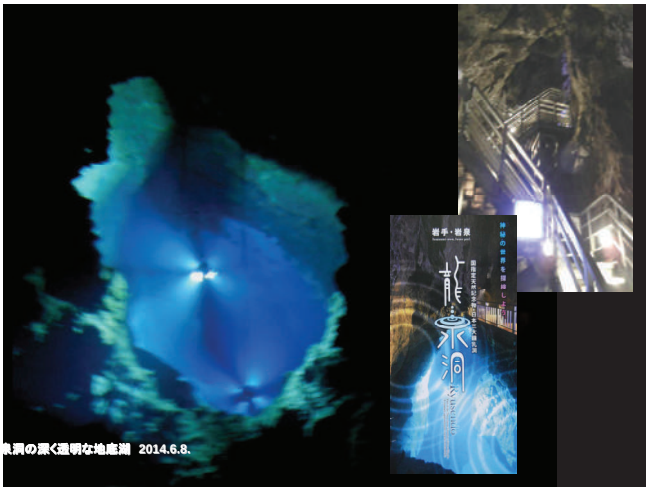


1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた震災翌々年代 激減どころか 32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて


龍泉洞　地底湖の透明なブルー


龍泉洞　2014.6.8.

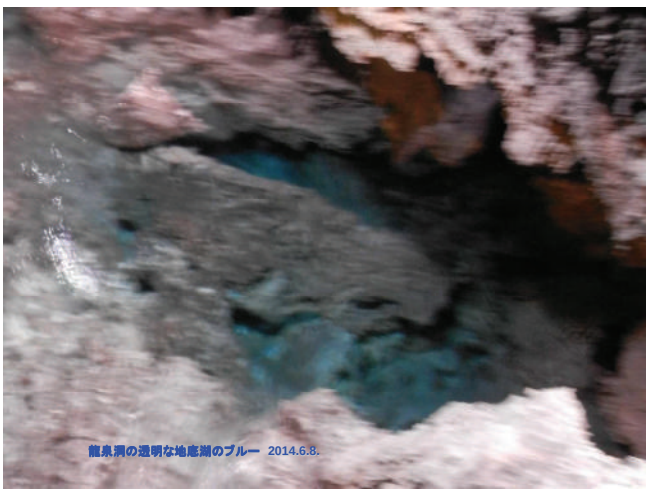

龍泉洞　2014.6.8.


泉洞の深く透明な地底湖　2014.6.8.


龍泉洞の深く透明な地底湖　2014.6.8.


龍泉洞の深く透明な地底湖　2014.6.8.


龍泉洞
龍泉洞の深く透明な地底湖　2014.6.8.


龍泉洞の透明な地底湖のブルー　2014.6.8.





1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞を思い出 素晴らしかった　32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞を思い出 素晴らしかった　32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞を思い出 素晴らしかった　32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞を思い出 素晴らしかった　32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞を思い出 素晴らしかった　32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて



1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞を思い出 素晴らしかった　32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて

三陸沿岸 の Iron Road　【参考】 北上高地の製鉄

http://www.bunka.pref.iwate.jp/rekishi/kouzan/kouzan01_02.html





◆ 製鉄の始まり

北上高地の製鉄業の歴史は古いようですが、中世までの様子はよくわかっていません。
江戸時代に入ると、仙台藩の磐井郡大籠（現在の藤沢町）や折壁や津谷川ともに一関市室根町）、気仙郡の世田米（住田町）などで製鉄が始まったといわれます。
言い伝えでは永禄年間（1558-1570）に土佐と対馬という2人が備中（岡山県）の千松大八郎・小六郎兄弟に弟子入りし、その技術を学んで大籠で製鉄を始めたといいます。
慶長3年（1598）伊達政宗の岩出山築城に際し鉄1,600貫目、同5年（1600）の仙台築城に鉄2万貫目、さらに同7年（1602）には5万貫目を上納したという記録が残っています。
大籠に隣接する馬籠（宮城県本吉町）には、佐藤十郎左衛門という人が中国地方で製鉄を学び、慶長10年（1605）にこの地で製鉄を始めたという言い伝えがあります。
盛岡藩ではこのころ、田野畑村や普代村、山形村（現 久慈市山形町）や大野村（現 洋野町）などで製鉄業が成立し、九戸郡一帯は製鉄の中心地として栄えたと言われています。
17世紀には近隣諸藩に鉄の移出を始め、18世紀中期に中国地方から最新技術が取り入れられて生産量が増加すると、東廻り海運を利用して仙台藩、相馬藩（福島県）、水戸藩、江戸などの遠隔地にも移出されるようになりました。
18世紀後半以降になると、輸送距離が短く運賃の安い南部鉄は備中鉄との競争に打ち勝ち、東日本の太平洋岸の市場をほぼ独占するまでに成長しました。
仙台藩の製鉄が主に農業との兼業であったのに対し、盛岡・八戸藩の鉄産業は地域の豪農や豪商が資本を投下して行う専業従事者による通年操業で、燃料として大量に使う木炭が豊富だったこともその一因となっています。

◆ 南部鉄の名声を高めた釜鉄山

盛岡藩では18世紀後半、岩泉の中村屋が経営にたずさわるころから製鉄業が大発展しました。
寛政年間（1789-1800）に開発された割沢・室場・板沢・翁沢・田名部の各鉄山は「野田5カ鉄山」と呼ばれ、秋田藩や弘前藩はもちろん、仙台藩や水戸藩にも移出され、南部鉄の名声を高めました。
また、文化年間（1804-1817）には問屋も設置されています。内陸への運搬には牛方が活躍し、新しい街道も整備され、帰りの荷では米や雑穀などが運ばれ、山村経済の改善にも一役買いました。

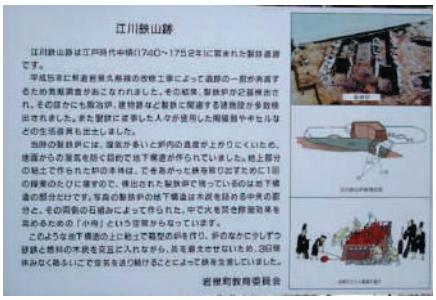
八戸藩では享和から文政年間（1801-1829）に飛騨（ひだ・岐阜県）の浜屋茂八郎が製鉄業を営み、生産量が増加しています。その後、八戸藩は鉄山を藩営とし、領内の豪商を支配人に任命して経営を行っています。これより先、藩内には「大野6カ鉄山」と呼ばれる鉄山が開発されています。
この中の一つ・玉川鉄山（軽米町・県指定史跡）は、天保5年（1834）軽米の豪商・瀬沢圓右衛門が経営を命ぜられたことが知られています

1.三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞を思い出 素晴らしかった　32. 20数年前訪れた岩泉町の龍泉洞　透明なブルーに出会いたくて

江戸時代中期の岩泉の鉄山跡　江川鉄山

江川鉄山跡は江戸時代中頃に岩泉町安宅で営まれた製鉄遺跡です。
平成5・6年に県道久慈・岩泉線の改修工事により鉄山跡であったことがわかり、発掘調査が行われましたが、その中で、「製鉄炉が2基」「掘立柱建物跡」などが検出され、陶磁器やキセルなどが出土しました。特にも製鉄炉は、小舟構造といわれる除湿施設をもった製鉄炉であり、当時では高度な技術の製鉄炉です。
当時の鉄山では、主に「鉄の延べ棒」といわれる延鉄が造られ、それを南部藩に納めたり、鍛冶屋などで農具などの産業器具や鍋、釜などの調理器具の鉄製品が造られていました。現在はその面影は、ほとんど残っていません。
このほかにも町内には十数ヶ所の製鉄関連遺跡が確認されており、岩泉町は砂鉄と製鉄に必要な木炭が豊富にあり、製鉄が盛んな場所だったことがわかります。





久慈　旧たたら館の入場券に使われた四合吹図　岩泉町　佐々木仁介氏蔵

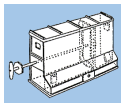
4合吹とは箱輪を4台使うたたら製鉄のことである
たたら製鉄における輪の変遷は面一でなく、中国山地でも石見、出雲では踏み輪→吹差し輪→天秤輪となっていますが、伯耆、美作地域では、踏み輪→天秤輪となっています。
一方、奥羽地方では踏み輪、天秤輪はあまり使われず、大型の吹差し輪(大伝馬と呼ばれた)が主として使われ、幕末期に水車輪に移行します。
ちなみに、天秤輪への移行が進んだ中国山地で水車が使われるようになるのは明治になってからです。

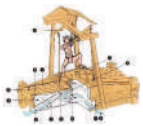
日立金属　たたらの歴史
吹子・輪より



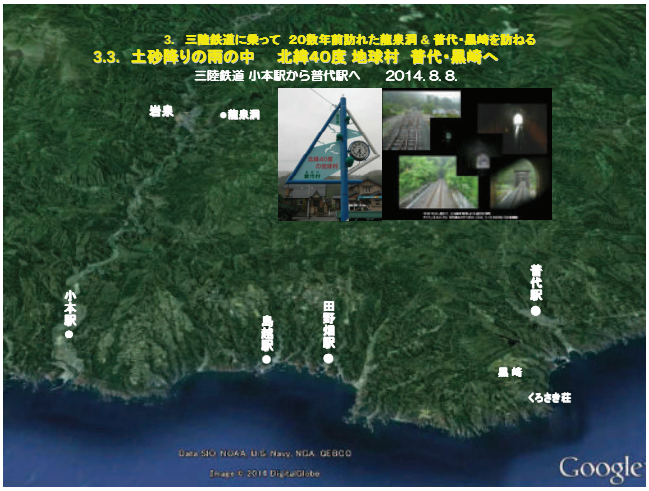

皮輪「北蝦夷図説」より

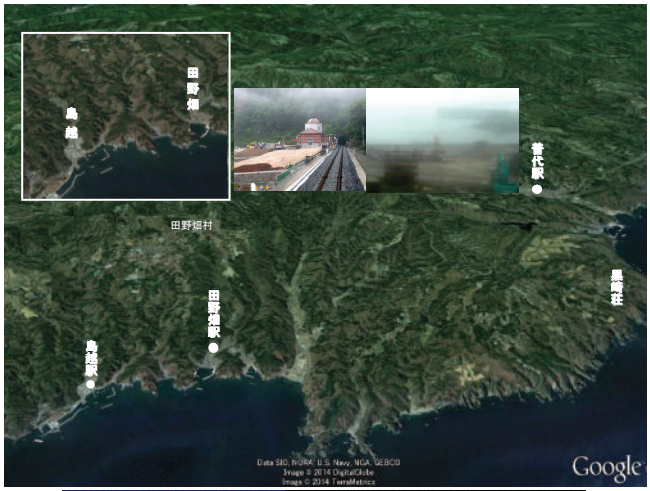

踏み輪「日本山海名物図会」より


吹き差し輪


天秤輪









16:50 三陸鉄道小本駅に戻ってくる　2014.6.8.
無人の小本駅の下　高架盛り土のトンネルには岩泉・小本の今のスナップ写真展示がされていました
「春遠からじ」頑張ってほしいと念じながら、上のホームへ

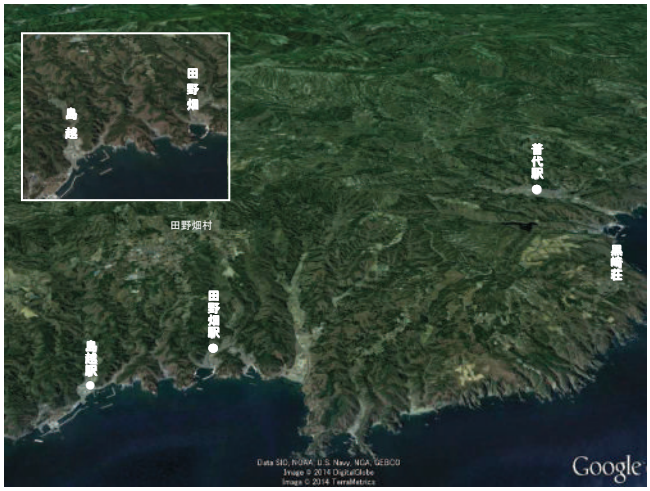








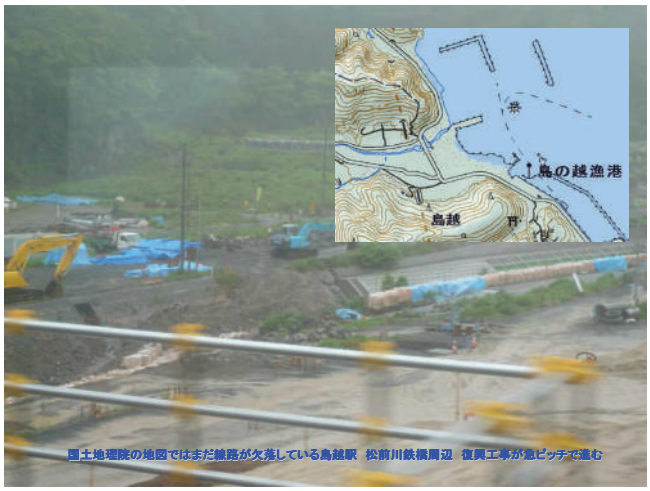









島越駅列車の車窓より　島越漁港を眺める　2014.8.8
真っ暗なトンネルから列車がでると　いきなり眼前に白砂の浜の向こうに海が広がる美しい場所のきおくがあるのですが・・・・




島越駅からすぐトンネルに入り、それを抜けると今度は長いトンネルとトンネルが続く険しい沿岸。
トンネルを抜けると狭い山合いの緑の中に田野畑駅が見える




土砂降りの雨が降る中　17:25 田野畑駅到着


田野畑駅をでて、長い 長いトンネルを抜けると普代川の鉄橋　　まもなく普代駅である
長いトンネルを抜けるとほっとするのは旅人もおなじ
また、雨が小雨に　クルクル変わる天候も厳しいリアス式海岸が続く三陸の特徴かも・・・・


5:34 普代駅到着　雨はまた霧雨に　2014.8.8.
駅の記憶は全くないが、「北緯40度　地球村　普代」この言葉に惹かれて、やっと来られた普代


駅の東側の沿岸側には立派な普代道路　西側に普代の街が見えている　　普代の浜は右側道路の奥右手である　2014.6.8.

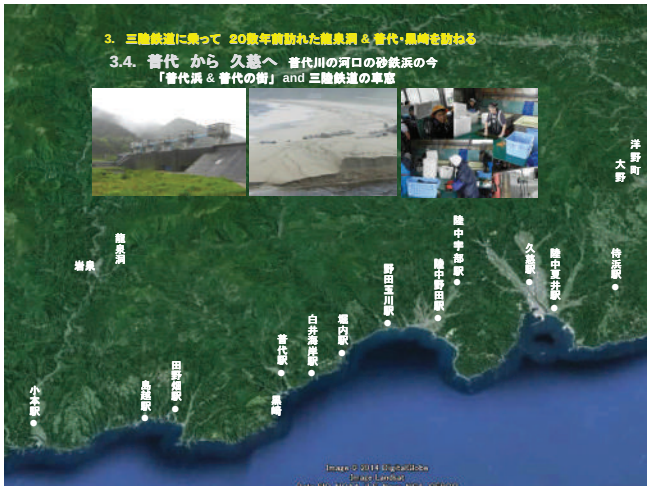




普代駅　黒崎の「くろさき荘」へは　以前マイクロバスで送迎してもらったし、小本駅のバス運転手さんも電話したら迎えに来てくれると聞いたので、電話すると　日曜日で人手不足で送迎できないという。
バスも時間切れて`だめ。　都会と違って　日曜日はなにもかもストップ。　タクシーで宿舎へ
一日雨の中でしたが、釜石から山田・宮古・岩泉そして普代へと三陸沿岸のIron roadを北上。
宿舎の料理に舌鼓を打ちながら充実した一日と。　明日は晴天であることを期待して



3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞＆普代・黒崎を訪ねる　33. 土砂降りの雨の中 北緯40度の地球村 普代・黒崎へ



3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞＆普代・黒崎を訪ねる　3.4. 普代から久慈へ　普代川河口の砂鉄浜「普代浜＆普代の街」and 三陸鉄道の車窓


2. 三陸沿岸のIron Road Walk 3日目 午前の概要
普代川の河口の砂鉄浜「普代浜」・普代の街 ＆ 三陸鉄道で久慈へ
8月5日早朝 昨日夕刻から夜半にかけて降り続く土砂降りの雨。
朝雨がやんで、晴天を期待しましたが、昨夜にも増してきつい雨が降ったり止んだり。
今日は久慈に出て、新幹線で神戸に夜帰らねばならず、時間的余裕がなく、昨夜は地図や資料と首っ引きで「今日の行程に頭をひねる」。
普代の浜・街も見たいし、また、久慈の駅に立つのも今回の目的の一つ。とにかく黒崎朝7時の村のスクールバスで山を下って 普代の浜に下りないと先が続かない。
久慈は20数年前、たちら製鉄遺跡探訪のCountry Walkを「Iron Road 和賀の運ぶ名付けてライフワークにさまざまな資本探Walkを楽しもうと決めた地であり、また、あまちゃん人気の久慈にも興味津々。
久慈地域は日本有数の砂鉄の宝庫で、褐鉄鉱の鉄生産地でもあり、久慈地域の製鉄関連遺跡にも広く着目だし、砂鉄を利用した近代産業の直接製鉄がはじめられた地の先進地でもある。（川崎製鉄久慈工場）
残念ながら、説明聞れた久慈のたちら館はつくなってあり、また、砂鉄鉱脈が、続く久慈の三陸地域沿岸内部で、アクセスの算段ができず。
今回は泣く泣く久慈の製鉄関連遺跡を訪れるのをあきらめ、以前の資料を含め、書き残していない久慈の製鉄関連遺跡を整理することとめる。
普代の浜・街 を歩いた後、普代から三陸鉄道で久慈に出て、その夜八戸経由で東京へ帰いてこの沿岸の砂鉄浜を車窓から眺めつつ八戸へ出ることに決めた。ただし、久慈で都合がつけば、久慈からバスで北上山地を抜けて、一戸へ出ることも頭に入れておこうと。
6月9日早朝 土砂降りの雨の中 黒崎の宿舎からバス停へ降りる
三陸沿岸 の Iron Road
三陸鉄道
八戸
久慈
宮古
釜石
大槌
平泉
遠野
花巻
北上
一関
陸中大野
三陸鉄道 リアス線
JR山田線
JR釜石線
JR大船渡線
JR東北本線
三陸鉄道 北リアス線
三陸鉄道 南リアス線
三陸はその 背後の山地に 対して 海岸線が 入り組んだ リアス海岸 と呼ばれる
この 地形は 山に 近接して 海岸線が 入り組んだ 地形のため
山に降った雨が 短時間に 河口に集まるため
洪水が 起こりやすい 地形でもある
また、 津波の 被害が 大きい 地形でもある
そして、 三陸の 海岸線は
リアス海岸 と 呼ばれる
その 一部には 津波から 人々を守る 堤防が 築かれている
三陸鉄道 リアス線
三陸鉄道 南リアス線
三陸鉄道 北リアス線



黒崎の展望所からの黒崎断崖の景色　2014.6. 9.早朝



黒崎の展望所からの黒崎断崖の景色　2014.6. 9.早朝



参考　20数年前訪れた普代・龍泉洞　(1)　1996.4.28.& 4.29.



参考　20数年前訪れた普代・龍泉洞　(2)　1996.4.28.& 4.29.



普代村　黒崎　1996.4.28.& 4.29.





黒崎のドライブウェイまで　少し登って7時発の村営スクールバスを待つ　　2014.6.9.



バスには学校に通う黒崎の集落の子供たちが大勢乗っていました　2014.6.9.


山を下って海岸部にでると普代の漁港。 山側には大きな防潮堤。
ここれが高さ15メータを超す太田名部防潮堤。
大津波が押し寄せた時、港は大変な被害が出たが、津波から太田名部の集落を守った防潮堤。
また、先の普代川にも巨大な水門が建設されていて、
こちらも水門内にある普代の集落を津波から守ったと聞く。
黒崎の山を下って


大津波から普代の街を救った大防潮堤と普代川水門
普代駅
普代
普代水門
太田名部防潮堤
普代浜


7:24 このトンネルを抜けると普代川の河口 普代浜入口で バスを止めてもらう。 2014.8.9.朝


7:27 普代川の南岸沿い 水門の所でバスを止めてもらう。 ラッキーなことに雨も小降りに。
ここから水門の上を歩いて河口の普代浜へ降りる。






普代川水門堰堤の上から見る河口 普代浜 2014.6.9.
道路が走る南岸は復興工事中では入れないので、堰堤を渡って南側に出る


普代川水門堰堤 河口側 普代浜 2014.6.9.



河口側堰堤の南側山裾　かつてはあった松林　　2014.6.9.
その木がすべて　根に近い部分で引きちぎられ、林が消滅　すごい光景



霧雨に煙る普代川の河口　普代浜　≪1≫　うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える　　2014.6.9.



霧雨に煙る普代川の河口　普代浜　≪2≫　うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える　　2014.6.9.



霧雨に煙る普代川の河口　普代浜　≪3≫　うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える　　2014.6.9.



霧雨に煙る普代川の河口　普代浜　≪4≫　うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える　　2014.6.9.



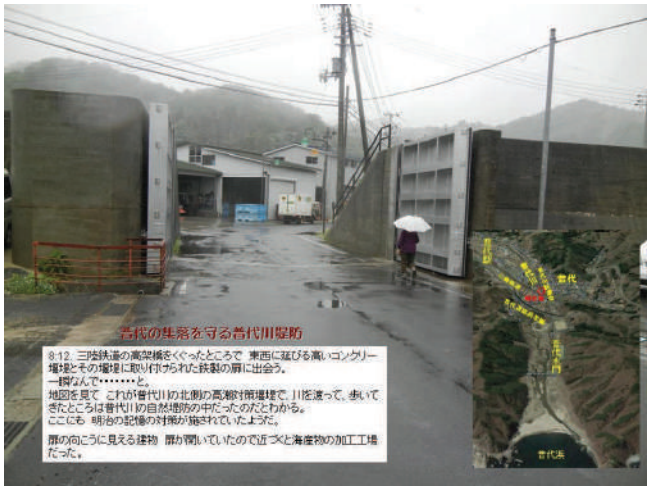
霧雨に煙る普代川の河口　普代浜　≪5≫　うっすら堆積した砂鉄の黒い筋が見える　　2014.6.9.



堰堤に戻り、上流側を眺める　流れの両側は松林に覆われ、緑の中にある
また、堰堤を渡って　南のバス道路側に出て　普代の集落へ歩く



ひっきりなしに車が通る普代川南岸沿いのバス道を少し西へ戻って
普代道路の高架橋の所で北へT字クロスする広い道　普代川の橋を渡って　普代の集落へ
高架橋の奥に三陸鉄道の鉄橋も見えている









8:20 **普代川の土手より 普代の集落を眺める** 中央奥が河口 右手川向うが普代の役場で 駅もこちら側にある

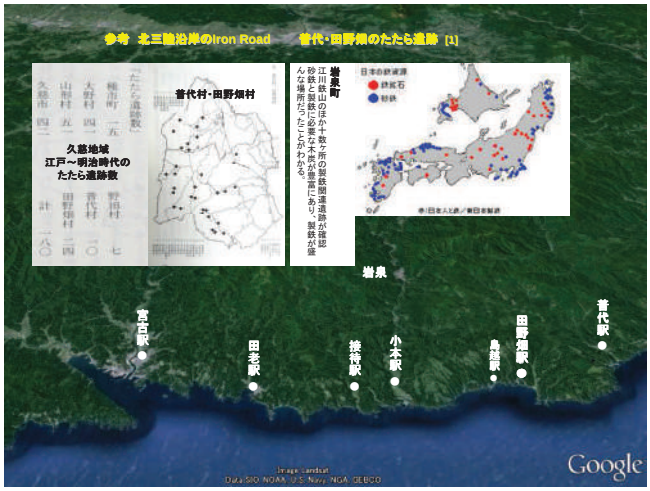


8:25 普代駅到着 ラッキーなことに昨夜来の雨で列車が遅れていて、8:02発久慈行に乗れると
これだと 雨降りの中 久慈から待たずに八戸線に乗れそうなので、今日は気楽に砂鉄床を眺めながら
八戸へ向かって 種差海岸かどこかへ行って 新幹線で神戸に帰ることに切り替え。

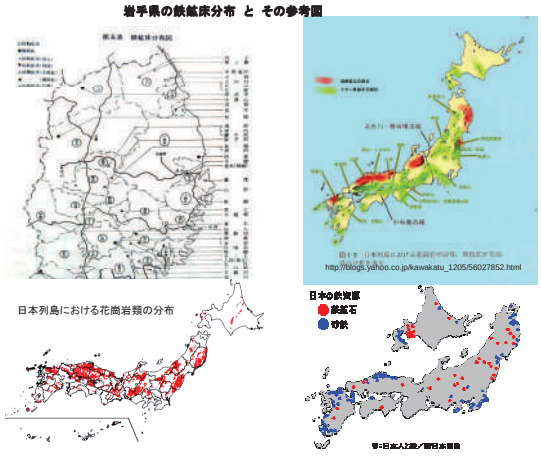








参考 北三陸沿岸のIron Road 普代・田野畑のたたら遺跡 [2]
岩手県の鉄鉱床分布 と その参考図








8:43 雨雨の中　普代駅を出発
先ほど歩いてきた普代の街を眺めながら、久慈へ向かってトンネルへ　2014.6.9.




8:54　普代村　堀内の海岸


野田村下安家川を渡る沿岸道路の向こうは雄大な太平洋ですが、霧でよく見えず


9:01 野田玉川駅　霧の中



9:11　陸中野田駅　列車行き違い待ち10分以上　ここまで来ると久慈はもうすぐ

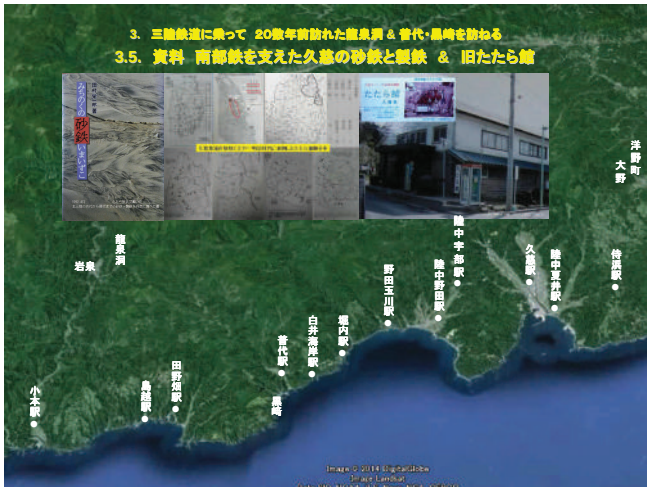


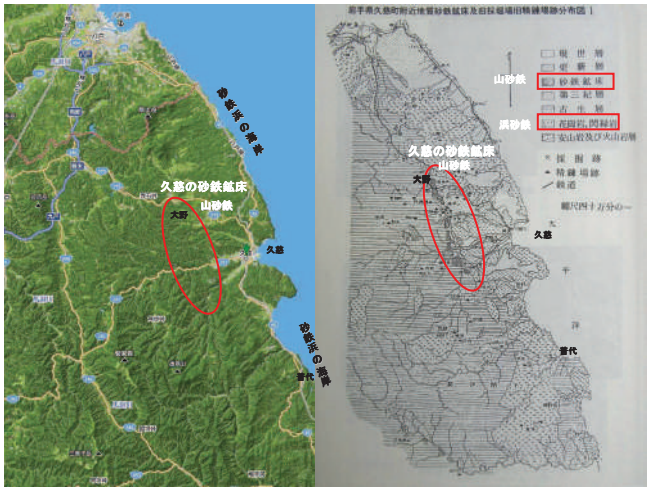
9:36久慈駅着
9時47分八戸行の列車に間に合うので、今回は残念ながら久慈Walkをあきらめ、
そのまま八戸へ向かうことにしました。
次の列車は12:53で、約2時間では　宿たたら館資料の提示があると聞く民俗資料
館や大野や侍浜など　雪雨の中　行くにはちょっとアクセスが心もとない。



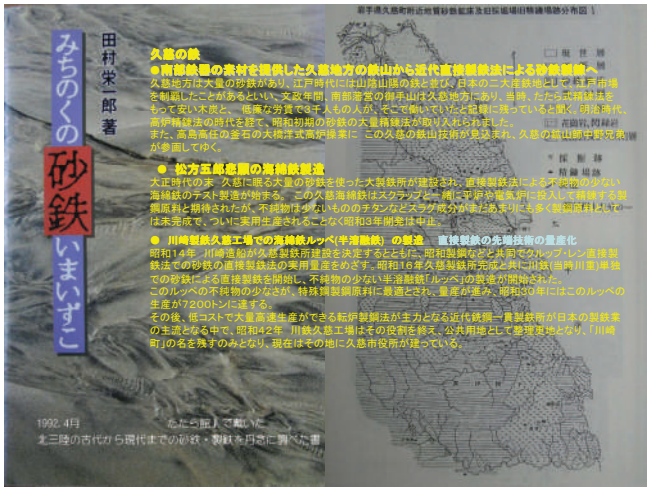

1992年4月に訪れた久慈
「アイアンロード」・「和鉄の道・Iron Road」の言葉が浮かんだ地に
やっとまた　立つことができました
三陸鉄道・JR久慈駅が並び立つ駅前　インターネットより採取


アンバーロード
1992年に歩いた北三陸沿岸のIron Rod・和鉄の道
北三陸沿岸のIron Rod


3.　三陸鉄道に乗って　20数年前訪れた龍泉洞＆普代・黒崎を訪ねる
3.5.　資料　南部鉄を支えた久慈の砂鉄と製鉄　&　旧たたら館




久慈地方図

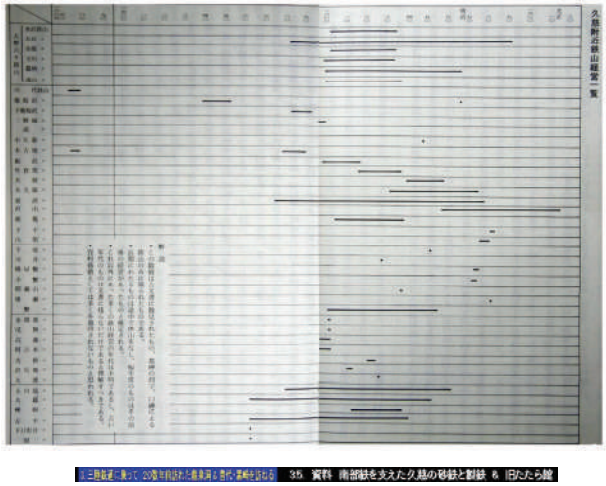

みちのくの砂鉄いまいずこ
田村栄一郎著
1992. 4月
たたら脈人で戴いた
北三陸の古代から現代までの砂鉄・製鉄を丹念に調べた書

久慈の鉄
●南部鉄器の素材を提供した久慈地方の鉄山から近代直接製鉄法による砂鉄製鉄へ
久慈地方は大量の砂鉄があり、江戸時代には山陰山陽の鉄と並び、日本の二大産鉄地として、江戸市場を制覇したことがあるといい、文政年間、南部藩営の御手山は久慈地方にあり、当時、たたら式精鉄法をもって安い木炭と、低廉な労賃で3千人もの人が、そこで働いていたと記録に残っていると聞く。明治時代、高炉精鉄法の時代を経て、昭和初期の砂鉄の大量精鉄法が取り入れられました。
また、高島高任の釜石の大橋洋式高炉操業に　この久慈の鉄山技術が見込まれ、久慈の鉄山師中野兄弟が参画してゆく。

●　松方五郎悲願の海綿鉄製造
大正時代の末　久慈に眠る大量の砂鉄を使った大製鉄所が建設され、直接製鉄法による不純物の少ない海綿鉄のテスト製造が始まる。　この久慈海綿鉄はスクラップと一緒に平炉や電気炉に投入して精鉄する製鋼原料と期待されたが、不純物は少ないもののチタンなどスラグ成分がまだあまりにも多く製鋼原料としては未完成で、ついに実用生産されることなく昭和3年開発は中止。

●　川崎製鉄久慈工場での海綿鉄ルッペ(半溶融鉄)　の製造　　直接製鉄の先端技術の量産化
昭和14年　川崎造船が久慈製鉄所建設を決定するとともに、昭和製鋼などと共同でクルップ・レン直接製鉄法での砂鉄の直接製鉄法の実用量産をめざす。昭和16年久慈製鉄所完成と共に川鉄(当時川重)単独での砂鉄による直接製鉄を開始し、不純物の少ない半溶融鉄「ルッペ」の製造が開始された。
このルッペの不純物の少なさが、特殊鋼製鋼原料に最適とされ、量産が進み、昭和30年にはこのルッペの生産が7200トンに達する。
その後、低コストで大量高速生産ができる転炉製鋼法が主力となる近代鉄鋼一貫製鉄所が日本の製鉄業の主流となる中で、昭和42年　川鉄久慈工場はその役割を終え、公共用地として整理更地となり、「川崎町」の名を残すのみとなり、現在はその地に久慈市役所が建っている。


久慈地域の地質と江戸～明治時代に展開したたたら遺跡分布



久慈周辺は砂鉄(ドバ・褐鉄鉱)の大産地　この砂鉄を利用した近代的な海綿鉄の量産
この砂鉄を使って昭和40年代まで海綿鉄を製造した川崎製鉄久慈工場







久慈　旧たたら館の入場券に使われた四合吹図

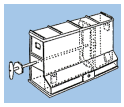
4合吹とは箱鞴を4台使うたたら製鉄のことである
たたら製鉄における鞴の変遷は面一でなく、中国山地でも石見、出雲では踏み鞴→吹差し鞴→天秤鞴となっていますが、伯耆、美作地域では、踏み鞴→天秤鞴となっています。
一方、奥羽地方では踏み鞴、天秤鞴はあまり使われず、大型の吹差し鞴（大伝馬と呼ばれた）が主として使われ、幕末期に水車鞴に移行します。
ちなみに、天秤鞴への移行が進んだ中国山地で水車が使われるようになるのは明治になってからです。

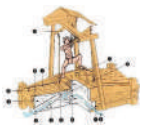
日立金属　たたらの歴史
吹子・鞴より




皮鞴「北蝦夷図説」より


踏み鞴「日本山海名物図会」より


吹き差し鞴

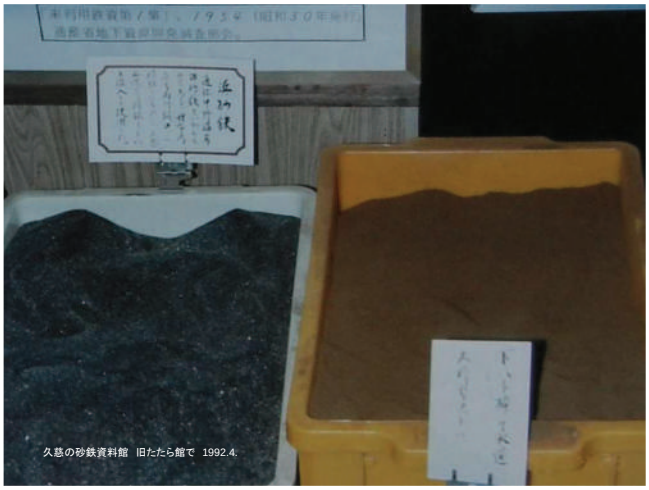

天秤鞴

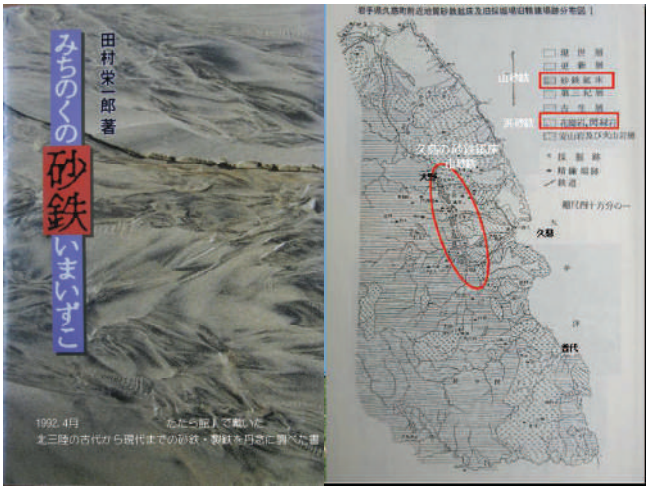








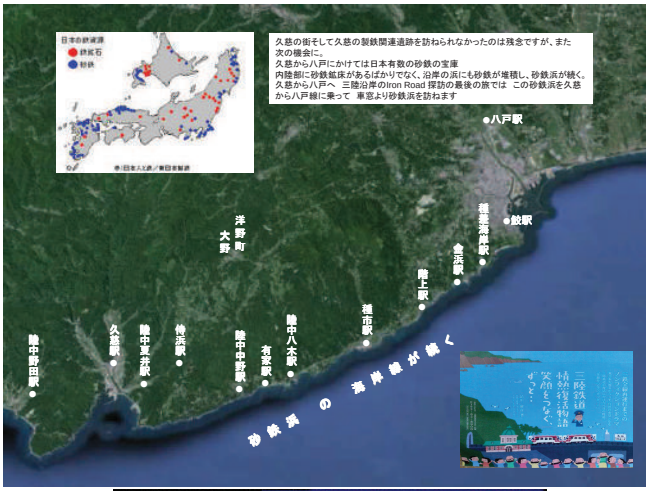














3. 三陸鉄道に乗って　20数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる

宮古から久慈へ 大震災・津波の被災地を結ぶ三陸鉄道 北リアス線に乗って　北三陸沿岸をめぐる
2014.6.8. & 2014.6.9.

【引用・転記・参考資料 】

1. 田村栄一郎著「みちのくの砂鉄いまいずこ」
2. 久慈市編 ガイドブック「大地と自然の久慈」
3. 北上高地の砂鉄　http://www.bunka.pref.iwate.jp/rekishi/kouzan/kouzan01_02.html
4. インターネット検索　一部写真 北三陸沿岸のたたらの解説につかわせていただきました

【和鉄の道・Iron Road　*by Mutsu Nakanishi*　】

1.「閃光」と「肌光」　- 鉄への思い –

2. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山　岩手県南部 蝦夷の鉄 北上山地 大鎚・釜石へ 2002.10

3. 岩手県北上川流域の製鉄地帯 一関博 物館　蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ 舞草刀.　2001.10.



3.1. 三陸鉄道 宮古から小本へ	3.2. 岩泉町の龍泉洞再訪	3.3. 北緯40度 地球村普代・里崎	3.4. 普代から久慈へ	3.5. 【資料】南部鉄を支えた久慈
大津波の被災地の今を車窓から	20数年前見た透明なブルー	土砂降りの雨の中 三陸鉄道で	砂鉄浜「普代浜」& 久慈への車窓	砂鉄と製鉄 & 旧たたら館



列車に乗り込むとぱっと目に付く「あまちゃん」のポスター
どれだけ多くの人たちを元気づけたことでしょうか・・・・



風来坊 2014
17.

【写真帳】　初秋の西神戸　里の秋

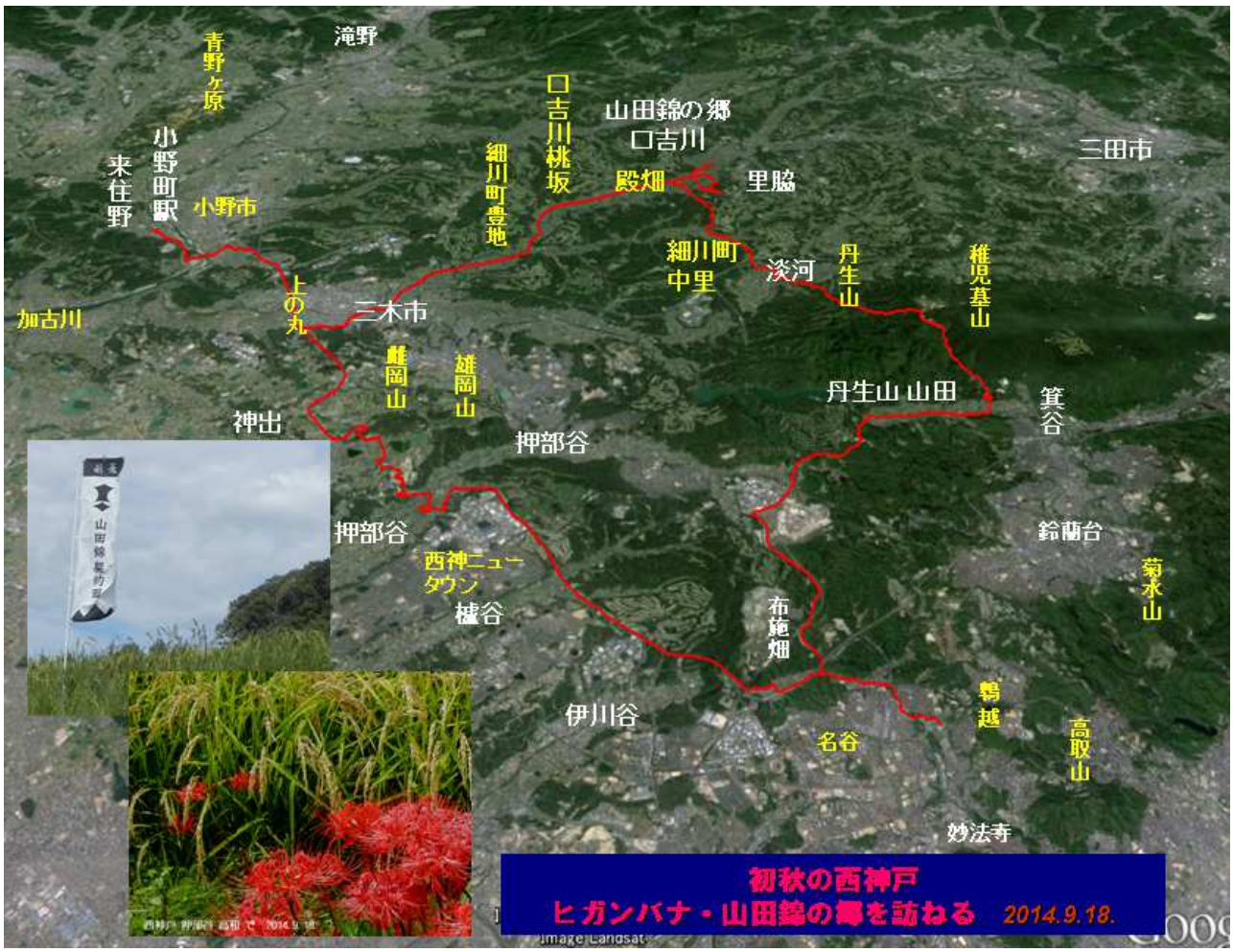
初秋の西神戸　ヒガンバナ・山田錦の郷を訪ねる　2014.9.18.

実りの田の畔を飾るヒガンバナ　＆　酒蔵の旗がはためく灘の酒米「山田錦」の郷





各地のヒガンバナの便りに 西神戸の郷の初秋を告げる「ヒガンバナ」と灘の酒米「山田錦」の里景色を眺めに出かけました。 今年も西神戸では　穏やかな　ゆったりとした空気が流れる里の秋 町の喧騒を忘れて　ゆっくりと。　毎年の西神戸の初秋の景色　またか・・・でしょうが、 今年も元気に眺められるありがたさです。



毎年　西神戸から加古川沿いを北にヒガンバナの名所　多可町へ行くのですが、 今年は行く道々あちこちで　田圃の畔を飾るヒガンバナをみることができたので、 小野から来住野に出て小野町駅の蕎麦で昼食。　東に引き返して　田圃の畔に幾本もの酒蔵の旗がはためく、酒米「山田錦」の里景色を見来ました。

来住野の蕎麦の花も見られるかも?? と思いましたが、白い蕎麦の花は　まだこれから・・・・・

取入れの準備に忙しい初秋の里　まもなく刈入れがはじまるとコスモスの花が郷を飾り、秋祭でにぎやかに。

今年も西神戸では　穏やかな　ゆったりとした空気が流れる里の秋　　町の喧騒を忘れて　ゆっくりと。

毎年の西神戸の初秋の景色　またか・・・でしょうが、今年も元気に眺められるありがたさです。

1. **北の白川峠を越えて西へ向かうと里山に囲まれた布施畑の郷**

近すぎて気にも留めていませんでしたが、この郷でも　田の畔に彼岸花が点々と







2. **西神戸　雌岡山麓を背にした押部谷 高和の里で**

布施畑から里山沿いを西へ抜けると　雌岡山が背後にする押部谷の里

ついこの間まで見かけなかった彼岸花が　田圃の畔のそこかしこに

彼岸花と一緒に雌岡山を眺めたのは初めてか??










西神戸　押部谷 高和で　2014. 9. 18.




西神戸 押部谷 高和で 2014.9.18.


西神戸 押部谷 高和で 2014.9.18.







3. 果樹園が広がる雌岡山の麓　神出の里から　加古川に出て　小野町来住野へ

高和からまっすぐ北へ　雌岡山の麓に広がる神出の里へ

この雌岡山山麓の里では　収穫を迎えた田圃と共に山腹一杯にイチジク・ブドウ・梨などの果樹園が広がり、いつも　いち早く秋の味覚を楽しませてくれる里。







思いがけず、西神戸の里で、実りの田の畔を飾る彼岸花の景色を数多く見られたので、彼岸花の名所　多可町へ行くのをやめ、来住野に出て小野町駅の蕎麦で昼食の後、東に引き返して　これも西神戸　初秋の風物詩「畔に幾本もの酒蔵の旗がはためく、酒米「山田錦」の里景色」を見に行くことにしました。

来住野の丘を飾る蕎麦の花も見られるかもと思いましたが、ちょっと早かった。

4.　秋の雲のした　田の畔に酒蔵の旗が翻る　　酒米の郷　三木市細川・口吉川で



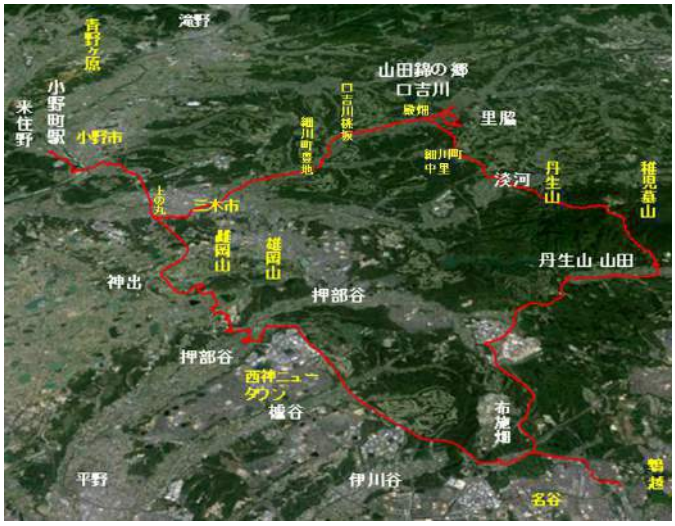




小野町から加古川沿いを南へ下って、東へ万歳橋を渡って小野市市場の街中を通り抜け、国道 175 号線をクロス。

三木の市街地に入り、街の中心上の丸から北東へ里山沿いを吉川・三田の方へ向かうと、ほどなく里山の間に広がるのどかな田園地帯。

山陽自動車道の高架を潜り抜けるとあちこちの田の畔に灘の酒蔵の旗が翻っている。酒米「山田錦」の里　細川町に入った。この街道筋の田はほとんどが、灘の酒蔵との山田錦栽培契約田で、畔にはそれぞれの酒蔵の旗が翻っている。以前デジカメでこの初秋の風景をデジカメで納めた地域に入った。




秋の雲の下　波く田の町に酒蔵の旗が翻る　酒米の舞　三木市口吉川で　2014.9.18.


田の町に酒蔵の旗が翻る　酒米の舞　三木市細川町で　2014.9.18.


グレードアップ
山田錦
酒蔵の旗がはためく実りの秋　西播磨山田錦の郷　三木市 口吉川　2014.9.18.


槇
Maki




西播磨山田錦の郷 口吉川で　2014.9.18.







5.　北神戸　淡河の里で　　ここにも酒蔵の旗が翻っていました

口吉川から南へ里山を越えると南に丹生山の山並みが連なる北神戸 淡河の里









正面に　西神戸箕谷・山田へ丹生山を南へ越えてゆく道が見えている

6. 北神戸　丹生山　山田の里で







ちょっと街を出ると　緑の里山を背に田園が広がる西神戸の田舎では
初秋の風物詩　酒蔵の旗がはためく田に収穫期を迎えた稲穂が風に揺れ、畔には真っ赤な彼岸花
ゆったりとした時間が流れる初秋の心地よい里景色の中で　心身共にリフレッシュ

2014.9.18.　　by Mutsu Nakanishi

【写真帳】　初秋の西神戸　里の秋

初秋の西神戸　ヒガンバナ・山田錦の郷を訪ねる　2014.9.18.

実りの田の畔を飾るヒガンバナ　&　酒蔵の旗がはためく灘の酒米「山田錦」の郷





各地のヒガンバナの便りに 西神戸の郷の初秋を告げる「ヒガンバナ」と灘の酒米「山田錦」の里景色を
眺めに出かけました。 今年も西神戸では　穏やかな　ゆったりとした空気が流れる里の秋
町の喧騒を忘れて　ゆっくりと。　毎年の西神戸の初秋の景色　またか・・・でしょうが、
今年も元気に眺められるありがたさです。



毎年　西神戸から加古川沿いを北にヒガンバナの名所　多可町へ行くのですが、
今年は行く道々　あちこちで　田圃の畔を飾るヒガンバナをみることができたので、
小野から来住野に出て　小野町駅の蕎麦で昼食。
東に引き返して　田圃の畔に幾本もの酒蔵の旗がはためく、酒米「山田錦」の里景色を見来ました。
来住野の蕎麦の花も見られるかもと思いましたが、ちょっと早かったようでした。

取入れの準備に忙しい初秋の里　まもなく刈入れがはじまるとコスモスの花が里を飾り、
秋祭のお囃子の音が聞こえてくるでしょう。

初秋　西神戸の風物詩　収穫を前に黄金色に輝く田圃　西神戸の里景色を送ります。

from Kobe　*by Mutsu Nakanishi*


西神戸 押部谷 高和 で　2014. 9. 18.






北の白川峠を越えて西へ向かうと里山に囲まれた布施畑の郷　2014.9.18.
近すぎて気にも留めていませんでしたが、この郷でも　田の畔に彼岸花が点々と


西神戸　布施畑の郷で　2014.9.18.


西神戸　布施畑の郷で　2014.9.18.


布施畑から里山沿いを西へ抜けると　雌岡山が背後にそびえる押部谷の郷
ついこの間まで　見かけなかった彼岸花が田圃の畔に　ぐるりと見渡すとそこかしこ
彼岸花と一緒に雌岡山を眺めたのは初めてか??

西神戸 押部谷 高和 で　雌岡山麓を背に　2014.9.18.



西神戸 押部谷 高和 の田圃で 2014.9.18.



西神戸　押部谷 高和で　2014. 9. 18.



西神戸 押部谷 高和 で 2014.9.18.



西神戸 押部谷 高和 で 2014.9.18.



西神戸 押部谷 高和 で 2014. 9. 18.










西神戸 押部谷 高和 で 雌岡山麓を背に 2014.9.18.


雌岡山 神出 ぶどう園 2014.9.18.


加古川 小野市周辺


そば
JR加古川線小野町駅 NPOが出店する駅そば「きすみの」に立ち寄る 2014.9.18.
日中は電車の乗降客より、そばを食べに訪れる人がはるかに多い。 そばと巻き寿司がおいしい。
また、小野市来住野の丘陵地には蕎麦畑が広がり、10月には こんな風に満開の白いそばの花が丘を覆うのですが、


小野町来住野から東へ 山田錦の里 三木市細川・口吉川 そして北神戸淡河・丹生山 山田へ
山田錦の郷
口吉川
殿畑
里脇
細川町
中里
淡河
丹生山
稚児墓山
丹生山 山田
小野町駅
来住野
小野市
三木市
雌岡山
雄岡山
神出
押部谷
西神ニュータウン
布施畑


秋の空の下 遠く田の畔に酒蔵の旗が翻る 酒米の郷 三木市口吉川で 2014.9.18.


田の畔に酒蔵の旗が翻る 酒米の郷 三木市細川町で 2014.9.18.



酒蔵の旗がはためく実りの秋　西播磨山田錦の郷　三木市 口吉川　2014.9.18.





酒蔵の旗がはためく実りの秋　西播磨山田錦の郷　三木市 口吉川　2014.9.18.


酒造メーカーの旗がはためく実りの秋　西播磨山田錦の郷　口吉川　2014.9.18.


西播磨山田錦の郷 口吉川で　2014.9.18.


実りの秋を迎えた　西神戸　淡河で　　2014.9.18.


実りの秋を迎えた　西神戸　淡河で　　2014.9.18.


実りの秋を迎えた　西神戸　淡河で　　2014.9.18.











ちょっと街を出ると　緑の里山を背に田園が広がる西神戸の田舎では
初秋の風物詩　酒蔵の瓶がはためく田に収穫期を迎えた稲穂が風に揺れ、畔には真っ赤な彼岸花
ゆったりとした時間が流れる初秋の心地よい原景色の中で　心身共にリフレッシュ

2014. 9. 18.　by Mitsu Nakanishi



風来坊 2014
18.

東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9

4. 久慈から八戸へ 車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜 2014.6.9.

八戸線車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸 & 砂鉄浜 八戸 種差海岸







６月９日 東北 三陸沿岸の Iron Road Walk ３日目（最終日）相変わらずの霧雨
久慈から八戸へ JR八戸線沿線の砂鉄浜を訪ねました

4.1. 砂鉄の宝庫 八戸・久慈周辺の砂鉄 概要
その周辺の沿岸には砂鉄が堆積する砂鉄浜続く
4.2. 八戸線 車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸.
4.3. 砂鉄浜 八戸 種差海岸を歩く







9:35 普代から三陸鉄道で 霧雨の久慈駅着 三陸沿岸 Walk 3 日目
久慈のたたら館はすでになく、江戸時代八戸藩南部の鉄素材の重要な生産地「大野鉄山」の地で、 砂鉄鉱床の露頭を見られるという内陸部の「洋野町大野」へ行きたかったのですが、どうも無理。 一つ列車を逃すと、次の列車は 12:53 で、八戸線沿線の砂鉄浜に降り立てない。神戸まで帰れない。 また、旧たたら館資料の展示があると聞く民俗資料館や砂鉄浜の侍浜海岸などへ霧雨の中を行くには ちょっとアクセスが心もとない。
今、八戸線に出れば、9 時47分八戸行の列車に間に合うので、今回は残念ながら久慈 Walk を あきらめ、そのまま八戸へ向かうことにしました。







へ理屈は別にして、久慈から八戸にかけては、日本でも有数の砂鉄の産地であり、江戸時代 南部・八戸藩の南部鉄器製造を支えた地であり、浜にも大量に砂鉄が堆積すると聞く。 そんな砂鉄浜は、ぜひ見ておきたい。
以前乗車した時の記憶はないが、久慈から八戸へは 砂鉄を埋蔵する鉱床が南北に延びる内陸部から沿岸部へ 広い海岸段丘が続き、海に接する浜が点々と連なっている。 車窓からはそんな砂鉄浜が見え、浜に堆積した砂鉄が見えるはずだと。
また、名前だけは何度か眼にした八戸の種差海岸 今度は是非この種差海岸の砂鉄浜も歩いてみたい。

八戸まで出れば、連絡悪くても新幹線八戸駅へは何とかなると。
そうと決まるとあまり時間がない。 20 数年前 「Iron Road ・和鉄の道」の名前が浮かんだ久慈の駅前の写真を撮って、そのまま八戸線の列車に乗り込み、久慈を後にして 八戸へ。
海岸線を走る沿線にいれば、風来坊 どこで降りてもまたすぐに列車に戻れるので、気楽である。

岩手県側に属する久慈と青森県側に属する八戸　どちらも「南部」、
でも　明治の廃藩置県で両県に分断された

１９９２年に山田町の上村遺跡で、８世紀後半と見られる製鉄遺跡が発見されて、三陸地方の古代製鉄が 注目されるようになり、　釜石から宮古にかけての三陸沿岸では、古代の製鉄遺跡が数多く見つかっている。

しかし　埋文や資料館などへ直接訪れなかったこともあるのですが、さらに北の普代そして　久慈・八戸地域では古代製鉄関連について、ほとんど聞けなかった。

特に製鉄原料となる大量の砂鉄があるハ戸・久慈地域で、製鉄業が盛んになるのは江戸時代であり、同 じ三陸といっても、釜石から宮古の地域と久慈・八戸では　地形的な問題や古代中央へのつながり方の相違などによって、製鉄技術の伝播の様相が違うようと旅の中で思えてきて、気にかかっている。この地域の暮らしの中で、鉄の需要がどうだったのか?

なども重要な鍵でしょうが、今回残念ながら今回調べられなかった。

また、「南部鉄」とはよく聞くのですが、全国的に広がりを持つのは　どうも南部の特産として、南部盛岡藩・八戸藩が奨励した江戸時代以降であると聞く。

久慈の旧たたら館が新しくなった久慈市歴史民俗資料館や江戸時代　繁栄した大野鉄山がある久慈の内陸部へ行けばもっと　クリアーになるのでしょうが、次回への宿題と。

また、今陸奥・青森県に属する八戸はもともと南部の地域であり、私にとっては今も青森と岩手県の境が ごっちゃになる。

イメージ的には北上山地から流れ出る北上川が南に流れる岩手県　そして　北に馬淵川・新井田川が流れる地域が青森県とわかっているのですが、かつてはどちらも「南部」そして　この川の流れもそう簡単にはなっていない。

この八戸線が走る沿岸部も岩手県の三陸沿岸の久慈から、県境を越えて青森県　陸奥の八戸へ伸びているが、 沿岸部では境する大きな山も川もなく、でもどちらも俗称的には[南部]であるという。

八戸が、北の津軽に支配をけるけるようになるのは、明治の初年　戊辰戦争で　官軍側の津軽藩に　幕府側に加わっていた南部藩が負け、背反地検の際に南部藩の北部一部が青森県に編入されたという。

元々南部藩発祥地は北部の南部町であり、盛岡は後に藩の居城を移して中心になった場所である。

八戸・久慈についていうと　今も　文化的には八戸・久慈はやはり同じ「南部」の文化である。

まだ　まだ　面白い三陸沿岸である



1．砂鉄の宝庫　久慈・八戸周辺の砂鉄　概要



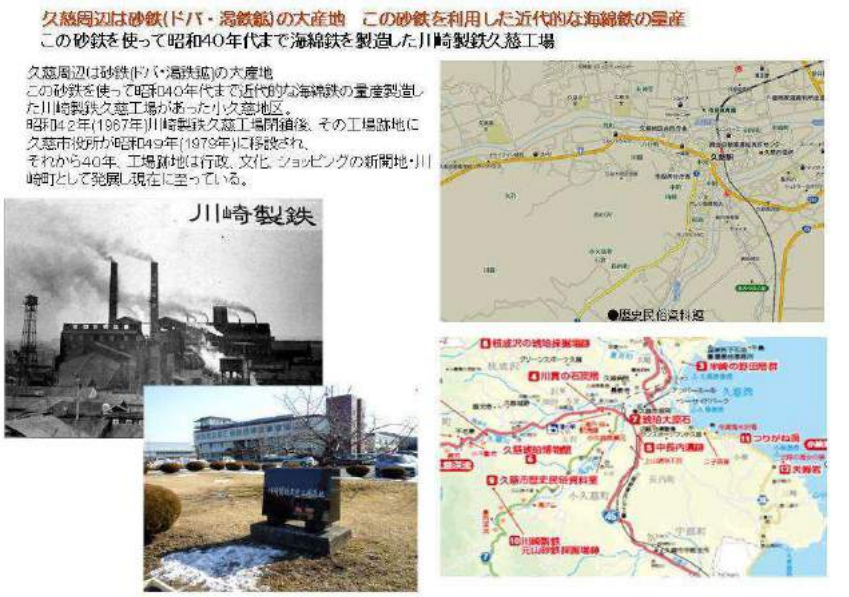


日本有数の砂鉄の宝庫「久慈・八戸」 その周辺海岸部は海岸隆起によって海底が持ち上がってできた広大な海岸段丘　平坦地形が広がっている。 ここでは北上山地から流れ出た砂鉄が海底に堆積し、その海底が隆起して豊富な砂鉄資源を形成し、沿岸の浜には砂鉄が堆積する砂鉄浜が点々と続く。

ここでは　古くから　この広大な台地は牧場として「南部馬」を育ててきた。 また、江戸時代には　この豊富な砂鉄資源を使って　たたら製鉄が栄え、名産「南部鉄・南部鉄器」の一大産業が興り、その後の製鉄業繁栄をもたらしてゆく。

昭和の時代には　この豊富な砂鉄資源を使って、先進的な製鉄技術である海綿鉄の量産工場　川崎製鉄久慈工場が久慈に建設され、 銑鋼一貫の大製鉄所時代が花開く昭和40年代まで生産が続けられた地であることも忘れてはならない。







2. 八戸線 車窓から眺める「砂鉄浜」　洋野町有家海岸周辺







久慈よりJR八戸線
　久慈川渡って海を指す　…　久慈
　　一番北の海女さんに　…　陸中夏井
　　砂鉄に琥珀も掘った跡　…　侍浜

山より下り来て中野より　…　陸中中野、有家
　海岸段丘の上部沿い　…　陸中八木、宿戸
　洋野町中心種市は　…　玉川、種市
　十代目柏戸出た町に　…　平内、角の浜

<JR 八戸線沿岸の砂鉄や海岸段丘を織り込んだ鉄道唱歌(部分)　現代社会教育鐵道唱歌　北リアス・八戸篇(部分)より>







砂鉄が堆積した浜が続く JR 八戸線　洋野市　有家駅周辺の海岸





北三陸の砂鉄浜　　JR 八戸線　洋野町有家海岸

3. 砂鉄浜　八戸　種差海岸を歩く　砂鉄浜　白浜・大須賀浜から種差海岸の北端の岬葦毛崎へ

10:35　洋野町種市駅着　三陸沿岸　岩手県の最北部
「南部もぐり」潜水技術とウニ漁で有名な街で　種市高校にはこの「南部もぐり」を継承し、工業系の潜水技術を習得できる学科海洋開発科がある。
平内駅・角の浜駅を過ぎると青森県階上駅で　八戸はもうすぐであるが、 八戸線は種市から北では海岸より少し陸地側を走るので　沿岸の浜はよく見えない。
10:46　階上駅着
青森県三戸郡階上町　大きな山を越えるでもなく 川を渡るでもなく ここからはもう 青森県　ウニいちご煮の里の案内板が見える。
階上駅の次は大蛇駅 10:57 着
そしてその次は八戸市に入って金浜駅　海岸線が見えないのでよくわからないが、「大蛇」「金浜」と続くと製鉄関連地名なのか・・と思えてくる。
でも、「大蛇」は古くからある地名をそのまま駅に。 でも　由来はよくわからないそうだ。「金浜」と聞くと砂鉄浜に違いない。
でも　浜の様子がよくわからず、どこで下車しようかと迷いながら、種差海岸の「白浜駅」で下車。
（当初は鮫駅まで行って　バスで種差海岸に戻るつもりでしたが・・・・）


10:35 種市駅 岩手県三陸沿岸最北部
洋野町種市
「南部もぐり」潜水技術とウニ漁で有名な街で
種市高校にはこの「南部もぐり」を継承し、工業系の潜水技術を習得できる学科海洋開発科がある
種市の平内駅・角の浜駅を過ぎると青森県階上駅で　八戸はもうすぐである
八戸線は種市から北では 海岸より少し陸地側を走るので 沿岸の浜はよく見えない


岩手/青森の県境 階上岳(岩手県では種市岳と呼ぶ)


10:46 階上駅　青森県三戸郡階上町
ここからはもう　青森県
ウニいちご煮の里の案内板が見える







陸奥白浜駅で下車して　種差海岸の砂鉄浜　白浜・大須賀浜を歩く

大蛇駅をでると岩手県三陸沿岸から青森県陸奥沿岸に入るが、特にヶ市議が変わる出なく、県境を越えたとの思いはなし。
そして、金浜駅をでると　まもなく緑の海浜公園によく整備された海岸線が見えてきて、八戸の観光地「種差海岸」の一角に入ったと。 鮫駅までゆかず、近くで降りて　浜を歩いてみようと決める。
11:10 陸奥白浜駅下車　　駅は無人駅で駅舎もなく、細長いプラットホームが一本あるだけ。浜も見えず。
一瞬戸惑ったが、ホームのすぐ下に種差海岸遊歩道案内の看板が浜へ降りてゆく道を教えてくれた。
浜に砂鉄があるだろうか・・・・・　　駅を出て　踏切を渡ると正面向こうに広い砂浜が見えてきた。



種差海岸の砂鉄浜　白浜・大須賀浜

浜へ降りるとうっすら白砂に砂鉄が混じって見える。 砂鉄はあまり多くはないが、美しい砂鉄浜。 小さな川が流れ込む河口周辺の砂浜では　幾重にも重なった砂鉄の文様が見られ、また、陸側には海岸段丘の崖に沿って美しい松林が続き、美しい風景を作っていました。 長い大須賀の浜から、松林の中にある遊歩道へ上がって　さらに北　種差海岸北端の葦毛崎へ。



大須賀浜の北端から　観光道路を北へ葦毛崎へ









種差海岸の絶景ポイント 葦毛崎 周辺

また、土砂降りになりましたが、観光道路を歩きだして、
30 分ほど 散策路を下ってゆくと数々の草花が咲く海岸。
岩礁の浜の向こうに霧雨に煙る葦毛崎の岬。
ちらほら 黄色のニッコウキスゲも咲き始めていました。
満開の時には素晴らしい景色になるのだろう。





岩礁が続く美しい景色をたのしみながら、小さな尾根を乗り越すと種差海岸の北端　葦毛崎でした。
12:03　葦毛崎到着。
雨がきつく　視界も開けないので、　葦毛崎の展望台まで行くのをやめ、そのまま鮫駅へ向かう。
途中バスが来ないかと振り返りつつ歩きましたが、ダメ。　もう鮫駅まで歩く覚悟を決めました。



12:03　土砂降りの雨　種差海岸北端の岬　葦毛崎





土砂降りの雨の中　葦毛崎を回り込んで西側の沿岸を鮫駅目指して下ってゆく

12:25　岬を回り込んで　街並みが続くところまでに下りてくる。 道脇に八戸線の線路も見え、　八戸線もこの岬を並行して回り込んできたとわかる。　どこまで歩くのかとちょっと心配になっていましたが、ウミネコの繁殖地蕪島　そして八戸の港が遠望でき、八戸線鮫駅も近いと知れ、やれやれです。

12:40　鮫駅到着

駅前には大きく口を開いた鮫のモニュメントが出迎えてくれましたが、ひっそり静かな駅前。

13:40 まで、八戸行の列車がない。食事でもと鮫街の通りに出ると十字路の際にバス亭があり、13 時過ぎに　八戸行のバスが来ると教えてもらって、そのままバスに乗り込んで八戸の市街地へ。 八戸の中心街でバスを乗り継いで　約 40 分ほどで八戸駅でした。





14:00 八戸駅着　 これで今日　神戸まで帰りつけると…。

八戸は是川縄文遺跡や風張縄文遺跡などを訪ねたり、青森の帰りにも立ち寄ったことがある知った街並み。

でも　名前は知っていても　行ったことがなかった種差海岸。

パンフレットで見た種市岳や種差海岸の美しい景色に今回は是非立ち寄りたいと。

土砂降りの雨になりましたが、それはそれで初めて種差海岸を歩けてラッキー。



駅前の食堂ビルに入って遅い昼飯。 霧雨の降りしきる街を眺めながら、長かった今日一日　八戸線に乗っての砂鉄浜 walk を振り返る。

20 数年前にこの八戸線にも乗ったのですが、全く記憶なし。

八戸線沿いの砂鉄浜　そしてそれらを形成した海岸段丘の遠い太古の歴史も知って、また、新しい三陸沿岸の　Iron Road のイメージも。

今回の旅ではどうしても行けず、次回廻しにした江戸期南部鉄を支えた内陸部の九戸のたたらや洋野町大野の大野鉄山。 是非　もう一度　久慈・八戸へと。

今回は 3 日間のフルスピード三陸沿岸 Iron Road の旅　 結局 3 日とも霧雨の中の訪問でしたが、これも三陸らしい。

やっと来れた震災後の三陸沿岸の Iron road　でした。

土砂降りの駅前のビルで 「ビール　もう一杯」と満足感にしたって、新幹線へ。

三陸沿岸　街そして生活復興はまだ　これから。 今回垣間見れた三陸沿岸の姿はしっかり焼き付けた。忘れない。

次に訪れた時には　さらに活力のある人々の笑顔・生活が見られることを願って、これからも忘れず、応援してゆきたい。

2014.6.9.　 15:06 八戸駅発　東北新幹線　はやぶさ 24 号に乗り込んで　 by Mutsu Nakanishi

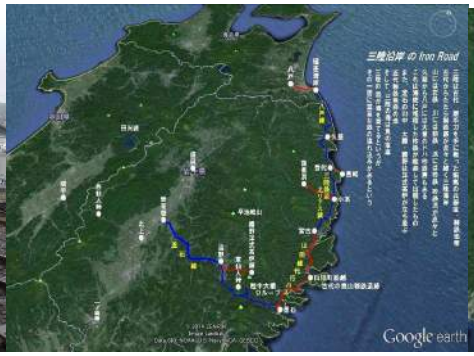


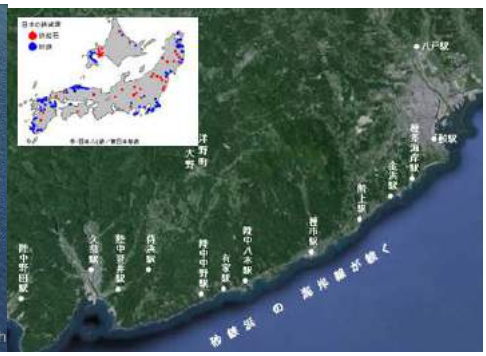
北三陸沿岸の砂鉄浜　JR 八戸線　有家海岸　　2014.6.9.



八戸種差海岸の砂鉄浜　大須賀・白浜　　20147.6.9.







【 引用・転記・参考資料 】

1. 田村栄一郎著「みちのくの砂鉄いまいずこ」
2. 久慈市編　ガイドブック「大地と自然の久慈」
3. 北上高地の砂鉄　　http://www.bunka.pref.iwate.jp/rekishi/kouzan/kouzan01_02.html
4. インターネット検索　　一部写真　北三陸沿岸のたたらの解説につかわせていただきました

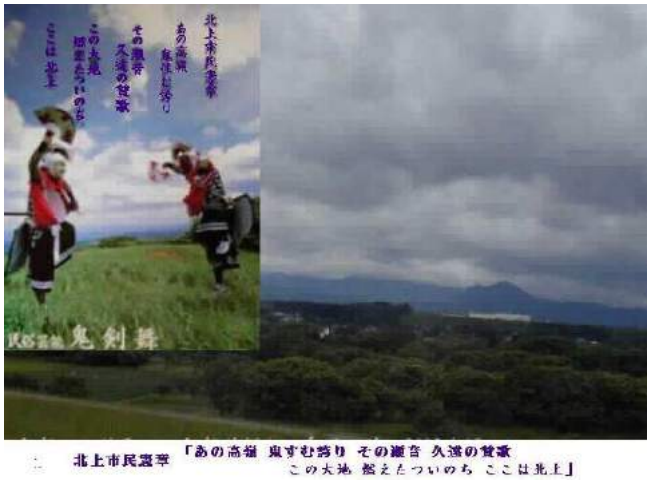
【和鉄の道・Iron Road　by Mutsu Nakanishi 】

1.「閃光」と「肌光」　　－ 鉄への思い －
2. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山－ 岩手県南部　蝦夷の鉄　北上山地　大鎚・釜石へ　2002.10
3. 岩手県北上川流域の製鉄地帯　一関博 物館　－蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ　舞草刀 －　2001.10.
4. 蝦夷の鉄・東北　和鉄の道　　東北地方　和鉄の 道　9編　取りまとめ　2004.1.

5. 東北　三陸沿岸の Iron Road 再訪　まとめ　　2014.6.7.-6.9.







北上川が流れ下る岩手県の中央　北上市の市民憲章には

「あの高嶺　鬼すむ誇り　その瀬音　久遠の賛歌　　この大地　燃えたついのち　ここは　北上」

と故郷を切り開いてきた先住の人たちや故郷の大地・川・山への強い連帯の思いと共感を歌い上げます。

また、険しい北上山地に抱かれた南部では**「田舎なれども　南部の山は　西も東も金の山」**と謡う

私の好きな東北　私にとっては奥出雲と並ぶもう一つの鉄の故郷。私の製鉄遺跡探訪の Country Walk のタイトルに「Iron Road・和鉄の道」と名付けてライフワークにしようとのイメージが出てきたのもこの東北・三陸沿岸久慈。

その東北が東日本大震災と大津波に襲われて 3 年。その惨状と復興の厳しさに　気になって気になっていましたが、足を踏み入れることができず。

3 年が経ち、三陸沿岸で暮らす人たちの絆「三陸鉄道　北リアス線が全線開通」と聞き「今、この三陸に出かけることも応援の一つ。

震災後の三陸沿岸の街の今をしっかり見てこよう。 また､再度三陸沿岸の Iron Road をたどって､三陸沿岸の Iron Road に新しいイメージを加えたい」と。
この 6 月　東京へ行く機会に、北上山地の難所　東仙人峠を列車で越えて、釜石から北へ　山田・宮古・普代・久慈・八戸と「三陸沿岸の Iron Road ・和鉄の道」をたどりました。

まだまだ　三陸の厳しい現実を眼にすることも多かったのですが、困難に立ち向かう行く先々で、多くの人たちに明るく親切に follow してもらって、感謝と共に、ほっとして、思わず「がんばって　応援しているよ」と。
また、三陸沿岸の製鉄関連遺跡や砂鉄浜そして今発掘が進む 製鉄遺跡現場にも行ってこれました。
気にかかっていた三陸へやっと行ってこれました。

南北に広がる東北地方の中央部　蝦夷の根拠地でもあった岩手県では　東に北上山地　西に奥羽山脈の険しい山々が南北に峰を連ね、太平洋側三陸沿岸へ出るには北上山地にある東仙人峠　西の日本海側出羽へは奥羽山脈の西仙人峠（和賀仙人峠）を越えてゆかねばならなかった。
どちらの「仙人峠」も中央との交流・文化とも一線を画す険しい山越の道であるばかりでなく、東北有数の鉱物資源帯「金山」のまっただ中にある峠である。
東北のたたら製鉄を調べていて　一番最初に興味を持ったのが、
「この二つの仙人峠と大和に対抗した蝦夷たち。そして彼らが手にして大和を悩ましつづけた蕨手刀」
　この北上山地や奥羽山脈に眠る「金山」の支配を狙って、大和の東北蝦夷征伐が始まったとも言われ、北上川が流れ下る内陸中央部に本拠地を持ち、大和と対抗した蝦夷たちの後背地がこの 2 つの厳しい峠の向こうにある出羽・三陸（閉伊）だったともいわれる。
　強力な大和に蝦夷たちが対抗できたのは、突くことから切ることに目的をかえ、自由に操つることができた「蕨手刀」の存在。強靭な鉄で作られた小ぶりで反りのある「刀」。
　日本刀のルーツともいわれる。
　この蕨手刀のルーツはどこか??
　厳しい中央統制の中で､辺境の蝦夷たちはこの蕨手刀製造の製鉄･鍛造技術をどこで育だてたのか･･･
　古代　東北では大和の箱型炉とはルーツを異にする半地下式の竪型製鉄炉を急速に広げている。
　この東北で育まれた竪型製鉄炉が蝦夷たちの武器製造に使われたのか・・・
　「田舎なれども　南部の山は　西も東も金の山」と謡われた鉱物資源帯　三陸沿岸がその兵器庫だったのだろうか・・・・
この蝦夷の雄「アテルイ」の顕彰碑が敵対した征夷大将軍坂上田村麻呂ゆかりの京都清水寺にある。
そして、東日本大震災の後、いち早く東日本大震災被災者支援の声を上げた寺でもある。
また、北上山地を背にリアス式海岸が続く三陸沿岸の眼前には豊かな海が広がり、山には岩鉄・川には餅鉄・浜には砂鉄が堆積する砂鉄浜が点々と続き、久慈・八戸は日本有数の砂鉄層が埋まっている。
また、三陸沿岸　釜石の背後の北上山地東仙人峠近くの山中　大橋・橋野は幕末から明治初期　洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地。今　世界産業遺産登録を目指した取り組みが復興の町興しの一つとして進むと聞く。また、眼前の三陸の海は魚や海藻など海産物の宝庫。三陸沿岸の森から海に流れ込んだ鉄が育くむ豊かな海。三陸沿岸の人々の暮らしを支える海。 今　その海が少しづつ戻りつつあると聞く。

どうしても足を向けられなかった震災後の東北･三陸沿岸の Iron Road　しっかりと歩いてきたいと。

2014.6.7.早朝　土砂降りの雨　　東京から東北へ向かう新幹線で

by Mutsu Nakanishi

5. 東北　三陸沿岸の Iron Road 再訪　　2014.6.7.- 6.9.

【まとめメモ　リスト】

三陸沿岸の Iron road について、今回　　垣間見て、自分なりにイメージを膨らませた事項・忘れてはならぬと思った事項など
メモ書き程度ですが、記録しておこうと　今回の三陸沿岸で見聞した事項を整理してメモリました。





東北　三陸沿岸のIron Road 再訪　特に印象に残った景色

北上川が流れ下る岩手県の中央　北上市の市民憲章には
「あの高嶺　鬼すむ誇り　　その瀬音　久遠の賛歌
この大地　燃えたついのち　　ここは　北上　」
と故郷を切り開いてきた先住の人たちや故郷の大地・川・山への強い連帯の思いと共感を歌い上げます
また、険しい北上山地に抱かれた南部では
「田舎なれども　南部の山は　西も東も金の山」と謡う

5.1. 復興が進む中で　三陸沿　岸の街の今

1.	釜石の背後の高台に建つ仮設住宅群と釜石の街中で見た津波標識	イメージをはるかに超える津波の高さ
2.	三陸復興道路と三陸鉄道の開通	インフラ整備と外とつながれる沿線の人たちの喜び
3.	消え去った街並み跡に声も出なかった	津波で消えた大槌町・山田町の中心街
4.	山田湾に無数に浮かぶ養殖いかだ	沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海
5.	山田町船越半島	船越半島の中央を乗り越えていった津波のエネルギー
6.	普代の大防潮堤と普代川水門　そして 普代名物すき昆布	
7.	トンネルからトンネルへリアス式海岸の集落を渡る三陸鉄道	高い土盛路線で復旧した田野畑村　島越駅　　朝日新聞記事より

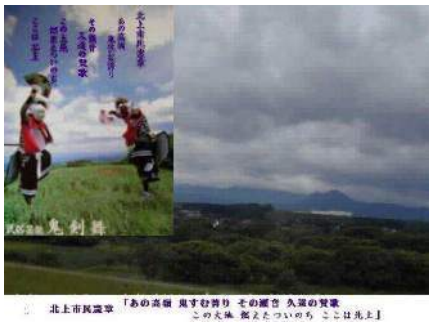
5.2.　三陸沿岸のIron Road

1.	内陸部と三陸沿岸を隔てる東仙人峠のすごさと陸中大橋 google鳥瞰写真で見る仙人峠の急峻さ	
2.	洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地　陸中大橋・橋野 日本の近代製鉄発祥を成し遂げたベース技術　三陸沿岸のたたら製鉄	
3.	炭素と竪型炉が近接同居する山田町船越の古代の製鉄遺跡 これが東北で育まれた竪型製鉄炉による製鉄場? 蝦夷の兵器庫　三陸沿岸の思いをダブらせる	
4.	豊かな海を育てる沿岸の山々	沿岸の山々の養分・鉄分が育てた豊かな海
5.	久慈・八戸の砂鉄と南部鉄	北三陸久慈・八戸に古代たたら遺跡はないのか・・・・
6.	砂鉄の宝庫　三陸沿岸の砂鉄浜	








◆ 東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9.

http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1407sanriku00.htm by Mutsu Nakanishi





1. 近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 「釜石」 橋野・大橋を訪ねる. 2014.6.7.
   photo File 近代製鉄発祥の洋式高炉建設地 釜石の橋野・大橋鉄鉱山 を訪ねる 2014.6.7
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1407kamaishi00.htm
2. 発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」発掘現場を訪ねる 2014.6.8.
   鉄のロマン「三陸は蝦夷の鉄生産工房地ではないか? 」そんな痕跡を求めて
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1408yamada00.htm
3. 三陸鉄道に乗って ２０数年前訪れた龍泉洞 & 普代・黒崎を訪ねる 2014.6.8. & 2014.6.9.
   宮古から久慈へ 大震災・津波の被災地を結ぶ三陸鉄道 北リアス線に乗って 北三陸沿岸をめぐる
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1409fudai00.htm
4. 久慈から八戸へ 車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜 2014.6.9.
   八戸線車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸 & 砂鉄浜 八戸 種差海岸
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1410hachinohe00.htm
5. 東北 三陸沿岸の Iron Road 再訪 まとめ メモリスト 2014.6.7.-6.9.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/iron10/1410sum00.h





≪ 関連和鉄の道　＆　転載・引用などに使った資料及び参考資料　≫

◆　転載・引用などに使った資料及び参考資料

1. 橋野高炉跡パンフレット　日本近代製鉄の先駆け　釜石教育委員会編
   http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,10478,48,255,html
2. 釜石市 home page　歴史　世界遺産登録推進室ほか
   http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,0,48,255,html
3. 釜石から誕生した近代製鉄のあゆみ
   http://www.nssmc.com/company/publications/monthly-nsc/pdf/2007_7_170_11_12.pdf
4. 岩手県立埋蔵文化財センター所報 「わらびて」(No.129).　焼山遺跡
   http://www.echna.ne.jp/~imaibun/warabite/no129/warabite129.pdf
5. 田村栄一郎著 「みちのくの砂鉄 いまいずこ」
6. 柴田弘武著 「鉄と俘囚の古代史」
7. 岩手県立埋蔵文化センター所報「わらびて」 129号 2014.2.28.
8. 岩手県立埋蔵文化センター 焼山遺跡 2014.5.31. 現地説明資料
9. 岩手県立埋蔵文化センター 焼山遺跡 2013.11.2 .現地説明資料
10. 岩手県立埋蔵文化センター 発掘! 岩手の遺跡 焼山遺跡　2015.11.10. ほか
11. 山田町観光協会 公式ブロク 山田とことこ日記 焼山遺跡
12. 弥生文化博物館考古学セミナー 岩手県での発掘調査 災害復興のために
    講演スライド& 資料　広瀬時習氏 「 山田町沢田Ⅲ遺跡 -鉄生産関連遺構の調査-」 h26.6.28.
    講演スライド& 資料 三好孝一氏 「 山田町 田之浜館」現地説明会資料 h25.8.2
13. 久慈市編 ガイドブック「大地と自然の久慈」
14. 北上高地の砂鉄
    http://www.bunka.pref.iwate.jp/rekishi/kouzan/kouzan01_02.html

◆　関連和鉄の道

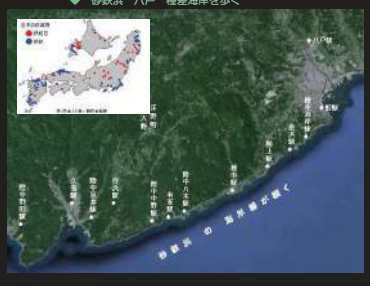
1. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山?　岩手県南部 蝦夷の鉄 北上山地 大鎚・釜石へ　2002.10
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/kmaisi.pdf
2. 岩手県北上川流域の製鉄地帯 一関博 物館 ? 蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ 舞草刀　2001.10.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb08.pdf
3. 蝦夷の鉄・ 東北 和鉄の道　東北地方 和鉄の 道 9 編 取りまとめ　2004.1.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf
4. 福島県 武井製鉄遺跡群の近接する沢入 B・大清水 B 製鉄遺跡　2013.8.
   古代たたら製鉄の革新技術「踏み鞴」の実用展開のさきがけか???
   -金沢・武井製鉄遺跡群に出現した踏み鞴付き竪型炉 ?
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308shinhakken02.htm
5. 蝦夷征伐の兵器庫 金沢製鉄遺跡 黄金吹く行方製鉄遺跡群 福島県原町　1999.11
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlaa04.pdf
6. 日本最 初の洋式高炉建設に燃えた地 古武井
   北海道 渡島半島の活 火山恵山・恵山町古武井海岸を訪ねて　2005.11.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/5iron15.pdf
7. 「閃光」と「肌光」　- 鉄への思い -
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstla01.pdf　2008.1.

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて 三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

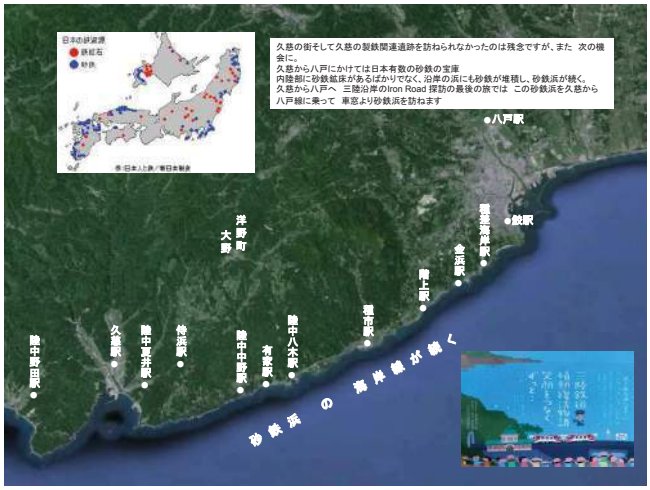
1. 世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地「釜石」 近代製鉄発祥の地「橋野・大橋鉄鉱山」を訪ねる 2014.6.7.
2. 発掘中の古代の製鉄遺跡　山田町船越「境山遺跡」発掘現場を訪ねる　蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも?? 2014.6.8.
3. 三陸鉄道に乗って 20数年前訪れた龍泉洞 &普代・黒崎を訪ねる　龍泉洞・北緯40度地球村 普代 2014.6.7.&6.8
4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・周辺の砂鉄浜　有家海岸 & 種差海岸 2014.6.9.
5. 震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今 三陸の街の今　コメントなしのPhoto集 2014.6.7.–6.9.

4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　2014.6.9.

◆ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜　洋野町有家海岸
◆ 砂鉄浜　八戸　種差海岸を歩く







東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　震災後初めて 三陸沿岸を再訪　2014.6.7-6.9

4. 久慈から八戸へ　車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜　2014.6.9.

・ 八戸線　久慈　9:47発八戸行　11:06　種差海岸　着
車窓より　インターネットで調べた三陸海岸　中野・有家駅周辺の砂鉄浜を眺める

・ 種差海岸の砂鉄浜を歩いて、浜からバスで鮫駅または八戸駅へ
実際にはバス・列車連絡悪く、種差海岸からwalk 13:00 鮫駅 まで出て、
鮫駅から 市内バスで八戸駅へ出ました。 八戸着 14:00

・新幹線　八戸駅15:06　はやぶさ24号で東京へ



三陸沿岸Walk 3日目午後　2014.6.9.午後

9:35　普代から三陸鉄道で　霞雨の久慈駅着
久慈のたち館はすでになく、江戸時代 八戸藩南部の鉄の素材の重要な生産地であった「大野鉄山」の地、ならびに大野にある砂鉄鉱床の露頭をみたかったのですが、どうしても列車の連絡が取れず。
また、次の列車は12:53で、久慈滞在約2時間では旧たたら館資料の展示があると聞く民俗資料館や砂鉄浜の侍浜海岸などへ霞雨の中行くにはちょっとアクセスが心もとない。

9時47分八戸行の列車に間に合うので、今回は残念ながら久慈Walkをあきらめ、そのまま八戸へ向かうことにした。

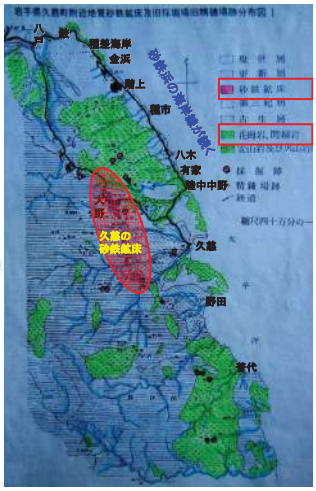
この八戸線は三陸沿岸に沿って八戸へ向かうので、浜が見えるので、浜に堆積した砂鉄が見えるはず。
日本でも有数の砂鉄の産地 久慈から八戸にかけての砂鉄浜はぜひ見ておきたい。
また、八戸の種差海岸の砂鉄浜をすこし 歩いてみたい。
八戸まで出れば、連絡悪くても新幹線八戸駅へは何とかなる。

そうと決まるとあまり時間がない。久慈の駅の外に出て、20数年前 「Iron Road・和鉄の道」の名前が浮かんだ久慈の駅前の写真を撮って、八戸線の列車に乗り込む。

この沿線にいれば、風来坊 どこで降りてもまたすぐに列車に戻れるので、気楽である。

砂鉄の宝庫　八戸・久慈周辺の砂鉄　概要
その周辺の沿岸には砂鉄が堆積する砂鉄浜続く



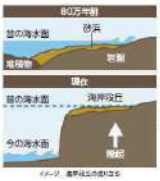


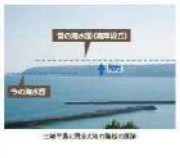
砂鉄資源そして商馬を育てた久慈・八戸周辺海岸部の平坦な地形
海岸隆起によって海底が持ち上がってできた海岸段丘





侍浜町や三崎半島をはじめ、海岸部にはなだらかな台地が広がり、古くから牧畜に利用されてきました。この地形は、数十万年前の海底が隆起して、高台に平坦な地形が残されたものです。





隆起の痕跡、海岸段丘

波の浸食により平らになった海底が、隆起することで陸上に平坦な地形が生まれます。これを繰り返してできた階段状の地形が海岸段丘です。海岸段丘上には礫層や砂層などが堆積しています。

参考資料に関する観察ポイント
p.18　北野井
p.23　川崎製鉄元山鉄鉄採掘場跡

北上山地から流れ出た砂鉄が堆積
その堆積が隆起し、豊富な砂鉄資源を形成

海底の隆起が作った砂鉄資源

元山砂鉄採掘場跡は川崎製鉄久慈工場が製鉄の原料となる砂鉄を採掘した場所です。この採掘場の砂鉄はドバ(※1)といい海底の隆起(※2)により誕生した砂鉄鉱床です。また久慈工場はたたら製鉄の歴史に残る製鉄技術を導入した先進的な工場でした。



海底の隆起が作った砂鉄鉱床

元山の砂鉄層は、標高約250mの高台にあります。この砂鉄層は、かつて海底に堆積した砂鉄が隆起により山の上に持ち上げられたものです（隆起のある場所は海岸段丘といいます）。
その堆積量は、国内最大規模と言われています。この砂鉄鉱床は三陸海岸の隆起が生んだ大地の遺産なのです。





久慈周辺の海岸段丘の分布図

砂鉄層の成り立ち　イメージ







かつて訪れたことがある
久慈市の製鉄遺跡関連地



久慈周辺は砂鉄(ドバ・褐鉄鉱)の大産地　この砂鉄を利用した近代的な海綿鉄の量産
この砂鉄を使って昭和40年代まで海綿鉄を製造した川崎製鉄久慈工場

久慈周辺は砂鉄(ドバ・褐鉄鉱)の大産地
この砂鉄を使って昭和40年代まで近代的な海綿鉄の量産製造した川崎製鉄久慈工場があった小久慈地区。
昭和42年(1967年)川崎製鉄久慈工場閉鎖後、その工場跡地に久慈市役所が昭和49年(1979年)に移設され、
それから40年、工場跡地は行政、文化、ショッピングの新開地・川崎町として発展し現在に至っている。















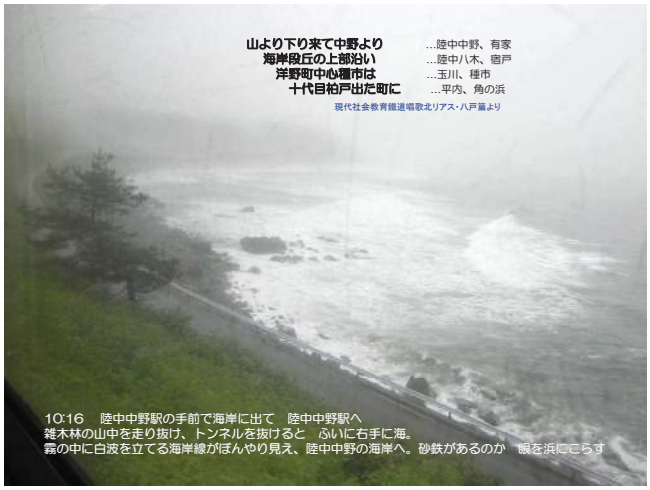








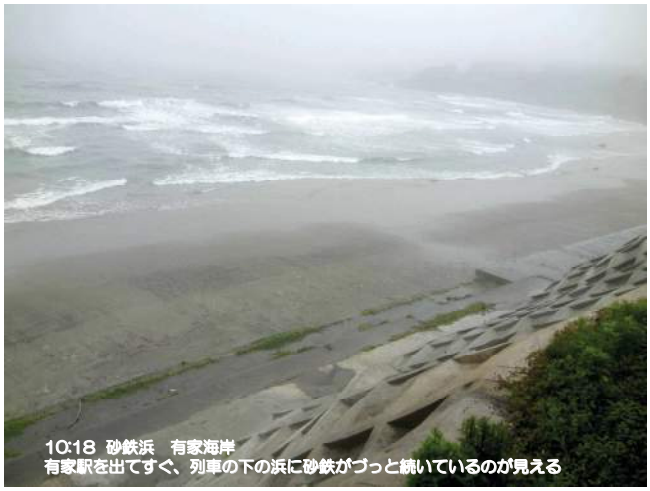







10:16　有家駅周辺の海岸
霧雨に煙る浜が見えているが、浜の状態はよくわからず　まもなく有家駅


陸中八木
有家駅
砂鉄が堆積した浜が続く　有家駅周辺
google写真にも　浜に堆積している砂鉄がよく見える
Google


10:18 砂鉄浜　有家海岸
有家駅を出てすぐ、列車の下の浜に砂鉄がづっと続いているのが見える


北三陸の砂鉄浜　八戸線　洋野町有家海岸　2014.6.9.


北三陸の砂鉄浜　八戸線 洋野町有家海岸 2014.6.9.


10:22　砂鉄浜に沿って北へ走ってきた列車は陸中八木駅へ


10:25　有家駅ー宿戸駅間の砂鉄浜　　宿戸駅のある丘が見えている　2014.6.9.


有家駅ー宿戸駅間の砂鉄浜　　宿戸駅のある丘が見えている　2014.6.9.





岩手/青森の県境　階上岳（岩手県では種市岳と呼ぶ）



10:35　種市駅　岩手県三陸沿岸最北部

洋野町種市
「南部もぐり」潜水技術とウニ漁で有名な街で
種市高校にはこの「南部もぐり」を継承し、工業
系の潜水技術を習得できる学科海洋開発科がある

種市の平内駅・角の浜駅を過ぎると青森県階上駅
で　八戸はもうすぐである

八戸線は種市から北では　海岸より少し陸地側を
走るので　沿岸の浜はよく見えない

10:46　階上駅　青森県三戸郡階上町
ここからはもう　青森県
ウニいちご煮の里の案内板が見える



階上駅の次は大蛇駅 10:57着　そしてその次は八戸市に入って金浜駅
海岸線が見えないのでよくわからないが、「大蛇」「金浜」と続くと製鉄関連地名なのか・・と思えてくる。
でも、「大蛇」は古くからある地名をそのまま駅に。　でも　由来はよくわからないそうだ。
「金浜」と聞くと砂鉄浜に違いない。でも　浜の様子がよくわからず、下車しようかと迷いながら、種差海岸
の「白浜駅」で下車。（当初は鮫駅まで行って　バスで種差海岸に戻るつもりでしたが・・・・）



11:02　岩手県三陸沿岸から青森県陸奥沿岸に入る　2014.6.9.
金浜駅をでると　まもなく緑の海浜公園によく整備された海岸線が見えてきて、
八戸の観光地「種差海岸」の一角に入ったと。　鮫駅までゆかず、近くで降りて　浜を歩いてみようと決める。





11:07 種差海岸駅
種差海岸駅に到着したが、駅前はひっそりしたもので、浜も見えない。下車しようと思っていたが、
次が「陸奥白浜駅」とあり、浜に近いと考え、次の陸奥白浜駅で降りて、浜を歩くことにする。



11:10 陸奥白浜駅下車　駅は無人駅で駅舎もなく、細長いプラットホームが一本あるだけ。浜も見えず。
一瞬戸惑ったが、この案内板が浜への道を教えてくれた。　浜に砂鉄があるだろうか・・・・



陸奥白浜駅　写真忘れていてインターネットより



陸奥白浜駅より浜へ降りる道　インターネットより



種差海岸　大須賀海岸・白浜　2014.8.9.
陸奥白浜駅のある段丘の上から東へなだらかな坂道を下って浜に下りると
眼前は広い太平洋の海と長い白砂の浜が南北に広がっていました



白浜から北側へ広く伸びる大須賀浜　砂鉄が堆積して黒ずんでいるのが見える
砂鉄浜　八戸種差海岸 2014.6.9



陸奥白浜　大須賀海岸　2014.6.9
案内板から 一段下の浜へ降りた所に段に沿って
砂鉄が文様を描いているのが見られました。
この種差海岸　白浜・大須賀の浜が砂鉄浜と確認できました



砂鉄浜　八戸種差海岸　2014.6.9.　陸奥白浜　大須賀海岸



白浜から北側へ広く伸びる大須賀浜　砂鉄が堆積して黒ずんでいるのが見える



砂鉄浜　種差海岸　左手山側から白浜から流れ込む川の河口周辺　砂鉄の堆積が多い



砂鉄浜　種差海岸　左手山側から白浜から流れ込む川の河口周辺　2014.6.9.



砂鉄浜　種差海岸　左手山側から白浜から流れ込む川の河口周辺　2014.6.9.



種差海岸の北端　霧雨にかすむ八戸葦毛崎へ　浜に沿う松林が美しい　2014.6.9



種差海岸　白浜　振り返えると　浜の南側　種差・白浜漁港方面　2014.6.9.



11:32　大きな岩の横から　浜の背後の松林の中を走る観光道路へ登り、種差海岸の北端へ
景色を眺めながら、北端の葦毛崎展望台から岬を回って反対側の鮫駅へwalk
降りしきる霧雨　風がないのがラッキー　途中路線バスがあれば‥‥と。





11:35　浜の背後の松林の中を走る観光道路を種差海岸の北端へ
景色を眺めながら、北端の葦毛崎展望台から岬を回って反対側の鮫駅へwalk





砂鉄浜　八戸種差海岸白浜　2014.6.9.



種差海岸 大須賀の浜の北端周辺で　2014.6.9.





種差海岸 大須賀の浜の北端から種差海岸北端で　海岸に続く岩場を眺めながら
北端の岬　葦毛崎へ　2014.6.9





種差海岸 大須賀の浜の北端から種差海岸北端で　海岸に続く岩場を眺めながら
北端の岬　葦毛崎へ　2014.6.9


種差海岸の北端葦毛崎の岬手前から歩いてきた南側の種差海岸を振り返る 2014.6.9.
葦毛崎
現在地
●陸奥白浜


12:03 土砂降りの雨 種差海岸北端の岬 葦毛崎


12:03 土砂降りの雨の中 葦毛崎を回り込んで西側の沿岸を鮫駅目指して下ってゆく


12:25 岬を回り込んで 街並みが続くところまでに下りてくる。 道脇に八戸線の線路も見え、
八戸線もこの岬を並行して回り込んできたとわかる。
どこまで歩くのかとちょっと心配になっていましたが、ウミネコの繁殖地蕪島 そして八戸の港が遠望でき、
八戸線鮫駅も近いと知れ、やれやれです。


12:40 鮫駅到着 13:40まで、八戸行の列車がない。食事でもと鮫街の通りに出ると十字
路の際にバス亭があり、13時過ぎに 八戸行のバスが来ると教えてもらった。
八戸の市街地に行く路面バスに乗り、約40分ほどで八戸駅へ


14:00 八戸駅着 これで今日 神戸まで帰りつけると....
八戸駅へは是川縄文遺跡や風張縄文遺跡などを訪ねたり、青森の帰りにも立ち寄ったことがあり、知った街並み。
でも 市街地から 遠くぽっかり浮かぶ種市岳の麓 八戸の沿岸部には行ったことがなく、今回 初めて種差海岸を歩けてラッキー。駅前の食堂ビルに入って遅い昼飯。 霧雨の降りしきる街を眺めながら、長かった今日一日 そして、八戸線に乗っての砂鉄浜を振り返る。 20数年前にこの八戸線にも乗ったのですが、全く記憶なく、八戸線沿いの砂鉄浜 そしてそれらを形成した海岸段丘 遠い太古の歴史も知って、今回どうしても行けなかった江戸期南部鉄を支えた内陸部 九戸のたたらや洋野大野鉄山へ もう一度 久慈・八戸へと。今回は3日間のフルスピード三陸沿岸Iron Roadの旅
結局3日とも霧雨の中の訪問でしたが、これも三陸らしい。
「ビール もう一杯」と満足感にしたりながら、新幹線へ。 やっと来れた震災後の三陸沿岸のIron road でした。
三陸沿岸 街そして生活復興はまだ これから。今回垣間見れた三陸沿岸の姿はしっかり焼き付けた。忘れない。
次に訪れた時には さらに活力のある人々の笑顔・生活が見られることを願って。
これからも忘れず、応援してゆきたい。 2014.6.9. 八戸駅で


久慈から八戸へ 車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜 2014.6.9.
◆ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸
◆ 砂鉄浜 八戸 種差海岸を歩く
●八戸駅
●鮫駅
洋野町
大野
種差海岸駅
金浜駅
陸上駅
種市駅
陸中八木駅
有家駅
陸中中野駅
侍浜駅
陸中夏井駅
久慈駅
陸中野田駅
砂鉄浜の海岸線が続く


東北 三陸沿岸の Iron Road を訪ねる 震災後初めて 三陸沿岸を再訪 2014.6.7-6.9
4. 久慈から八戸へ 車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜 2014.6.9.
◆ 八戸線車窓から眺める砂鉄浜 洋野町有家海岸
◆ 砂鉄浜 八戸 種差海岸を歩く
≪ おしまい ≫
2014.9.15.作成 by Mutsu Nakanishi



私の好きな東北　私にとっては奥出雲と並ぶもう一つの鉄の故郷。
私の製鉄遺跡探訪のCountry Walkのタイトルに「Iron Road・和鉄の道」と名付けて
ライフワークにしようとのイメージが出てきたのもこの東北・三陸沿岸久慈。

その東北が東日本大震災と大津波に襲われて3年。その惨状と復興の厳しさに　気になって気になっていましたが、
足を踏み入れることができず。
3年が経ち、三陸沿岸で暮らす人たちの絆「三陸鉄道　北リアス線が全線開通」と聞き
「今、この三陸に出かけることも応援の一つ。震災後の三陸沿岸の街の今をしっかり見てこよう。
　また、再度三陸沿岸のIron Roadをたどって、三陸沿岸のIron Roadに新しいイメージを加えたい」と。

この6月　東京へ行く機会に、北上山地の難所　東仙人峠を列車で越えて、釜石から北へ
山田・宮古・普代・久慈・八戸と「三陸沿岸のIron Road ・和鉄の道」をたどりました。
また、三陸沿岸の製鉄関連遺跡や砂鉄浜そして今発掘が進む製鉄遺跡現場にも行ってこれました。
まだまだ　三陸の厳しい現実を眼にすることも多かったのですが、
困難に立ち向かう行く先々で、多くの人たちに明るく親切にfollowしてもらって、
感謝と共に、ほっとして、思わず「がんばって　応援しているよ」と。
気にかかっていた三陸へやっと行ってこれました。

八戸からの帰路　東北新幹線に乗り込んで
2014.6.9.　by Mutsu Nakanishi

風来坊2014
19





細く長くしなやかに伸びた茎の先に ピンクや赤そして白の花を咲かせ、吹きくる秋の風に揺れている。
清楚で愛らしい秋の野を彩る「コスモス・秋桜」 野原一面をピンクに染めるコスモス畑を風が通り抜けてゆく。

花言葉は「調和」「乙女の真心」「清純」などなど
花の名前はギリシャ語の「Kosmos 調和・秩序」に由来。
この意味合いから 「秩序や調和を保つ宇宙や世界のことを〈コスモス〉と呼ぶようになった」と聞く。



黄金色になった田圃を波打たせながら風が渡ってく。
色づき始めた里山をバックに実を一杯につけた柿の木が顔をのぞかせ、ゆったりとしたした時間が流れる里の秋。
毎年出かけないと気になるコスモス探訪 毎度 同じようなスナップ写真ばかりですが、 今年も 神戸の郊外へ飛び出して行ってきました。

2014.10 月 里の秋 from Kobe by Mutsu Nakanishi







2014.10 月 里の秋 西播磨 志方 & 加古





神戸運動公園コスモスの丘で　2014.10.7.





加古川市志方 野尻の里のコスモス　2014.10.10.





大阪市鶴見緑地　新山　コスモスの丘　2014.10.15







黄金色の田を波打たせながら風が吹き渡ってゆく里の秋　今年も東播磨の田園は豊作　2014.10.10.

こんな秋景色も　轟音を響かせ、水しぶきを上げて疾走するモーターボート

長いこと行ったことのない競艇場のスタンド　　秋の日を浴びながら　久しぶりに眺めました












<スライド動画> 2014 コスモス探訪　2014年10月
神戸運動公園コスモスの丘・加古川市志方のコスモス畑・大阪鶴見緑地
東播磨のコスモスの里　加古川市志方町コスモス畑　2014.10.10
細く長くしなやかに伸びた茎の先に　ピンクや赤そして白の花を咲かせ、吹きくる秋の風に揺れている
清楚で愛らしい秋の野を彩る「コスモス・秋桜」
花言葉は「調和」「乙女の真心」「清純」などなど　花の名前はギリシャ語の「Kosmos　調和・秩序」に由来し、
この意味合いから「秩序や調和を保つ宇宙や世界のことを〈コスモス〉と呼ぶようになった」と聞く。
秋風に揺れるコスモスの花　そして、野原一面をピンクに染めるコスモス
黄金色になった田圃を渡打たせながら風が渡ってゆく。
そして　色好き始めた里山をバックに　赤い実と一杯につけた柿の木が顔をのぞかせ
ゆったりとしたした時間が流れる里の秋
毎年出かけないと気になるコスモス探訪　毎度　同じようなスナップ写真ばかりですが、
今年も　神戸の郊外へ飛び出して行ってきました
2014.10月　里の秋　from Kobe　by Mutsu Nakanishi
神戸総合運動公園　コスモスの丘で　2014.10.7.


２０１４コスモス　2014. 10月
神戸運動公園　コスモスの丘
コスモスの里　加古川市志方
農家とコスモス　大阪鶴見緑地
今年もコスモスの里を訪ねました
毎年同じ景色ですが　元気な 秋を迎えています


稲美町加古大池から眺める高御位山の山並み　2014. 10. 10.


２０１４コスモス　2014. 10月
神戸運動公園　コスモスの丘
コスモスの里　加古川市志方
志方の里
コスモス畑
小野市
三木市
加古川市
神戸市


台風一過　雲間から差し込む光に輝く明石海峡
2014.10. 6.夕　学園都市小束山より


皆既月食　赤い月
2014.10.8.　17:24 神戸
19:40
20:00
20:24
皆既月食 20:24
2054 皆既月食中の赤い月


神戸運動公園 コスモスの丘　2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘　2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.


神戸運動公園 コスモスの丘 2014. 10. 7.





実りの秋を迎えたコスモスの里　志方　正面にどっしり城山が見える　2014.10.10.









南に飯盛山　北に城山に挟まれた志方の里の東端　広尾のコスモス畑

加古川市志方町　広尾東のコスモス　2014. 10. 10.













2014　コスモス　加古川市志方町高畑　2014. 10. 10.







2014 コスモス　加古川市志方町東飯坂　　2014. 10. 10.









2014 コスモス　加古川市志方町東飯坂　　2014. 10. 10.



2014 コスモス　加古川市志方町東飯坂　　2014. 10. 10.





城山の北側の山合いの集落野尻へ　　2014. 10. 10.



2014 コスモス 城山の北側加古川市志方町野尻　2014. 10. 10.







2014 コスモス　加古川市志方町野尻　　2014. 10. 10.



2014 コスモス　加古川市志方町野尻　　2014. 10. 10.















実りの秋を迎えたコスモスの里　志方　稲穂が風にゆれて　秋本番　2014.10.10.











今年もこの景色に出会えました
野尻集落から東へ　峠を越えて　小野市福甸町へ　2014.10.10.



10.15.　鶴見緑地近くに住む友達に案内してもらいました
古代…広大な河内湖が広がっていたその南岸周辺の湿地　　かつて花博の会場の跡地
それが広大な緑地になり、鶴見新山もあると聞く　興味津々で初めて行きました



古代河内湖南岸周辺の湿地　大阪花博の跡地　鶴見緑地　2014.10.15.



大阪鶴見緑地公園　新山のコスモス　　2014. 10. 15.



大阪鶴見緑地公園　新山のコスモス　　2014. 10. 15.



熊を一杯つけた「トックリキワタ」の木に出会いました
2014. 10. 15.　咲くやこの花館温室で



熊を一杯つけた「トックリキワタ」の木に出会いました
2014. 10. 15.　咲くやこの花館温室で


大阪花博の跡地　鶴見緑地　2014.10.15.


こんな秋景色も　尼崎センタープール　2014. 10. 16.
秋の午後ふっと阪神電車を降りて　長いこと入場したことのない競艇場へ
昔のイメージとはびっくりするぐらいきれいになっていた競艇場
男の格闘技　カラフルなモーターボートが疾走
スタンドに座っていると　いろんな思いが次々と・・・こんな秋も


BOAT RACE
3 松本


3 金森
高野


2 高野
6 松下
前田


２０１４コスモス　2014. 10月
○　神戸運動公園　　コスモスの丘
○　コスモスの里　　加古川市営方
○　鳳凰とコスモス　　大阪鶴見緑地
今年もコスモスの里を訪ねました
毎年同じような秋景色ですが
この探訪に行かないと　落ち着かず
今年も元気に秋を迎えています
by Mutsu Nakanishi
< END >

風来坊 2014
20.

写真アルバム 2014紅葉探勝 ≪1≫

六甲・有馬の紅葉探勝　六甲越えで有馬へ　2014.11.4.

この秋 約10年振り 大学時代の山仲間の同期同窓会を神戸で開くことになった。
うれしくなって あそこもここも案内したいと。
色々考えて神戸での同窓会の翌日、ケーブル・ロープウエイを使っての六甲有馬越で 六甲・有馬温泉の紅葉探勝walkを企画した。
まだ、10日ほどあるのですが、「六甲・有馬の紅葉はどうだろうか? 有馬温泉の金泉にも案内したい」と
11月4日 晴天の平日企画したコースに沿って紅葉探勝のwalkを歩きました。

紅葉はちょっと早めでしたが、六甲山上も有馬ももう真っ赤。 コースチェックはそっちのけでぶらぶら六甲・有馬の紅葉を楽しんで帰りました。 六甲山上から有馬へのロープウエイ空中から眺める紅葉谷の素晴らしい紅葉など知っているようで知らなかった六甲・有馬の紅葉にびっくりしました。














六甲ケーブル 表六甲を六甲山上へ 2014.11.4.


六甲ケーブルで表六甲を六甲山上へ 2014.11.4.


六甲ケーブル六甲山頂駅 展望台で 2014.11.4.


表六甲 神戸 ポートアイランド展望 六甲ケーブル六甲山頂駅 展望台 2014.11.4.


六甲山上 紅葉した六甲の森散策
2014.11.4. 六甲高山植物園


六甲高山植物園 2014.11.4.


六甲高山植物園 2014.11.4.


六甲高山植物園 2014.11.4.


六甲 ガーデンテラスから、六甲アイランドとポートアイランドを眺める　2014.11.4.


六甲 ガーデンテラスから眺める大阪湾遠望　2014.11.4.

六甲 ガーデンテラスから眺める　阪神間から大阪湾望　2014.11.4.




空中散歩　裏六甲　紅葉谷　　正面 六甲最高峰
有馬ロープウェイ　紅葉谷　2014.11.4.


有馬ロープウェイ空中散歩　裏六甲、紅葉谷　2014.11.4.


有馬温泉　温泉寺　2014.11.4.


有馬温泉の街並　2014.11.4.


有馬　瑞宝寺公園　2014.11.4.


紅葉　有馬瑞宝寺　2014.11.4.


有馬　瑞宝寺公園　2014.11.4.


有馬温泉は鉄分が多く溶け込んだ赤湯「金泉」と　炭酸泉「銀泉」で有名
赤湯はの泉源では　透明ですが、空気に触れると赤くなる
かんぽの宿で　有馬の湯「金泉」に　2014.11.4.


当店名物はたたら十割そば
有馬温泉は鉄分が多く溶け込んだ赤湯「金泉」で有名　空気に触れると赤くなる
有馬の街で 日本古来の製鉄<たたら製鉄>にちなんだ
「たたら蕎麦」を見つけました
西域騒靼地方原産の「騒靼蕎麦」を挽いたものだと聞きました


帰りは神鉄で　有馬太鼓橋　神鉄有馬温泉駅　2014.11.4.


六甲連山と六甲・有馬越　2014.11.4.
有馬ロープウェイ
六甲ケーブル
ロックガーデン
Google earth


≪おまけ≫　2014.11.17.　有馬　瑞宝寺公園


紅葉はちょっと早めでしたが、六甲山上も有馬ももう真っ赤。
コースチェックはそっちのけでぶらぶら六甲・有馬の紅葉を楽しんで帰りました。
六甲山上から有馬へのロープウエイ空中から眺める紅葉谷の素晴らしい紅葉など知っているようで知らなかった六甲・有馬の紅葉にびっくりしました。
紅葉の六甲・有馬を訪ねる　2014.11.4.
by Mutsu Nakanishi

写真アルバム 2014紅葉探勝 ≪1≫

六甲・有馬の紅葉探勝　六甲越えで有馬へ　2014.11.4.

この秋　約10年振り　大学時代の山仲間の同期同窓会を神戸で開くことになった。
うれしくなって　あそこもここも案内したいと。
色々考えて神戸での同窓会の翌日、ケーブル・ロープウエイを使っての六甲有馬越で　六甲・有馬温泉の紅葉探勝walkを企画した。
まだ、10日ほどあるのですが、「六甲・有馬の紅葉はどうだろうか？有馬温泉の金泉にも案内したい」と11月4日　晴天の平日企画したコースに沿って紅葉探勝のwalkを歩きました。

紅葉はちょっと早めでしたが、六甲山上も有馬ももう真っ赤。コースチェックはそっちのけでぶらぶら六甲・有馬の紅葉を楽しんで帰りました。 六甲山上から有馬へのロープウエイ空中から眺める紅葉谷の素晴らしい紅葉など知っているようで知らなかった六甲・有馬の紅葉にびっくりしました。


























六甲　神戸　ポートアイランド展望　六甲ケーブル六甲山頂駅　展覧台　2014.11.4.


六甲山上　紅葉した六甲の森散策
2014.11.4.　六甲高山植物園


六甲高山植物園　2014.11.4.


六甲高山植物園　2014.11.4.


六甲高山植物園　2014.11.4.


六甲 ガーデンテラスから　六甲アイランドとポートアイランドを眺める　2014.11.4.


六甲 ガーデンテラスから眺める大阪遠望　2014.11.4.
六甲 ガーデンテラスから眺める　阪神間から大阪遠望　2014.11.4.


有馬ロープウエイで有馬へ　2014.11.4.
裏六甲の名勝　紅葉谷
20分の空中散歩
ROKKO SANCHO
六甲山観光案内


空中散歩　裏六甲　紅葉谷　　正面 六甲最高峰
有馬ロープウェイ　紅葉谷　2014.11.4.


有馬ロープウェイ空中散歩　裏六甲　紅葉谷　2014.11.4.


有馬温泉　温泉寺　2014.11.4.


有馬温泉の街並　2014.11.4.


有馬　瑞宝寺公園　2014. 11. 4.


紅葉　有馬瑞宝寺　2014.11.4.


有馬　瑞宝寺公園　2014. 11. 4.


<おまけ>　2014.11.17　有馬　瑞宝寺公園

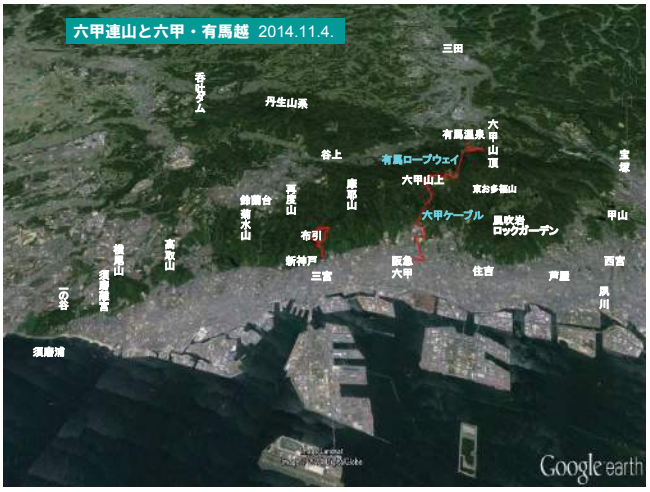

<おまけ>
2014.11.17. 有馬　瑞宝寺公園


<おまけ>
2014.11.17. 有馬　瑞宝寺公園


有馬温泉は鉄分が多く溶け込んだ赤湯「金泉」と　炭酸泉「銀泉」で有名
赤湯はの泉源では　透明ですが、空気に触れると赤くなる
かんぽの宿で　有馬の湯「金泉」に　2014.11.4.


当店名物はたたら十割そば
有馬温泉は鉄分が多く溶け込んだ赤湯「金泉」で有名　空気に触れると赤くなる
有馬の街で 日本古来の製鉄<たたら製鉄>にちなんだ
「たたら蕎麦」を見つけました
西域韃靼地方原産の「韃靼蕎麦」を挽いたものだと聞きました


帰りは神鉄で　有馬太鼓橋　神鉄有馬温泉駅　2014.11.4.


六甲連山と六甲・有馬越 2014.11.4.
三田
丹生山系
有馬温泉
六甲山頂
谷上
有馬ロープウェイ
六甲山上
東お多福山
六甲ケーブル
風吹岩
ロックガーデン
甲山
布引
新神戸
三宮
阪急
六甲
住吉
芦屋
西宮
鳴川
一の谷
須磨浦
Google earth


紅葉はちょっと早めでしたが、六甲山上も有馬ももう真っ赤。
コースチェックはそっちのけでぶらぶら六甲・有馬の紅葉を楽しんで帰りました。
六甲山上から有馬へのロープウエイ空中から眺める紅葉谷の素晴らしい紅葉など知っているようで知らなかった六甲・有馬の紅葉にびっくりしました。
紅葉の六甲・有馬を訪ねる　2014.11.4.
by Mutsu Nakanishi

【写真アルバム】

2014 紅葉探勝 ≪2≫ 久しぶり 秋の布引谷散策 2014.11.6.

有馬は今が一番の紅葉　でも布引谷は　まだ　これから・・・・





布引谷を布引滝•布引ダムから市原に出て　西六甲の縦走路から　東山中のハーブ園の外周を巡って
約3時間ほど　ゆっくり歩いて巡る　布引谷一周の散策コース を見つけました
新神戸→布引滝→展望台→布引ダム→市原→六甲縦走路→摩耶山分岐→ハーブ園北縁
→ハーブ園•ロープウェイ風の丘駅→布引展望台→布引滝•新神戸






前々日　六甲越で有馬の紅葉のすばらしさを見た直後。かかりつけのお医者さんが運動不足・メタボ解消に　アルコールを減らし、もっと歩いて減量せよという。　それはもう　そうと判っているのですが・・・・・・。 もうちょっと歩かねばと。



ちょうど三ノ宮へでる用もあり、「紅葉した木々の間から　光る白壁を流れ落ちる布引滝を見たい」と、11 月 16 日の午後　いつもの散策路へ出かけました。

久しぶりに気持ちの良い布引谷散策　布引滝から紅葉したダム湖の横を抜けて市原へ。 いつもは市原から、南の再度山を抜けて帰るか、布引へ引き返すのですが、今日は　もう少し歩きたくて、摩耶山へ向かう東六甲の縦走路を登って布引ハーブ園の北側から南へハーブ園に出ようと・・・・。新神戸からゆっくり歩いて巡る約3時間ほどの布引谷をぐるりと一周するコース意識して歩いたことなかったのですが、気持ちのいい散策コース。これからは　私の散策路の一つにと。

六甲・有馬は今が一番の紅葉でしたが、でも 布引谷は　まだ　これから・・・・。 同じ神戸の六甲山麓ですが、随分違うようだ。不思議でしたが、断層に沿って　狭い谷間の布引谷　風も吹き抜けず、大気が溜まるからか…と勝手に納得しています。

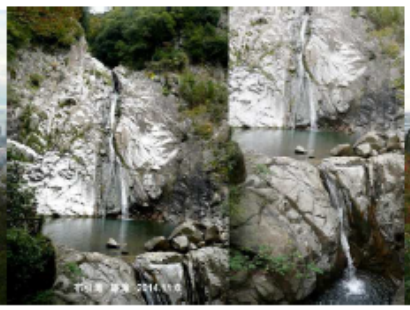
2014.11.6.　by Mutsu　Nakanishi





【写真アルバム】 2014 紅葉探勝 ≪2≫

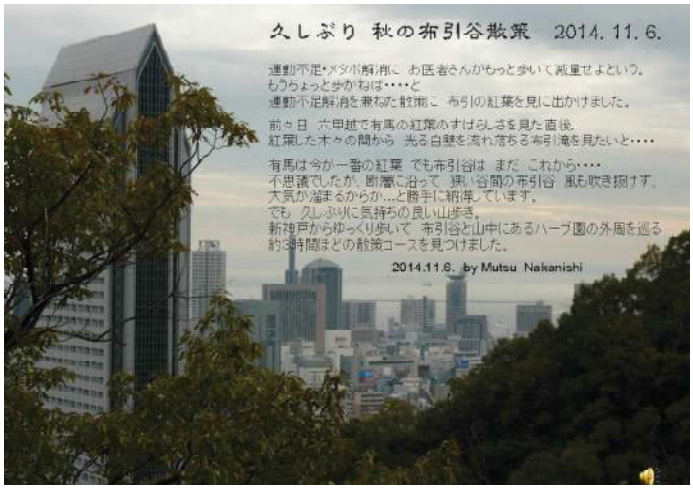
久しぶり 秋の布引谷散策　　2014. 11. 6.


新神戸 → 布引滝 → 展望台 → 布引ダム → 市原 → 六甲縦走路 → 摩耶山分岐 → ハーブ園北縁
→ ハーブ園・ロープウェイ風の丘駅 → 布引展望台 → 布引滝・新神戸
















布引滝　雄滝　2014.11.6.


布引滝　雄滝　2014.11.6.


布引谷を渡るハーブ園ロープウエイ　2014.11.6.


布引ダム　堰堤　2014.11.6.


布引谷を渡るハーノ園ロープウエイ　2014.11.6.






布引貯水池　2014. 11. 6.


布引貯水池　2014. 11. 6.


布原への道で　2014. 11. 6.


布引谷の奥の集落　布原　2014. 11. 6.

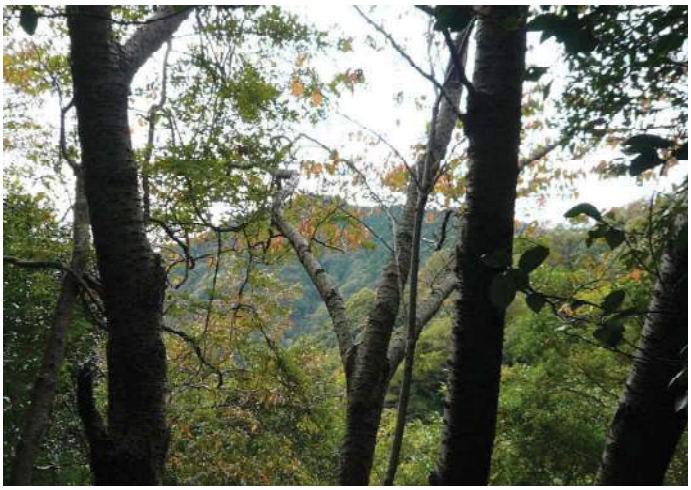

布引谷の奥の集落　布原　2014. 11. 6.


布引谷の奥の集落　布原　2014. 11. 6.


布原から　六甲縦走路で　2014. 11. 6.


布原から　六甲縦走路で　ハーブ園の頂上部　2014.11.6.


六甲縦走路とハーブ園・新神戸への道の分岐　2014.11.6.








ハーブ園東の縁に沿う登山道　2014.11.6.
西六甲縦走路の山々　菊水山・鍋蓋山・再度山が見える


ハーブ園東の縁に沿う登山道で　2014.11.6.


ハーブ園東の縁に沿う登山道で　2014.11.6.


ハーブ園東の縁に沿う登山道で　2014.11.6.



風の丘中間駅のあるハーブ園の下部に入り 再度布引谷を新神戸へ 2014.11.6.



ハーブ園 風の丘中間駅 2014.11.6.







布引の展望台まで降りてくると 夕暮れ近く 2014.11.6.



夕日に光る北野の街 2014.11.6.





【写真アルバム】

2014 紅葉探勝 ≪2≫ 久しぶり 秋の布引谷散策 2014.11.6.

有馬は今が一番の紅葉 でも布引谷は まだ これから・・・・



布引谷を布引滝→布引ダムから市原に出て 西六甲の縦走路から 東山中のハーブ園の外周を巡って
約3時間ほど ゆっくり歩いて巡る 布引谷一周の散策コースを見つけました
新神戸→布引滝→展望台→布引ダム→市原→六甲縦走路→摩耶山分岐→ハーブ園北縁
→ハーブ園・ロープウェイ風の丘駅→布引展望台→布引滝・新神戸



前々日 六甲越で有馬の紅葉のすばらしさを見た直後。かかりつけのお医者さんが運動不足・メタボ解消に アルコールを減らし、もっと歩いて減量せよという。 それはもう そうと判っているのですが……。 もうちょっと歩かねばと。

ちょうど三ノ宮へでる用もあり、「紅葉した木々の間から 光る白壁を流れ落ちる布引滝を見たい」と、11 月 18 日の午後 いつもの散策路へ出かけました。

久しぶりに気持ちの良い布引谷散策 布引滝から紅葉したダム湖の横を抜けて市原へ。 いつもは市原から、雨の再度山を抜けて帰るか、布引へ引き返すのですが、今日は もう少し歩きたくて、摩耶山へ向かう東六甲の縦走路を登って布引ハーブ園の北側から南へハーブ園に出ようと・・・・、新神戸からゆっくり歩いて巡る約3時間ほどの布引谷をぐるりと一周するコース意識して歩いたことなかったのですが、気持ちのいい散策コース。これからは 私の散策路の一つにと。

六甲・有馬は今が一番の紅葉でしたが、でも 布引谷は まだ これから・・・・。 同じ神戸の六甲山麓ですが、随分違うようだ。

不思議でしたが、断層に沿って 狭い谷間の布引谷 風も吹き抜けず、大気が溜まるからか…と勝手に納得しています。

2014.11.6. by Mutsu Nakanishi














布引滝　雄滝　2014.11.6.


布引谷を渡るハーブ園ロープウエイ　2014.11.6.


布引ダム　堰堤　2014.11.6.


布引谷を渡るハーブ園ロープウエイ　2014.11.6.


布引貯水池　2014. 11. 6.


布引貯水池　2014. 11. 6.


布引貯水池　2014. 11. 6.


布引貯水池　2014. 11. 6.



布原への道で　2014. 11. 6.



布引谷の奥の集落　布原　2014. 11. 6.



布引谷の奥の集落　布原　2014. 11. 6.



布引谷の奥の集落　布原　2014. 11. 6.



布原から　六甲縦走路で　2014. 11. 6.



布原から 六甲縦走路で　ハーブ園の頂上部　2014.11.6.



六甲縦走路とハーブ園・新神戸への道の分岐　2014.11.6.









ハーブ園東の縁に沿う登山道　2014.11.6.
西六甲縦走路の山々　菊水山・鍋蓋山・再度山が見える



ハーブ園東の縁に沿う登山道で　2014.11.6.



ハーブ園東の縁に沿う登山道で　2014.11.6.



ハーブ園東の縁に沿う登山道で　2014.11.6.



鳳の丘中間駅のあるハーブ園の下部に入り　再度布引谷を新神戸へ　2014.11.6.



ハーブ園　鳳の丘中間駅　2014.11.6.







布引の展望台まで降りてくると 夕暮れ近く 2014.11.6.



夕日に光る北野の街 2014.11.6.



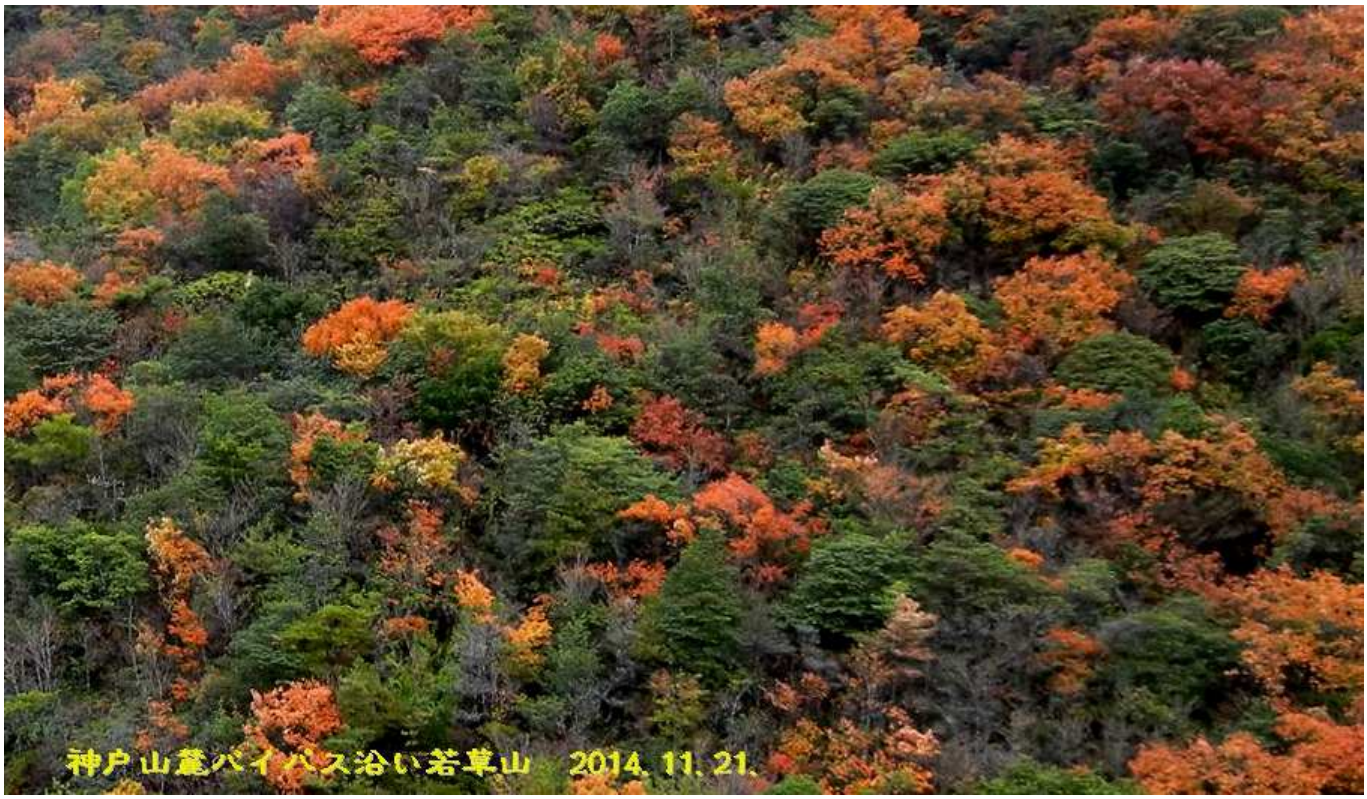
風来坊 2014
22.

2014 紅葉探勝 ≪3≫　2014 紅葉の秋景色　2014年11月

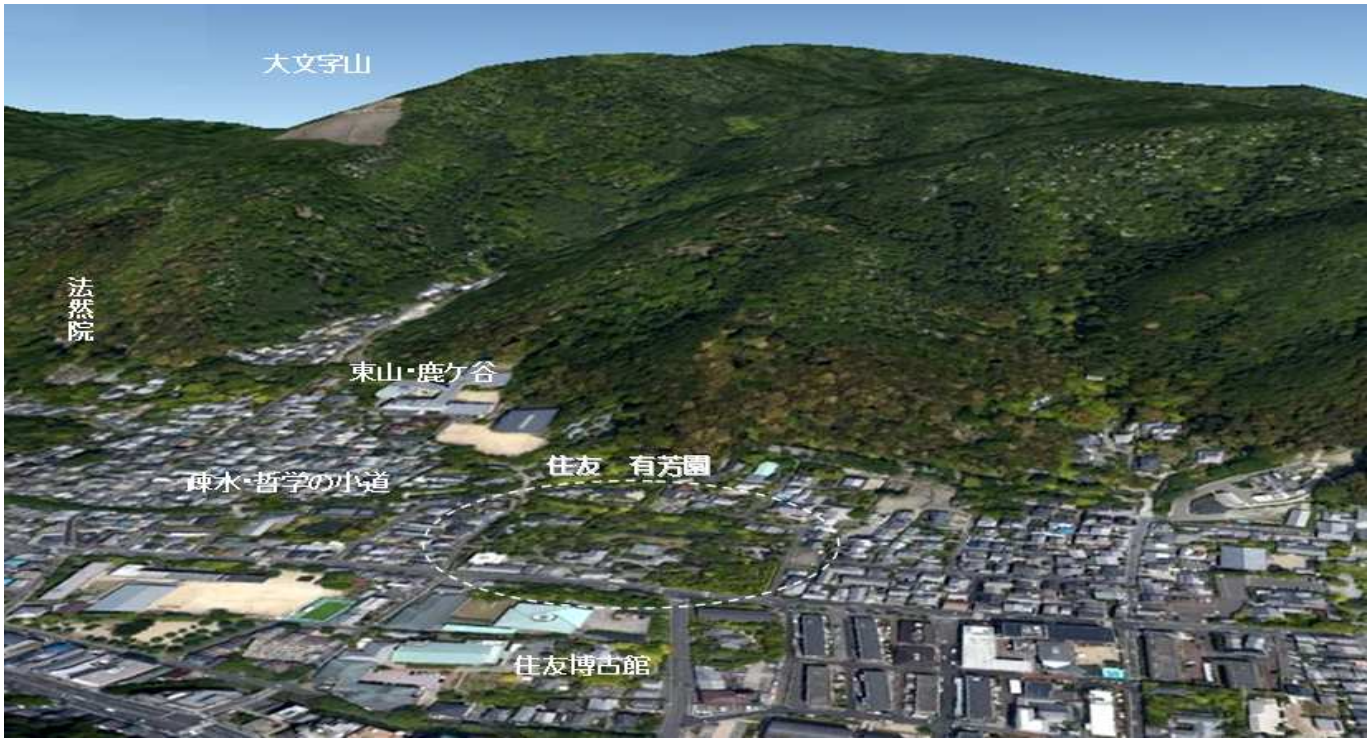








1.　京都銀閣寺疎水　2014.11.12.　　紅葉した秋の銀閣寺疎水を歩きました



会社の同期仲間の会のツアーとして、京都鹿ケ谷の住友京都別邸を　見学する機会を得た。
京都別邸のある泉屋博古館前集合の前に紅葉した銀閣寺疎水べりを法然院から岡崎までぶらぶら歩きました。
住友京都別邸の秋の庭も素晴らしかったのですが、非公開でインターネットにアップできず、あしからず。
その日同期が集まった大阪中之島の街路の紅葉もきれいだったのでデジカでパチリ。
今年はいつもに増して　関西の紅葉が美しい。



















鹿ケ谷　住友別邸の庭園　有芳園　　2014. 11. 12.

鹿ケ谷　住友別邸の庭園　有芳園　　2014.11.12.



機会があって　最近脚光を浴びている旧南禅寺境内に明治から大正にかけて作られた南禅寺別荘群の一つ京都鹿ケ谷にある住友家の庭園　有芳園を見学させていただきました。



有芳園は東山旧南禅寺境内にある明治・大正の別荘群の北端にあり、数寄屋造りの本邸を中心に東山を借景に取り込み、庭に隣接する前方　京都疎水から小川を取り込み、中央の池の周りを取り囲む築山にバランス良く植えられた赤松で構成された小川治兵衛作の素晴らしい松の日本庭園がある。

東山を借景にし、要所要所で真っ赤に紅葉した樹木がそっと松の間から顔を出す。数本しか見えないその紅葉が松の緑とよく調和して、すばらしい秋の季節感を演出していました。

住友家の私邸でもあり、現在一般には非公開で須が、素晴らしい庭。

写真公開ができないのが残念ですが、機会があればぜひどうぞ。







2014 紅葉の秋景色　2. 大阪淀屋橋で





3.　私の住む神戸須磨　山麓バイパス界隈　　2014.11.21.

今秋は例年になく早くから紅葉し、本当に鮮やかな紅葉が見られました

私の住む神戸山麓バイパス沿いの白川・車の郷　若草町からも紅葉した美しい野山の秋景色が見られました。










若草町で　2014. 11. 21.


若草町より　高取山　2014. 11. 21.


若草町より　高取山　2014. 11. 21.


若草町より　大阪湾を望む　2014. 11. 21.


若草町より須磨アルプス　2014. 11. 21.


2014 紅葉の秋景色
神戸の街路樹
神戸　名谷の街路樹


神戸　名谷の街路樹


若草町　2014. 11. 21.


神戸　異人館通りの日没前の一瞬

2014紅葉探勝 ≪3≫

2014 紅葉の秋景色

1. 京都銀閣寺疎水 2014.11.12.
2. 大阪定星楼で 2014.11.12.
3. 私の住む神戸須磨 山陽バイパス界隈



疎水 哲学の小道 2014.11.12.



神戸山陽バイパス沿い若草山 2014. 11. 21.





白河通り周辺から眺める大文字山 2014. 11. 12.



疎水 哲学の小道 2014.11.12.



疎水 哲学の小道 2014. 11. 12.



鹿ケ谷 法然院 2014. 11. 12.



鹿ケ谷 法然院 2014. 11. 12.







鹿ケ谷　住友別邸の庭園　有芳園　　2014. 11. 12.

機会があって 最近脚光を浴びている旧南禅寺境内に明治から大正にかけて作られた南禅寺別荘群の一つ
京都鹿ケ谷にある住友家の庭園 有芳園を見学させていただきました。
有芳園は東山旧南禅寺境内にある明治・大正の別荘群の北端にあり、数寄屋造りの本邸を中心に東山を借景に取り込み、庭に隣接する前方 京都疎水から小川を取り込み、中央の池の周りを取り囲む築山にバランス良く植えられた赤松で構成された小川治兵衛作の素晴らしい松の日本庭園がある。
東山を借景にし、要所要所で真っ赤に紅葉した樹木がそっと松の間から顔を出す。
数本しか見えないその紅葉が松の緑とよく調和して、すばらしい秋の季節感を演出していました。
住友家の私邸でもあり、現在一般には非公開で須が、素晴らしい庭。写真公開ができないのが残念ですが、
機会があればぜひどうぞ。












2014 紅葉の秋景色　2. 大阪淀屋橋で
大阪 淀屋橋より 住友ビル　2014.11.12.


大阪 淀屋橋より 中之島公園　2014.11.12.


2014 紅葉の秋景色　3. 私の住む神戸須磨 山麓バイパス界隈
今秋は例年になく早くから紅葉し、本当に鮮やかな紅葉が見られました
私の住む神戸山麓バイパス沿いの白川・車の郷 若草町からも
紅葉した美しい野山の秋景色が見られました。
若草町より須磨アルプス　2014. 11. 21.


妙法寺駅前から若草山　2014. 11. 21.


若草町で　2014. 11. 21.


若草町で　2014. 11. 21.


若草町で　2014. 11. 21.


若草町より　高取山　2014. 11. 21.



若草町　2014. 11. 21.



若草町より　高取山　　2014. 11. 21.



若草町より　大阪湾を望む　　2014. 11. 21.



若草町より須磨アルプス　　2014. 11. 21.



2014 紅葉の秋景色　　神戸の街路樹

神戸　名谷の街路樹



神戸　名谷の街路樹



神戸　具人館通りの日没前の一時

風来坊 2014
23.

ゆったりとした時間が流れる芦屋川の河口　芦屋浜　　2014.11.21.

阪神間の海岸にも　こんなのんびりした風景が残っていました



きらきらと光る海で鴨が群れ遊ぶ誰もいない海　　ゆったりと打ち寄せる波の音が心地よい
阪神間の海岸にも　こんなのんびりした風景が残っていました





芦屋川河口　芦屋浜　　2014.11.21.

久しぶりに阪神芦屋駅に降り立つと、芦屋川の南　高速道路の向こうに遠くきらきらと光る海が見えた????。
用事の時間まで、約１時間ほど暇がある。思い立って、芦屋川の河原をのんびり歩いて、旧の芦屋浜まで行ってきました。
近くは何度も通るのですが、かつて砂浜が続いた芦屋川河口まで足を延ばしたことなし。
子供の頃　阪神間の海岸には　芦屋浜・打出浜・香櫨園浜・甲子園浜と砂浜の海水浴場が続き、そんな中の芦屋の浜では地引網で捕られた片口鰯が浜 一面に干され、阪神間の街には「*いわしや　いわし～!　手々かむいわ～し!!*」と響き渡る大声で、街を売り歩く行商の声が脳裏に浮かんでくる。



イメージ図　芦屋浜海水浴場　& 浜での地引網漁と片口鰯の天日干し

そんな芦屋浜が埋立てられ、シーサイドタウン・南芦屋浜ができてもう　約 20 年。
阪神間の真ん中にありながら、自動車や工場など街の喧騒もなく、芦屋川の河口には　小さな浜と干潟が残り、眼前には晩秋の陽光を受けて、きらきら光る海に鳥たちが群れ遊ぶ幾羽も遊ぶ。
芦屋川河口　芦屋浜には　ゆったりとした時間が流れていました。
また、芦屋川堤の松並木は夙川堤の松林と共に阪神間に残る数少ない江戸時代から続く松林。
六甲連山をバックに堤の松林の中に瀟洒な洋館住宅や教会の建物などが点在する景色も昔からの風景です。







芦屋川土手に残る松並木　　夙川堤の松並木とともに阪神間に残る数少ない松並木です

久しぶりに訪れた芦屋浜と芦屋川の風景をデジカメに収めましたので、アルバムにしました。

2014.11.21.　Mutsu Nakanishi



芦屋川の河口　芦屋浜　2014.11.21.













芦屋川の河原に下りて、南の芦屋浜を目指す　2014.11.21.



芦屋川の両岸の堤には美しい松林が今も浜まで続いている
芦屋川から眺める六甲の山並みと両岸の松林　2014.11.22.



晩秋 陽光にきらきら光る海　　芦屋川より　2014.11.21.



晩秋 陽光にきらきら光る海　　芦屋川より　2014.11.21.


陽光にきらきら光る海　芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.21.


陽光にきらきら光る海　芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.22.


陽光にきらきら光る海　芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.21.


芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.21.







芦屋川河口から眺める六甲の山並み　2014.11.21.





芦屋川河口から眺める六甲の山並み　2014.11.21.



阪神芦屋の駅をくぐって北側へ　いつも電車から眺める教会の尖塔を見に行く
2014.11.21.



駅の北側にも　ずっと芦屋川両岸に松林が続いています　2014.11.21.



いつも電車から眺める芦屋カソリック教会　2014.11.21.







2014.11.21.　by　Mutsu Nakanishi

芦屋川の河口　芦屋浜　2014.11.21.

きらきらと光る海で鴎が群れ遊ぶ鉄もいない海
ゆったりと打ち寄せる波の音が心地よい
阪神間の海岸にも　こんなのんびりした風景が残っていました



陽光にきらきら光る海　芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.21.

晩秋の光る海　芦屋川河口 芦屋浜　2014.11.21.

久しぶりに阪神芦屋駅に降り立つと、
芦屋川の南　高速道路の向こうに遠くきらきらと光る海が見えた????。
用足しの時間まで、約1時間ほど暇がある。
思い立って、芦屋川の河原をのんびり歩いて、旧の芦屋浜まで行ってきました。
近くは何度も通るのですが、かつて砂浜が続いた芦屋川河口まで足を延ばしたことなし。

かつては　芦屋浜・香櫨園浜と砂浜が続く阪神間の海水浴場。
子供の頃には　浜一面に片口鰯が干されていた光景とともに、
「いわしや　いわし～!　　取れ取れのいわ～し!!」と街を売り歩く行商の声も脳裏をよぎる。

そんな芦屋浜が埋立てられ、シーサイドタウン・南芦屋浜ができて　もう　約20年。
阪神間の真ん中にありながら、自動車や工場など街の喧騒もなく、
芦屋川の河口には　小さな浜と干潟が残り、鳥たちが幾羽も遊び、
眼前は晩秋の陽光にきらきら光る海
芦屋川河口　芦屋浜には　ゆったりとした時間が流れていました

2014.11.21.　Mutsu Nakanishi







芦屋川の橋上駅　阪神芦屋駅　2014.11.21.



阪神芦屋駅から眺めた芦屋川の南　海岸まですぐである　2014.11.21.

晩秋の芦屋浜　全景　芦屋川河口より　2014.11.21.









芦屋川の河原に下りて、南の芦屋浜を目指す　2014.11.21.



芦屋川の両岸の堤には美しい松林が今も浜まで続いている
芦屋川から眺める六甲の山並みと両岸の松林　2014.11.22.



晩秋 陽光にきらきら光る海　芦屋川より　2014.11.21.



晩秋 陽光にきらきら光る海　芦屋川より　2014.11.22.



晩秋 陽光にきらきら光る海　芦屋川より　2014.11.21.



陽光にきらきら光る海　芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.22.

晩秋の芦屋浜　全景　芦屋川河口より　2014.11.21.









陽光にきらきら光る海　芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.21.



陽光にきらきら光る海　芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.21.



芦屋川河口　芦屋浜で　2014.11.21.



芦屋川河口から眺める六甲（西六甲）の山並み　2014.11.21.



芦屋川河口から眺める六甲の山並み　2014.11.21.



芦屋川河口から眺める六甲の山並み　2014.11.21.



阪神芦屋の駅をくぐって北側へ　いつも電車から眺める教会の尖塔を見に行く
2014.11.21.



駅の北側にも　ずっと芦屋川両岸に松林が続いています　2014.11.21.



いつも電車から眺める芦屋カソリック教会　2014.11.21.



いつも電車から眺める芦屋カソリック教会　2014.11.21.



国道2号線にかかる鳳平橋まで来て　今日の 芦屋浜 Walk　time up　2014.11.21.







阪神間の海岸にも　こんなのんびりした風景が残っていました
久しぶりに阪神芦屋駅に降り立つと、芦屋川の南　高速道路の向こうに遠くきらきらと光る海が見えた????。
用事の時間まで、約1時間ほど暇がある。思い立って、芦屋川の河原をのんびり歩いて、旧の芦屋浜まで行ってきました。
近くは何度も通るのですが、かつて砂浜が続いた芦屋川河口まで足を延ばしたことなし。
子供の頃　阪神間の海岸には　芦屋浜・香櫨園浜・甲子園浜と砂浜の海水浴場が続き、
そんな中の芦屋の浜では地引網で捕られた片口鰯が浜 一面に干され、
阪神間の街には「いわしや　いわし～!　取れ取れのいわ～し!!」と響き渡る大声で、
街を売り歩く行商の声が脳裏に浮かんでくる。



イメージ図　芦屋浜海水浴場　& 浜での地引網漁と片口鰯の天日干し